

基礎数学演習 Exercises in Basic Mathematics				
友 枝 恭 子 (トモエダ キョウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ハ	前期(30回)	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
この講義は微積分学への準備となるように意図されている。微積分の講義では説明が省略されるか簡単に済まされるものに対して詳しい説明と演習を行う。微積分学は瞬間の変化を記述し、微小なものを足し合わせる方法を教えている。その動機付けとなるような問題も扱いたいと思っている。そのため物理からの簡単な応用問題も取り上げたいと思っている。主な目標は(1)種々の量を文字式で表現できる。(2)初等関数の性質を利用した計算ができる。(3)平行移動、対称移動を利用して関数のグラフが描ける。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
教科書に基づく講義と演習を中心に進める。これと並行して、各単元の内容の演習を演習教材(ワークブック)を用いて次のサイクルで実施する：  
(1) 授業で指定された演習問題に解答し、(2) 教員の評価を受けること。正解するまでやり直し、(3) その単元の全問題に正答した時点で、教員から検印を貰う。

**科目学習の効果(資格)**  
微積分、線形代数のための基礎を身につけて、専門科目で用いられる数式理解に役立てる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 整数・有理数・無理数  
【内容・方法等】 ・オリエンテーション  
・整数・有理数・無理数の諸性質  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.1~1.4章 レポート課題
- 第2回 【授業テーマ】 複素数・無理数  
【内容・方法等】 ・複素数の四則演算  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.5~1.6章 レポート課題
- 第3回 【授業テーマ】 複素平面と極形式  
【内容・方法等】 ・複素数の極形式表示  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第1.7章 レポート課題
- 第4回 【授業テーマ】 文字式  
【内容・方法等】 ・文字式の展開・因数分解  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.1~2.3章 レポート課題
- 第5回 【授業テーマ】 2次方程式  
【内容・方法等】 ・解の公式等による2次方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第6回 【授業テーマ】 高次方程式  
【内容・方法等】 ・因数定理を用いた高次方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第2.4章 レポート課題
- 第7回 【授業テーマ】 1次関数(1)  
【内容・方法等】 ・直線の式、直交条件  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第8回 【授業テーマ】 1次関数(2)  
【内容・方法等】 ・1次関数の応用  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.1章 レポート課題
- 第9回 【授業テーマ】 2次関数  
【内容・方法等】 ・グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第10回 【授業テーマ】 無理関数  
【内容・方法等】 ・グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第3.2章 レポート課題
- 第11回 【授業テーマ】 分数式  
【内容・方法等】 ・計算・部分分数分解  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.1-4.2章 レポート課題
- 第12回 【授業テーマ】 分数式  
【内容・方法等】 ・グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第4.2章
- 第13回 【授業テーマ】 三角比(1)  
【内容・方法等】 ・一般角、三平方の定理とその応用  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.1章 レポート課題
- 第14回 【授業テーマ】 三角比(2)  
【内容・方法等】 ・三角関数の定義、グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2章 レポート課題
- 第15回 【授業テーマ】 三角比(3)  
【内容・方法等】 ・三角比の計算、余弦定理  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第5.2~5.3章 レポート課題
- 第16回 【授業テーマ】 絶対値(1)  
【内容・方法等】 ・絶対値の基本的性質  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.1章 レポート課題

- 第17回 【授業テーマ】 絶対値(2)  
【内容・方法等】 ・絶対値付きの方程式の解法、グラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第6.2~6.3章 レポート課題
- 第18回 【授業テーマ】 指数関数(1)  
【内容・方法等】 ・指数法則  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第19回 【授業テーマ】 指数関数(2)  
【内容・方法等】 ・指数関数のグラフ、方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.1章 レポート課題
- 第20回 【授業テーマ】 対数関数(1)  
【内容・方法等】 ・対数の定義、底の変換公式  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第21回 【授業テーマ】 対数関数(2)  
【内容・方法等】 ・対数関数を含む方程式  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第22回 【授業テーマ】 対数関数(3)  
【内容・方法等】 ・対数関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第7.2章 レポート課題
- 第23回 【授業テーマ】 三角関数(1)  
【内容・方法等】 ・加法定理  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第24回 【授業テーマ】 三角関数(2)  
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた計算問題  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.1章 レポート課題
- 第25回 【授業テーマ】 三角関数(3)  
【内容・方法等】 ・加法定理から導かれる種々の公式  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.2章 レポート課題
- 第26回 【授業テーマ】 三角関数(4)  
【内容・方法等】 ・加法定理を用いた三角関数のグラフの描き方  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第8.3章 レポート課題
- 第27回 【授業テーマ】 数列  
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.1~9.3章 レポート課題
- 第28回 【授業テーマ】 和の公式  
【内容・方法等】 ・等差数列、等比数列の和、シグマ記号に慣れる  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.2~9.4章 レポート課題
- 第29回 【授業テーマ】 数学的帰納法  
【内容・方法等】 ・数学的帰納法を用いた証明  
【事前・事後学習課題】 演習テキスト 第9.5章 レポート課題
- 第30回 【授業テーマ】 総合演習  
評価方法(基準)

全単元の検印を受けて演習教材(ワークブック)を完遂した者のみを成績評価の対象とし、演習、小テスト、演習教材(ワークブック)で約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%の割合で判定し評価する。

**教材等**  
教科書…数学の基礎(基礎理工学機構編) 日々の演習(基礎理工学機構編)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**  
教科書の問題を自分で何度も解いて数式を扱う経験を十分に積むよう努力してください。演習は必ず自分で解こうと努力し、わからないところは質問する積極的な姿勢を望みます。

**関連科目**  
数式を用いるすべての科目、特に微積分。

**担当者の研究室等**  
3号館3階 数学研究室

微積分 Calculus I				
寺 本 恵 昭 (テラモト ヨシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ニ	前期(30回)	選択	4

**授業概要・目的・到達目標**  
整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる。2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**  
進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の

素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)  
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)  
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限  
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性  
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数  
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数  
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法  
【内容・方法等】 ・積、商の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数  
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分  
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 指数関数  
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数  $e$ ・指数関数の定義  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 指数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 対数関数  
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 対数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 3角関数  
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $\sin x$ の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回 【授業テーマ】 高次導関数(1)  
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第17回 【授業テーマ】 高次導関数(2)  
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第18回 【授業テーマ】 平均値の定理  
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第19回 【授業テーマ】 関数の挙動(1)  
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第20回 【授業テーマ】 関数の挙動(2)  
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第21回 【授業テーマ】 関数の展開(1)  
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第22回 【授業テーマ】 関数の展開(2)  
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート
- 第23回 【授業テーマ】 原始関数(1)  
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第24回 【授業テーマ】 原始関数(2)  
【内容・方法等】 ・整式、有理式的不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第25回 【授業テーマ】 原始関数(3)  
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分

- 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第26回 【授業テーマ】 原始関数(4)  
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第27回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)  
【内容・方法等】 ・置換積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第28回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・部分積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第29回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 第30回 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)  
【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート
- 評価方法 (基準)  
演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等  
教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ  
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目  
微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

微積分I Calculus I				
友 枝 恭 子 (トモエダ キョウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標  
整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。  
学科の学習・教育目標の対応：[B]

授業方法と留意点  
進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)  
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)  
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 関数の極限  
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 関数の連続性  
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 微分係数  
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 導関数  
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 導関数の計算方法  
【内容・方法等】 ・積、商の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数  
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 逆関数の微分  
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算

- 第10回** 【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 指数関数  
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数 e・指数関数の定義
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 指数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 対数関数  
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 対数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 3角関数  
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $\sin x$  の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分
- 第16回** 【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 高次導関数(1)  
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数
- 第17回** 【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 高次導関数(2)  
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式
- 第18回** 【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 平均値の定理  
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の挙動(1)  
【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の挙動(2)  
【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の展開(1)  
【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の展開(2)  
【内容・方法等】 ・指数関数、3角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化
- 第23回** 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(1)  
【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(2)  
【内容・方法等】 ・整式、有理式的不定積分
- 第25回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(3)  
【内容・方法等】 ・3角関数の不定積分
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 原始関数(4)  
【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)  
【内容・方法等】 ・置換積分
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・部分積分
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)
- 評価方法 (基準)**  
演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。
- 教材等**  
教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。
- 学生へのメッセージ**  
講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、チューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。
- 関連科目**  
微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ
- 担当者の研究室等**

微積分I  
Calculus I

田 畑 謙 二 (タバタ ケンジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

整式、有理式、無理関数、3角、指数、対数関数などの基本的な関数について、微分の計算法、テイラー展開の求め方、不定積分の計算法を習得する。・到達目標1)基本的な関数の微分ができる2)関数の挙動を求めグラフが描ける3)基本的な関数の不定積分ができる。

学科の学習・教育目標の対応：[B]

授業方法と留意点

進捗の具合により講義と演習を適宜配分。左に挙げた内容を解説し、演習で理解を深める。専門学科で必要とされる微積分の素養、計算能力を身につけるために授業には必ず出席し、予習復習も励行すること。試験は中間、期末の計2回

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(1)  
【内容・方法等】 ・座標平面・点の表示・点の移動の表示  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 関数とそのグラフ(2)  
【内容・方法等】 ・関数に関する用語・簡単な関数のグラフ  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 関数の極限  
【内容・方法等】 ・実数の性質・極限の定義・極限の計算方法
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート  
【授業テーマ】 関数の連続性  
【内容・方法等】 ・連続性の定義・連続関数の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、問題 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 微分係数  
【内容・方法等】 ・微分係数の定義・接線の方程式  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 導関数  
【内容・方法等】 ・導関数の定義・導関数の求め方・整式の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 導関数の計算方法  
【内容・方法等】 ・積、商の導関数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 合成関数の微分高次導関数  
【内容・方法等】 ・合成の方法・合成関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 逆関数の微分  
【内容・方法等】 ・逆関数の定義・逆関数の微分の計算  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、問題 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 指数関数  
【内容・方法等】 ・指数法則・ネピアの数 e・指数関数の定義  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 指数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=0$ での微分係数・指数関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 対数関数  
【内容・方法等】 ・自然対数の定義・対数の性質  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 対数関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $x=1$ での微分係数・導関数の求め方・対数微分法  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、問題 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 3角関数  
【内容・方法等】 ・弧度法・3角関数の定義・諸性質と公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 3角関数・逆3角関数の微分  
【内容・方法等】 ・ $\sin x$  の微分・3角関数の微分・逆3角関数の微分  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、問題 課題レポート
- 第16回** 【授業テーマ】 高次導関数(1)  
【内容・方法等】 ・高次導関数の定義・多項式の高次導関数  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第17回** 【授業テーマ】 高次導関数(2)  
【内容・方法等】 ・指数、対数、3角関数の高次導関数・ライプニッツの公式  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、問題 課題レポート
- 第18回** 【授業テーマ】 平均値の定理  
【内容・方法等】 ・ロルの定理・平均値の定理

- 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
**第19回** 【授業テーマ】 関数の挙動(1)  
 【内容・方法等】 ・関数の増減・極大、極小  
 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
**第20回** 【授業テーマ】 関数の挙動(2)  
 【内容・方法等】 ・グラフの凹凸・変曲点  
 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
**第21回** 【授業テーマ】 関数の展開(1)  
 【内容・方法等】 ・テイラー展開・マクローリン展開  
 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
**第22回** 【授業テーマ】 関数の展開(2)  
 【内容・方法等】 ・指数関数、三角関数、対数関数の展開・2項定理の一般化  
 【事前・事後学習課題】 第6章の間、問題 課題レポート  
**第23回** 【授業テーマ】 原始関数(1)  
 【内容・方法等】 微分の逆演算としての不定積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第24回** 【授業テーマ】 原始関数(2)  
 【内容・方法等】 ・整式、有理式的不定積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第25回** 【授業テーマ】 原始関数(3)  
 【内容・方法等】 ・三角関数の不定積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第26回** 【授業テーマ】 原始関数(4)  
 【内容・方法等】 ・指数関数、対数関数の不定積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第27回** 【授業テーマ】 不定積分の計算法(1)  
 【内容・方法等】 ・置換積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第28回** 【授業テーマ】 不定積分の計算法(2)  
 【内容・方法等】 ・部分積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第29回** 【授業テーマ】 不定積分の計算法(3)  
 【内容・方法等】 ・分数関数の不定積分・無理関数の不定積分  
 【事前・事後学習課題】 第7章の間、問題 課題レポート  
**第30回** 【授業テーマ】 不定積分の計算法(4)

評価方法 (基準)

演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

教材等

教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)  
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

微積分Ⅱ Calculus II				
寺本恵昭(テラモト ヨシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

定積分の概念と計算法、2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握、重積分の概念と計算法、以上を説明する。・到達目標1) 基本的な関数の積分ができる2)偏微分の計算ができる3)2変数関数の挙動がわかる4)重積分の計算ができる。  
 学科の学習・教育目標の対応：[B]

授業方法と留意点

挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し、理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのため、欠席をせず授業の前に30分でも良いから復習を重ねること。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 定積分の定義  
 【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質  
 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
**第2回** 【授業テーマ】 簡単な定積分  
 【内容・方法等】 ・定数関数、1次、2次関数の定積分・不

- 定積分と定積分・基本的な関数の定積分  
**第3回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)  
 【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分  
**第4回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(2)  
 【内容・方法等】 ・置換積分  
**第5回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(3)  
 【内容・方法等】 ・部分積分  
**第6回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(4)  
 【内容・方法等】 ・指数関数、三角関数の定積分  
**第7回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の計算法(5)  
 【内容・方法等】 ・有理関数、無理関数の定積分  
**第8回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(1)  
 【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算  
**第9回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(2)  
 【内容・方法等】 ・体積の計算  
**第10回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(3)  
 【内容・方法等】 ・回転体の体積  
**第11回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 定積分の応用(4)  
 【内容・方法等】 ・広義積分  
**第12回** 【事前・事後学習課題】 第8章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 2変数の関数(1)  
 【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域  
**第13回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)  
 【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線  
**第14回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 2変数の関数(2)  
 【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性  
**第15回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)  
 【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入  
**第16回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 偏微分  
 【内容・方法等】 ・偏微分の定義  
**第17回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 偏微分の計算(1)  
 【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法  
**第18回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 偏微分の計算(2)  
 【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性  
**第19回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 合成関数の偏微分  
 【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算  
**第20回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 高次偏導関数(1)  
 【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換  
**第21回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 高次偏導関数(2)  
 【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示  
**第22回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 高次偏導関数(3)  
 【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクローリン展開  
**第23回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 偏微分の応用(1)  
 【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題  
**第24回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 偏微分の応用(2)  
 【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題  
**第25回** 【事前・事後学習課題】 第9章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 重積分の定義(1)  
 【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分  
**第26回** 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 重積分の定義(1)  
 【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分  
**第27回** 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 重積分の計算法(1)  
 【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分  
**第28回** 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 重積分の計算法(2)  
 【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着  
**第29回** 【事前・事後学習課題】 第10章の間、問題 課題レポート  
 【授業テーマ】 重積分の計算法(3)  
 【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積

【事前・事後学習課題】 第10章の問、問題 課題レポート  
**第30回** 【授業テーマ】 重積分の計算法(4)  
**評価方法** (基準)  
 演習小テストで約30%、習熟度確認テストと期末テスト約70%で判定し評価する。  
**教材等**  
 教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)  
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。  
**学生へのメッセージ**  
 どんなに些細な事でも遠慮なく質問すること、授業中でもいつでも親切に答えます。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますのでどんな質問でも良いから来て下さい。数学は特に積み重ねが肝心の科目です。諦めずに続けましょう。  
**関連科目**  
 微積分I、線形代数I・II  
**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

微積分II Calculus II				
佐々木 洋 平 (ササキ ヨウヘイ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択	4

**授業概要・目的・到達目標**  
 定積分の概念と計算法、2変数関数の偏微分の計算とそのグラフの把握、重積分の概念と計算法、以上を説明する。・到達目標1) 基本的な関数の積分ができる2)偏微分の計算ができる3)2変数関数の挙動がわかる4)重積分の計算ができる。  
 学科の学習・教育目標の対応：[B]

**授業方法と留意点**  
 挙げた内容を具体的な計算例を中心にできるだけ平易に解説し、理解の程度を演習により確かめる。受講者はその厳選された平易な内容を確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのため、欠席をせず授業の前30分でも良いから復習を重ねること。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 定積分の定義  
【内容・方法等】 ・面積と定積分・定積分の定義・定積分の性質  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第2回 【授業テーマ】 簡単な定積分  
【内容・方法等】 ・定数関数、1次、2次関数の定積分・不定積分と定積分・基本的な関数の定積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第3回 【授業テーマ】 定積分の計算法(1)  
【内容・方法等】 ・微積分の基本定理・不定積分と定積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第4回 【授業テーマ】 定積分の計算法(2)  
【内容・方法等】 ・置換積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第5回 【授業テーマ】 定積分の計算法(3)  
【内容・方法等】 ・部分積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第6回 【授業テーマ】 定積分の計算法(4)  
【内容・方法等】 ・指数関数、三角関数の定積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第7回 【授業テーマ】 定積分の計算法(5)  
【内容・方法等】 ・有理関数、無理関数の定積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第8回 【授業テーマ】 定積分の応用(1)  
【内容・方法等】 ・曲線が囲む面積の計算  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第9回 【授業テーマ】 定積分の応用(2)  
【内容・方法等】 ・体積の計算  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第10回 【授業テーマ】 定積分の応用(3)  
【内容・方法等】 ・回転体の体積  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第11回 【授業テーマ】 定積分の応用(4)  
【内容・方法等】 ・広義積分  
【事前・事後学習課題】 第8章の問題
  - 第12回 【授業テーマ】 2変数の関数(1)  
【内容・方法等】 ・2変数関数の例・xy平面内の領域と関数の定義域  
【事前・事後学習課題】 第9章の問題
  - 第13回 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(1)

- 【内容・方法等】 ・グラフとしての曲面・グラフ上の曲線
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 2変数の関数(2)
- 【内容・方法等】 ・2変数関数の極限・2変数関数の連続性
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 2変数関数のグラフ(2)
- 【内容・方法等】 ・グラフ上の曲線の接線・接平面の導入
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 偏微分
- 【内容・方法等】 ・偏微分の定義
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 偏微分の計算(1)
- 【内容・方法等】 ・偏導関数の定義・偏導関数の計算法
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 偏微分の計算(2)
- 【内容・方法等】 ・偏微分可能性・全微分可能性
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 合成関数の偏微分
- 【内容・方法等】 ・2変数関数の合成と偏微分の計算
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 高次偏導関数(1)
- 【内容・方法等】 ・2次偏導関数の定義・偏微分の順序交換
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 高次偏導関数(2)
- 【内容・方法等】 ・合成の高次偏微分・偏微分作用素の表示
- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
- 【授業テーマ】 高次偏導関数(3)
- 【内容・方法等】 ・2変数のテイラー展開・マクローリン展開

- 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
  - 【授業テーマ】 偏微分の応用(1)
  - 【内容・方法等】 ・2変数関数の極値問題
  - 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
  - 【授業テーマ】 偏微分の応用(2)
  - 【内容・方法等】 ・陰関数定理・条件付き極値問題
  - 【事前・事後学習課題】 第9章の問題
  - 【授業テーマ】 重積分の定義(1)
  - 【内容・方法等】 ・体積と重積分・長方形領域上での重積分
  - 【事前・事後学習課題】 第10章の問題
  - 【授業テーマ】 重積分の定義(2)
  - 【内容・方法等】 ・長方形上での逐次積分
  - 【事前・事後学習課題】 第10章の問題
  - 【授業テーマ】 重積分の計算法(1)
  - 【内容・方法等】 ・曲線で囲まれた領域上での重積分
  - 【事前・事後学習課題】 第10章の問題
  - 【授業テーマ】 重積分の計算法(2)
  - 【内容・方法等】 ・逐次積分への帰着
  - 【事前・事後学習課題】 第10章の問題
  - 【授業テーマ】 重積分の計算法(3)
  - 【内容・方法等】 ・重積分と立体の体積
  - 【事前・事後学習課題】 第10章の問題
  - 【授業テーマ】 重積分の計算法(4)
- 評価方法** (基準)  
 小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%で判定し評価する。

**教材等**  
 教科書…微積分基礎 寺本恵昭(共立出版) 2,310円(税込)  
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。  
**学生へのメッセージ**  
 3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。  
**関連科目**  
 微積分I、線形代数I・II  
**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

線形代数I Linear Algebra I				
島 田 伸 一 (シマダ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	I	前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。  
 学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

授業では『授業テーマ』に掲げた内容を具体的な例を挙げつつ出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。ただし講義の進行状況などにより変更することもある。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 行列の定義(1)  
【内容・方法等】 ・和、スカラー倍  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列の定義(2)  
【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 正方行列(1)  
【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 正方行列(2)  
【内容・方法等】 ・正則行列の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 2次正方行列  
【内容・方法等】 ・逆行列の計算  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 いろいろな行列  
【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 連立1次方程式(1)  
【内容・方法等】 ・消去法  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 連立1次方程式(2)  
【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 連立1次方程式(3)  
【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 連立1次方程式(4)  
【内容・方法等】 ・基本解・特殊解  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 連立1次方程式(5)  
【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第12回 【授業テーマ】 空間のベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 空間のベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・内積・距離  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 空間のベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 空間のベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート

**評価方法 (基準)**

演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**

教科書…線形代数(摂南大学数学研究室) 共立出版  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

**関連科目**

線形代数 II

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

線形代数I Linear Algebra I				
西 脇 純 一(ニシワキ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ロ	前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

線形代数は、幾何ベクトルや連立1次方程式の取り扱い方を一般化してできた理論で、理工系学生に欠くことのできない数学

的教養である。到達目標1)行列の計算ができる2)ベクトルの内積・外積を理解する3)基本変形で連立1次方程式を解く4)基本変形で逆行列を求める。

学科の学習・教育目標との対応:[B]

**授業方法と留意点**

授業では『授業テーマ』に掲げた内容を具体的な例を挙げつつ出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。ただし講義の進行状況などにより変更することもある。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 行列の定義(1)  
【内容・方法等】 ・和、スカラー倍  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列の定義(2)  
【内容・方法等】 ・積の定義・転置行列  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 正方行列(1)  
【内容・方法等】 ・単位行列・正則行列の定義  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 正方行列(2)  
【内容・方法等】 ・正則行列の性質  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 2次正方行列  
【内容・方法等】 ・逆行列の計算  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 いろいろな行列  
【内容・方法等】 ・対称行列・交代行列・ベキ零行列  
【事前・事後学習課題】 第1章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 連立1次方程式(1)  
【内容・方法等】 ・消去法  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 連立1次方程式(2)  
【内容・方法等】 ・連立1次方程式の行列表示・基本変形・階数  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 連立1次方程式(3)  
【内容・方法等】 ・基本変形の正則行列表示・掃き出し法による逆行列の求め方  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 連立1次方程式(4)  
【内容・方法等】 ・基本解・特殊解  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 連立1次方程式(5)  
【内容・方法等】 ・同次連立1次方程式・正則行列となる条件  
【事前・事後学習課題】 第2章の間、演習問題 レポート
- 第12回 【授業テーマ】 空間のベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・空間のベクトルの定義・和とスカラー倍  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 空間のベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・内積・距離  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 空間のベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・外積・スカラー3重積  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 空間のベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・直線の方程式・平面の方程式  
【事前・事後学習課題】 第3章の間、演習問題 レポート

**評価方法 (基準)**

演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**

教科書…線形代数(摂南大学数学研究室) 共立出版  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

**関連科目**

線形代数 II

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

線形代数II Linear Algebra II				
小 林 俊 公(コバヤシ トシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	イ	後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

行列式の計算ができ、行列の固有値と固有ベクトルが求められ、それらを行列の対角化へ応用できるようになることが本講義の目的である。・到達目標 (1) 行列式の計算ができる (2) 行列の固有値と固有ベクトルを求められる (3) 行列の3角化と対角化ができる

学科の学習・教育目標の対応：[B]

**授業方法と留意点**

授業ではテーマに掲げた内容を出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。(1) 演習問題は授業の前半に講義した内容から出題する。(2) 期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 行列式(1)  
【内容・方法等】 ・置換の定義・置換の積・置換の符号  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列式(2)  
【内容・方法等】 ・行列式の定義・多重線形性・交代性  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 行列式(3)  
【内容・方法等】 ・2次正方行列の行列式・3次正方行列の行列式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 行列式(4)  
【内容・方法等】 ・行列式の余因子展開  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 行列式(5)  
【内容・方法等】 ・行列の積と行列式・逆行列をもつ条件  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 行列式(6)  
【内容・方法等】 ・余因子行列・逆行列  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 行列式(7)  
【内容・方法等】 ・クラメールの公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(1)  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(2)  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・正方行列の3角化  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・フロベニウスの定理 ・ハミルトン・ケリーの定理  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第12回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(5)  
【内容・方法等】 ・正方行列の対角化  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(6)  
【内容・方法等】 ・実対称行列の対角化 ・直交行列  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(7)  
【内容・方法等】 ・2次形式への応用・2次形式の符号  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(8)  
【内容・方法等】 ・2次曲線、曲面の例  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート

**評価方法 (基準)**

演習、小テストで約30%、定期テストで約70%の割合で判定し評価する。

**教材等**

教科書…線形代数 (摂南大学数学研究室) 共立出版  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。どのような質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが、最終目標をいつも頭において勉強してください。

**関連科目**

線形代数 I

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

**線形代数II**

Linear Algebra II

友 枝 恭 子 (トモエダ キョウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ロ	後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

行列式の計算法と行列の固有値と固有ベクトルの求め方が本講義の目的である。・到達目標 (1) 行列式の計算 (2) 固有値と固有ベクトル (3) 行列の3角化と対角化  
学科の学習・教育目標の対応：[B]

**授業方法と留意点**

授業ではテーマに掲げた内容を出来るだけ平易に説明する。基本的には授業の前半の60分を講義に充て、後半の30分を演習の時間に充てる。(1) 演習問題は授業の前半に講義した内容から出題する。(2) 期末試験の出題内容は授業中の演習問題レベルとする。

**科目学習の効果 (資格)**

構造力学I、II、IIIなどの基礎となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 行列式(1)  
【内容・方法等】 ・置換の定義・置換の積・置換の符号  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第2回 【授業テーマ】 行列式(2)  
【内容・方法等】 ・行列式の定義・多重線形性・交代性  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第3回 【授業テーマ】 行列式(3)  
【内容・方法等】 ・2次正方行列の行列式・3次正方行列の行列式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第4回 【授業テーマ】 行列式(4)  
【内容・方法等】 ・行列式の余因子展開  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第5回 【授業テーマ】 行列式(5)  
【内容・方法等】 ・行列の積と行列式・逆行列をもつ条件  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第6回 【授業テーマ】 行列式(6)  
【内容・方法等】 ・余因子行列・逆行列  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第7回 【授業テーマ】 行列式(7)  
【内容・方法等】 ・クラメールの公式  
【事前・事後学習課題】 第4章の間、演習問題 レポート
- 第8回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(1)  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第9回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・固有値・固有ベクトルの計算(2)  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第10回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・正方行列の3角化  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第11回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(4)  
【内容・方法等】 ・フロベニウスの定理 ・ハミルトン・ケリーの定理  
【事前・事後学習課題】 第5章の間、演習問題 レポート
- 第12回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(5)  
【内容・方法等】 ・正方行列の対角化  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第13回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(6)  
【内容・方法等】 ・実対称行列の対角化 ・直交行列  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第14回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(7)  
【内容・方法等】 ・2次形式への応用・2次形式の符号  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート
- 第15回 【授業テーマ】 固有値と固有ベクトル(8)  
【内容・方法等】 ・2次曲線、曲面の例  
【事前・事後学習課題】 第6章の間、演習問題 レポート

**評価方法 (基準)**

演習、小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**

教科書…線形代数 (摂南大学数学研究室) 共立出版  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**

疑問に思ったことがあれば遠慮なく質問してください。いかなる質問も大歓迎です。大学の数学は簡単ではありませんが些細なことにこだわらずに最終目標をいつも頭において勉強してください。

**関連科目**

線形代数 I

担当者の研究室等  
3号館3階 数学研究室

工業数学I Applied Mathematics for Engineers I				
東 武 大 (アズマ タケヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

工学の分野では、法則は微分方程式で定式化され、解は積分で表現される場合が多い。また積分は種々の物理量の計算に用いられる。この講義では、まずはじめにベクトルの内積・外積等について復習及び工学への応用について学習するとともに、幾何学的な感覚を養う。そして、微分に関する話題を復習しながら、速度、加速度、典型的な物理現象に触れる。また、積分については重心・慣性モーメントを中心にその定義の物理的意味と計算技法を学ぶ。このように、物理の言葉が数学にどのように翻訳されるかを学び、数学の計算から物理現象を理解できるのだという、ささやかな経験を積むことを目標とする。  
到達目標：専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

比較的平易な内容に限定し容易に理解出来るものであるため、確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、第一に欠席をせず、毎回授業の前には復習しておくこと、第二にどんなに些細でも不明なことは質問すること。

**科目学習の効果（資格）**

本講義の内容は、工業数学II及び諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ベクトル(1)  
【内容・方法等】 ・ベクトルの内積の図形的意味  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第2回 【授業テーマ】 ベクトル(2)  
【内容・方法等】 ・ベクトルの内積の物理への応用  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第3回 【授業テーマ】 ベクトル(3)  
【内容・方法等】 ・ベクトルの外積の図形的意味  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第4回 【授業テーマ】 行列式の計算  
【内容・方法等】 ・行列式の計算技法、平行6面体の体積  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第5回 【授業テーマ】 関数のグラフ  
【内容・方法等】 ・微分の図形的意味、増減凹凸表、最大最小値の計算  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第6回 【授業テーマ】 関数の積分  
【内容・方法等】 ・種々の積分の計算方法  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第7回 【授業テーマ】 速度・加速度(1)  
【内容・方法等】 ・微分・積分を用いた速度、加速度の定義、運動方程式の記述  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第8回 【授業テーマ】 速度・加速度(2)  
【内容・方法等】 ・ポテンシャル、エネルギー保存則、単振動と三角関数  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第9回 【授業テーマ】 ベクトルを用いた物理量(1)  
【内容・方法等】 ・直線上の運動、投げ上げ、斜方投射への応用  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第10回 【授業テーマ】 ベクトルを用いた物理量(2)  
【内容・方法等】 ・外積を用いた、角運動量と力のモーメントの記述  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第11回 【授業テーマ】 2重積分の計算  
【内容・方法等】 ・逐次積分法、ヤコビ行列を用いた変数変換  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第12回 【授業テーマ】 3重積分の計算  
【内容・方法等】 ・逐次積分法、平行6面体の体積とヤコビ行列  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第13回 【授業テーマ】 重心の計算  
【内容・方法等】 ・1次モーメント、種々の図形の重心  
【事前・事後学習課題】 演習問題
- 第14回 【授業テーマ】 慣性モーメント(1)  
【内容・方法等】 ・定義とその物理的意味  
【事前・事後学習課題】 演習問題

第15回 【授業テーマ】 慣性モーメント(2)  
【内容・方法等】 ・種々の立体的慣性モーメント、平行軸の定理  
【事前・事後学習課題】 演習問題  
評価方法 (基準)  
演習小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%判定し評価する。

**教材等**

教科書…「工業数学の基礎」(基礎理工学機構編)  
参考書…微積分、線形代数、物理数学に関連するものは多くある。また、物理への応用については古典力学の範囲を中心に扱うので、力学の教科書も参考になるとと思われる。

**学生へのメッセージ**

3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**

微積分I,II、線形代数I,II、工業数学II。特に微積分Iを履修済みであることが望ましい。

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

工業数学II Applied Mathematics for Engineers II				
東 武 大 (アズマ タケヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

工学の分野では微分方程式はもっとも頻繁に使われている数学の1つである。講義の前半は、1階の常微分方程式の解法及び工学・自然現象への応用について学習する。そして講義の後半では2階の定数係数常微分方程式の解法・応用、及び微分方程式の数値的な解法について学習する。  
到達目標は、主に質点の運動方程式を微分方程式で表して解くなど、専門科目の学習で出会う微分方程式の扱い方や解法を習得することである。  
到達目標：専門基礎で用いられる数学的表現を理解すること。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

比較的平易な内容に限定し容易に理解出来るものであるため、確実に自分のものとするよう心掛けて頂きたい。そのためには、第一に欠席をせず、毎回授業の前には復習しておくこと、第二にどんなに些細でも不明なことは質問すること。

**科目学習の効果（資格）**

本講義の内容は、諸々の専門科目の習得に引き継がれる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 微分方程式の解  
【内容・方法等】 ・微分方程式とは何か、原始関数(不定積分)と微分方程式  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第2回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(1)  
【内容・方法等】 ・変数分離形1階微分方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第3回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(2)  
【内容・方法等】 ・定数変化法による1階線形微分方程式の解法  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第4回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(3)  
【内容・方法等】 ・微分方程式を用いた運動方程式の記述  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第5回 【授業テーマ】 1階常微分方程式(4)  
【内容・方法等】 ・空気抵抗中の運動など物理への応用  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第6回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(1)  
【内容・方法等】 ・基本解・解の表示  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第7回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(2)  
【内容・方法等】 ・未定係数法(1)  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第8回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(3)  
【内容・方法等】 ・未定係数法(2)  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第9回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式(4)  
【内容・方法等】 ・未定係数法(3)  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第10回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式の応用(1)  
【内容・方法等】 ・2階微分方程式を用いた、単振動の運動方程式  
【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題
- 第11回 【授業テーマ】 2階定数線形微分方程式の応用(2)



【内容・方法等】 ・強制振動など物理への応用  
**第12回** 【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題  
 【授業テーマ】 数値計算(1)  
 【内容・方法等】 ・差分を用いた微分の記述、オイラー法による微分方程式の解法  
**第13回** 【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題  
 【授業テーマ】 数値計算(2)  
 【内容・方法等】 ・ルンゲ・クッタ法による微分方程式の解法  
**第14回** 【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題  
 【授業テーマ】 総合演習  
 【内容・方法等】 ・応用問題  
**第15回** 【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題  
 【授業テーマ】 総合演習  
 【内容・方法等】 ・応用問題  
 【事前・事後学習課題】 教科書の演習問題  
**評価方法 (基準)**  
 演習小テストで30%、習熟度確認テストで35%、期末テストで35%判定し評価する。  
**教材等**  
 教科書…「微分方程式の基礎」(基礎理工学機構編) 800円  
 参考書…微積分、線形代数、微分方程式に関連するものは多くある。また、微分方程式の工学・自然現象への応用に関しては、力学の教科書も参考になるとと思われる。  
**学生へのメッセージ**  
 3号館3階に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。  
**関連科目**  
 微積分I,II、線形代数I,II、工業数学I。特に微積分I,IIを履修済みであることが望ましい。  
**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

代数学 Algebra				
寺本 恵昭 (テラモト ヨシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 自然数の足し算、掛け算の持つ一定の性質に着目して、演算をもつ集合の総称としての代数系概念が形成された。この授業では整数の集合をもつ代数的性質を例として、環とよばれる代数系を理解し、同値類としてえられる有理数のつくる体という代数系の理解を目指す。さらにそれらを係数とする多項式のつくる代数系についての理解を目標とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**  
 講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。  
 微積分I、微積分II、線形代数I、線形代数IIは当然の予備知識となるが、これらの理解に必要な計算力、論証能力をはるかに上回る数理的素養を要求する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 集合の用語  
 【内容・方法等】 内包的定義、外延的定義、同値類、写像  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第2回** 【授業テーマ】 自然数(1)  
 【内容・方法等】 自然数の公理系、大小、加法、乗法、数学的帰納法  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第3回** 【授業テーマ】 自然数(2)  
 【内容・方法等】 自然数内での減法、除法、素数、素因数分解  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第4回** 【授業テーマ】 整数(1)  
 【内容・方法等】 負の整数、加法と乗法のつくる代数系、整数の除法の性質  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第5回** 【授業テーマ】 整数(2)  
 【内容・方法等】 Euclidの互除法、代数系をつくる整数の部分集合  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第6回** 【授業テーマ】 整数係数の多項式(1)  
 【内容・方法等】 多項式のつくる代数系、整除関係  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第7回** 【授業テーマ】 整数係数の多項式(2)  
 【内容・方法等】 剰余定理、因数定理、整方程式の有理解

【事前・事後学習課題】 課題レポート  
**第8回** 【授業テーマ】 有理数(1)  
 【内容・方法等】 同値類による有理数の構成、有理数のつくる代数系  
**第9回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 有理数(2)  
 【内容・方法等】 正の有理数のつくる代数系、約分と通分、既約分数  
**第10回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 実数と複素数(1)  
 【内容・方法等】 実数と複素数の構成、実数と複素数のつくる代数系  
**第11回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 実数と複素数(2)  
 【内容・方法等】 代数学の基本定理  
**第12回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 群(1)  
 【内容・方法等】 群の公理、例としての置換群  
**第13回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 群(2)  
 【内容・方法等】 部分群、正規部分群、準同型写像  
**第14回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 群(3)  
 【内容・方法等】 正規行列のつくる群とそれらの部分群  
**第15回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 群(4)  
 【内容・方法等】 座標平面への作用、球面への作用  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
**評価方法 (基準)**  
 演習小テストで約30%、定期テスト(中間、期末)で約70%判定し評価する。  
**教材等**  
 教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。  
 参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。  
**学生へのメッセージ**  
 講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。  
**関連科目**  
 微積分I・II、線形代数I・II、など。  
**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

幾何学I Geometry I				
小林 俊公 (コバヤシ トシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 幾何学は、公理と公準から正しい推論により導かれる命題の体系として確立された最初の学問である。三角形、四辺形、円などの図形の性質を学ぶとともに、古典幾何の形成をたどりながら、論理的に述べられた文章を理解し、論理的に考え、論理的に記述することができるようになることを目標とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**  
 講義を中心に行います。授業中は集中して、論理的な文章の理解の仕方、記述の仕方等を掴んでいってください。また毎回の課題レポートは、時間をかけて取り組むようにしましょう。論理的な文章が書けるように、練習を積んでください。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 推論と証明(1)  
 【内容・方法等】 命題、三段論法、背理法  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第2回** 【授業テーマ】 推論と証明(2)  
 【内容・方法等】 命題の逆、対偶、必要十分条件  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第3回** 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(1)  
 【内容・方法等】 合同の概念、線分と角の合同  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第4回** 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(2)  
 【内容・方法等】 三角形の合同定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**第5回** 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(3)  
 【内容・方法等】 直角の存在、垂線の存在  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

- 第6回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(4)  
【内容・方法等】 三角不等式、線分の中点、角の2等分線  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(5)  
【内容・方法等】 三角形の外心、内心、重心、垂心  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 平面幾何の諸定理(6)  
【内容・方法等】 円に内接する4角形  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 平行線の公理(1)  
【内容・方法等】 三角形の内角の和  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 平行線の公理(2)  
【内容・方法等】 平行4辺形の性質、長方形の存在  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(1)  
【内容・方法等】 点と直線、無定義の用語、公理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(2)  
【内容・方法等】 あらためて平行線の公理、直角仮説  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 平面幾何学の公理系(3)  
【内容・方法等】 非ユークリッド幾何  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 平面上の曲線  
【内容・方法等】 2次曲線、媒介変数表示  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 複素数平面  
【内容・方法等】 複素数による図形表示、ド・モアブルの定理  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法 (基準)

演習、小テストで約30%、定期テストで約70%の割合で判定し評価する。

教材等

教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

授業の中でわからないことがあれば遠慮なく質問してください。また、毎回の課題レポートでは難しいものもありますが、まずは「考えることに意義がある」と思って、じっくり取り組んでください。そしてできるだけ欠かさず提出することを心がけましょう。

関連科目

微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱなど。

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

幾何学II Geometry II				
島田 伸一 (シマダ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

微分幾何学の見地で、日常によくみる曲面、曲線がいかに関分類されているのか、その理解を目標とする。その応用として惑星の軌道が一つの平面内の2次曲線であることの定式化とその証明を行い、エネルギーとの関係を論ずる。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点

講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 2次曲線 (1)  
【内容・方法等】 放物線、標準形、準線、焦点、極形式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 2次曲線 (2)  
【内容・方法等】 楕円、標準形、準線、焦点、極形式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 2次曲線 (3)  
【内容・方法等】 双曲線、標準形、準線、焦点、極形式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 2次曲線 (4)  
【内容・方法等】 座標軸の回転、一般論  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 2次曲線 (5)  
【内容・方法等】 座標軸の回転と固有値

- 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 惑星の軌道 (1)  
【内容・方法等】 定式化、ベクトル値関数の微分  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 惑星の軌道 (2)  
【内容・方法等】 運動量の保存と内積  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 惑星の軌道 (3)  
【内容・方法等】 角運動量の保存と外積  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 惑星の軌道 (4)  
【内容・方法等】 面積速度と外積  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 惑星の軌道 (5)  
【内容・方法等】 動径の逆数が満たす微分方程式と惑星の軌道  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 惑星の軌道 (6)  
【内容・方法等】 楕円軌道の場合の周期、エネルギーと軌道の関係  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 平面の曲線 (1)  
【内容・方法等】 弧長、曲率  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 平面曲線 (2)  
【内容・方法等】 曲率と平面曲線の特徴付け、フルネセレーの公式  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 空間内の曲面 (1)  
【内容・方法等】 陰関数表示、パラメータ表示、接平面  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 空間内の曲面 (2)  
【内容・方法等】 曲面積分、曲面積、重心  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法 (基準)

毎回の課題レポートで約50%、定期テストで約50%判定し評価する。

教材等

教科書…各回ごとに数学研究室作成のプリントを配る。  
参考書…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

学生へのメッセージ

講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出ししますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

関連科目

微積分Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱ、幾何学Ⅰ、解析学、代数学

担当者の研究室等

3号館3階 数学研究室

解析学 Analysis				
伊東 恵一 (イトウ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

微積分学の厳密な展開を目標にする。理工学部初年度の微積分では計算技法の習得に主眼がおかれ、その基礎となる実数についての理解は直感にたよっている。この授業では、実数を厳密に構成しそれに基づいて連続、収束の概念の明確な理解をめざす。そして連続関数、微分可能関数のもつ重要な性質の理解、また関数の集合が与えられたときの関数族としてもつ性質についての理解を目標にする。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点

講義を基本とし理解度をみるため適宜演習をおこなう。また他者に説明できるまで授業内容を把握しているかもみるので出席を重視する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(1)  
【内容・方法等】 論証の用語、和集合、共通部分  
有理数と実数  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 実数の構成と性質(2)  
【内容・方法等】 無限集合、濃度の比較、有理数の可算性と実数の非可算性  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

- 第3回** 【授業テーマ】 実数の構成と性質(3)  
 【内容・方法 等】 実数の連続性, 実数の作る集合の性質  
 限・下限, 上極限・下極限,  
 数列の極限,  $\varepsilon$ - $N$  論法  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 実数の構成と性質(4)  
 【内容・方法 等】 コーシー列, 実数の完備性,  
 ボルツァーノ・ワイエルシュトラスの定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 関数の性質(1)  
 【内容・方法 等】 関数の定義, 関数の極限,  
 関数の連続性と  $\varepsilon$ - $\delta$  論法,  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 関数の性質(2)  
 【内容・方法 等】 中間値の定理, 最大値・最小値の存在  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 連続関数  
 【内容・方法 等】 逆関数の定義, 合成関数の連続性,  
 一様連続性,  
 リプシッツ・ヘルダー連続性  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 微分と積分(1)  
 【内容・方法 等】 微分係数の定義, 導関数の定義  
 微分可能な関数の作る空間  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 微分と積分(2)  
 【内容・方法 等】 リーマン積分可能性と定積分,  
 微積分の基本定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 平均値の定理とテーラー展開(1)  
 【内容・方法 等】 ロルの定理, コーシーの平均値の定理,  
 有限増分の公式  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 平均値の定理とテーラー展開(2)  
 【内容・方法 等】 べき級数の収束と収束半径  
 多項式近似定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 関数列  
 【内容・方法 等】 数列の収束と関数列の収束  
 一様収束と各点収束,  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 関数空間  
 【内容・方法 等】 関数の作る空間, ノルム区間と完備性,  
 アスコリ・アルツェラの定理,  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 関数方程式と関数空間 (1)  
 【内容・方法 等】 関数方程式と関数空間  
 縮小写像の原理と不動点定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 関数方程式と関数空間 (2)  
 【内容・方法 等】 色々な関数方程式と解の存在  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法 (基準)**  
 レポートで約30%、定期テスト(期末)で約70%判定し評価する。

**教材等**  
**教科書**…数学研究室作成のプリントを授業ごとに配布  
**参考書**…関連の本が沢山出版されている。図書館に所蔵されている他、数学研究室にも多数あり貸し出し可。

**学生へのメッセージ**  
 講義内容に関することはどんな事でも遠慮なく質問すること。いつでも親切に答えるようにしています。参考書を貸し出しますので相談に来て下さい。また、スチューデントアワー(月・金の5限目)には3号館3階準備室に数学教員がいますので数学、自然科学に関するどんな質問でも気楽においで下さい。

**関連科目**  
 微積分Ⅰ・Ⅱ, 線形代数Ⅰ・Ⅱ, 力学, 物理学など。特に微積分Ⅰ・Ⅱの修得は不可欠。

**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

統計学 Statistics				
伊 東 恵 一 (イトウ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 理工学の分野では、偶然性を伴う現象が多く扱われるため、様々な調査や実験で得られた偶然性を伴うデータを解析し、その

結果をもとに行動を決定することが求められる。偶然性を伴うデータの解析では、確率・統計の知識を必要とする。また、各種の資格においても、確率・統計の基礎に関する知識を身に付けていることが必要とされている。そこでこの科目では確率・統計の基礎を学ぶ。到達目標：(1)調査や実験で得られたデータを度数分布表やグラフなどで整理し、平均値や分散などを求めることができる。(2)基本的な2項分布・正規分布を理解でき、確率の計算ができる。(3)推定に必要なカイ2乗分布やt分布を理解でき、確率の計算ができる。(4)与えられたデータより、母数の点推定や区間推定ができる。  
 学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**  
 教科書に沿って授業を進める。詳しく説明することが必要な項目についてはプリントを配布する。授業時間の終わりにその日の宿題の課題を与え、次週の授業の始に復習を兼ねて宿題の説明をし、また解答も配布する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 確率の基礎(I)  
 【内容・方法 等】 離散分布の平均と分散  
 2項分布, ポアソン分布など  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 確率の基礎 (II)  
 【内容・方法 等】 2項分布, ポアソン分布と中心極限定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 確率変数の期待値と分散(I)  
 【内容・方法 等】 連続分布の期待値と分散,  
 標準偏差 (I)  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 確率変数の期待値と分散(II)  
 【内容・方法 等】 連続分布の期待値と分散,  
 標準偏差 (II)  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 独立性と標本  
 【内容・方法 等】 標本と確率変数,  
 独立と相関  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 点推定の考え方(I)  
 【内容・方法 等】 標本平均と不偏分散  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 点推定の考え方(II)  
 【内容・方法 等】 概収束, 大数の法則, 正規分布  
 中心極限定理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 検定の考え方  
 【内容・方法 等】 正規分布(再), 検定の原理  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 区間推定  
 【内容・方法 等】 母平均の区間推定  
 幾つかの例題  
 Poisson 分布  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 正規母集団の統計的推測 (I)  
 【内容・方法 等】 カイ二乗分布,  
 分散の推定と検定  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 正規母集団の統計的推測 (II)  
 【内容・方法 等】 t 分布  
 平均値の推定と検定  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 正規母集団の比較  
 【内容・方法 等】 F 分布, 等分散の検定  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 回帰分析  
 【内容・方法 等】 最小二乗法, 回帰値の検定  
 相関係数  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 尤度  
 【内容・方法 等】 尤度, 不偏推定量の有効性  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 検定の定式化  
 【内容・方法 等】 ベイズの公式と事前確率  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法 (基準)**  
 レポート及び小試験で 30%ほど, 70% は定期試験 (期末試験) による。

**教材等**  
**教科書**…服部哲弥著「確率と統計の基礎」(学術出版) 2000円程度  
**参考書**…石村園子著 やさしく学べる統計学 (共立出版)  
 安藤貞一他著 品質管理のための統計的方法 (共立出版)

**学生へのメッセージ**  
 前の方に座って授業を聞きノートをとってその日の授業のテーマがなんであったのかを授業中に理解するように努めてほしい。

宿題をすることを奨励するため宿題の中から何題かを定期試験問題として出題する。宿題が解らなければ質問に来て下さい。歓迎します。

**関連科目**

微積分 I, II を履修済み若しくは、同等以上の微積分の基礎知識を習得していることが望ましい。

**担当者の研究室等**

3号館3階 数学研究室

物理学基礎演習 Exercises in Fundamental Physics				
前田 純一郎(マエダ ジュンイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

物理学は自然現象を理解する上で極めて重要な基礎科目であり、現代の科学技術の基礎をなしている。本講義では身近な自然現象を物理学の法則から導き出す力を身につけることを目的として、さまざまな物理現象・科学技術との関連性について講述する。とくに環境科学に密接に関係する熱力学、電磁気学および波の基本的原理や法則を講述し、現象を定量的に取り扱う方法について概説する。

学科の学習・教育目標との目標：[B]

**授業方法と留意点**

この物理学基礎演習は一週に2回授業が行われています。講義と演習を交互に行い、集中的に物理学に対する理解を深めていく事を目的としています。

**科目学習の効果（資格）**

理工学の基礎として必要不可欠な物理学の理解に役立つ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 気体の状態方程式  
【内容・方法等】 「熱力学」の紹介。ボイルの法則、シャルルの法則から、気体の状態方程式を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 温度と熱  
【内容・方法等】 温度と熱の概念を気体の分子運動論から理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 仕事と熱と内部エネルギー  
【内容・方法等】 物理学でいう仕事の概念、熱の概念、内部エネルギーの概念を修得する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 熱力学第一法則  
【内容・方法等】 熱現象に関わるエネルギー保存則を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 様々な状態変化  
【内容・方法等】 等温変化、定圧変化、定積変化、断熱変化を知る。カルノーサイクルを学び、第2種永久機関の是非を問う。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 クーロン力  
【内容・方法等】 「電磁気学」の紹介。質量に対する万有引力と比して、荷電粒子にかかるクーロン力を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 電場  
【内容・方法等】 電場中に置かれた荷電粒子にかかる力を求め、電場と電気力線の概念を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 電気的位置エネルギー  
【内容・方法等】 力学的位置エネルギーと電気的位置エネルギーとの比較をもとに、等電位線の概念を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 電子の流れと抵抗とジュール熱  
【内容・方法等】 電流、抵抗、オームの法則を学ぶ。また、電気回路での合成抵抗やジュール熱を習得。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 コンデンサー  
【内容・方法等】 コンデンサー容量、コンデンサーを含む回路における合成容量や静電エネルギーを習得。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 電流と磁場  
【内容・方法等】 電流のつくる磁場、磁場中の電子に働くローレンツ力を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 波  
【内容・方法等】 波の性質と数学的表現の仕方を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 波の伝播と位相速度

【内容・方法等】 位相とは何か、また位相速度とは何か、波が空間を伝播していく様子を音波を例に挙げて説明する。

【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12

第14回

【授業テーマ】 波の様々な現象

【内容・方法等】 重ね合わせの原理をもとに、波が干渉したり、折れ曲がったりする現象を学ぶ。

【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13

第15回

【授業テーマ】 おわりに

【内容・方法等】 これまで学習した「熱」「電磁気」「波」のまとめ。

【事前・事後学習課題】

**評価方法（基準）**

期末試験と演習問題の解答・取り組み方で評価する。

定期試験50%、演習問題の解答・取り組み50%

**教材等**

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹/上村 洸 (2520円)

参考書…「物理学基礎」(学術図書出版) 原 康夫 (2520円)

**学生へのメッセージ**

物理は試験問題と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業を通して、1つ1つみなさんが体験している現象の原因を突き止めてみましょう。困ったときやわからないときには、担当教員や学習支援センターを遠慮なくたずねてください。

**関連科目**

微積分 I, 線形代数 I, 基礎力学演習, 物理学実験

**担当者の研究室等**

8号館2階 物理研究室 (神嶋)

8号館2階 物理準備室 (前田)

物理学基礎演習 Exercises in Fundamental Physics				
神嶋 修(カミシマ オサム)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

物理学は自然現象を理解する上で極めて重要な基礎科目であり、現代の科学技術の基礎をなしている。本講義では身近な自然現象を物理学の法則から導き出す力を身につけることを目的として、さまざまな物理現象・科学技術との関連性について講述する。とくに環境科学に密接に関係する熱力学、電磁気学および波の基本的原理や法則を講述し、現象を定量的に取り扱う方法について概説する。

学科の学習・教育目標との目標：[B]

**授業方法と留意点**

この物理学基礎演習は一週に2回授業が行われています。講義と演習を交互に行い、集中的に物理学に対する理解を深めていく事を目的としています。

**科目学習の効果（資格）**

理工学の基礎として必要不可欠な物理学の理解に役立つ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 気体の状態方程式  
【内容・方法等】 「熱力学」の紹介。ボイルの法則、シャルルの法則から、気体の状態方程式を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 温度と熱  
【内容・方法等】 温度と熱の概念を気体の分子運動論から理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 仕事と熱と内部エネルギー  
【内容・方法等】 物理学でいう仕事の概念、熱の概念、内部エネルギーの概念を修得する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 熱力学第一法則  
【内容・方法等】 熱現象に関わるエネルギー保存則を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 様々な状態変化  
【内容・方法等】 等温変化、定圧変化、定積変化、断熱変化を知る。カルノーサイクルを学び、第2種永久機関の是非を問う。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 クーロン力  
【内容・方法等】 「電磁気学」の紹介。質量に対する万有引力と比して、荷電粒子にかかるクーロン力を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 電場  
【内容・方法等】 電場中に置かれた荷電粒子にかかる力を求め、電場と電気力線の概念を学ぶ。

- 第8回 【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6  
【授業テーマ】 電気的位置エネルギー  
【内容・方法等】 力学的位置エネルギーと電気的位置エネルギーとの比較をもとに、等電位線の概念を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7  
第9回 【授業テーマ】 電子の流れと抵抗とジュール熱  
【内容・方法等】 電流、抵抗、オームの法則を学ぶ。また、電気回路での合成抵抗やジュール熱を習得。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8  
第10回 【授業テーマ】 コンデンサー  
【内容・方法等】 コンデンサー容量、コンデンサーを含む回路における合成容量や静電エネルギーを習得。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9  
第11回 【授業テーマ】 電流と磁場  
【内容・方法等】 電流のつくる磁場、磁場中の電子に働くローレンツ力を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10  
第12回 【授業テーマ】 波  
【内容・方法等】 波の性質と数学的表現の仕方を理解する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11  
第13回 【授業テーマ】 波の伝播と位相速度  
【内容・方法等】 位相とは何か、また位相速度とは何か、波が空間を伝播していく様子を音波を例に挙げて説明する。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12  
第14回 【授業テーマ】 波の様々な現象  
【内容・方法等】 重ね合わせの原理をもとに、波が干渉したり、折れ曲がったりする現象を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13  
第15回 【授業テーマ】 おわりに  
【内容・方法等】 これまで学習した「熱」「電磁気」「波」のまとめ。  
【事前・事後学習課題】

評価方法 (基準)  
期末試験と演習問題の解答・取り組み方で評価する。  
定期試験50%、演習問題の解答・取り組み50%

教材等  
教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹/上村 洸 (2520円)  
参考書…「物理学基礎」(学術図書出版) 原 康夫 (2520円)

学生へのメッセージ  
物理は試験問題と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業を通して、1つ1つみなさんが体験している現象の原因を突き止めてみましょう。困ったときやわからないときには、担当教員や学習支援センターを遠慮なくたずねてください。

関連科目  
微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、基礎力学演習、物理学実験  
担当者の研究室等  
8号館2階 物理研究室 (神嶋)  
8号館2階 物理準備室 (前田)

物理学 Physics				
前田 純一郎(マエダ ジュニイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
物理学は自然現象や理工系学部の専門科目を理解する上で、極めて重要な基礎科目であり、現代の科学技術の基礎をなしている。本講義では身近な物理現象の紹介とその成り立ちについて基本的な法則から説明する。特に、力学、熱学、光学および電磁気学に関する物理学の基本的原理や法則の相互関係を概説し、物理現象を総合的にかつ定量的に取り扱う方法を学ぶ。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点  
教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

科目学習の効果 (資格)  
理工系専門科目において必要不可欠な工学の基礎であり、専門で出てくる物理量の意味や相互関係の理解に役立つ。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題  
第1回 【授業テーマ】 身の周りの現象と物理学  
【内容・方法等】 身近なところで活躍する物理学  
【事前・事後学習課題】  
第2回 【授業テーマ】 運動の法則  
【内容・方法等】 運動の三法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1

- 第3回 【授業テーマ】 剛体の力学  
【内容・方法等】 力のモーメント  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2  
第4回 【授業テーマ】 電荷と力  
【内容・方法等】 力学と電気の関係：クーロンの法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3  
第5回 【授業テーマ】 電荷の運動 (質点の力学)  
【内容・方法等】 ミリカンの実験・ブラウン管における電荷の運動  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4  
第6回 【授業テーマ】 直流と交流  
【内容・方法等】 家庭用電源と電池の原理と役割、簡単な回路  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5  
第7回 【授業テーマ】 電流と電圧 (簡単な回路)  
【内容・方法等】 電圧、電流、抵抗及び消費電力について説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6  
第8回 【授業テーマ】 電磁誘導 (磁石と力)  
【内容・方法等】 磁石と力、モーターと発電機、剛体の運動  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7  
第9回 【授業テーマ】 電気エネルギーと熱エネルギー  
【内容・方法等】 電気エネルギーと熱エネルギーの関係および熱力学の法則  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8  
第10回 【授業テーマ】 電気・熱エネルギーと物質変化  
【内容・方法等】 電気・熱エネルギーによる物質の変化と状態の方程式  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9  
第11回 【授業テーマ】 電気・熱エネルギー変換と熱機関  
【内容・方法等】 電気・磁気と熱サイクル  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10  
第12回 【授業テーマ】 光の性質：電磁波  
【内容・方法等】 折れ曲がる電磁波と光  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11  
第13回 【授業テーマ】 光の性質：粒子  
【内容・方法等】 光の粒子性とエネルギー  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12  
第14回 【授業テーマ】 物理学とエネルギー  
【内容・方法等】 エネルギーの変換と効率化(力学、電磁気、熱、光の融合)  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13  
第15回 【授業テーマ】 原子物理とまとめ  
【内容・方法等】 原子物理の概要と物理学Ⅱのまとめ  
【事前・事後学習課題】 復習課題14

評価方法 (基準)  
期末試験と小テストにより行う。  
定期試験70%、小テスト30%

教材等  
教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮 秀樹、上村 洸 (2520円)  
参考書…なし

学生へのメッセージ  
数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

関連科目  
基礎力学演習、物理学基礎演習、物理学実験  
担当者の研究室等  
8号館2階 物理準備室

基礎力学演習 Exercises in Basic Mechanics				
前田 純一郎(マエダ ジュニイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は理工学の基盤となる科目であり、理工学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。また、力学は日常的な現象を定量的に知ることができる学問であり、ものづくりには欠かせない。基礎力学演習では、日常において経験している物理現象の表し方を学ぶ。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点  
簡単な講義と演習にて行う。演習問題は友達と相談して解いてもよいので勉強の仲間作りのきっかけにしよう。

科目学習の効果（資格）

理工学の基礎として必要不可欠な力学や物理学の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学と自然現象  
【内容・方法等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第2回 【授業テーマ】 数学的準備（1）  
【内容・方法等】 ベクトルの基礎と三角関数について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 数学的準備（2）  
【内容・方法等】 ベクトルの取り扱いと三角関数の計算について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 数学的準備（3）  
【内容・方法等】 ベクトルの合成・分解と簡単な微分積分について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 重力と重心  
【内容・方法等】 重力・重心について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 さまざまな力と力のモーメント（1）  
【内容・方法等】 垂直抗力・回転の力について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 さまざまな力と力のモーメント（2）  
【内容・方法等】 摩擦力・力のモーメントについて学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 力・力のモーメントのつり合い（1）  
【内容・方法等】 力・力のモーメントのつり合い式について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 力・力のモーメントのつり合い（2）  
【内容・方法等】 力・力のモーメントのつり合い式の解法を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 位置・速度・加速度と角度・角速度  
【内容・方法等】 位置・速度・加速度と角度・角速度について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 運動の3法則と円運動  
【内容・方法等】 慣性の法則・ニュートンの運動方程式および円運動について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 運動の3法則と単振動  
【内容・方法等】 ニュートンの運動方程式と単振動について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 エネルギー  
【内容・方法等】 仕事とエネルギーについて学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 運動量・力積・衝突  
【内容・方法等】 力積・運動量と衝突について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 総合問題  
【内容・方法等】 総合問題に取り組む。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題14

評価方法（基準）

期末試験と演習問題の解答・取り組み方で評価する。  
定期試験70%、演習問題の解答・取り組み30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村洸 (2520円)  
参考書…なし

学生へのメッセージ

物理は試験問題と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業を通して、1つ1つみんなが体験している現象の原因を突き止めてみましょう。困ったときやわからないときには、担当教員や学習支援センターを慮慮なくたずねてください。

関連科目

微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、物理学基礎演習、物理学実験

担当者の研究室等

8号館2階 物理準備室

基礎力学演習

Exercises in Basic Mechanics

入澤明典(イリザワ アキノリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は理工学の基盤となる科目であり、理工学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。また、力学は日常的な現象を定量的に知ることができる学問であり、ものづくりには欠かせない。基礎力学演習では、日常において経験している物理現象の表し方を学ぶ。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

授業方法と留意点

簡単な講義と演習にて行う。演習問題は友達と相談して解いてもよいので勉強の仲間作りのきっかけにしよう。

科目学習の効果（資格）

理工学の基礎として必要不可欠な力学や物理学の理解に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 力学と自然現象  
【内容・方法等】 自然科学とは何だろうかを身近な例をとって分かりやすく説明する。  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第2回 【授業テーマ】 数学的準備（1）  
【内容・方法等】 ベクトルの基礎と三角関数について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 数学的準備（2）  
【内容・方法等】 ベクトルの取り扱いと三角関数の計算について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 数学的準備（3）  
【内容・方法等】 ベクトルの合成・分解と簡単な微分積分について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 重力と重心  
【内容・方法等】 重力・重心について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 さまざまな力と力のモーメント（1）  
【内容・方法等】 垂直抗力・回転の力について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 さまざまな力と力のモーメント（2）  
【内容・方法等】 摩擦力・力のモーメントについて学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 力・力のモーメントのつり合い（1）  
【内容・方法等】 力・力のモーメントのつり合い式について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 力・力のモーメントのつり合い（2）  
【内容・方法等】 力・力のモーメントのつり合い式の解法を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 位置・速度・加速度と角度・角速度  
【内容・方法等】 位置・速度・加速度と角度・角速度について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 運動の3法則と円運動  
【内容・方法等】 慣性の法則・ニュートンの運動方程式および円運動について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 運動の3法則と単振動  
【内容・方法等】 ニュートンの運動方程式と単振動について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 エネルギー  
【内容・方法等】 仕事とエネルギーについて学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 運動量・力積・衝突  
【内容・方法等】 力積・運動量と衝突について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 総合問題  
【内容・方法等】 総合問題に取り組む。  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題14

評価方法（基準）

期末試験と演習問題の解答・取り組み方で評価する。  
定期試験70%、演習問題の解答・取り組み30%

教材等

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村洸 (2520円)  
参考書…なし

**学生へのメッセージ**

物理は試験問題と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業を通して、1つ1つみんなが体験している現象の原因を突き止めてみましょう。困ったときやわからないときには、担当教員や教育センターを遠慮なくたずねてください。

**関連科目**

微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、物理学基礎演習、物理学実験

**担当者の研究室等**

8号館2階 物理準備室

力学 Mechanics				
松尾 康光 (マツオ ヤスミツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

近代の科学技術の基礎には物理学があり、さらにその基礎には力学がある。力学は工学の基盤となる科目であり、学部専門科目を理解する上で必要不可欠である。力学では、剛体の力学について学ぶ。

到達目標：剛体の取り扱い方を養う。

学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

教科書とプリントを用いて授業を行なう。また理解を深めるため、簡単な実験を行うこともある。毎回小テストを行なうが、小テストは友達と相談したり、教科書を参照してもよいので、最後まであきらめずに考えて解くこと。

**科目学習の効果（資格）**

工学の基礎として、専門に出てくる物理量の意味や色々な物理量の相互関係の理解に役立つ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 基礎力学演習の復習  
【内容・方法 等】 質点の力学について復習する。  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 力のモーメントの基礎  
【内容・方法 等】 てこの原理について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 力のモーメントのつりあい  
【内容・方法 等】 シーソー、天秤のつりあいについて学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 力のモーメントと並進・回転運動  
【内容・方法 等】 並進、回転運動の静止条件から物体のつりあいについて考える  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 重心とモーメント  
【内容・方法 等】 重心の意味を理解し、様々な図形の重心の位置を求める  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 数学的準備(1)  
【内容・方法 等】 回転運動を表現する上で重要なラジアン表記、角速度、角加速度について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 数学的準備(2)  
【内容・方法 等】 回転運動を表現する上で重要な外積について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 角運動量  
【内容・方法 等】 角運動量保存則について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 慣性モーメントの基礎  
【内容・方法 等】 慣性モーメントについて定性的に理解をし、慣性モーメントと角運動量の関係について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 棒の慣性モーメント  
【内容・方法 等】 棒状の慣性モーメントについて説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 板の慣性モーメント  
【内容・方法 等】 板状の慣性モーメントについて説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 円盤の慣性モーメント  
【内容・方法 等】 円盤状の慣性モーメントについて説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 平行軸の定理、直行軸の定理  
【内容・方法 等】 慣性モーメントの便利な計算方法について説明する  
【事前・事後学習課題】 予習・復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 剛体の平面運動  
【内容・方法 等】 剛体の一般的な運動について考える

【事前・事後学習課題】 予習・復習課題13

第15回 【授業テーマ】 剛体の力学のまとめ

【内容・方法 等】 剛体の運動についてのまとめ

【事前・事後学習課題】 予習・復習課題14

**評価方法（基準）**

評価は期末試験と小テストにて行う。定期試験70%、その他30%

**教材等**

教科書…「やさしい基礎物理」(森北出版) 潮秀樹、上村 洸 (2520円)

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

数学や物理は単に「試験問題」と考えると難しく思われがちですが、自然現象や経験をもとに考えると難しくありません。この授業は、中学や高校における「試験用の物理」とは全く異なる「専門につながる基礎」なので、苦手意識をもたずに授業にのぞんでください。

**関連科目**

微積分Ⅰ、線形代数、物理学実験

**担当者の研究室等**

8号館2階 共生機能材料科学研究室

化学 General Chemistry				
戸村 芳 (トムラ カオル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

教育目標：数理能力に合致した「化学」です。現象の法則を考察します。テキスト附録のCD-ROM中の多数のソフトを利用します。

学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

テキスト付録CD-ROM利用でグラフなどを作成印刷してそれに、こちらが指定するテーマで肉筆書きして提出してください。

**科目学習の効果（資格）**

化学を題材にして、理工学的素養、特に数学的センスと、パソコン応用技能が修得できます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 テキストと付録CD-ROMの紹介  
「環境問題」とのからみの紹介  
【内容・方法 等】 テキスト(2) p i - vii, §1.75 K131, K101-im, Z2.xls(p386, 370も利用します。グラフ表示活用についても説明します。  
テキスト(1) pp1-14, 122-123  
【事前・事後学習課題】 この科目の履修申請を考えてください。テキスト購入を考えてください。
- 第2回 【授業テーマ】 第4回 - 第9回の概略説明  
【内容・方法 等】 テキスト(2) §21, 32, 45, 53 K72, angou, 65.xls(p67, 85, 84)も利用します。計算手法についても説明します。  
テキスト(1) pp14-25, 123-124, 55-75, 129-132, 107-121, 136-138  
【事前・事後学習課題】 履修申請を決めてください。テキスト購入してください。
- 第3回 【授業テーマ】 第10回 - 第15回の概略説明  
【内容・方法 等】 テキスト(2) §36, 60, 37 K124.xls(p205)も利用します。シミュレーション手法についても説明します。  
テキスト(1) pp26-40, 124-126, 75-84, 132-133, 85-106, 133-136, 107-121, 136-138, 40-54, 126-129  
【事前・事後学習課題】 この科目の履修申請を確定してください。テキスト購入を完了してください。
- 第4回 【授業テーマ】 pH, 酸解離定数、電離度  
【内容・方法 等】 テキスト(2) §11, 9, 17 ch4.ppt, M90j.xls(p87)を利用します。  
テキスト(1) pp55-75, 129-132  
【事前・事後学習課題】 該当箇所と Quiz 6, 7
- 第5回 【授業テーマ】 中和滴定曲線シミュレーション  
【内容・方法 等】 テキスト(2) §11, 19 ch6.ppt, K81a.xls(p86, 70)を利用します。  
§13, 14の計算手法を使用します。  
テキスト(1) pp55-75, 129-132  
【事前・事後学習課題】 該当箇所と Quiz 12-15
- 第6回 【授業テーマ】 平衡定数の利用：pH分配説  
経口投与薬物の吸収部位推定

- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 10, 18  
ch5.ppt,K81a.xls を利用します。  
テキスト (1) pp55-75,129-132
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 9-11
- 第7回** **【授業テーマ】** 周期表、八隅説、点電子式での分子安定説明
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 29, 51  
ch15.ppt, N30.xls を利用します。  
テキスト (1) pp14-25,123-124,107-121,136-138
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 62-64, 66, 67  
第7-9回の問題Quiz 95-124(§ 35)
- 第8回** **【授業テーマ】** 電子雲グラフ (原子軌道、混成軌道) による分子安定説明
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 30-33, 52, 54, 62, 65  
ch16, 18, 19.ppt, N30, K111-1s, K102-1s.xls(p312, 372)を利用します。  
テキスト (1) pp14-25,123-124,107-121,136-138
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 71-73, 88, 89  
第7-9回の問題Quiz 95-124(§ 35)
- 第9回** **【授業テーマ】** 分子軌道による分子安定説明
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 34, 55  
ch20.ppt, K102-3p.xls を利用します。  
テキスト (1) pp14-25,123-124,107-121,136-138
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 92-94  
第7-9回の問題Quiz 95-124(§ 35)
- 第10回** **【授業テーマ】** 反応実験測定値の記述 (反応速度式)
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 23, 56  
ch22.ppt, K60, K60r2.xls(p383, 328)を利用します。  
テキスト (1) pp26-40,124-126,75-84,132-133,85-106,133-136,107-121,136-138
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 19
- 第11回** **【授業テーマ】** 実験式 (反応速度式) の反応メカニズム推定による説明
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 24, 25, 27, 58, 59, 61  
ch24, 25, 27.ppt, K122, K123.xls(p203, 204)を利用します。  
§ 26の計算手法を使用します。  
テキスト (1) pp26-40,124-126,75-84,132-133,85-106,133-136,107-121,136-138
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 20, 21, 23, 24
- 第12回** **【授業テーマ】** 反応速度式の利用: コンパートメントモデル薬物投与と薬物血中濃度変化の推定
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 3, 4  
ch2.ppt, N40.xls(p207)を利用します。  
テキスト (1) pp26-40,124-126,75-84,132-133,85-106,133-136,107-121,136-138
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 1  
入出力応答の話題 (§ 2, 5-8)
- 第13回** **【授業テーマ】** 有機化合物などのエントロピー大小の推定
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 38, 39, 46, 47, 48  
ch8-10.ppt, K102en, K111en.xls(p196, 197)を利用します。  
テキスト (1) pp40-54,126-129
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 30, 32-35, 55, 57  
第13-15回の問題 Quiz 43-61(§ 42)
- 第14回** **【授業テーマ】** 自由エネルギーによる反応予測
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 40, 49  
ch11.ppt, K111en.xlsを利用します。  
テキスト (1) pp40-54,126-129
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 36, 48, 49, 51, 52  
第13-15回の問題 Quiz 43-61(§ 42)
- 第15回** **【授業テーマ】** 平衡定数のエントロピーからみでの予測
- 【内容・方法 等】** テキスト (2) § 41, 50  
ch12.ppt, K111eq.xls(p197)を利用します。  
テキスト (1) pp40-54,126-129
- 【事前・事後学習課題】** 該当箇所と  
Quiz 42, 61  
第13-15回の問題 Quiz 43-61(§ 42)
- 評価方法 (基準)**  
(1) テキスト資料持ち込みの定期テスト  
(2) 提出物 (パソコンでの作品と説明書き)  
評価は、(1) 30%、(2) 70%でします。  
ただし、定期試験不受験は成績評価できません。

**教材等**

**教科書**… (1) 戸村芳著 "Mathematical Models & Pharmaceutical Sciences" IPC,Inc.SBN 978-4-901493-13-0 C3243, ¥1200  
(2) 「新数理物理化学 (改定版)」戸村芳著  
Scientific Models on Physical Chemistry with a CD-ROM, 発行 (株) アイビーシー(¥3800)

**参考書**…ありません。

**学生へのメッセージ**

よい意味で (大学らしく) 楽しい講義にしたいと存じます。これにはみなさまの協力が必要です。よろしく。

**関連科目**

理系の基礎科目、環境工学、物理化学、制御工学、熱力学。

**担当者の研究室等**

枚方学舎1号館2階(医用情報処理)

電話:072-866-3152 直通 tomura@pharm.setsunan.ac.jp

**備考**

授業中に出す提出物には書きこみをして返却します。書きこみ内容を熟読してください。提出物は課題、レポートや小テストではありません。  
講義開始から履修確定まで少し期間がありますのでこれに対応した内容配分してあります。

生物学 Biology				
尾崎清和 (オザキ キヨカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

授業内容はほぼヒトの生体の話である。生体内とはとりもなおさず、10の器官系からなる我々の体の中のしくみと働きである。しかしながら、案外、我々は自分の体の中で行われていることを知らない。この半年間、生物学のうちで最も身近な対象である人体の構造・生理を中心に解説し、併せて最近話題となっているトピックスについて解説する。  
学科の学習・教育目標との対応: [B]

**授業方法と留意点**

ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

**科目学習の効果 (資格)**

一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

**毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 授業中のルール説明・試験方法について  
臓とその位置に関する理解度チェック  
**【事前・事後学習課題】** —
- 第2回** **【授業テーマ】** 体の成分、細胞の組成の理解  
**【内容・方法 等】** 人の体の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第3回** **【授業テーマ】** 遺伝子の理解  
**【内容・方法 等】** 遺伝子とその働きの基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第4回** **【授業テーマ】** 遺伝子の理解  
**【内容・方法 等】** ビデオ「人体 生命の暗号を解読せよ」  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第5回** **【授業テーマ】** がんの理解  
**【内容・方法 等】** 腫瘍に関する基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第6回** **【授業テーマ】** がんの理解  
**【内容・方法 等】** ビデオ「人体 突き止めよ、がん発生の謎」  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第7回** **【授業テーマ】** 循環器、体液の理解  
**【内容・方法 等】** 心臓の構造と機能の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第8回** **【授業テーマ】** 循環器系の理解  
**【内容・方法 等】** ビデオ「人体・心臓」  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第9回** **【授業テーマ】** 泌尿生殖器系の理解  
**【内容・方法 等】** 尿の生成、男女の生殖器の基礎知識  
**【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと



- 予習・復習を行うこと
- 第10回 【授業テーマ】 泌尿生殖器系の理解  
【内容・方法等】 ビデオ「人体生命誕生」  
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第11回 【授業テーマ】 皮膚、感覚器系の理解  
【内容・方法等】 目、耳、鼻、皮膚の基礎知識  
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第12回 【授業テーマ】 生物の多様性の理解  
【内容・方法等】 生物の系統、分類の基礎知識  
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第13回 【授業テーマ】 生態系の理解  
【内容・方法等】 生態系、物質の循環の基礎知識  
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第14回 【授業テーマ】 総括質問  
【内容・方法等】 すべての授業内容に関する質問に答えるとともに、難解だった部分の解説を行う。  
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第15回 【授業テーマ】 習熟度試験  
【内容・方法等】 習熟度を確認する。  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

**評価方法 (基準)**

小テストを50%、習熟度試験を40%および受講態度10%により判断する

**教材等**

教科書…ニューステージ「生物図表」浜島書店 (¥860)  
参考書…なし

**学生へのメッセージ**

社会人としての一般教養の幅を広げる授業です。次週に小テストを実施するので十分に復習してください。

**関連科目**

自然科学 II と連動している。

**担当者の研究室等**

枚方・薬学部6号館3階病理学研究室 1

**備考**

なし

モーメントとはなにか？

- (5) 力の合成 力の合成に関する法則を実証するための実験方法を考え、実験を計画する。実験装置を作り、実験を実施し、測定データをもとに法則を検証する。  
(6) フックの法則 ばねに力が作用するときの変形量をはかる。フックの法則を理解する。  
(7) 重力加速度 重力加速度を計測する。計測精度を評価する。  
(8) 水平投射運動 斜面から球が水平投射されたときの球の位置などを測定する。力学的エネルギー保存則と水平投射による運動を説明する。  
(9) 圧力と温度 圧力と温度をはかる。圧力の作用と空気の状態変化を理解する。  
(10) 仕事と熱エネルギー 人の馬力をはかる。仕事と熱エネルギーを体感する。  
(11) 電流と電圧 簡単な電気回路を作り、テスターの使い方を学ぶ。オームの法則、直流と交流について調べる。  
(12) 電池の仕組み 金属のイオン化傾向を調べ、化学電池 (乾電池) の基礎を学ぶ。次世代電池の仕組みを理解する。  
(13) 発電機とリニアモーター 磁石を使って電気をつくり、つくった電気で磁場中の銅線を動かす。(リニアモーターと発電機)  
(14) 光の強さと成分 いろいろな光の強さと色の成分を測定する。  
(15) 空気の対流 空気の対流を作り、対流内の温度差を計測することで仕組みを理解する。  
(16) pH と EC 身近な環境をはかってみる。環境をはかる方法の原理を理解する。  
(17) ピオトープの観察 ピオトープの環境を調べ、生物を観察する。

**評価方法・評価基準**

平常点 (50%)、レポート (50%) の総合点で評価する。

**教材等**

教科書…「理工学基礎実験」  
参考書…なし

**備考**

【その他 (学生へのメッセージ等)】

この授業で学び体験するさまざまな物理・化学現象の測定技術は住居設備や建物の設計に欠かせないものです。実験を通して物理・化学現象を身近に体験しながら計測技術と理工学の基礎となる考え方を修得しましょう。

**理工学基礎実験**  
Basic Experiments in Science and Engineering

川上比奈子 (カワカミ ヒナコ)  
森山正和 (モリヤマ マサカズ)  
稲地秀介 (イナチ シュウスケ)  
神嶋修 (カミシマ オサム)  
粟田功 (アワタ イサオ)  
芝定孝 (シバ サダタカ)  
田中良和 (タナカ ヨシカズ)  
田中賢太郎 (タナカ ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

理工学に必要な基礎的計測技術を身につけ、理工学の基礎的な考え方を体験する。さらに、専門分野だけでなく理工学全体の基礎知識に触れることを目的とする。  
到達目標：(1)長さ、重さ、電圧・電流、圧力・温度、pHなどの計測技術を身につける。(2)工学、物理学の基礎的な考え方を学ぶ。学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

実験は4グループに別れて行う。グループ内では4~6名のチームで協力して実験を行う。時間内に実験からレポート作成まで行う。なお、17種類の実験テーマ中、15テーマをグループごとに実施する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

- 1回目：ガイダンス、歩測  
2~15回目：下記テーマの実験、レポート作成 (毎回予習レポートを課す)  
実験テーマ：  
(1) 歩測 自分の歩幅を知り、道の距離を測定する。誰が正確に測れるか？  
(2) 体積と重量 身の回りのさまざまなものの単位体積重量を求める。いろいろな物体の形をはかりスケッチする。  
(3) 浮力 浮力のメカニズムを理解する。  
(4) 平面図形の重心 (図心) 重心を実測と計算により求める。

**物理学実験**  
Experiments in Physics

松尾康光 (マツオ ヤスミツ)  
亀野晶子 (カメノ アキコ)  
角本賢一 (カクモト ケンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

この実験科目は、自然科学の基本である「物理学」を、実際の測定やデータ解析を通して理解し、さらに物理現象をより深く観察・認識する科目である。よって、いろいろな装置を活用して、一連の内容の基本的演習および計測方法を学ぶ。到達目標：以下の項目の理解を目標とする。1) 国際単位系(SI)、2) 各テーマの物理的内容、3) 物理計測機器の取り扱い法、4) 物理測定方法、5) 誤差の考え方と取り扱い方。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

2~3人で1つの班が編成されるが、各班は順番表に従って週に1回 (2時間) の実験を行い、レポートを提出する。

**科目学習の効果 (資格)**

この科目では、事実・現象・測定等の実体験を通して、すじ道を立てて考える科学的な思考法を養う。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 物理学実験に向けて  
【内容・方法等】 「実験」に関するガイダンス、および有効数字、誤差についての講義を行う。  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第2回 【授業テーマ】 サールの装置によるヤング率の測定  
【内容・方法等】 サールの装置を用いて、2本の針金 (真ちゅう線・ピアノ線) のヤング率を求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第3回 【授業テーマ】 熱の仕事当量Jの測定  
【内容・方法等】 電流の発熱作用により、熱量計の中の水の温度上昇から熱の仕事当量Jを求める。  
【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題
- 第4回 【授業テーマ】 電子の比電荷の測定  
【内容・方法等】 電子が磁場内で円運動する状態を観察し、電子の比電荷e/mの値を求める。

- 第5回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 分光実験  
【内容・方法等】 分光計を用いて、葉緑素の光吸収スペクトルを求める。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 プランク定数の測定  
【内容・方法等】 光電効果の現象を通して、光量子の概念を理解し、プランク (Planck) 定数 $h$ の値を測定する。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 ボルダの振り子による重力加速度の測定  
【内容・方法等】 ボルダの振り子を用いて、当実験室での重力加速度の値を求める。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 直流回路と交流回路  
【内容・方法等】 簡単な直流回路と交流回路を通じて、その動作原理を理解し、未知の抵抗の抵抗値を求める。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 低温の世界  
【内容・方法等】 低温では物質の性質が劇的に変化する。本実験では低温におけるさまざまな現象について体験を通して理解する。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 光の回折の実験  
【内容・方法等】 レーザーから回折格子を用いて、回折格子の間隔と回折角との関係を調べ、回折格子の間隔の値を求める。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 ねじれ振り子による剛性率の測定  
【内容・方法等】 ねじれ振り子の周期、金属製円環のサイズ、ピアノ線の直径等を測定し、これらの測定結果からピアノ線の剛性率を求める。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 コールラウシュブリッジによる電解質溶液の抵抗測定  
【内容・方法等】 コールラウシュブリッジを用い、電気伝導率が既知の電解質溶液から容器定数を求め、未知の電解質溶液の電気伝導率を測定する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 電磁波の実験  
【内容・方法等】 電磁波に関する種々の基本的測定から、電磁波の周波数や偏向特性を調べる。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 レンズの焦点距離の測定  
【内容・方法等】 凸レンズおよび凹レンズの焦点距離の測定法を学び、レンズの特性を理解する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題  
【授業テーマ】 速度と加速度  
【内容・方法等】 ストロボ撮影により、自由落下現象を観察し、速度と加速度を理解し、重力加速度を求める。
- 【事前・事後学習課題】 事前報告書およびレポート課題

**評価方法 (基準)**

1)実験は講義と異なり、皆出席を前提とする。2)レポートの提出がない場合、実験をしていないものとみなすので必ず提出すること。3)レポートの内容と理解度(50%)、測定態度と試験実験の結果(50%)の総合的な観点から評価する。

**教材等**

教科書…物理学実験指導書

参考書…潮秀樹、上村洗著「やさしい基礎物理」・原康夫著「第3版 物理学基礎」(学術図書出版)

**学生へのメッセージ**

1) 実験は自然科学の基本です。この物理学実験でおおいに物理学を実験して下さい。2) 質問がある場合、担当の先生に遠慮なく質問してください。3) 授業時間外の場合は、担当の先生の研究室へ訪ねてみて下さい。

**関連科目**

基礎力学演習、物理学Ⅰ・Ⅱ、力学Ⅰ・Ⅱ

**担当者の研究室等**

8号館2階 共生機能材料科学研究室

化学実験 Experiments in Chemistry				
片川 純一(カタカワ ジュンイチ) 柳田 一夫(ヤナダ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

この化学実験は、物質を分子レベルにまで遡り、その構造や性質および化学的変化について実践的に取り扱う自然科学の基盤

となる部分である。化学分野の中から、分析化学、合成化学、界面化学、化学平衡、無機化学などに関する実例を取り上げ、化学的手法に機器を取り入れて実験を行う。これにより、化学知識を深め、実験操作の方法や化学的・物理的な実験データのまとめ方および考察の仕方などを修得することを目的とする。学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

配布する実験書を使って、その日の内容や実験上の注意点などを講義したのち、引き続き、講義に沿った実験をおこなう。使う機器：天秤、ホットプレート付スターラー、真空ポンプ、赤外分光光度計、紫外・可視分光光度計、屈折率計、pHメーター、遠心機、融点測定器、顕微鏡など

**科目学習の効果 (資格)**

実験をとおして、物質に起こる変化や事象を化学の面から捉え、取り扱う技術や思考する能力を養う。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス・導入講義  
【内容・方法等】 実験書、器具を配布し、使用する器具や試薬の名称と使用上の注意事項および実験室での心構えを説明する。
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 化学を復習しておくこと。  
【授業テーマ】 混合物の分離(1)  
【内容・方法等】 クロマトグラフィーの原理を理解し、薄層クロマトグラフ法を用いて混合色素や混合アミノ酸を各成分に分離する方法と分離した成分を確認する方法を習得する。
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 クロマトグラフィーの原理を理解する。  
【授業テーマ】 混合物の分離(2)  
【内容・方法等】 カラムクロマトグラフィーを用いて混合色素の分離と分取の方法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 クロマトグラフィーについてレポートにまとめる。
- 第4回** 【授業テーマ】 界面活性剤の合成  
【内容・方法等】 植物油のけん化反応による石けんの作り方と医薬(外)品や化粧品材料として使われる高級アルコール洗剤(SDS)の合成法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 界面活性剤の種類と合成法を学ぶ
- 第5回** 【授業テーマ】 界面活性剤の性質  
【内容・方法等】 分光光度計を用いて臨界ミセル濃度を求め、界面活性剤の洗浄効果を探る。  
【事前・事後学習課題】 界面活性剤について、レポートにまとめる。
- 第6回** 【授業テーマ】 香りをつくる  
【内容・方法等】 エステル化反応を使った香料の合成法を習得する。  
【事前・事後学習課題】 エステル化反応と香りについて学ぶ。
- 第7回** 【授業テーマ】 香料の精製と確認  
【内容・方法等】 香料を精製し、精製した香料の構造を分光光度計で確認する。  
【事前・事後学習課題】 香料についてレポートにまとめる。
- 第8回** 【授業テーマ】 色をつくる  
【内容・方法等】 クロミック材料として、注目されるアゾ色素の合成と構造の確認をする方法を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 アゾ色素の合成法を学ぶ。
- 第9回** 【授業テーマ】 色の構造と性質  
【内容・方法等】 光照射や液性の違いで色変化を起こす化合物について、分光光度計を用いて、色変化を確認する。  
【事前・事後学習課題】 構造変化がおよぼす色の変化について、レポートにまとめる。
- 第10回** 【授業テーマ】 中和滴定法を用いて溶液に溶けているものの量を求める。  
【内容・方法等】 試液の調製と指示薬を用いる滴定  
【内容・方法等】 酸や塩基の溶液および緩衝液を調製し、指示薬を使い溶液の濃度を求める。  
【事前・事後学習課題】 溶液の調製法と濃度の求め方を学ぶ。
- 第11回** 【授業テーマ】 pHメーターの調整と滴定曲線の作成  
【内容・方法等】 pH曲線の調製法、中和点の求め方、定量法などを実験から習得する。  
【事前・事後学習課題】 滴定曲線を使った定量分析法をレポートにまとめる。
- 第12回** 【授業テーマ】 果物の成分分析  
【内容・方法等】 成分分析の応用として、中和滴定法を使って果物の酸度および屈折率から糖度を求める。  
【事前・事後学習課題】 糖度や酸度の検量線を作製し、果物の味についてレポートにまとめる。
- 第13回** 【授業テーマ】 無機定性分析  
【内容・方法等】 よく知られている無機イオンの定性分析を行い、それらの化学的性質を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 無機イオンの化学的性質をまとめる。
- 第14回** 【授業テーマ】 無機合成実験とその確認  
【内容・方法等】 日常よく見かける金属を原料に錯化合物や複塩などを合成し、その性質を実験から学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 無機物質についてレポートを作成する。
- 第15回** 【授業テーマ】 実験報告書の作成

**【内容・方法 等】** 実験操作や実験データの解析の仕方やまとめ方および考察の仕方などを習得する。

**【事前・事後学習課題】** 全項目の実験報告書を完成し、提出する。

**評価方法 (基準)**

全項目を実験するのを前提として、実験成果と態度を60%、レポートの内容を40%で総合的に評価し、その合計の60%以上を合格とする。

実験不履行の項目がある場合は評価できませんので、やむなく欠席した場合は、速やかに欠席届を提出し、期間内に補講実験を実施してもらいます。

**教材等**

**教科書**…「化学実験」のテキスト

**参考書**…「実験を安全に行うために」化学同人編集部編著 化学同人

**学生へのメッセージ**

化学実験は常に危険を伴うので、毎回実験を行う前にその日の実験内容や操作方法や危険な箇所などの実験上の注意点を説明します。これに遅刻することなく参加し、実験に際しては、教員の指示に従って行動してください。

**関連科目**

化学

**担当者の研究室等**

枚方キャンパス：1号館3階(薬品物性化学研究室)、枚方キャンパス：1号館2階(薬学教育研究室)

情報リテラシーI Information Literacy I				
芝 定 孝 (シバ サダタカ) 星 山 幸 子 (ホシヤマ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

コンピュータと情報通信ネットワークを利用するために必要な基礎的知識と技術を習得する。Windowsシステムをベースとして、オフィスアプリケーションの基本操作の習得と、電子メールやインターネットの利用技術、さらには数値データの収集・分析に必要な基礎技法を習得する。<到達目標>理工学に関連する情報処理の重要性を認識する。コンピュータの基本操作を習得し、理工学の学習・研究においてコンピュータを有効活用できるようにする。

学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

Word, ExcelおよびPowerPointを取り上げ、とくに数学的に考察する能力の向上を図ったデータ収集と分析に関する演習課題を提示し、演習を行う。また、コンピュータと情報通信ネットワークの基礎知識を習得するための資料を配付する。

**科目学習の効果 (資格)**

基本情報処理技術と技能の向上。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 利用システムの概説  
**【内容・方法 等】** ・演習室の概要とシステム  
・授業計画と受講留意事項の説明  
**【事前・事後学習課題】** 情報処理室の利用手引きに目を通しておく。
- 第2回 **【授業テーマ】** Windowsシステム  
**【内容・方法 等】** ・Windowsの基本操作  
**【事前・事後学習課題】** ファイル操作と文字入力に慣れる。  
(1章全般)
- 第3回 **【授業テーマ】** 電子文書の作成  
**【内容・方法 等】** ・Wordの基本操作, レイアウト  
・ファイル入出力  
**【事前・事後学習課題】** Wordの起動・終了, 文書ファイルの読込・保存方法を理解する。  
(2.1~2.4の演習課題)
- 第4回 **【授業テーマ】** 電子文書の作成  
**【内容・方法 等】** ・罫線と表作成  
・オブジェクト (図) の挿入  
**【事前・事後学習課題】** 罫線の引き方, 表と図の作成方法を整理しておく。  
(2.5~2.7の演習課題)
- 第5回 **【授業テーマ】** 表計算入門  
**【内容・方法 等】** ・Excelの基本操作  
・セルの概念  
**【事前・事後学習課題】** Excel起動・終了, 表計算ファイルの読込・保存方法を理解する。  
(3.1~3.3の演習課題)
- 第6回 **【授業テーマ】** 表計算とグラフ

**【内容・方法 等】** ・グラフの作成

・簡単なデータベース

**【事前・事後学習課題】** セルの相対参照と絶対参照の違いを整理する。

(3.4~3.5の演習課題)

- 第7回 **【授業テーマ】** 表計算と関数  
**【内容・方法 等】** ・数学関数

**【事前・事後学習課題】** 利用する数学関数の使い方を理解する。  
(3.6の演習課題)

- 第8回 **【授業テーマ】** 演習  
**【内容・方法 等】** ・表計算のまとめ

・理工学系レポート作成の基本  
**【事前・事後学習課題】** レポート作成要領を理解する

- 第9回 **【授業テーマ】** 電子メール  
**【内容・方法 等】** ・電子メールの配信の仕組み

・課題のメール送信  
**【事前・事後学習課題】** 添付ファイルの送信方法を理解する。  
(4.1.4.2の練習)

- 第10回 **【授業テーマ】** ネット技術と情報検索  
**【内容・方法 等】** ・情報検索の方法

・HTML入門  
**【事前・事後学習課題】** インターネットの仕組みを理解する。  
(4.3と5.1の練習)

- 第11回 **【授業テーマ】** 演習  
**【内容・方法 等】** ・情報検索とHTMLレポートのまとめ方

**【事前・事後学習課題】** レポートのまとめ方を整理する。  
(演習課題配布)

- 第12回 **【授業テーマ】** プレゼンテーションソフト入門  
**【内容・方法 等】** ・PowerPointの基本操作

**【事前・事後学習課題】** PowerPointの起動・終了, ファイルの読込・保存を理解する。  
(6章全般)

- 第13回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション資料の作成  
**【内容・方法 等】** ・効果的なデータ提示 (ヒストグラム等)

・資料の作成方法  
**【事前・事後学習課題】** Word文書の作成との違いを理解する。  
(6章全般)

- 第14回 **【授業テーマ】** テクニカル・プレゼンテーション  
総合演習(1)

**【内容・方法 等】** ・プレゼンテーション資料の作成演習  
・発表の仕方

- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 総合演習課題  
**【授業テーマ】** 総合演習(2)

**【内容・方法 等】** ・演習課題とレポート作成  
**【事前・事後学習課題】** 総合演習課題

**評価方法 (基準)**

平常点 (30%) と演習レポート (70%) で総合的に評価する。

**教材等**

**教科書**…「Office2010で学ぶコンピュータリテラシー」(小野目如快著, 実教出版, 2,100円)

**参考書**…必要に応じて参考資料を配付する。

**学生へのメッセージ**

学業を遂行していく上で必須となる情報処理の基本技術を身に着けることができます。毎回実施する演習課題を着実にこなしていくことが重要です。

**関連科目**

-

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

情報リテラシーII Information Literacy II				
芝 定 孝 (シバ サダタカ) 星 山 幸 子 (ホシヤマ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

情報技術の有効利用の中でも、科学技術分野においてとりわけ重要であるデータの処理と分析のための種々の数学的処理技法を理解する。表計算ソフトを用いて、その特有のデータ処理・分析の操作・手順を学ぶ。  
<到達目標>理工学分野で必要となる情報(数値データ)の処理方法と基本的分析方法を習得する。  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

代表的かつ標準的な表計算ソフトであるExcelを対象とする。Excelの多種多様な機能のうち理工系の学生にとって必要なデー

タの集計・分析に有効利用できる機能に焦点を絞り、表計算を利用した数学的な考察能力の向上を促進するための演習を行う。

科目学習の効果 (資格)

データの整理・分析を中心とした情報処理能力の向上。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 利用システムの説明  
表計算の基本操作(1)  
【内容・方法等】 ・演習室の概要とシステム  
・授業計画と受講留意事項の説明  
・ソフトの起動・終了、データ入力  
【事前・事後学習課題】 情報処理室の利用手引きを読む。(第1～3回の課題)
- 第2回 【授業テーマ】 表計算の基本操作(2)  
効果的なグラフ表現  
【内容・方法等】 ・表の整形、数式入力  
・式のコピーと貼り付け  
・グラフの作成  
【事前・事後学習課題】 表のレイアウト設定に関する演習課題の配布(第4～6回の課題)
- 第3回 【授業テーマ】 関数の利用  
【内容・方法等】 ・数式の書き方  
・関数ウィザード  
【事前・事後学習課題】 統計基本関数を用いた演習課題の配布(第7回の課題)
- 第4回 【授業テーマ】 データ集計とセルの参照  
【内容・方法等】 ・セルの相対参照と絶対参照  
・データの並び替え  
【事前・事後学習課題】 オートフィルタの演習(第8回の課題)
- 第5回 【授業テーマ】 ヒストグラム  
【内容・方法等】 ・分析ツールの利用  
・論理関数によるヒストグラムの作成  
【事前・事後学習課題】 ヒストグラム作成の演習(第9回の課題)
- 第6回 【授業テーマ】 散布図と回帰分析  
【内容・方法等】 ・回帰直線とデータの推測  
【事前・事後学習課題】 散布図の作成と回帰直線によるデータ分析の演習課題(第10回の課題)
- 第7回 【授業テーマ】 相関係数  
【内容・方法等】 ・相関係数とは  
・相関係数の求め方  
【事前・事後学習課題】 相関係数を用いたデータ分析の演習課題(第11回の課題)
- 第8回 【授業テーマ】 統計基礎量(分布の代表値・広がり)  
【内容・方法等】 ・分布の代表値(平均値/中央値/最頻値)  
・分布の広がり(最大最小/分散/標準偏差)  
【事前・事後学習課題】 データ集計とデータ分布の割合に関する演習課題(第12回の課題)
- 第9回 【授業テーマ】 正規分布  
【内容・方法等】 ・正規分布とは/標準正規分布  
・分布データの存在確率  
【事前・事後学習課題】 正規分布関数を用いたデータ分析の演習課題(第13回の課題)
- 第10回 【授業テーマ】 データの標準化(平均と標準偏差)  
【内容・方法等】 ・平均が異なるデータの比較/標準偏差の異なるデータの比較  
・分布の異なるデータの比較/データの標準化  
【事前・事後学習課題】 データの標準化と比較の演習課題(第14回の課題)
- 第11回 【授業テーマ】 分析ツールによる単回帰分析  
【内容・方法等】 ・散布図による回帰分析  
・相関係数と決定係数  
・分析ツールを用いた単回帰分析  
【事前・事後学習課題】 分析ツールを用いた単回帰分析の演習課題(第15回の課題)
- 第12回 【授業テーマ】 重回帰分析  
【内容・方法等】 ・相関行列/重回帰分析の基本  
・判別分析  
【事前・事後学習課題】 簡単な判別分析の演習課題(第16回と第17回の課題)
- 第13回 【授業テーマ】 重回帰分析の応用(数量化理論)  
【内容・方法等】 ・数量化理論の基本  
・数量化理論による分析方法  
【事前・事後学習課題】 簡単な数量化理論の演習(第18回と第19回の課題)
- 第14回 【授業テーマ】 乱数とモンテカルロ・シミュレーション  
【内容・方法等】 ・乱数とは  
・乱数の発生方法

【事前・事後学習課題】 乱数を用いたシミュレーションデータの作成

- 第15回 【授業テーマ】 総合演習  
【内容・方法等】 ・まとめ  
【事前・事後学習課題】 データ集計・分析の総合的演習課題  
評価方法 (基準)  
平常点(30%)と演習レポート(70%)で総合的に評価する。
- 教材等  
教科書…演習テキストを配布する。  
参考書…必要に応じて関連書籍(アスキー出版、インプレス出版等)を各自用意するとよい。
- 学生へのメッセージ  
上位学年次の学習や研究で必要となるデータの処理と分析の方法を効率よく学ぶことができます。毎回実施する演習課題にじっくり取り組む姿勢が大事です。
- 関連科目  
情報リテラシー I
- 担当者の研究室等  
7号館2階(非常勤講師室)

住環境デザイン概論

Introduction to Residential Environment Design

杉山 茂一(スギヤマ シゲカズ)  
森山 正和(モリヤマ マサカズ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

住環境デザインを学ぶ導入として、住環境デザインの潮流を大づかみに把握し、住環境の諸要素とその性状を理解することによって、住環境デザインの基本的考え方、技術の基礎を習得することを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

前半では、時代や背景の異なる様々な住宅や住宅地を紹介することを通して、多様な住環境の成り立ちと意味について考究する。後半は、音、光、熱、空気といった環境の諸要素の性状を解説し、エコロジカル・デザインの意味について考究する。

科目学習の効果(資格)

住環境デザインにかかわる基礎的知識を身につける

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法等】 本講義の位置づけとポイント、及び住環境デザインの近年の潮流  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第2回 【授業テーマ】 バナキュラーな住まい  
【内容・方法等】 バナキュラー建築とは?世界の集落と民家の紹介  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第3回 【授業テーマ】 農漁村住宅と集落、町家と町並み  
【内容・方法等】 農漁村住宅と集落の成り立ちとそこでの生活、及び近年の変化。町家、町並みの成り立ちとそこでの生活、及び近年の変化。  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第4回 【授業テーマ】 建築技術の発展とモダニズム  
【内容・方法等】 モダニズム建築の成り立ちとその意義  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第5回 【授業テーマ】 生活の近代化とマスハウジング  
【内容・方法等】 日本における住宅近代化の理論、都市型LDK住宅、住宅団地、ニュータウン  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第6回 【授業テーマ】 モダニズム以降の住環境デザイン  
【内容・方法等】 地域性とデザイン、エコロジカルデザイン  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第7回 【授業テーマ】 社会、家族の変化と住環境デザイン  
【内容・方法等】 コーポラティブ住宅、コレクティブ住宅、住宅とマチの関係  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第8回 【授業テーマ】 中間のまとめ  
【内容・方法等】 前半のまとめとテスト  
【事前・事後学習課題】 前半の講義内容を復習しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 安全、衛生と快適  
【内容・方法等】 安全・衛生と快適を提供する建物、安全・衛生を脅かす要素、環境制御の目標と原理、建築設備による環境制御  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第10回 【授業テーマ】 人間と環境の調和を目指す室内環境設計  
【内容・方法等】 システム、線形システム、入力関数の直交関数展開、知覚、環境を変える

- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
【授業テーマ】 波の性質をもつ音と光  
【内容・方法等】 波の重ね合わせと干渉、回折と屈折、ホイヘンスの原理、波としての音、波としての光
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
【授業テーマ】 熱と風  
【内容・方法等】 熱とは何か、熱の伝わり方、運動の法則、流れの原理
- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
【授業テーマ】 太陽と地球  
【内容・方法等】 太陽位置と地球の公転・自転、日照と日影、太陽からの放射と地球放射、地球の大気と気象
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
【授業テーマ】 建築と地球  
【内容・方法等】 建物にかかわる地球温暖化とオゾン層破壊、サステナブルな循環社会、都市環境、環境共生建築
- 第15回 【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
【授業テーマ】 後半のまとめ  
【内容・方法等】 後半のまとめとテスト  
【事前・事後学習課題】 後半の講義内容を復習しておくこと

評価方法 (基準)  
小テスト30%、レポート20%、テスト50%

教材等  
教科書…プリント配布  
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ  
住環境デザインというものを大づかみに把握し、そのなかから興味ある領域を見出すように努力してほしい。

関連科目  
設計演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

担当者の研究室等  
12号館 7階 杉山教授室  
12号館 7階 森山教授室

住環境工学 I Environmental Engineering for Living I				
岩田 三千子 (イワタ ミチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
建築空間の光環境と音環境について、人間の生理的・心理的反応と物理条件に着目しながら、建築計画や環境計画の際に知っておくべき基礎的要件と計画に応用するための解析法や評価法についての知識を学ぶ。光環境については、太陽の動きと日照の問題、人工照明による照明設計手法など、音環境については、騒音の評価と防止、音響計画の手法についてなどを学び、設計への応用につなぐことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
各章の授業テーマに関して、日頃から問題意識を持って生活することが望ましい。授業中に小テストなどを行って理解度を確かめながら進めていく。

**科目学習の効果 (資格)**  
一級建築士、二級建築士、インテリアプランナー、建築設備士、商業施設士

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 住環境工学の概略  
【内容・方法等】 快適な建築空間を計画するための光・熱・音・空気環境  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第2回 【授業テーマ】 太陽の動きと建物の関係  
【内容・方法等】 地球と太陽の関係、太陽と建物の関係、直射日光と天空光  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第3回 【授業テーマ】 日照と日影  
【内容・方法等】 日照と日当たり、日影と日照の検討方法  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第4回 【授業テーマ】 光と視覚  
【内容・方法等】 目の構造と可視光、光に対する感度と視細胞の働き  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第5回 【授業テーマ】 明視照明と雰囲気照明  
【内容・方法等】 蛍光灯、白熱電球、水銀ランプなど身近な各種光源の特徴と空間への光の供給  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第6回 【授業テーマ】 照明計算の基礎  
【内容・方法等】 測光量と単位、照明計算の基礎、JIS照度基準値、昼光率  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする

- 第7回 【授業テーマ】 照明設計とその要件  
【内容・方法等】 さまざまな照明方式、照明設計の手順  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第8回 【授業テーマ】 昼光照明と電灯照明  
【内容・方法等】 窓からの採光による照明計画、電灯による照明計画  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第9回 【授業テーマ】 建築の色彩設計  
【内容・方法等】 建築計画における色彩の心理的な効果と調和の基礎要件  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第10回 【授業テーマ】 音の基本的性質  
【内容・方法等】 反射、屈折、回折など音の伝播に関する基本的項目の説明  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第11回 【授業テーマ】 音の感じ方と計算の基礎  
【内容・方法等】 デシベル単位、音の透過損失、音の合成と分解  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第12回 【授業テーマ】 残響  
【内容・方法等】 各種建築材料の吸音率、残響時間  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第13回 【授業テーマ】 吸音機構  
【内容・方法等】 共鳴器型、多孔質型、板および膜振動型吸音機構  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第14回 【授業テーマ】 音質評価、騒音防止計画  
【内容・方法等】 明瞭度と文章了解度、室内音響設計、さまざまな騒音と騒音対策  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする
- 第15回 【授業テーマ】 総括  
【内容・方法等】 講義のまとめのちテスト  
【事前・事後学習課題】 教科書を読んで予習・復習をする

評価方法 (基準)  
定期試験 (筆記) の成績 (80%) および演習課題などの平常成績 (20%) で評価する

教材等  
教科書…「環境工学教科書第二版」環境工学教科書研究会編著、彰国社  
参考書…「大学課程建築環境工学」伊藤克三ほか著、オーム社など

学生へのメッセージ  
講義には必ず教科書を持参し、自宅でも教科書の内容に沿って、予習復習を心がけてください。

関連科目  
住環境工学Ⅱ、環境工学演習、住環境材料学Ⅰ、住環境材料学Ⅱ、住環境設備

担当者の研究室等  
12号館 7階 岩田教授室

住生活学 I Housing Lifestyle Theory I				
平田 陽子 (ヒラタ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
住居の計画・設計の基盤になる考え方とその主要なポイントについて、文化、社会、歴史の文脈の中で理解する。さらに、住生活と住空間の相互の対応関係について、その基本的構造を理解する。そのために、現代住居における日本独自の住様式の成り立ちと家族生活との関係を理解し、今後の住居デザインのあり方を考える力を養う。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**  
パワーポイントを用いた講義。原則として、毎時間終了後、簡単なチェックテストを行う。授業7回目に、中間試験を行う予定である。

**科目学習の効果 (資格)**  
一級建築士、二級建築士を受験するには、必要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 授業のガイダンス、日本の住まいの変遷 (1)  
【内容・方法等】 住生活を学ぶ意義、原始時代から中世までの住まい  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト

第2回 【授業テーマ】 日本の住まいの変遷 (2)  
【内容・方法等】 近世の住まい  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト

第3回 【授業テーマ】 日本の住まいの変遷 (3)  
【内容・方法等】 近代の住まい

- 第4回 【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
【授業テーマ】 日本の住まいの変遷（4）  
【内容・方法等】 現代の住まい  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第5回 【授業テーマ】 快適な室内環境（1）  
【内容・方法等】 熱・湿度・光  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第6回 【授業テーマ】 快適な室内環境（2）  
【内容・方法等】 音・空気・水  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第7回 【授業テーマ】 これまでのまとめと中間テスト  
【内容・方法等】 中間テスト  
【事前・事後学習課題】 中間テストに向けて、復習をしておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 住まいと家族生活（1）  
【内容・方法等】 「家族」の変化と住まい  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第9回 【授業テーマ】 住まいと家族生活（2）  
【内容・方法等】 子どもの生活空間  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第10回 【授業テーマ】 住まいと家族生活（3）  
【内容・方法等】 高齢者と生活空間  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第11回 【授業テーマ】 住まいと社会（1）  
【内容・方法等】 日本の住宅事情  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第12回 【授業テーマ】 住まいと社会（2）  
【内容・方法等】 住まいの居住水準と住居費  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第13回 【授業テーマ】 住空間の形態と構成（1）  
【内容・方法等】 空間の認識と構成  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第14回 【授業テーマ】 住空間の形態と構成（2）  
【内容・方法等】 住まいにおけるバリアフリーデザイン  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 講義のまとめとテスト  
【事前・事後学習課題】 これまでの講義内容を復習しておくこと

評価方法（基準）

平常点30%、中間試験30%、まとめの試験40%の割合で、総合的に評価する

教材等

教科書…プリントを配布します  
参考書…授業中に適宜紹介します

学生へのメッセージ

教室内の学習だけでなく、学外で建物や町並みなどを良く見ること、社会のニュースに目を向けることなどが学びへとつながります。

関連科目

住生活学Ⅱ、住環境管理学

担当者の研究室等

12号館7階 平田教授室

日本建築史 Japanese Architectural History				
谷直樹 (タニ ナオキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現在及び将来の住文化を考えるためには、その背景にある建築と都市の歴史に対する理解が不可欠です。この講義では、わが国における建築の歴史的展開、都市の形成と住環境の変遷について解説し、それらの基礎的知識の取得と包括的な理解を目指します。建築や都市に対する歴史的理解は、住宅を含む建築一般、都市の設計・施工のあらゆる段階で必要となります。それは、ゆるぎない規範を提示する場合もあれば、新たな可能性を示唆する場合もあります。講義の内容は、設計関連授業はもちろん、広範な領域の授業の基礎的知識としても重要です。学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

講義は、指定教科書と補足資料を配布し、パワーポイントやビデオなどを使って視覚的な把握を目指します。さらに、現存する建物や町並みを見学し、実物の空間体験を通じて理解を深めます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 古代の建築1  
【内容・方法等】 竪穴住居と高床住居。伊勢神宮と出雲大社。  
【事前・事後学習課題】 神社に行き、本殿の建物を見学して

- ください。流造（ながれづくり）や春日造（かすがづくり）などの神社建築の様式を確認しましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 古代の建築2  
【内容・方法等】 仏教建築の伝来。法隆寺。伽藍配置。塔と金堂。  
【事前・事後学習課題】 寺院に行き、本堂や塔を見学してください。塔には五重塔や三重塔があることを確認しましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 古代の建築3  
【内容・方法等】 寝殿造としつらい。京都御所と冷泉家住宅。  
【事前・事後学習課題】 京都御所の一般無料公開に見学に行ってみましょう。
- 第4回 【授業テーマ】 古代の都市  
【内容・方法等】 古代の都城。平城京と平安京。  
【事前・事後学習課題】 平城宮跡に行き、復元された大極殿や朱雀門を見学してください。
- 第5回 【授業テーマ】 中世の建築1  
【内容・方法等】 大仏様と禅宗様。和様と折衷様。  
【事前・事後学習課題】 東大寺に行き、南大門や大仏殿を見学してください。
- 第6回 【授業テーマ】 中世の建築2  
【内容・方法等】 書院造の成立。金閣と銀閣。  
【事前・事後学習課題】 鹿苑寺金閣、慈照寺銀閣を見学してください。
- 第7回 【授業テーマ】 中世の都市  
【内容・方法等】 京の町と町家。洛中洛外図。京町家の現代。  
【事前・事後学習課題】 京都の町中を歩いてみましょう。祇園祭の宵山（7月15日・16日）に出かけて、京の町家で行われている屏風祭を見るのがお勧めです。
- 第8回 【授業テーマ】 近世の建築1  
【内容・方法等】 城と書院。安土城と大坂城。二条城の変遷。  
【事前・事後学習課題】 大坂城に行き、大坂城の巨大な石垣、櫓や門を見学してください。
- 第9回 【授業テーマ】 近世の建築2  
【内容・方法等】 茶室と数寄屋。桂離宮の建築と庭園。  
【事前・事後学習課題】 京都の禅寺に行き、建物と庭園の関係を見学してください。
- 第10回 【授業テーマ】 近世の都市  
【内容・方法等】 江戸と大坂。城下町と町割。庶民の暮らし。  
【事前・事後学習課題】 大阪くらしの今昔館（大阪市立住まいのミュージアム）に展示されている江戸時代の町並み展示を見学してください。
- 第11回 【授業テーマ】 近代の建築1  
【内容・方法等】 西洋館と擬洋風建築。  
【事前・事後学習課題】 神戸に行き、北野地区の西洋館を見学しましょう。
- 第12回 【授業テーマ】 近代の建築2  
【内容・方法等】 近代建築の導入と展開。住居と建築の明治・大正・昭和。  
【事前・事後学習課題】 大阪中之島にある近代建築（図書館、公会堂、日本銀行大阪支店など）を見学しましょう。
- 第13回 【授業テーマ】 建築と現代1  
【内容・方法等】 文化財の保存と世界遺産  
【事前・事後学習課題】 関西の世界遺産（法隆寺周辺、京都の寺院、奈良の寺院、和歌山の高野山・熊野街道、姫路城）を訪れてみましょう。
- 第14回 【授業テーマ】 建築と現代2  
【内容・方法等】 現地見学（第14回と第15回の講義は、土曜日ないしは日曜日に午後の半日を使った現地見学です。日程と行く先は講義の中で決めます）  
【事前・事後学習課題】 見学先のプリント解説を予習してください。
- 第15回 【授業テーマ】 建築と現代3  
【内容・方法等】 現地見学（同上）  
【事前・事後学習課題】 見学先のプリント解説を予習してください。

評価方法（基準）

定期試験（筆記）の成績(100%)で評価します。

教材等

教科書…『日本建築史図集』日本建築学会編・彰国社刊。  
参考書…『近代建築史図集』日本建築学会編・彰国社刊。

学生へのメッセージ

日本建築史は講義で取り上げられた建物は、休日や旅行の時に、できるだけ現地で実物を見学するようにしてください。

関連科目

近代デザイン史

担当者の研究室等

12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

住環境倫理 Ethics of Residential Environment				
中村文紀(ナカムラ フミノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 設計・デザインは、最終的に自ら修得した能力と倫理に基づいて、判断し、決定するという重い自由が与えられています。本講義では、この自由の意味を正しく理解し、各個人が技術者、デザイナーとしての倫理観を養い、自ら行動できる能力を身につけることを目的とします。

学科の学習・教育目標との対応：[C]  
**授業方法と留意点**  
 講義を中心としますが、倫理観は、自らが考え、養うものであることから、身近なところから課題を抽出し、何が倫理として問題であるのか、自分ならどうするかを考察する時間を重視し、原則、各回設問を提示し、回答を求めます。

**科目学習の効果（資格）**  
 進路決定に役立つような、設計・デザイン分野の様々な実務内容を学ぶことができます。また、建築士試験の職業倫理に関する問題回答、就職試験、面接に役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 授業の概要  
**【内容・方法 等】** 授業内容、授業の進め方、評価基準等の説明を行います。「倫理」という言葉について講義し、倫理に関する問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 新聞などで倫理にかかわると思える出来事を探してきてください。
- 第2回 **【授業テーマ】** 技術者倫理について 1  
**【内容・方法 等】** 建築界の実情を交え、技術者倫理について講義し、倫理問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 新聞などで技術者倫理にかかわると思える出来事を探してきてください。
- 第3回 **【授業テーマ】** 技術者倫理について 2  
**【内容・方法 等】** 社会はどんな技術者をもとめているのかをテーマに講義し、倫理問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 新聞などで環境問題にかかわると思える出来事を探してきてください。
- 第4回 **【授業テーマ】** 環境について 1  
**【内容・方法 等】** 地球環境問題の難しさについて講義し、環境倫理についての問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 新聞などで環境問題にかかわると思える出来事を探してきてください。
- 第5回 **【授業テーマ】** 環境について 2  
**【内容・方法 等】** 地球環境問題の難しさについて講義し、環境倫理についての問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** これは、地球環境にいい影響を与えると思える技術や行為を考えてください。
- 第6回 **【授業テーマ】** 環境について 3  
**【内容・方法 等】** 具体的な環境配慮技術について講義し、環境倫理についての問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 自分が倫理的だと思う身の回りのデザインを挙げてください。
- 第7回 **【授業テーマ】** デザインと倫理 1  
**【内容・方法 等】** かたちのもつ意味・働きについて講義し、デザインの倫理についての問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 自分が今住んでいるところをよく観察してきてください。
- 第8回 **【授業テーマ】** デザインと倫理 2  
**【内容・方法 等】** 建築設計の実務について解説し、デザインの倫理について考え、職業に関する問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 都市におけるバリアを観察してください。
- 第9回 **【授業テーマ】** デザインと倫理 3  
**【内容・方法 等】** 主にユニバーサルデザインの観点から、ソーシャルデザインのあり方を講義し、デザインの倫理についての問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 自分の身の周りで、正しいと思える建物やプロダクトをみつけてきてください。
- 第10回 **【授業テーマ】** 実例考察  
**【内容・方法 等】** 実際にあった事例を基に、倫理のあり方を講義し、倫理問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 自分の今住んでいる地域・地方の特徴を考えてください。
- 第11回 **【授業テーマ】** 都市の景観について  
**【内容・方法 等】** 景観における倫理のあり方について講義し、景観に関する問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 体験した気持ちのよい空間を考えてください。
- 第12回 **【授業テーマ】** 建物の意匠について

**【内容・方法 等】** 建物の意匠における倫理について、実例を交えて講義し、倫理問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 自分の家を設計するとしたら、何を大切にしますか、理由とともに考えてください。

第13回 **【授業テーマ】** 家について  
**【内容・方法 等】** ある個人が考える倫理について具体的な設計事例を基に講義し、「家」に関する問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 社会の様々な出来事に対して、自分の意見を持つようにしてください。

第14回 **【授業テーマ】** 倫理のまとめ 1  
**【内容・方法 等】** 本講義の内容を振り返りながら、倫理についての理解を深め、復習問題に取り組んでいただきます。  
**【事前・事後学習課題】** これまでの話を復習してきてください。

第15回 **【授業テーマ】** 倫理のまとめ 2  
**【内容・方法 等】** 本講義を総括し、試験を行います。  
**【事前・事後学習課題】** これまでの講義を復習してください。

**評価方法（基準）**  
 出欠及び課題評価（70%）、試験結果(30%)を総合的に評価します。

**教材等**  
**教科書**…なし  
**参考書**…日本建築学会の技術者倫理教材 日本建築学会 現代倫理学入門 加藤尚武著 講談社学術文庫

**学生へのメッセージ**  
 現在、取り組んでいるプロジェクトの話や設計コンペ、プロボナールのエピソードなど設計実務の実情を交えながら、講義を進めます。

**関連科目**  
 設計演習、建築環境工学  
**担当者の研究室等**  
 なし

人間工学入門 Introduction to Human Factors & Ergonomics Design				
稲地秀介(イナチ シュウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 住環境やプロダクトをデザインする上で必要となる、人の生理学的、心理学的な特性およびそれに基づいたデザイン方法に関する基礎的学習を行うことを目的とする。授業は以下の3つからなる：①生理学的特性（人体寸法・動作空間・知覚特性などについて）に関する講義、②心理学的特性（認知・感情・行動パターン・ヒューマンエラーなどについて）に関する講義、③人間工学的視点からデザインされた事例を挙げ、その設計思想や手法についての講義、ディスカッションを行う。

学科の学習・教育目標との対応：[C]  
**授業方法と留意点**  
 講義と体験実験を中心として授業を行う。講義は概ね授業計画に沿って行うが、学生の理解度に合わせてフレキシブルに計画内容を修正する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション・人体各部寸法  
**【内容・方法 等】** 授業内容・授業の進め方・評価基準等について説明する。人体各部寸法について概説する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第2回 **【授業テーマ】** 人体寸法とプロポーション/モデュール  
**【内容・方法 等】** 人体各部寸法について概説の続きを行い、レオナルド・ダ・ヴィンチから始まる人体のプロポーションに関する諸理論を概説する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** 人体寸法から動作寸法へ  
**【内容・方法 等】** 様々な動作計測を通して人体寸法と動作寸法の関係について学習する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** 動作寸法と設計寸法  
**【内容・方法 等】** 設計寸法の事例とその決定要因について概説する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第5回 **【授業テーマ】** 高齢者や身体に障がいをもつ人のための設計寸法  
**【内容・方法 等】** 車椅子や高齢者疑似体験装具などを用いた動作体験を通して、適した設計寸法や考え方について学習する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第6回 **【授業テーマ】** 知覚特性（触覚・視覚・聴覚）  
**【内容・方法 等】** 触覚、視覚、聴覚の知覚特性について概説する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読むこと。

- 第7回 【授業テーマ】 環境変化と感情  
【内容・方法等】 環境変化(空間の規模や形態・温度や湿度・明暗や色彩など)の知覚とそれに伴う感情変化について概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第8回 【授業テーマ】 空間認知の特性  
【内容・方法等】 認知地図や都市や建築空間のわかり易さについて概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第9回 【授業テーマ】 認知とユーザ・インタフェース  
【内容・方法等】 プロダクトのユーザ・インタフェース・デザインを認知の視点から概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第10回 【授業テーマ】 行動パターン(集団行動と安全設計)  
【内容・方法等】 火災避難行動や群衆事故事例の事例を通して集団行動と安全設計について概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第11回 【授業テーマ】 ヒューマンエラー  
【内容・方法等】 ヒューマンエラーとその防止対策事例を通して住環境におけるヒューマンエラーについて概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第12回 【授業テーマ】 人間工学的評価と調査方法  
【内容・方法等】 設計や調査研究において有用となる代表的な人間工学的評価と調査方法について概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第13回 【授業テーマ】 事例評価ディスカッション1  
【内容・方法等】 実在する建築空間やプロダクトなどの事例について人間工学的視点からグループ・ディスカッションを行う。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第14回 【授業テーマ】 事例評価ディスカッション2  
【内容・方法等】 グループ・ディスカッション続きおよび発表準備を行う。  
【事前・事後学習課題】 発表準備を行うこと。関連する文献を紹介するので読むこと。
- 第15回 【授業テーマ】 事例ディスカッション発表を行う。  
【内容・方法等】 事例評価の発表を行う。  
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読むこと。

評価方法(基準)

定期試験50%+授業での発表等50%を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に指定しない。

参考書…岡田光正著:建築人間工学 空間デザインの原点(理工学社)やドナルド・A. ノーマン著:誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論(新曜社)など。  
授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

人間工学は日常生活の様々な場面で活躍している案外と身近な考え方・技術の集まりです。何故使にくいのか?、判りにくいのか?などを日常的に観察し考える習慣をもつと、より講義が理解しやすくなると思います。

関連科目

インテリアデザイン演習、設計演習、プロダクトデザイン演習など。

担当者の研究室等

12号館 7階 稲地講師室

住生活学II Housing Lifestyle Theory II				
平 田 陽 子 (ヒラタ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

住居づくりを進めていく上で、これまで人間にふさわしい住まいがどのように追及されてきたのか、また現在の日本の住まい現状を踏まえながら、実現するための住宅政策のありかたについて学ぶ。

新たな住空間に対する社会的ニーズと住まいづくりの動向を理解しながら、住空間のあり方とその創造に向けた考え方を理解する。

学科の学習・教育目標との対応:[C]

授業方法及留意点

パワーポイントを用いた講義。原則として、毎時間終了後、簡単なチェックテストを行う。授業8回目に、中間試験を行う予定である。

科目学習の効果(資格)

一級建築士、二級建築士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 授業のガイダンス、日本の住宅事情

- 【内容・方法等】 授業のガイダンス、統計からみる居住水準  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第2回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(1)  
【内容・方法等】 住まい・まちづくりの水準と国際比較  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第3回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(2)  
【内容・方法等】 住宅の社会的側面  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第4回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(3)  
【内容・方法等】 住宅政策の考え方  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第5回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(4)  
【内容・方法等】 戦後住宅政策の狙いと特徴  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第6回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(5)  
【内容・方法等】 量的住宅難からの脱出と資産としての住宅  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第7回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(6)  
【内容・方法等】 住まいによる生活経済の破壊  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第8回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(7)  
【内容・方法等】 新しい住宅貧困、ホームレス問題  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト、中間テストに向けての復習
- 第9回 【授業テーマ】 住まいの社会問題(8) 中間テスト  
【内容・方法等】 住宅の欠陥問題、中間テスト  
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第10回 【授業テーマ】 海外の住宅政策(1)  
【内容・方法等】 イギリスの住宅政策—スラムクリアランスと住環境改善  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第11回 【授業テーマ】 海外の住宅政策(2)  
【内容・方法等】 ドイツの住宅政策—住宅協同組合と環境政策、アメリカの住宅政策—居住者階層別の政策  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第12回 【授業テーマ】 住宅供給と居住地の再生(1)  
【内容・方法等】 震災復興住宅とコミュニティの再生  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第13回 【授業テーマ】 住宅供給と居住地の再生(2)  
【内容・方法等】 密集市街地整備と住宅供給  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第14回 【授業テーマ】 住宅供給と居住地の再生(3)  
【内容・方法等】 居住の権利と住居法  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 講義のまとめとテスト  
【事前・事後学習課題】 まとめテストに向けての準備をしておく

評価方法(基準)

平常点30%、中間テスト30%、まとめの試験40%の割合で、総合的に評価する

教材等

教科書…プリントを配布します

参考書…授業中に適宜紹介します

学生へのメッセージ

教室内の学習だけでなく、学外で建物や町並みなどを良く見ること、社会のニュースに目を向けることなどが学びへとつながります。

関連科目

住生活学II、住環境管理学

担当者の研究室等

12号館7階 平田教授室

住環境管理学 Management of Residential Environment				
平 田 陽 子 (ヒラタ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

住環境の空間スケールに対応させつつ、安全性・快適性・利便性などの観点から、住環境を維持管理するための計画技術、制度や維持管理の実態、またそこから導かれる課題について学ぶ。住戸とその周りの空間の所有・利用をめぐる権利関係の調整方法や住環境の維持管理を担保するための計画課題、特にマンションや団地の再生を取り上げ、問題解決のための手法や計画技術などについての基礎的知識を習得することを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応:[E]

授業方法及留意点

プリント資料とパワー・ポイントを用いた講義とする。



授業の9回目に、中間テストを行う予定である。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、二級建築士、木造建築士など

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 住環境管理の意味と課題  
**【内容・方法 等】** 住宅の商品化と管理の変化  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので、読んでおくこと
- 第2回 **【授業テーマ】** 共有空間を持つ住宅（1）  
**【内容・方法 等】** 集合住宅の管理問題とコミュニティ  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第3回 **【授業テーマ】** 共有空間を持つ住宅（2）  
**【内容・方法 等】** タウンハウスの管理問題とコミュニティ  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第4回 **【授業テーマ】** 住まいの耐用性とメンテナンス（1）  
**【内容・方法 等】** 建物の寿命、メンテナンスの意義、老朽化対策  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第5回 **【授業テーマ】** 住まいの耐用性とメンテナンス（2）  
**【内容・方法 等】** 住宅の長寿化に伴う住宅改善、住まいの管理能力  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第6回 **【授業テーマ】** 居住地の管理（1）  
**【内容・方法 等】** 居住地の構成と種類  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第7回 **【授業テーマ】** 居住地の管理（2）  
**【内容・方法 等】** 地域環境の改善・まちづくりへの参加  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う。
- 第8回 **【授業テーマ】** これまでの復習と中間テスト  
**【内容・方法 等】** これまでの講義内容の復習と中間テスト  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第9回 **【授業テーマ】** 環境共生住宅  
**【内容・方法 等】** 環境共生住宅の定義と要件、環境に資する意味  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第10回 **【授業テーマ】** コレクティブハウス  
**【内容・方法 等】** コレクティブハウスの定義と環境に配慮した暮らし方  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第11回 **【授業テーマ】** コーポラティブハウス  
**【内容・方法 等】** コーポラティブハウスの定義と建築計画、環境への配慮  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第12回 **【授業テーマ】** 公共住宅の維持管理と団地再生事業（1）  
**【内容・方法 等】** 公団住宅におけるルネッサンス計画に学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第13回 **【授業テーマ】** 公共住宅の維持管理と団地再生事業（2）  
**【内容・方法 等】** 大規模団地における事例から再生事業を考える  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第14回 **【授業テーマ】** 管理を支えるルールとマンパワー  
**【内容・方法 等】** 住環境を守る諸制度と管理を支える専門家  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時にチェックテストを行う
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ  
**【内容・方法 等】** まとめの講義とテスト  
**【事前・事後学習課題】** まとめのテストを行う。試験に向けて、よく復習をしておくこと

**評価方法（基準）**

平常点30%、中間テスト30%、まとめのテスト40%程度で、総合的に判断する。

**教材等**

教科書…適宜、プリントを配布します  
参考書…一棟宏子他「住まいの管理」(彰国社) 2800円

**学生へのメッセージ**

共用空間を豊かに計画することで、住宅地や建築物の表情が変わります。さまざまな事例紹介をしたいと思いますので、積極的に取り組んでください。

**関連科目**

住生活学Ⅰ、住生活学Ⅱ

**担当者の研究室等**

12号館7階 平田教授室

住環境材料学I Housing Materials I				
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

住まいを構築する材料は、住まいが立地する地域の気候や風土

と密接な自然材料からガラス・鉄・コンクリートという人工材料まで幅広い材料が用いられています。そのため、住まいの材料について気候や風土との関わりからの視点から、さらに、現代に至るまでの住まいの材料の変遷を学習します。そして、代表的な構造材料の特性と内装外装などに用いられる非構造材料の特性を学習します。そして、古くから発達してきた木造住宅のシステムや木質系住宅の構造を材料学の視点から理解する。学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**

教科書の図表を参照し、教科書に沿った講義を行います。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、二級建築士の試験の有用です。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 住環境材料学Ⅰで学ぶこと  
住まいの材料  
**【内容・方法 等】** 気候・風土と住まいの材料  
住まいの材料の変遷  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第2回 **【授業テーマ】** 構造材の特性  
**【内容・方法 等】** 木材  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第3回 **【授業テーマ】** 構造材の特性  
**【内容・方法 等】** 木質材料①（合板、ボード類）  
木質材料②（集積材）  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第4回 **【授業テーマ】** 構造材の特性  
**【内容・方法 等】** コンクリート  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第5回 **【授業テーマ】** 構造材の特性  
**【内容・方法 等】** 鉄  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第6回 **【授業テーマ】** 材料と力の流れ  
**【内容・方法 等】** 材料と力の流れに関する演習  
**【事前・事後学習課題】** 授業で行った演習の目的について考えること。
- 第7回 **【授業テーマ】** 内・外装材の特性  
**【内容・方法 等】** 金属  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第8回 **【授業テーマ】** 内・外装材の特性  
**【内容・方法 等】** 石材、セラミック、ガラス  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第9回 **【授業テーマ】** 内・外装材の特性  
**【内容・方法 等】** プラスチック（合成樹脂）  
木材、木質材料  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第10回 **【授業テーマ】** 内・外装材の特性  
中間試験  
**【内容・方法 等】** 紙、繊維  
中間試験  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第11回 **【授業テーマ】** 内装材の触感  
**【内容・方法 等】** 内装材の触感に関する演習  
**【事前・事後学習課題】** 授業で行った演習の目的について考えること。
- 第12回 **【授業テーマ】** 住まいの構造  
**【内容・方法 等】** 気候・風土と住まいの構造  
住まいの構造の変遷  
地盤と基礎  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第13回 **【授業テーマ】** 木質系住宅の構造  
**【内容・方法 等】** 伝統工法  
在来工法  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第14回 **【授業テーマ】** 木質系住宅の構造  
**【内容・方法 等】** 2×4構法  
その他の木質構法  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。
- 第15回 **【授業テーマ】** 最近の研究紹介  
**【内容・方法 等】** 住環境材料に関する研究紹介  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を用いた復習をすること。

**評価方法（基準）**

レポート10% 演習20% 中間試験20% 期末試験50%

**教材等**

教科書…図解住居学3 住まいの構法・材料 図解住居学編集委員会編 彰国社 2800円  
参考書…特に無し。

**学生へのメッセージ**

教科書に沿った講義を行いますので、教科書を用いて復習をしてください。

**関連科目**

建築構造学に関する科目一般  
建築環境工学に関する科目一般

**担当者の研究室等**

12号館7階 宮本准教授室

**居住安全計画**  
Planning for Safe Living

宮野道雄(ミヤノ ミチオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

建築設計や生活の質を考える場合、快適性・利便性に加えて安全性は欠くことのできない重要な要素のひとつである。本講義では、地震などの自然災害のみならず火災などの日常災害も対象として、そのメカニズムと防災・安全対策について講じ、建築や地域の設計・計画に応用させることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**

各種の災害について、その発生メカニズムと被害の実態および対策について解説する。資料を配付したり、写真や映像を用いてわかりやすく説明する。疑問点については積極的に質問すること。

**科目学習の効果(資格)**

地域・都市計画や設計の演習において、防災・安全の視点を取り入れて取り組むことが可能となる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 概論  
【内容・方法等】 講義の進め方、学習の意義について述べる。  
【事前・事後学習課題】 災害のメカニズムについて事前に調べ、受講後に各自でまとめる。
- 第2回 【授業テーマ】 地震災害1)  
【内容・方法等】 地震のメカニズム、地盤と震害  
【事前・事後学習課題】 地震のメカニズムについて事前に調べ、受講後に各自でまとめる。
- 第3回 【授業テーマ】 地震災害2)  
【内容・方法等】 耐震・免震・制震、地震応答計算  
【事前・事後学習課題】 振動被害について事前に調べ、受講後に防災対策をまとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 地震災害3)  
【内容・方法等】 地震火災、津波、避難行動  
【事前・事後学習課題】 地震時の避難について事前に調べ、受講後にまとめる。
- 第5回 【授業テーマ】 地震災害4)  
【内容・方法等】 人的被害、生活安全計画  
【事前・事後学習課題】 地震による人間被害について事前に調べ、受講後にまとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 台風災害  
【内容・方法等】 高潮、風害、耐風構造  
【事前・事後学習課題】 台風のメカニズムについて事前に調べ、受講後にまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】 洪水災害  
【内容・方法等】 地域開発と水害、都市の水害、集中豪雨  
【事前・事後学習課題】 洪水災害について事前に調べ、受講後にその変遷についてまとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 崩壊災害  
【内容・方法等】 斜面崩壊と住宅被害、宅地造成  
【事前・事後学習課題】 崩壊災害の種類について事前に調べ、受講後にまとめる。
- 第9回 【授業テーマ】 雪氷災害  
【内容・方法等】 屋根雪処理、除排雪システム  
【事前・事後学習課題】 降雪のメカニズムについて事前に調べ、受講後にまとめる。
- 第10回 【授業テーマ】 平常時火災1)  
【内容・方法等】 出火・延焼、住宅火災、防火  
【事前・事後学習課題】 火災の実態について事前に調べ、受講後に地震火災との差違についてまとめる。
- 第11回 【授業テーマ】 平常時火災2)  
【内容・方法等】 延焼遮断、避難計画、福祉施設の防火対策  
【事前・事後学習課題】 防災対策について事前に調べ、受講後にまとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 日常生活事故1)  
【内容・方法等】 日常災害、建築災害、人口動態統計  
【事前・事後学習課題】 日常災害について事前に調べ、受講後に分類を行う。
- 第13回 【授業テーマ】 日常生活事故2)  
【内容・方法等】 住宅内事故、安全対策  
【事前・事後学習課題】 住宅の安全について事前・事後に整理を行う。
- 第14回 【授業テーマ】 日常生活事故3)  
【内容・方法等】 高齢者・障害者対応住宅のあり方  
【事前・事後学習課題】 バリアフリーについて事前に調べ、受講後に考えをまとめる。
- 第15回 【授業テーマ】 犯罪

【内容・方法等】 住まい及び居住地の防犯計画

【事前・事後学習課題】 防犯の意味について事前に調べ、受講後に考えをまとめる。

**評価方法(基準)**

期末試験において、各種災害のメカニズムや被害および防災・安全対策について正しい理解がなされているかを評価する。なお、評価のウエイトは期末試験70%、授業期間中に課すレポート課題30%とする。

**教材等**

教科書…特に指定なし

参考書…特に指定なし

**学生へのメッセージ**

積極的に質問すること

**関連科目**

都市環境計画、設計演習

**担当者の研究室等**

非常勤講師控え室

**住環境工学II**

Environmental Engineering for Living II

森山正和(モリヤマ マサカズ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

屋内空間の熱・空気環境を安全で健康、しかも快適な状態に保つこと、そのために必要な基本的な科学的知識や技術を修得すること、これが本講義の目的です。住環境と気象、熱の移動メカニズム、太陽熱、地中熱などの自然エネルギーの利用、住宅の熱性能の表示、結露の発生を防ぐ方法、人の温熱環境の表現方法、室内外温度差と風力による自然換気量の算定方法などについて学びます。

[到達目標] 建築環境工学における熱環境・空気環境に関する基礎的知識を修得すること。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**

原則として毎時間、小演習を課する。

**科目学習の効果(資格)**

一級建築士、二級建築士、建築設備士

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 建築と環境(1章)  
【内容・方法等】 建築環境工学の目的及び概要、1.1 建築と人工環境、1.2環境工学と室内環境の制御、1.3 建築環境とエネルギー、1.4 単位と基本量  
【事前・事後学習課題】 教科書をよく読んでおくこと。授業中、講義の要点についてノートをとること。
- 第2回 【授業テーマ】 気象と気候(2章)  
【内容・方法等】 2.1 気象要素、2.2 世界の気候と建築、2.3 都市気候  
【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 日照と日射(3章)  
【内容・方法等】 3.1 日照・日射の基本的性質、3.2 太陽位置、3.3 日照と建物配置、3.4 日射量、3.5 日射観測地の利用  
【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 室内温熱環境(4章)  
【内容・方法等】 4.1 室温と温熱感、4.2 温熱環境指標、4.3 局所の不快、4.4 熱環境の設計目標  
【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 室内空気環境(5章)  
【内容・方法等】 5.1 室内の空気室、5.2 必要換気量  
【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 伝熱の基礎理論(7章)  
【内容・方法等】 7.1 温度と熱、7.2 熱伝導、7.3 対流熱伝達、7.4 放射熱伝達  
【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 建築外皮の熱伝達(8章-1)  
【内容・方法等】 8.1 室内外表面での伝達、8.2 室内表面での熱伝達、8.3 全体の伝達  
【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返

(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。

- 第8回** 【授業テーマ】 建築外皮の熱伝達 (8章2)  
 【内容・方法 等】 8.4 窓の熱取得・熱損失、8.5 日射の遮へい +Topics 外側ブラインド ドイツの事例  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 室温と熱負荷 (10章)  
 【内容・方法 等】 10.1 室温と熱負荷の基本原理解、10.2 室温と熱負荷、10.3 事務所建築の空調機負荷、10.4 建築の熱性能  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 湿り空気 (11章)  
 【内容・方法 等】 11.1 湿り空気と湿り空気線図、11.2 湿り空気の状態値、11.3 潜熱と顕熱  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 室内湿度調整と蒸発冷却 (12章)  
 【内容・方法 等】 12.1 室内の水分収支、12.2 除湿と加湿、12.3 蒸発冷却の利用  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 結露とその防止 (13章)  
 【内容・方法 等】 13.1 結露の原因と分類、13.2 建物内での水蒸気の発生、13.3 表面結露の検討、13.4 内部結露の計算、13.5 結露防止と対策  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 換気・通風の基礎理論 (14章)  
 【内容・方法 等】 14.1 換気・通風とすきま風、14.2 風力換気と温度差換気、14.3 流れの基礎式、14.4 圧力損失、14.5 開口部の流量係数、14.6 風力換気時の換気量、14.7 温度差換気と中性帯、14.8 温度差換気時の換気量、14.9 自然換気の計画  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 機械換気の計画 (15章)  
 【内容・方法 等】 15.1 換気目的、15.2 機械換気システムの種類、15.3 必要換気量の算定、15.4 換気効率、15.5 全般換気・局所換気と置換換気、15.6 換気量・換気効率の測定、15.7 機械換気の計画  
 【事前・事後学習課題】 復習のために前回授業のノートを見返(整理)しておくこと。予習のために教科書をよく読んでおくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義のまとめ  
 【内容・方法 等】 講義のまとめ、補足を行なう  
 【事前・事後学習課題】 試験に備えて、教科書を参考にノートを整理しておくこと。

**評価方法 (基準)**  
 原則毎回の小演習 (30%)、定期試験 (70%) を総合的に評価

**教材等**  
 教科書…シリーズ<建築工学>5 「建築環境工学 熱環境と空気環境」 朝倉書店  
 参考書…環境工学教科書 彰国社  
 図説テキスト 建築環境工学 彰国社  
 建築環境学テキスト 井上書院

**学生へのメッセージ**  
 遠慮なく質問すること

**関連科目**  
 住環境工学 I、住環境設備、環境工学演習、都市環境計画

**担当者の研究室等**  
 12号館7階 森山教授室

色彩論 Chromatics				
川上比奈子 (カワカミ ヒナコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 古今東西の色彩文化に関する基礎知識およびインテリア、建築、都市環境における色の実際について講述する。色彩は人間の生活に多様かつ密接にかかわっているため、色彩学は広範囲の学

問領域にまたがって成り立っている。ここでは歴史的・文化的な側面から色の基礎知識を習得することを目標とする。  
 学科の学習・教育目標との対応: [E]

**授業方法と留意点**  
 スライドや映像を用いた講義。

**科目学習の効果 (資格)**  
 設計演習、インテリアデザイン演習などの色彩計画における背景。色彩関連資格。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法 等】 色彩の文化について概説する  
 【事前・事後学習課題】 身の回りの色をよく観察しておくこと
- 第2回** 【授業テーマ】 色彩の歴史1  
 【内容・方法 等】 古代の色について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。映画を見ること。
- 第3回** 【授業テーマ】 色彩の歴史2  
 【内容・方法 等】 東洋における文化の色について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。映画を見ること。
- 第4回** 【授業テーマ】 色彩の歴史3  
 【内容・方法 等】 日本文化の色について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。映画を見ること。
- 第5回** 【授業テーマ】 色彩の歴史4  
 【内容・方法 等】 西洋文化の色について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。映画を見ること。
- 第6回** 【授業テーマ】 近世芸術の色彩  
 【内容・方法 等】 近世絵画、彫刻における色について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。美術館に行くこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 近代芸術の色彩  
 【内容・方法 等】 近代絵画、彫刻における色について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。美術館に行くこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 商品デザインと色1  
 【内容・方法 等】 さまざまな商品における色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。商品の色に気をつけること。
- 第9回** 【授業テーマ】 商品デザインと色2  
 【内容・方法 等】 さまざまな商品における色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。商品の色に気をつけること。
- 第10回** 【授業テーマ】 インテリアデザインと色1  
 【内容・方法 等】 インテリアデザインにおける色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。室内の色に気をつけること。
- 第11回** 【授業テーマ】 インテリアデザインと色2  
 【内容・方法 等】 インテリアデザインにおける色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。室内の色に気をつけること。
- 第12回** 【授業テーマ】 建築デザインと色1  
 【内容・方法 等】 建築デザインにおける色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。建築の色に気をつけること。
- 第13回** 【授業テーマ】 建築デザインと色2  
 【内容・方法 等】 建築デザインにおける色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。建築の色に気をつけること。
- 第14回** 【授業テーマ】 都市環境デザインと色1  
 【内容・方法 等】 都市環境における色のあり方について解説する  
 【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。都市の色に気をつけること。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめと試験  
 【内容・方法 等】 これまでの講義のまとめおよび試験  
 【事前・事後学習課題】 授業内容をよく復習しておくこと

**評価方法 (基準)**  
 毎回の受講態度30% 定期試験50% 授業での発表等20%を総合的に評価します。

**教材等**  
 教科書…プリントを配布します  
 参考書…適宜、紹介します

**学生へのメッセージ**  
 身の回りの色をよく観察しておくこと

**関連科目**

カラーコーディネート論、インテリアデザイン演習

**担当者の研究室等**

12号館 7階 川上教授室

**備考**

配色カード199の、のり、カッター、ハサミ、定規を毎回、持参してください。配色カードは、ブックセンターで購入できます。

住環境設備 Building Services				
森山正和 (モリヤマ マサカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

建築環境設備には空調設備、給排水衛生設備、電気設備などがあり、本講義では全体をカバーしつつも空調設備、すなわち、冷暖房・換気設備を中心に講述する。近年の都市や建築に関わる環境問題を背景として、講義では建築設備を広く住環境全般からとらえ直し、建築設備の基礎的な知識や考え方の修得を目的とする。

[到達目標]建築環境工学における建築設備工学に関する基礎的知識の修得を目指す。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**

原則として毎回、小演習を課す  
授業中、講義の要点をノートに取る。ノートの提出を求められることがある。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、二級建築士、建築設備士など

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 講義概要  
**【内容・方法等】** 建築設備工学の概要  
**【事前・事後学習課題】** 教科書を読んで予習しておく。
- 第2回 **【授業テーマ】** 建築設備と地球環境問題  
**【内容・方法等】** 建築設備と地球環境問題  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第3回 **【授業テーマ】** 建築設備工学の基礎知識（1）  
**【内容・方法等】** 熱の流れ、流体の性質と流れ  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第4回 **【授業テーマ】** 建築設備工学の基礎知識（2）  
**【内容・方法等】** エネルギー変換と熱力学、再生可能エネルギーと省エネルギーシステム  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第5回 **【授業テーマ】** 空調設備（1）  
**【内容・方法等】** 空調設備の概要、空調設備方式の種類と特徴  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第6回 **【授業テーマ】** 空調設備（2）  
**【内容・方法等】** 空調設備の計画p93-100、4.冷暖房負荷計算法  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第7回 **【授業テーマ】** 空調設備（3）  
**【内容・方法等】** 湿り空気線図と空調プロセス、空調設備  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第8回 **【授業テーマ】** 空調設備（4）  
**【内容・方法等】** 冷温熱源機器の説明  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第9回 **【授業テーマ】** 空調設備（5）  
**【内容・方法等】** 熱搬送機器、配管設備の計画・設計、ダクト設備の計画・設計  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第10回 **【授業テーマ】** 暖房・換気設備  
**【内容・方法等】** 暖房設備、換気・排煙設備  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第11回 **【授業テーマ】** 空調設備の演習  
**【内容・方法等】** 空調設備全般について演習を行う。  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第12回 **【授業テーマ】** 給排水衛生設備（1）

- 【内容・方法等】** 概要、衛生器具設備、給水設備、給水設備の計画設計、給湯設備、ガス設備
- 【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第13回 **【授業テーマ】** 給排水衛生設備（2）  
**【内容・方法等】** 排水通気設備、排水設備の設計計画、浄化設備・廃水処理設備、消火設備  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第14回 **【授業テーマ】** 建築電気設備  
**【内容・方法等】** 概要、受変電・配電設備、照明設備、動力設備、情報通信・警報設備  
**【事前・事後学習課題】** 前回授業のノートを見返（整理）して復習しておくこと。教科書を読んで予習しておく。
- 第15回 **【授業テーマ】** 講義のまとめ  
**【内容・方法等】** 講義のまとめ、補足を行う。  
**【事前・事後学習課題】** 試験に備えて教科書を参考に配布資料及びノートを整頓しておくこと。

**評価方法（基準）**

毎回の小演習30% 定期試験70%を総合的に評価する

**教材等**

教科書…田中俊六監修、最新建築設備工学（改訂版）、井上書院  
参考書…授業中に適宜紹介する

**学生へのメッセージ**

遠慮なく質問すること

**関連科目**

住環境工学Ⅰ、住環境工学Ⅱ

**担当者の研究室等**

12号館7階 森山研究室

住環境材料学II Housing Materials II				
岩田三千子 (イワタ ミチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

広く一般に用いられている鉄骨系およびコンクリート系住宅の構造と材料を取り上げ、地震災害や日常災害に対応する住まいの構造と安全性について、事故や災害の実情を学び、建築基準法とその関連法規に示された建築材料および構法の内容について学ぶ。さらに、建築材料のリサイクル、持続的再生産材料、低環境負荷型住宅など具体例を示しながら、現代の環境問題と建築材料との関係についての理解を深める。建築計画に知っておくべき基本的要件を修得し、設計への応用につなぐことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**

スライドを用いた講義形式で行う。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、二級建築士、インテリアプランナー、商業施設士

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 軽量鉄骨系住宅  
**【内容・方法等】** 軽量鉄骨系住宅の構造の特徴と材料について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習
- 第2回 **【授業テーマ】** コンクリート系住宅  
**【内容・方法等】** コンクリート系住宅の構造の特徴と材料について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習
- 第3回 **【授業テーマ】** ラーメン構造住宅  
**【内容・方法等】** ラーメン構造住宅の構造の特徴と材料について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 壁式鉄筋コンクリート住宅  
**【内容・方法等】** 壁式鉄筋コンクリート住宅の構造の特徴と材料について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造の地震災害の変遷  
**【内容・方法等】** 耐震建築の変遷と新しい耐震設計について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 耐震構造の基礎と建物の強度  
**【内容・方法等】** 地盤と基礎の関係について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 住まいと健康被害  
**【内容・方法等】** 住宅の高気密化とシックハウス症候群について学ぶ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の内容に沿った予習復習

- 第8回** 【授業テーマ】 住まいの材料と地球温暖化問題  
 【内容・方法 等】 地球温暖化対策と建築分野のCO2排出量について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第9回** 【授業テーマ】 建材のリサイクル  
 【内容・方法 等】 建設廃棄物とそのリサイクルについて学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第10回** 【授業テーマ】 持続的再生産材料  
 【内容・方法 等】 住まいの耐用年数とセンチュリーハウジングシステムについて学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第11回** 【授業テーマ】 日常生活における家庭内事故  
 【内容・方法 等】 住まいの中のような様々な事故と災害について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第12回** 【授業テーマ】 日常生活における家庭内事故  
 【内容・方法 等】 家庭内事故の種類と被災状況について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第13回** 【授業テーマ】 住まいの安全対策  
 【内容・方法 等】 家庭内事故の対策と避難計画について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第14回** 【授業テーマ】 新しい住まいの材料  
 【内容・方法 等】 エコマテリアル、環境調節材料について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第15回** 【授業テーマ】 未来の住まいの構造・材料  
 【内容・方法 等】 新しい都市型集合住宅について学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 評価方法 (基準)**  
 定期試験(筆記)の成績80%、出欠状況等の平常成績20%で総合評価する。
- 教材等**  
 教科書…住環境材料学1  
 参考書…世界で一番やさしい建築材料-110のキーワードで学ぶ08(株式会社エクスナレッジ)
- 学生へのメッセージ**  
 講義には必ず教科書を持参すること。授業中に小テストなどを行って理解度を確かめながら進めていく。
- 関連科目**  
 「図解住居学3 住まいの構法・材料」 図解住居学編集委員会編 彰国社
- 担当者の研究室等**  
 12号館7階 岩田教授室

- 第4回** 【授業テーマ】 大気汚染  
 【内容・方法 等】 私たちの生活と大気環境  
 大気汚染問題とは  
 大気汚染問題の現状と対策  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第5回** 【授業テーマ】 土壌・地下水汚染  
 【内容・方法 等】 私たちの生活と土壌・地下水  
 土壌・地下水汚染とは  
 土壌・地下水汚染の現状と対策  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第6回** 【授業テーマ】 廃棄物問題(1)  
 【内容・方法 等】 廃棄物問題とは  
 廃棄物の処理  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第7回** 【授業テーマ】 廃棄物問題(2)  
 【内容・方法 等】 リサイクルの技術と対策  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第8回** 【授業テーマ】 地球環境問題  
 酸性雨  
 【内容・方法 等】 地球環境問題とは  
 酸性雨とは、酸性雨の影響  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第9回** 【授業テーマ】 オゾン層破壊  
 【内容・方法 等】 オゾン層の役割  
 オゾン層破壊の影響  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第10回** 【授業テーマ】 地球温暖化(1)  
 【内容・方法 等】 地球温暖化とは  
 地球温暖化の影響  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第11回** 【授業テーマ】 地球温暖化(2)  
 【内容・方法 等】 地球温暖化対策  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第12回** 【授業テーマ】 森林破壊  
 【内容・方法 等】 森林の役割  
 森林破壊の影響  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第13回** 【授業テーマ】 砂漠化  
 生物多様性の減少  
 【内容・方法 等】 砂漠化とは、砂漠化の影響  
 生物多様性とは、生物多様性の原因、対策  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第14回** 【授業テーマ】 有害化学物質による環境汚染(1)  
 【内容・方法 等】 有害化学物質とは  
 環境汚染のメカニズム  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第15回** 【授業テーマ】 有害化学物質による環境汚染(2)  
 講義のまとめ  
 【内容・方法 等】 環境放射能について  
 授業全体のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 第14回までの授業での配付したプリントとノートをすべて読み返しておく。
- 評価方法 (基準)**  
 学期末試験の成績(70%)と、授業はじめの復習テスト・レポート・授業への取り組み(30%)とで総合的に評価する。
- 教材等**  
 教科書…プリントを使用する。  
 参考書…講義内容に応じて授業中に紹介する。
- 学生へのメッセージ**  
 この講義を開けば、地球環境問題に関する基礎知識だけでなく、住宅の設計・設備に地球環境問題がどのように関わっているかを理解するために必要な知識を習得できます。授業中の私語は慎み、集中して講義を聞くようにしましょう。わからないことがあれば、授業中に積極的に質問して下さい。
- 関連科目**  
 環境工学演習、都市環境計画
- 担当者の研究室等**  
 7号館2階 非常勤講師室

地球環境学 Global Environmental Studies				
島田 洋子 (シマダ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 いる。都市や地球規模の環境問題の基礎的知識を学び、これらの問題と住宅の設21世紀の社会において環境問題は私たちの生活と密接に結びついたものとなっている。都市や地球規模の環境問題の基礎的知識を学び、これらの問題と住宅の設計・設備との関わりと対策を理解することを目標とする。  
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
 主に板書と配布するプリントを用いて講義する。授業のはじめに前回の授業の復習テストを行う。

**科目学習の効果 (資格)**  
 本授業内容は、環境社会検定(ECO検定)の資格を得るのに有利であると共に、卒業後、実社会で仕事をしていく上で必ず役に立つ。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
 環境と人間  
 【内容・方法 等】 授業の内容、授業の進め方、授業の評価基準について  
 環境とは  
 環境と人間のかかわりについて  
 【事前・事後学習課題】
- 第2回** 【授業テーマ】 都市環境問題  
 【内容・方法 等】 都市における環境問題の特徴  
 【事前・事後学習課題】 前回の授業での配付プリントとノートをよく読む
- 第3回** 【授業テーマ】 水質汚濁  
 【内容・方法 等】 私たちの生活と水環境  
 水質汚濁問題とは  
 水質汚濁の現状と対策

環境工学演習

Exercises in Environmental Engineering

岩田 三千子 (イワタ ミチコ)  
森山 正和 (モリヤマ マサカズ)  
島田 洋子 (シマダ ヨウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

住環境工学Ⅰ、住環境工学Ⅱで学んだ知識を基に、機器を使った測定や具体的な計算などの演習を通して、光、音、熱、空気、水環境に関する予測や評価の手法を修得する。住環境への理解を深め、問題点解決の手法と建築計画時における予測手法を身につける。建築士資格試験を受ける際の計算問題などの解法や、実務の測定技術・計算技術などの基礎を修得することを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点

各々の環境分野について計算や測定を行うので、住環境工学Ⅰ、住環境工学Ⅱで学習した内容を教科書で毎回復習してから講義に出席すること。

科目学習の効果（資格）

一級建築士、二級建築士、建築設備士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 放射カメラによる表面温度測定  
【内容・方法等】 室内外の壁面や窓面、植物の葉面などの熱収支、及び放射温度計測の原理を学び、実際に表面温度の測定を行い計算と比較する。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために配布テキストを読んでおくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 温熱環境指標の測定  
【内容・方法等】 気温、湿度、MRT（グローブ温度）、気流を測定し、温熱環境指標（SET\*など）を算出する。状況に応じて建物内外数か所にて比較を行う。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために配布テキストを読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 気象条件などを考慮して（A）または（B）のいずれかの測定を行う。  
（A）部屋の換気量の測定、または（B）日射量及び日射反射率の測定  
【内容・方法等】 （A）教室、研究室などの適当な部屋を対象にCO2をトレーサガスとしてステップダウン（減衰）法により実際に換気回数を求める。  
（B）ヒートアイランド対策や冷房負荷低減を目的として使われるクールペイントの効果測定。屋上に塗布したクールルーフ実験サイトで実施。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために配布テキストを読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 冷暖房熱負荷計算  
【内容・方法等】 単純な建物を想定して冷暖房熱負荷計算を行い、熱負荷の構成比などを分析し、建物冷暖房の省エネルギーについて考察する。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために配布テキストを読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 建物エネルギー消費量データ及び太陽光発電データの分析  
【内容・方法等】 記録が蓄積されている寝屋川キャンパス1号館におけるデータを使用して代表的な日を対象に分析し、省エネルギー方策について考察する。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために配布テキストを読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 日影図の作成  
【内容・方法等】 日影図について理解を深め、日影図を作成する。その日影図を用いて、ある建物の日影図を作成する。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を自宅学習すること
- 第7回 【授業テーマ】 光束法による照明計算  
【内容・方法等】 天井に蛍光灯を均等に並べて照明する場合について、蛍光灯の必要個数を計算により求めその配置図を描く。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を自宅学習すること
- 第8回 【授業テーマ】 逐点法による照度の計算  
【内容・方法等】 明るさ評価の基本となる水平面照度と鉛直面照度について、照明器具の配光特性に基づいて算定する。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を自宅学習すること
- 第9回 【授業テーマ】 照度の計測  
【内容・方法等】 教室の照度分布について、昼光と人工照明を用いた場合について測定し、照度計の取り扱いを習得する。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を自宅学習すること
- 第10回 【授業テーマ】 光環境の総合問題  
【内容・方法等】 一級建築士、二級建築士などの問題から選

抜した複合問題を解答する。

- 【事前・事後学習課題】 以前の講義で学修した内容を復習して出席すること
- 第11回 【授業テーマ】 音の基本単位と騒音の実測  
【内容・方法等】 音の基本単位を復習し、騒音測定機器の取扱いを修得した後に、実際の環境の騒音測定をする。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を自宅学習すること
- 第12回 【授業テーマ】 残響時間および透過損失の計算  
【内容・方法等】 残響時間と透過損失を理解し、その計算式を、ある空間に適用する。  
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を自宅学習すること
- 第13回 【授業テーマ】 音環境の総合問題  
【内容・方法等】 一級建築士、二級建築士などの問題から選抜した複合問題を解答する。  
【事前・事後学習課題】 以前の講義で学修した内容を復習して出席すること
- 第14回 【授業テーマ】 水環境の計測  
【内容・方法等】 生活にかかわる水の質について理解を深め、実際に水質を計測する。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために授業テーマの範囲のプリントを読んでおくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 水処理実験  
【内容・方法等】 水を浄化するために行われている水処理のしくみを理解し、実際に水処理実験を行う。  
【事前・事後学習課題】 理解を深めるために授業テーマの範囲のプリントを読んでおくこと。

評価方法（基準）

毎回の課題の評価点(6.7%)の合計点 ((6.7%×15回) で評価する。期末試験は行わない。

教材等

教科書…「建築環境工学教科書 第二版」 環境工学教科書研究会編著（彰国社）

その他、適宜指示する  
参考書…適宜プリントを配布する

学生へのメッセージ

教科書、電卓、三角定規一式、A4レポート用紙を毎回持参すること。

関連科目

住環境工学Ⅰ、住環境工学Ⅱ

担当者の研究室等

12号館7階 森山教授室  
12号館7階 岩田教授室

西洋建築史

History of European Architecture

小林 正子 (コバヤシ マサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

建築において歴史は生きた存在である。歴史的な作品にはさまざまな解釈の余地があるため、建築家は過去の作品を研究するのである。本科目では、近代の巨匠と呼ばれるル・コルビュゼエをはじめ多くの建築家が、歴史から学び、知識と創意によって歴史を解釈し自分自身のデザインに生かしていく手法を、古代から近代に到るまでのさまざまな西洋建築の様式に見ていくとともに、時代・社会の産物である建築物に表れる様式への理解と過去の時代を読み解いていくことで建築の本質に触れる。建築史が建築家にとってより身近な存在であることを再認識すること。

学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

近現代建築に生きている歴史建築をテーマに、各回、近・現代建築と歴史様式との関係を見ていく。西洋建築史という歴史の流れを通して建築を理解するため、欠席によって歴史の流れを中断することのないよう可能な限り出席することが望まれる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 建築の歴史を学ぶということ  
【事前・事後学習課題】 毎回、特段の事前・事後学習は必要としない。
- 第2回 【授業テーマ】 古代ー1  
【内容・方法等】 古代エジプト建築
- 第3回 【授業テーマ】 古代ー2  
【内容・方法等】 古代ギリシア建築
- 第4回 【授業テーマ】 古代ー3  
【内容・方法等】 古代ローマ建築
- 第5回 【授業テーマ】 中世ー1  
【内容・方法等】 プレ・ロマネスク建築
- 第6回 【授業テーマ】 中世ー2

- 第7回 【内容・方法等】 ロマネスク建築  
【授業テーマ】 中世-3  
【内容・方法等】 ゴシック建築
- 第8回 【授業テーマ】 近世-1  
【内容・方法等】 ルネサンス建築-1
- 第9回 【授業テーマ】 近世-2  
【内容・方法等】 ルネサンス建築-2
- 第10回 【授業テーマ】 近世-3  
【内容・方法等】 バロック建築
- 第11回 【授業テーマ】 近世-4  
【内容・方法等】 新古典主義建築
- 第12回 【授業テーマ】 近世-5  
【内容・方法等】 歴史主義・折衷主義
- 第13回 【授業テーマ】 近代-1  
【内容・方法等】 近代のはじまり
- 第14回 【授業テーマ】 近代-2  
【内容・方法等】 日本における西洋建築の受容
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ

評価方法 (基準)  
レポート課題 (80%) 及び受講姿勢 (20%) を考慮して評価する。

教材等  
教科書…使用しない。  
参考書…適宜紹介する。

学生へのメッセージ  
現代建築も過去の作品の多面的な解釈の上に展開しているからこそ歴史を学ぶ意義がある。建築設計においても歴史を学ぶことがいかに重要であるかを知ること。

関連科目  
特になし。

担当者の研究室等  
非常勤のため研究室はなし。

図形科学 Graphics Science				
榊		愛 (サカキ アイ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
図形の数学的な理解を基礎として、図形を読み解く力を養い、投影法に関する理解を深める。さらに、定規などを用いた演習を通して図形表現の基本的な技術を修得し、図形の幾何学的な特徴を理解するとともに空間把握力を培う。また3次元CADを用いて、コンピュータ上で3次元図形を表現する方法を学習する。3次元空間にあるもの (建物や家具など) を2次元平面 (紙やパソコンの画面など) に表現するための知識と技術を習得することを到達目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応: [C]

授業方法と留意点  
講義と演習を組み合わせる授業を進める。不明点は質問してその都度解決すること。

科目学習の効果 (資格)  
関連する資格: CAD利用技術者検定、CGエンジニア検定など。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
図形科学の概要  
【内容・方法等】 授業内容、持ち物、評価基準などについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業中に説明した内容を理解しておくこと。
  - 第2回 【授業テーマ】 投影法の分類  
平行投影法 (1)  
【内容・方法等】 投影法の種類と、正投影法について説明する。  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
  - 第3回 【授業テーマ】 平行投影法 (2)  
【内容・方法等】 直軸測投影法 (特に等測投影法)、斜軸測投影法について説明し、等測投影図、斜軸測投影図を描く。  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
  - 第4回 【授業テーマ】 平行投影法 (3)  
【内容・方法等】 平行投影法のまとめ  
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。
  - 第5回 【授業テーマ】 透視投影法 (1)  
【内容・方法等】 直接法の原理と作図方法について説明する。  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
  - 第6回 【授業テーマ】 透視投影法 (2)  
【内容・方法等】 透視投影図を直接法で描く。  
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。

- 第7回 【授業テーマ】 透視投影法 (3)  
【内容・方法等】 消点法の原理と作図方法について説明する。  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
- 第8回 【授業テーマ】 透視投影法 (4)  
【内容・方法等】 透視投影図 (2消点) を消点法で描く。  
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。
- 第9回 【授業テーマ】 透視投影法 (5)  
【内容・方法等】 透視投影図 (1消点) を消点法で描く。  
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。
- 第10回 【授業テーマ】 陰影  
【内容・方法等】 陰影の描き方を説明する。  
【事前・事後学習課題】 これまで学んだ内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。
- 第11回 【授業テーマ】 平行投影法・透視投影法のまとめ  
【内容・方法等】 建物の正投影図、等測投影図、透視投影図を描く。  
【事前・事後学習課題】 これまで学んだ内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。

第12回 【授業テーマ】 3DCADを用いた図形表現 (1)  
【内容・方法等】 3DCADを用いて、基本図形を作る方法について説明する。  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。

- 第13回 【授業テーマ】 3DCADを用いた図形表現 (2)  
【内容・方法等】 3DCADを用いて、複雑な形状をした立体を作る方法について説明する。  
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。
- 第14回 【授業テーマ】 3DCADを用いた図形表現 (3)  
【内容・方法等】 建物の3次元モデルを作成する。  
【事前・事後学習課題】 前回の内容を復習しておくこと。  
課題を提出すること。
- 第15回 【授業テーマ】 復習とまとめ  
【内容・方法等】 これまでのまとめと復習を行う。  
【事前・事後学習課題】 これまで学んだ内容を復習しておくこと。

評価方法 (基準)  
課題 (50%)、試験 (50%) で評価する。

教材等  
教科書…プリントを配布する  
参考書…授業中に紹介する

学生へのメッセージ  
自分の思い描く空間を表現するための基礎が身につきます。積極的に取り組んでください。

関連科目  
基礎設計演習、空間表現演習、設計演習など。

担当者の研究室等  
12号館 7階 榊講師室

構造力学入門 Introduction to Structural Mechanics				
原 克 巳 (ハラ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
この授業では、建築の構造設計の基礎となる構造力学を初めて学ぶ学生を対象に、建築物にかかる力の基本的な考え方 (釣り合い、モーメント、反力) と、建築部材に生じる力や建築物の断面に生じる力についての基礎知識について講義する。これらのことを計算は最小限にし、イメージで理解できるようにする。構造力学は、建築士の資格を取得するために必須の科目であり、よって、この授業では構造力学の基礎がためとなるものである。  
学科の学習・教育目標との対応: [C]

- 授業方法と留意点  
配布プリント、PPT、板書を用いて講義する。毎回、小演習と即日レポートがある。  
配布プリント、返却する即日レポート等はファイルしておくこと。
- 科目学習の効果 (資格)  
一級建築士、二級建築士、木造建築士
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
力とモーメント  
荷重、外力と反力  
【内容・方法等】 授業の内容、授業の進め方、授業の評価基準について  
建築物の構造

- 構造力学とは
- 【事前・事後学習課題】** 事前：シラバスを読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第1章を読む
- 第2回 【授業テーマ】** 支持条件、反力  
**【内容・方法 等】** 単純梁の反力  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第2章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第2章を読む
- 第3回 【授業テーマ】** 単純梁の反力、片持ち梁（キャンティレバー）の反力  
**【内容・方法 等】** 力がつりあっている条件  
力のつりあい式  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第3章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第3章を読む
- 第4回 【授業テーマ】** 静定梁の反力  
**【内容・方法 等】** 力がつりあっている条件  
力のつりあい式  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第4章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第4章を読む
- 第5回 【授業テーマ】** 静定ラーメンの反力  
**【内容・方法 等】** 静定ラーメンとはなにか。  
外力、支持条件、反力  
全体のつり合い条件  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第6回 【授業テーマ】** 静定ラーメンの反力  
**【内容・方法 等】** いろいろな静定ラーメン  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第7回 【授業テーマ】** 中間試験  
**【内容・方法 等】** 第1回～第6回から出題  
**【事前・事後学習課題】** 第1回～第6回の範囲の復習
- 第8回 【授業テーマ】** 片持ち梁（キャンティレバー）の応力図  
**【内容・方法 等】** 応力とはなにか。軸力（圧縮力、引っ張り力）、曲げモーメント、せん断力  
外力、支持条件、反力、応力  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第9回 【授業テーマ】** 単純梁  
**【内容・方法 等】** 応力とはなにか。軸力（圧縮力、引っ張り力）、曲げモーメント、せん断力  
外力、支持条件、反力、応力  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第10回 【授業テーマ】** さまざまな梁の応力  
**【内容・方法 等】** 応力とはなにか。軸力（圧縮力、引っ張り力）、曲げモーメント、せん断力  
外力、支持条件、反力、応力  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第11回 【授業テーマ】** 静定ラーメンの応力図  
**【内容・方法 等】** 応力とはなにか。軸力（圧縮力、引っ張り力）、曲げモーメント、せん断力  
外力、支持条件、反力、応力  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第12回 【授業テーマ】** 静定ラーメンの応力図  
**【内容・方法 等】** さまざまな静定ラーメンの応力。  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第5章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第5章を読む
- 第13回 【授業テーマ】** 静定ラーメンの応力図、トラスの反力  
**【内容・方法 等】** 静定ラーメンの復習  
トラスとは何か。トラスの外力、支持条件、反力  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第6章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第6章を読む
- 第14回 【授業テーマ】** 静定トラス  
**【内容・方法 等】** 静定トラスの反力、トラス応力とは何か、外力、支持条件、反力、応力、切断法によるトラス応力の求め方  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第6章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第6章を読む

- 第15回 【授業テーマ】** 総まとめ  
**【内容・方法 等】** 総復習  
講義のまとめ  
**【事前・事後学習課題】** 事前：前回配布プリントの復習、教科書第1章～第6章を読む  
事後：配布プリントの復習、教科書第1章～第6章を読む
- 評価方法（基準）**  
平常点（毎回の即日レポート、授業態度）：40%  
中間試験：20%  
期末試験：40%

**教材等**  
**教科書**…配布プリント（毎回出席者に）配布する。  
「図説 構造力学入門（3訂版）」（豊田正敏、鳥村和夫共著、東洋書店、2400円+税）  
**参考書**…必要に応じて、授業中の知らせる。

**学生へのメッセージ**  
構造力学の初歩的な事項を学ぶ。構造物が安定状態にあるとき、外力（荷重）に対して、ある支持条件がある時の反力を明らかにする。  
また、その時、構造体の内部の応力状態がどうなっているのか、これは応力図を描くことで明らかになる。以上のことを、計算は最小限にして、イメージで理解できるようにする。毎回、演習があるので毎回の出席が前提となる。

**関連科目**  
構造力学Ⅰ、構造力学Ⅱ、建築一般構造学  
**担当者の研究室等**  
8号館 3階 建築学科 原教授室

構造デザイン入門				
Introduction to Architectural Construction Design				
原 克 巳 (ハラ カツミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
目的は建築構造の役割を理解し、建築構造についての基礎知識を取得することである。将来、建築設計、構造設計、設備設計、現場技術者、ハウスメーカー、建築材料の分野など、活躍の場は幅広いが、どの分野に進むにしても、基本となる知識が含まれているので、それらを習得する。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**  
授業は配布プリントに基づき、スライド（PPT）、板書を使い講義形式で行う。  
毎回、即日レポートがある。  
配布プリントおよび返却する即日レポートはファイルしておくこと。

**科目学習の効果（資格）**  
一級建築士、二級建築士、木造建築士  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** ガイダンス、  
建築のかたちと力のながれ(1)  
**【内容・方法 等】** 構造デザインの役割を学ぶ。  
建築のかたちと力のながれを学ぶ  
(アーチ、ドーム)  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料の復習
- 第2回 【授業テーマ】** 建築のかたちと力のながれ(2)  
**【内容・方法 等】** 建築のかたちと力のながれを学ぶ  
(シェル、吊構造)  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第3回 【授業テーマ】** 建築のかたちと力のながれ(3)  
**【内容・方法 等】** 建築のかたちと力のながれを学ぶ  
(ラーメン構造、トラス、ほか)  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料
- 第4回 【授業テーマ】** 構造力学と構造設計（1）  
**【内容・方法 等】** 引張りと圧縮  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 P120～P123  
配布資料の復習
- 第5回 【授業テーマ】** 構造力学と構造設計（2）  
**【内容・方法 等】** 曲げとせん断  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 P124～127  
配布資料の復習
- 第6回 【授業テーマ】** 荷重（固定荷重、積載荷重、雪荷重、風荷重、地震荷重）  
**【内容・方法 等】** いろいろな荷重とその性質、豪雪被害、台風被害、地震被害  
**【事前・事後学習課題】** 教科書 P133～P139,P148～P53,P160～P173  
配布資料の復習



- 第7回 【授業テーマ】 中間テスト  
【内容・方法等】 第1回～第6回の範囲から出題  
【事前・事後学習課題】 第1回～第6回の範囲の復習
- 第8回 【授業テーマ】 木構造  
【内容・方法等】 木造とその特徴  
【事前・事後学習課題】 教科書 P32～P37  
配布資料の復習
- 第9回 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート（RC）構造とプレストレスト・コンクリート（PC）構造  
【内容・方法等】 RC造とPC造の特徴  
【事前・事後学習課題】 教科書 P17～P29  
配布資料の復習
- 第10回 【授業テーマ】 鋼構造（鉄骨構造、S造）  
【内容・方法等】 S造とその特徴、施工法  
【事前・事後学習課題】 教科書 P8～P16  
配布資料の復習
- 第11回 【授業テーマ】 鋼構造（鉄骨構造、S造）  
【内容・方法等】 S造と座屈  
【事前・事後学習課題】 教科書P8～P16  
配布資料の復習
- 第12回 【授業テーマ】 鉄骨鉄筋コンクリート構造（SRC構造）  
【内容・方法等】 SRC造とその特徴  
【事前・事後学習課題】 教科書 P30～P31  
配布資料の復習
- 第13回 【授業テーマ】 地盤と基礎  
【内容・方法等】 地盤のでき方、建物を支える基礎構造  
【事前・事後学習課題】 教科書 P48～51  
配布資料の復習
- 第14回 【授業テーマ】 施工（1）  
【内容・方法等】 RC造、S造、木造の施工法  
【事前・事後学習課題】 教科書 P54～P55  
配布資料の復習
- 第15回 【授業テーマ】 施工（2）  
【内容・方法等】 各種構造図と施工例  
【事前・事後学習課題】 教科書 P57～P63  
配布資料の復習

**評価方法（基準）**  
平常点（毎回の即日レポート、授業態度）：40％  
中間試験：20％  
期末試験：40％

**教材等**  
教科書…配布資料（毎回の出席者に配布）  
「図説 建築構造のなりたち」日本建築構造技術者協会、彰国社、3000円+税  
参考書…日本建築学会「構造用教材」。

**学生へのメッセージ**  
建物を見ること、および、本を読むこと、建築関連のTV、DVDを見ることを薦める。  
また1mの巻尺（授業で示す）を常に持参して寸法を計ることを薦める。

**関連科目**  
構造力学入門、構造力学  
**担当者の研究室等**  
8号館 3階 建築学科 原 教授室

<b>住居計画学</b> Planning Theory of Dwelling Settlement				
<b>杉山 茂一</b> （スギヤマ シゲカズ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
住居には様々なタイプがあることを認識し、それぞれの住居タイプの成り立ちを理解して、幅広い視野から住居を見る眼と、社会の変化に対応する今後の住居計画のあり方について考える力を養う。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]

**授業方法と留意点**  
現代日本住居の変遷を概観したうえで、住宅近代化の過程、異なる地域の住居の比較、建築家による住宅、集合住宅などについて具体的事例を題材にして講述し、新しい都市居住に対応する住居のあり方について考究する。

**科目学習の効果（資格）**  
一級建築士試験を受験するには必要不可欠な科目である。  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
第1回 【授業テーマ】 現代日本住居の系譜  
【内容・方法等】 住居のタイプとその変遷  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト  
第2回 【授業テーマ】 都市住宅にみる住宅近代化の過程Ⅰ  
【内容・方法等】 続き間型住宅、中廊下型住宅、居間中心型

- 住宅  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第3回 【授業テーマ】 都市住宅にみる住宅近代化の過程Ⅱ  
【内容・方法等】 LDK型住宅、商品化住宅  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第4回 【授業テーマ】 現代住居の地域性  
【内容・方法等】 気候、文化の違いと住宅  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第5回 【授業テーマ】 建築家による住宅Ⅰ  
【内容・方法等】 住様式と平面構成の提案  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第6回 【授業テーマ】 建築家による住宅Ⅱ  
【内容・方法等】 都市化のなかでの提案  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第7回 【授業テーマ】 建築家による住宅Ⅲ  
【内容・方法等】 構法・空間構成の提案  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第8回 【授業テーマ】 集合住宅の変遷Ⅰ  
【内容・方法等】 近代的集合住宅の起源  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第9回 【授業テーマ】 集合住宅の変遷Ⅱ  
【内容・方法等】 郊外大規模団地  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第10回 【授業テーマ】 集合住宅の変遷Ⅲ  
【内容・方法等】 高層化・高密度化  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第11回 【授業テーマ】 集合住宅の変遷Ⅳ  
【内容・方法等】 多様性への対応  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第12回 【授業テーマ】 これからの家族と住居  
【内容・方法等】 家族生活と住居タイプ  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第13回 【授業テーマ】 これからの都市居住  
【内容・方法等】 住宅供給方式と住宅形式  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第14回 【授業テーマ】 保存と再生  
【内容・方法等】 団地、密集市街地などの再生  
【事前・事後学習課題】 授業中に小テスト
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 講義のまとめとテスト  
【事前・事後学習課題】 これまでの講義内容を復習しておくこと

**評価方法（基準）**  
小テスト30%、レポート20%、テスト50%

**教材等**  
教科書…プリント配布  
参考書…授業中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
住居は誰でも体験している施設であるがゆえに体験による狭い固定観念に縛られやすい。より幅広い視野で住居計画を考えられるように、学習に取り組んでほしい。

**関連科目**  
設計演習Ⅲ  
**担当者の研究室等**  
12号館 7階 杉山教授室

**備考**  
講義に関連したレポート課題を4回課す。具体的指示は講義中に示す。

<b>構造力学Ⅰ</b> Structural Mechanics I				
<b>渡部 嗣道</b> （ワタナベ ツグミチ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
構造的に安全な建物を設計するためには、建物に加わる応力計算の手法などを学んでおく必要がある。本講義では、応力解析のための基礎的知識を付与する。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
教科書に沿って授業を行う。  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法等】 講義の進め方・学習の意義について説明します。続いて、構造力学を学ぶ上での基礎知識を説明します。  
【事前・事後学習課題】 教科書をよく読むこと。  
第2回 【授業テーマ】 単純梁での応力算定Ⅰ  
【内容・方法等】 単純梁において、部材に作用する内力の計算方法を説明します。

- 第3回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】単純梁での応力算定2  
【内容・方法等】第3回の授業の復習と演習を行います。小テスト1 (15点)
- 第4回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】片持ち梁での応力算定1  
【内容・方法等】片持ち梁において、部材に作用する内力の計算方法を説明します。
- 第5回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】片持ち梁での応力算定2  
【内容・方法等】第5回の授業の復習と演習を行います。小テスト2 (15点)
- 第6回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】ひずみ度と応力度  
【内容・方法等】ひずみ度と応力度について説明します。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】弾性係数  
【内容・方法等】弾性係数について説明します。小テスト3 (20点)
- 第8回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面の性質と断面1次モーメント、その1  
【内容・方法等】断面1次モーメントと図心の算定方法について説明します。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面の性質と断面1次モーメント、その2  
【内容・方法等】第9回の授業の復習と演習を行います。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面2次モーメント：その1  
【内容・方法等】単純な断面の断面2次モーメントの算定方法について説明します。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面2次モーメント：その2  
【内容・方法等】複雑な断面の断面2次モーメントの算定方法について説明します。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面2次モーメント：その3  
【内容・方法等】第4回目の小テストを行います。(30点)
- 第13回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面係数1  
【内容・方法等】断面係数と曲げ応力度について説明します。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】断面係数2  
【内容・方法等】第5回目の小テストを行います。(20点)
- 第15回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】まとめ  
【内容・方法等】これまでの授業のまとめを行います。
- 事前・事後学習課題** 教科書をよく読むこと。
- 評価方法 (基準)**  
5回の小テストにより評価します。  
(15% × 2回、20% × 2回、30% × 1回)
- 教材等**  
教科書…「初めての建築構造力学」 <建築のテキスト>編集委員会編学芸出版社 (2800円)
- 学生へのメッセージ**  
疑問点や不明な点は積極的に質問してください。
- 関連科目**  
建築一般構造、構造力学Ⅱ
- 担当者の研究室等**  
7号館2階 (非常勤講師室)

建築一般構造学 Introduction to Architectural Structure Methods				
渡部 嗣道 (ワタナベ ヅグミチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
建築物の構造的なしくみの知識習得のため、躯体構造から仕上げまでの全体構成に関するしくみを理解する。  
学科の学習・教育目標との対応：[D]
- 授業方法と留意点**  
講義を中心に授業を行う。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】イントロダクション  
【内容・方法等】講義の進め方・学習の意義について説明します。
- 第2回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読む習慣をつけること。  
【授業テーマ】建築構造のあらまし  
【内容・方法等】一般的な建物の構造システムの概要について説明します。

- 第3回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】木構造1：構造形式  
【内容・方法等】在来軸組工法と枠組壁工法の概要について説明します。
- 第4回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】木構造2：木材・接合・基礎  
【内容・方法等】木材の基本的性質のほか、在来軸組工法の基礎・土台・接合方法について説明します。
- 第5回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】木構造3：軸組み・小屋組・床組み  
【内容・方法等】在来軸組工法の軸組み・小屋組み・床組みについて説明します。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】木構造4：仕上げ  
【内容・方法等】木質構造の一般的な仕上げについて説明します。また、壁式構造の概要について説明します。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】木構造5：テスト1  
【内容・方法等】第1回目のテストを行います。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄筋コンクリート造1：構造形式  
【内容・方法等】コンクリートと鉄筋の特性について説明します。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄筋コンクリート造2：コンクリートと鉄筋  
【内容・方法等】鉄筋の種類と役割について説明します。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄筋コンクリート造3：主体構造と配筋  
【内容・方法等】陸屋根の防水工法と外壁仕上げのについて説明します。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄筋コンクリート造4：テスト2  
【内容・方法等】第2回目のテストを行います。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄骨造1：構造形式  
【内容・方法等】ラーメン構造とトラス構造の概要について説明します。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄骨造2：鋼材と接合・仕上げ  
【内容・方法等】鋼材の特性と鉄骨の接合方法について説明します。また、仕上げについても説明します。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】鉄骨造3：テスト3  
【内容・方法等】第3回目の小テストを行います。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】教科書をよく読むこと。  
【授業テーマ】まとめ  
【内容・方法等】これまでの授業のまとめを行います。
- 事前・事後学習課題** 教科書をよく読むこと。
- 評価方法 (基準)**  
授業中に実施する3回のテストの総合成績で評価する。(33.3% × 3回)
- 教材等**  
教科書…「最新建築構造入門」 <基礎シリーズ>青木博文監修 実教出版社 (2940円)
- 学生へのメッセージ**  
疑問点や不明な点は積極的に質問してください。
- 関連科目**  
構造力学Ⅰ、構造力学Ⅱ
- 担当者の研究室等**  
7号館2階 (非常勤講師室)

建築計画学 Architectural Planning				
杉山 茂一 (スギヤマ シゲカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
建築設計が企画から建設、運営にいたるプログラムづくりを学んだ創作活動であることを理解し、設計演習と併せてプログラムを組むための基礎力を養う。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]
- 授業方法と留意点**  
福祉施設、コミュニティ施設、図書館、学校などの地域施設を対象として、これまでの施設種別のもつ役割が少子高齢化、地域コミュニティの弱体化などの社会の変化に応じて変わってきていることを具体的事例紹介を通して解説し、建築計画的課題について考究する。
- 科目学習の効果 (資格)**  
一級建築士試験を受験するには必要不可欠な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
 建築プログラム  
 【内容・方法等】 講義の進め方についての説明  
 建築プログラムという視点、プログラムとビルディングタイプ  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後に復習小テスト
- 第2回 【授業テーマ】 福祉施設Ⅰ  
 【内容・方法等】 社会福祉の時代的変遷、福祉サービスと施設の体系  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第3回 【授業テーマ】 福祉施設Ⅱ  
 【内容・方法等】 グループホーム、老人ホーム、複合施設  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第4回 【授業テーマ】 コミュニティ施設Ⅰ  
 【内容・方法等】 コミュニティ施設の設置目的など、コミュニティ施設の機能と計画  
 小規模コミュニティ施設、中規模コミュニティ施設とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第5回 【授業テーマ】 コミュニティ施設Ⅱ  
 【内容・方法等】 特定目的化した施設、複合施設とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第6回 【授業テーマ】 図書館Ⅰ  
 【内容・方法等】 図書館の種類とネットワーク、図書館の概況、図書館の構成要素、公共図書館の系譜  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第7回 【授業テーマ】 図書館Ⅱ  
 【内容・方法等】 公共図書館とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第8回 【授業テーマ】 学校建築計画の基礎  
 【内容・方法等】 教育システム、学校の運営方式とブロックプラン、学校建築の変遷  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第9回 【授業テーマ】 幼稚園  
 【内容・方法等】 発達段階に応じた空間づくりとその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第10回 【授業テーマ】 小学校Ⅰ  
 【内容・方法等】 クラスルーム型小学校とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第11回 【授業テーマ】 小学校Ⅱ  
 【内容・方法等】 オープンスペース型小学校とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第12回 【授業テーマ】 中学校  
 【内容・方法等】 特別教室型、教科教室型とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第13回 【授業テーマ】 学校の連携、複合、開放  
 【内容・方法等】 小中学校の連携、公民館等と学校の複合、学校施設の地域開放とその事例  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第14回 【授業テーマ】 学校の構成要素  
 【内容・方法等】 クラスルーム、教室ユニット、特別教室とその編成、図書室・メディアセンター、職員室・教務センター  
 【事前・事後学習課題】 授業前か終了後に予習・復習テスト
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
 【内容・方法等】 講義内容のまとめとテスト  
 【事前・事後学習課題】 これまでの講義内容を復習しておくこと

評価方法（基準）

予習・復習テスト30%、レポート20%、テスト50%

教材等

教科書…プリント配布

参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

成果を設計演習Ⅲに援用することを意識して学習に取り組んでほしい。

関連科目

設計演習Ⅲ

担当者の研究室等

12号館 7階 杉山教授室

建築法規

Building Code

杉本 昇 (スギモト ノボル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

建築基準法は単に建築行為を規制するだけのものではなく、国

民の生命、健康及び財産の保護を図り、公共の福祉の増進を図ることを目的とし、「建築が単体として具備すべき技術基準」と「集団としての秩序を確保するための基準」を定めている。法の遵守は建築行為にあたりまず意識されなければならない重要な要素であるが、一方、建築関係者のコンプライアンスの欠如が大きな社会問題化することがある。そのため、建築を学ぶ段階から法の意味と内容をしっかりと理解し、遵法精神を育むことが求められている。

授業方法と留意点

講義を中心に授業を行うが、毎回小テスト実施する。

一部パワーポイントを使う予定。

科目学習の効果（資格）

建築法規は「建築士」の受験には欠かすことが出来ない科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 建築法規を学ぶにあたって（イントロ）  
 法制度の枠組みとその歴史  
 【内容・方法等】 法制度の全体像を俯瞰し、その歴史、成り立ちを知る。  
 建築をめぐる最近の動き、社会的な関心事を紹介し、法への問題意識を喚起する。  
 【事前・事後学習課題】 まずは建築基準法を手に取り、開いてみてください。
- 第2回 【授業テーマ】 建築物の安全性（1）  
 【内容・方法等】 建築物の安全性の確保と、敷地の安全性、建築物の構造強度について説明。  
 【事前・事後学習課題】 建築物の安全性とは何でしょう。毎日の生活と建築物の安全性について考えてみてください。
- 第3回 【授業テーマ】 建築物の安全性（2）  
 【内容・方法等】 建築物の構造強度で主として構造計算について説明。  
 【事前・事後学習課題】 日本は地震から逃れることはできません。S56年新耐震基準が定められ、壊れる建物は少なくなりました。
- 第4回 【授業テーマ】 建築物の安全性（3）  
 【内容・方法等】 建築物の防火と避難について説明  
 【事前・事後学習課題】 もしここで火災が発生したら？隣家で火災が発生したら？、と生活空間を見渡してみてください。
- 第5回 【授業テーマ】 建築物の安全性（4）  
 【内容・方法等】 避難施設計画について説明  
 【事前・事後学習課題】 日頃の生活空間を観察してみてください。逃げ道はちゃんとありますか？
- 第6回 【授業テーマ】 建築物の安全性（5）  
 【内容・方法等】 建築物の環境衛生などとそのための構造・設備について説明。  
 【事前・事後学習課題】 部屋の採光、換気、天井の高さ、階段の幅、EVなど身の回りの空間はすべて基準があって出来上がっています。
- 第7回 【授業テーマ】 健全なまちづくり（1）  
 【内容・方法等】 建築を取り巻く社会の動向、都市計画と建築、建築と道路について説明。  
 【事前・事後学習課題】 建築物は道路がないと建ちません。道路の果たしている役割を観察してみてください。
- 第8回 【授業テーマ】 健全なまちづくり（2）  
 【内容・方法等】 用途制限、容積率、建ぺい率について説明。  
 【事前・事後学習課題】 街の建てこみ具合はこの容積率や建ぺい率で決まります。少しでも土地の有効活用を図ろうと、違反の多いのもこれです。
- 第9回 【授業テーマ】 健全なまちづくり（3）  
 【内容・方法等】 高さ制限、日影規制、天空率、防火地域について説明  
 【事前・事後学習課題】 道路は都市のインフラ、アメニティー空間でもある。そのために道路幅による高さ制限が行われています。あなたの周りの道路を観察してください。
- 第10回 【授業テーマ】 健全なまちづくり（4）  
 【内容・方法等】 地区計画、建築協定について説明。  
 【事前・事後学習課題】 大阪の都心部や郊外地を観察してみてください。
- 第11回 【授業テーマ】 建築確認手続き、制度規定について説明。  
 【内容・方法等】 建築確認・検査、建築許可等について説明。  
 【事前・事後学習課題】 違法行為が社会問題化し、改正された基準法で確認・検査体制が随分厳しくなりました。
- 第12回 【授業テーマ】 用語の定義等  
 【内容・方法等】 主要構造部、耐火構造、平均地盤高さ等を説明。  
 【事前・事後学習課題】 しっかり理解し覚えてください。
- 第13回 【授業テーマ】 関係法令（1）  
 【内容・方法等】 建築士法、建設業法、耐震改修法、バリアフリー法等について説明。  
 【事前・事後学習課題】 実社会で仕事することを考えて理解して下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 関係法令（2）  
 【内容・方法等】 都市計画法、宅地規制法、消防法等説明。  
 【事前・事後学習課題】 密接な関係のある法律が多くあります。

**第15回** 【授業テーマ】 講義全体のまとめ  
 【内容・方法 等】 授業全体のまとめと、建設業界でのコンプライアンス。  
 【事前・事後学習課題】 建設業界は大きな利権のかかわる仕事です。違法精神は特に必要です。今でも欠陥建築事件が多く起こっています。

**評価方法 (基準)**  
 小テストの評価 (30%) と定期試験の成績 (70%) を用いて評価する。

**教材等**  
**教科書**…「2013 図解建築法規」  
 編集：国土交通省住宅局建築指導課  
 発行者：新日本法規 (3、100円)  
 「平成25年度版 基本建築関係法令集[法令編]」  
 編集：国土交通省住宅局建築指導課・建築技術者試験研究所  
 発行：株式会社井上書院 (2,800円)  
**参考書**…「建築基準法を読みこなすコツ」  
 著者：高木任之  
 学芸出版社 (2、600円)  
 「欠陥住宅事件」  
 著者：平野憲司  
 学芸出版社 (2、400円)

**学生へのメッセージ**  
 建築法規は退屈な科目として捉えられていますが、人が安全・安心・快適に暮らしていくために獲得してきた知恵の集大成です。生活や人間行動とのつながりで法を見ていきましょう。

**関連科目**  
 建築計画、建築設計など

**担当者の研究室等**  
 非常勤講師室

構造力学II Structural Mechanics II				
宮野道雄 (ミヤノ ミチオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 構造的に安全な建物を設計するためには、建物に加わる力の概念や応力計算の手法などを学んでおく必要がある。本講義では、静定および不静定のラーメンの解法、トラスの解法、座屈、静定骨組みの変形について学び、応力解析のための基礎的知識を付与する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
 単元ごとに解法について説明し、演習問題を解く。各講義の時間内に不明な点を残さないよう積極的に質問し、完全な理解を図るように留意されたい。毎回、電卓を持参すること。

**科目学習の効果 (資格)**  
 建築設計における構造計画の基本知識を得て、安全で安心な建築物の設計を可能にする基礎的センスを身につける。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 概論  
 【内容・方法 等】 講義の進め方および学習の意義について述べる。  
 構造力学 I の総復習を行う。  
 【事前・事後学習課題】 構造力学 I について各自事前・事後学習を行うこと。
  - 第2回** 【授業テーマ】 静定ラーメン1  
 【内容・方法 等】 片持梁型ラーメンの解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
  - 第3回** 【授業テーマ】 静定ラーメン2  
 【内容・方法 等】 単純梁型ラーメンの解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
  - 第4回** 【授業テーマ】 静定ラーメン3  
 【内容・方法 等】 3ヒンジラーメン・特殊なラーメンの解法  
 【事前・事後学習課題】 レポート1
  - 第5回** 【授業テーマ】 トラス1  
 【内容・方法 等】 トラスの数式解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
  - 第6回** 【授業テーマ】 トラス2  
 【内容・方法 等】 トラスの図式解法  
 【事前・事後学習課題】 三角定規を持参すること。レポート2
  - 第7回** 【授業テーマ】 座屈  
 【内容・方法 等】 座屈応力度の求め方、座屈危険度評価  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
  - 第8回** 【授業テーマ】 骨組の変形1  
 【内容・方法 等】 モールの定理による解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。

- 第9回** 【授業テーマ】 骨組の変形2  
 【内容・方法 等】 仮想仕事の原理に基づく解法  
 【事前・事後学習課題】 レポート3
- 第10回** 【授業テーマ】 トラスの変形  
 【内容・方法 等】 トラスの変形を求める解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 不静定ラーメン1  
 【内容・方法 等】 たわみ角法による解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 不静定ラーメン2  
 【内容・方法 等】 固定モーメント法による解法  
 【事前・事後学習課題】 レポート4
- 第13回** 【授業テーマ】 不静定ラーメン3  
 【内容・方法 等】 固定モーメント法による解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 不静定ラーメン4  
 【内容・方法 等】 固定モーメント法による解法  
 【事前・事後学習課題】 参考図書などで予習復習を行うこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義のまとめ  
 【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 講義ノートの整理を行う。

**評価方法 (基準)**  
 各種の骨組における応力の求め方および図示法や座屈、骨組の変形に対する理解度と計算力について演習問題解法やレポート (40%) および期末試験 (60%) の問題解答結果により評価する。

**教材等**  
**教科書**…教科書はとくに指定しない。  
**参考書**…<建築のテキスト>編集委員会編『初めての建築構力量学』、学芸出版社

**学生へのメッセージ**  
 分かりやすい説明を心がけるが、理解しにくい点については必ず質問をして不明な点を後に残さない努力を心がけること。レポート課題は必ず提出すること。

**関連科目**  
 構造力学 I、構造デザイン入門  
**担当者の研究室等**  
 12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

住宅生産学 Housing Construction Methods				
吉田文久 (ヨシダ フミヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 住宅がどのように生産・施工されているのかなど、実践的な知識を習得できる。また、住宅産業の技術の歴史的変遷や近年の動向などについても学び、広い視野で住宅の生産活動を捉える能力を習得できる。  
 学科の学習・教育目標との対応：[D]

**授業方法と留意点**  
 講義中心の授業を行う。授業時間内に質疑応答時間を設ける。講義で用いた資料のプリントを配付する。第14回の授業は、住宅生産工場の見学を行う。

- 科目学習の効果 (資格)**  
 一級建築士  
 一級建築施工管理技士
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法 等】 授業全体の概要説明を行う。  
 【事前・事後学習課題】 なし
  - 第2回** 【授業テーマ】 住宅構法  
 【内容・方法 等】 住宅を鉄骨系・コンクリート系・木質系別に紹介し、どこが異なるポイントか、なぜ異なるようになったのか等について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習
  - 第3回** 【授業テーマ】 地盤調査と仮設工事  
 【内容・方法 等】 地盤調査方法および仮設工事について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習
  - 第4回** 【授業テーマ】 基礎工事  
 【内容・方法 等】 土工事および基礎工事について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習
  - 第5回** 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート工事 (1)  
 【内容・方法 等】 鉄筋工事および型枠工事について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習
  - 第6回** 【授業テーマ】 鉄筋コンクリート工事 (2)  
 【内容・方法 等】 コンクリート工事について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習
  - 第7回** 【授業テーマ】 鉄骨工事 (1)

- 【内容・方法 等】 溶接および高力ボルト接合について講義する。
- 第8回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 鉄骨工事（2）  
【内容・方法 等】 建方工事など、鉄骨現場工事について講義する。
- 第9回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 木工事  
【内容・方法 等】 木造軸組工法を用いた住宅の木工事について講義する。
- 第10回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 外装工事  
【内容・方法 等】 外壁や屋根などの外装工事について講義する。
- 第11回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 内装工事  
【内容・方法 等】 天井や床、壁などの内装工事について講義する。
- 第12回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 品質管理・積算  
【内容・方法 等】 建築生産における品質管理方法および積算方法について講義する。
- 第13回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 住宅産業の技術の変遷  
【内容・方法 等】 戦前から戦後、そして現在に至るまでの住宅産業の技術の変遷について講義する。
- 第14回 【事前・事後学習課題】 配付プリントによる復習  
【授業テーマ】 工場見学  
【内容・方法 等】 住宅生産工場の見学を行う。工場見学の場所は奈良県奈良市。
- 第15回 【事前・事後学習課題】 なし  
【授業テーマ】 講義のまとめ  
【内容・方法 等】 講義のまとめを行う。授業の習得状況を確認するための確認テストを行う。
- 【事前・事後学習課題】 授業の習得状況を確認するための「確認テスト」を行うので、前回の授業までの復習をしておくこと。

評価方法（基準）  
第15回授業で実施する、習得状況の確認テストで評価を行う。

教材等  
教科書…なし  
参考書…なし

学生へのメッセージ  
講義中心の授業ですが、工場見学も行います。

関連科目  
なし

担当者の研究室等  
非常勤講師

都市環境計画 Urban Environmental Planning				
森山正和(モリヤマ マサカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
広域的・都市的スケールにおける環境計画及び環境工学上の諸問題をテーマとし、その分析・評価・計画手法について、できるだけ具体的事例をとおして講述する。全体として、環境の基礎構造、自然環境計画論、都市エネルギー計画論の3つのサブテーマから構成し、最後にエコシティ計画について講述する。建築・都市とのかかわりに関して今後の方向性を適切に判断しうる人の育成を目的とする。

自然生態系の基本概念を理解し、種々の問題を抱える現代都市を自然環境とエネルギー供給の視点から分析し、改善策を提示できること。

学科の学習・教育目標との対応：[D]

授業方法と留意点  
原則として毎時間、小演習を課す。

科目学習の効果（資格）  
一級建築士、二級建築士、建築設備士

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法 等】 授業の概要、目的を説明する  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第2回 【授業テーマ】 環境形成の歴史  
【内容・方法 等】 古代・中世、近世・近代及び現代の環境問題・地球環境問題について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考

- 書で自習しておくことが望ましい
- 第3回 【授業テーマ】 気候形成・風と気温  
【内容・方法 等】 地表付近の風、気温、大気の安定度について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第4回 【授業テーマ】 気候形成・熱収支  
【内容・方法 等】 地表面の熱収支とその成分、湿潤・乾燥気候における熱収支比較などについて講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第5回 【授業テーマ】 都市熱環境の形成(1)都市気候の実態  
【内容・方法 等】 都市気候及び、ヒートアイランドの実態について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第6回 【授業テーマ】 都市熱環境の形成(2)ヒートアイランド現象  
【内容・方法 等】 ヒートアイランドの形成メカニズムについて講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第7回 【授業テーマ】 緑による都市熱環境対策  
【内容・方法 等】 夏季熱環境対策の概念、緑化計画とみどりのタイプについて講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第8回 【授業テーマ】 建物や道路の都市熱環境対策  
【内容・方法 等】 建物の対策、道路などの舗装面の対策について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第9回 【授業テーマ】 風害と大気汚染の対策  
【内容・方法 等】 風害（建物周辺強風）の制御、大気汚染について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第10回 【授業テーマ】 クリマアトラス（1）ドイツの事例  
【内容・方法 等】 背景、気候解析図、都市計画への応用について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第11回 【授業テーマ】 クリマアトラス（2）都市環境気候地図  
【内容・方法 等】 近畿地域の都市気候、大阪・神戸の気候解析、都市環境気候地図の作成について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第12回 【授業テーマ】 都市エネルギーの計画（1）  
【内容・方法 等】 都市インフラの概要、地域冷暖房システムについて講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第13回 【授業テーマ】 都市エネルギーの計画（2）  
【内容・方法 等】 コージェネレーション・システム、未利用エネルギーによる熱供給について講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第14回 【授業テーマ】 エコシティへの計画  
【内容・方法 等】 フロンティアスペースの活用、環境に配慮した交通、プロジェクトについて講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を参考にして教科書及び参考書で自習しておくことが望ましい
- 第15回 【授業テーマ】 講義のまとめとテスト  
【内容・方法 等】 講義のまとめとテスト  
【事前・事後学習課題】 講義内容全般にわたって復習しておくこと

評価方法（基準）  
原則毎回行う小演習50%、15回目の講義中に行うテスト50%

教材等  
教科書…都市環境学教材編集委員会編：都市環境学（森北出版）  
参考書…森山正和編：ヒートアイランドの対策と技術（学芸出版社）

日本建築学会編：都市環境のクリマアトラス（ぎょうせい）

学生へのメッセージ  
遠慮なく積極的に質問すること

関連科目  
住環境工学Ⅰ、住環境工学Ⅱ、住環境設備

担当者の研究室等  
12号館7階 森山研究室

プロダクトデザイン論 Product Design				
稲地 秀 介 (イナチ シュウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 プロダクトデザインは、時代が創り・時代に影響を与えてきた。このような視点の下に、近代以降に創られた作品やデザイン運動とその思潮を概観し、人や社会に対してプロダクトデザインが果たして来た役割や意義、そこでのデザイナーの役割に関する基礎的学習を行うことを目的とする。授業は以下の3つのテーマからなる。①世界のデザイン（アーツ・アンド・クラフト運動からポストモダンまで）、②日本のデザイン（工芸から民芸運動・高度成長期のデザイン・情報化社会とデザイン）、③現代のデザイン（サステイナブル/エコロジー/インクルーシブなど）。なお、学外講師による講義を3回程度予定している。学科の学習・教育目標との対応：[E]

**授業方法と留意点**  
 講義を中心に授業を行う。講義は概ね授業計画に沿って行うが、学生の理解度および興味に合わせてフレキシブルに計画内容を修正する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】世界の近代デザイン1  
 【内容・方法等】世界の近代デザインの大きな流れについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第2回 【授業テーマ】世界の近代デザイン2  
 【内容・方法等】アーツ・アンド・クラフト運動について解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第3回 【授業テーマ】世界の近代デザイン3  
 【内容・方法等】アール・ヌーヴォーについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第4回 【授業テーマ】世界の近代デザイン4  
 【内容・方法等】表現主義について解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第5回 【授業テーマ】世界の近代デザイン5  
 【内容・方法等】未来派・ロシア・アヴァンギャルドについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第6回 【授業テーマ】世界の近代デザイン6  
 【内容・方法等】デ・スタイルについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第7回 【授業テーマ】世界の近代デザイン7  
 【内容・方法等】バウハウスについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第8回 【授業テーマ】世界の近代デザイン8  
 【内容・方法等】ポストモダンについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第9回 【授業テーマ】日本の近代デザイン  
 【内容・方法等】工芸から民芸運動に始まる、日本の近代デザインの大きな流れについて解説する。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第10回 【授業テーマ】現代のデザイン1  
 【内容・方法等】企業等から学外講師を招き現代のデザインの現場を解説して頂く。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第11回 【授業テーマ】現代のデザイン2  
 【内容・方法等】企業等から学外講師を招き現代のデザインの現場を解説して頂く。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第12回 【授業テーマ】現代のデザイン3  
 【内容・方法等】企業等から学外講師を招き現代のデザインの現場を解説して頂く。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第13回 【授業テーマ】現代のデザインについてのディスカッション1  
 【内容・方法等】ディスカッション形式で現代的デザインテーマ（サステイナブル/エコロジー/インクルーシブ等）について解説する。これについてディスカッションを行う。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第14回 【授業テーマ】現代のデザインについてのディスカッション2  
 【内容・方法等】ディスカッション形式で現代的デザインテーマ（サステイナブル/エコロジー/インクルーシブ等）について解説する。これについてディスカッションを行う。  
 【事前・事後学習課題】関連する文献を紹介するので読むこと。
  - 第15回 【授業テーマ】まとめ発表  
 【内容・方法等】授業全体のまとめと近・現代デザインに関するレポートの発表を行う。  
 【事前・事後学習課題】事前にプレゼンテーション資料などを準備すること。

評価方法（基準）

レポート（20%）と試験（80%）から総合的に評価する。  
**教材等**  
 教科書…特に指定しない  
 参考書…世界デザイン史（阿部公正著/美術出版社）、カラー版日本デザイン史（竹原あき子・森山明子著/美術出版社）など。加えて適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
 これまでの流れを踏まえて、一緒に身近なプロダクトデザインについて考えてみましょう。

**関連科目**  
 インテリアデザイン演習、設計演習、プロダクトデザイン演習Ⅱ  
**担当者の研究室等**  
 12号館7階 稲地講師室

福祉住環境 Housing Environment for Elderly and Disabled People				
宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 【授業概要・目的】超高齢化社会に向かう日本では、住宅における介護・福祉を充実する方向に向かっていますが、高齢者や障害者が積極的に生活することができる住宅とはいえない住宅も多々あります。そのため、福祉住環境コーディネーターとしての医療・保健・福祉・建築についての幅広い知識を深める講義や演習を行います。【到達目標】福祉住環境コーディネーター3級レベルの基礎知識を身につけることができる。  
 学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**  
 教科書に沿った授業形式型授業とします。講義終了時に授業で学んだ内容の確認テストを行います。

**科目学習の効果（資格）**  
 福祉住環境コーディネーターの検定試験に有用です。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】福祉住環境とは  
 【内容・方法等】住環境デザイン教育の中の位置づけ、福祉住環境あらし、福祉住環境コーディネーター資格について  
 【事前・事後学習課題】———
  - 第2回 【授業テーマ】暮らしやすい生活環境をめざして  
 【内容・方法等】教科書：少子高齢社会と共生社会への道  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第3回 【授業テーマ】暮らしやすい生活環境をめざして  
 【内容・方法等】教科書：福祉住環境整備の重要性・必要性  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第4回 【授業テーマ】暮らしやすい生活環境をめざして  
 【内容・方法等】教科書：在宅生活の維持とケアサービス  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第5回 【授業テーマ】福祉住環境の視点からのキャンパス探索1  
 【内容・方法等】キャンパス内において福祉住環境の視点からの問題点を挙げて対策を考える  
 【事前・事後学習課題】授業で行った演習の目的について考えること。
  - 第6回 【授業テーマ】健康と自立をめざして  
 【内容・方法等】教科書：健康と自立  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第7回 【授業テーマ】健康と自立をめざして  
 【内容・方法等】教科書：障害者が生活の不自由を克服する道  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第8回 【授業テーマ】バリアフリーとユニバーサルデザイン  
 【内容・方法等】教科書：バリアフリーとユニバーサルデザインを考える  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第9回 【授業テーマ】バリアフリーとユニバーサルデザイン  
 【内容・方法等】教科書：生活を支えるさまざまな用具  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第10回 【授業テーマ】福祉住環境の視点からのキャンパス探索2  
 【内容・方法等】キャンパス内において福祉住環境の視点からの問題点を挙げて対策を考える  
 【事前・事後学習課題】授業で行った演習の目的について考えること。
  - 第11回 【授業テーマ】安全・快適な住まい  
 【内容・方法等】教科書：安全・快適な住まいの整備  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。
  - 第12回 【授業テーマ】安心できる住生活とまちづくり  
 【内容・方法等】教科書：ライフスタイルの多様化と住まい  
 【事前・事後学習課題】教科書を用いた復習をすること。

- 第13回 【授業テーマ】 安心できる住生活とまちづくり  
【内容・方法 等】 教科書：安心できる住生活支援  
【事前・事後学習課題】 教科書を用いた復習をすること。
- 第14回 【授業テーマ】 安心できる住生活とまちづくり  
【内容・方法 等】 教科書：安心して暮らせるまちづくり  
【事前・事後学習課題】 教科書を用いた復習をすること。
- 第15回 【授業テーマ】 福祉住環境の視点からのキャンパス探索3  
【内容・方法 等】 キャンパス内において福祉住環境の視点からの問題点を挙げて対策を考える  
【事前・事後学習課題】 授業で行った演習の目的について考えること。

評価方法 (基準)

確認テスト20%、課題レポート20%、期末テスト60%

教材等

教科書…『福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト新版』、東京商工会議所、2500円  
参考書…特に無し。

学生へのメッセージ

福祉住環境コーディネーター検定試験3級の公式テキストを使用して授業を進めますので、単位修得後は検定試験にもチャレンジしてください。

関連科目

住生活学

担当者の研究室等

12号館 7階 宮本准教授室

カラーコーディネート論 Color-Coordination Theory				
岩田 三千子 (イワタ ミチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

色は人々の生活を豊かにし様々な影響を与え、良いデザインのための要件である。講義では色の物理的な性質、色が見える仕組み、色と心理、色と文化など、色についての基礎的な知識や生活の場面で色を生かしたデザインの実例を学ぶ。建築計画や環境計画における色彩デザインに関する基礎的知識を修得し、身の回りの色彩環境についての関心を深めてデザインへの応用につなぐことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

授業方法と留意点

授業中に小テストなどを行って理解度を確かめながら進めていく。毎回の課題の提出を怠らないこと。

科目学習の効果 (資格)

カラーコーディネーター、インテリアプランナー、一級建築士、二級建築士

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 色の性質  
【内容・方法 等】 色の効用とカラーコーディネーション、色が見えるまで  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第2回 【授業テーマ】 色と心理  
【内容・方法 等】 色の連想と象徴、色もたらす心理的效果  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第3回 【授業テーマ】 色を表し、伝える方法1  
【内容・方法 等】 色の表示方法とその特徴  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第4回 【授業テーマ】 色を表し、伝える方法2  
【内容・方法 等】 カラーオーダーシステムによる方法  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第5回 【授業テーマ】 配色と色彩調和1  
【内容・方法 等】 色彩調和の考え方  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第6回 【授業テーマ】 配色と色彩調和2  
【内容・方法 等】 主な色彩調和論と調和の原則、カラーコーディネーション実習  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第7回 【授業テーマ】 光から生まれる色  
【内容・方法 等】 光とは、光が織りなす色彩現象、光源  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第8回 【授業テーマ】 色が見える仕組み1  
【内容・方法 等】 眼および脳の構造とその働き、色覚の多様性  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第9回 【授業テーマ】 色が見える仕組み2  
【内容・方法 等】 色の見えを決める要因  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習
- 第10回 【授業テーマ】 色の測定1  
【内容・方法 等】 色の測定の種類

- 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習  
【授業テーマ】 色の測定2

- 【内容・方法 等】 三原色を使った色表示  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習  
【授業テーマ】 混色と色再現  
【内容・方法 等】 混色の原理、色再現の方法  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習

- 第13回 【授業テーマ】 色と文化1  
【内容・方法 等】 日本の色彩文化  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習

- 第14回 【授業テーマ】 色と文化2  
【内容・方法 等】 絵画における色彩調和のとらえ方、現代の日本における商品色彩の変遷  
【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習

- 【授業テーマ】 色と文化2  
【内容・方法 等】 絵画における色彩調和のとらえ方、現代の日本における商品色彩の変遷

- 【事前・事後学習課題】 教科書の内容に沿った予習復習  
【授業テーマ】 総括

- 【内容・方法 等】 講義のまとめののちテスト  
【事前・事後学習課題】 総復習

評価方法 (基準)

定期試験(筆記)の成績(80%)および演習課題などの平常成績(20%)で総合評価する。

教材等

教科書…カラーコーディネーションの基礎 東京商工会議所  
参考書…適宜プリント等を配布する

学生へのメッセージ

講義には必ず教科書を持参し、自宅でも教科書の内容に沿って、予習復習を心がけてください。

関連科目

色彩論、インテリアデザイン論、住環境工学I

担当者の研究室等

12号館 7階 岩田教授室

近代デザイン史 History of Modern Design				
藤田 治彦 (フジタ ハルヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近代デザインの展開を、おもに住環境や公共空間の形成という観点から、実体的に理解する。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

関連作品の静止画や動画の資料を活用しつつ、講義形式による授業を行う。6回、11回、15回の授業開始時にテストを行う(所要時間10分-60分)。

科目学習の効果 (資格)

近代デザインの歴史を実際の作品や運動を通じて理解し、実践にも役立つ知識と思考力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 産業革命  
【内容・方法 等】 18世紀後半のイギリスにおこった産業革命の近代生活との関係について考察する。  
【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』2-3頁「はじめに」による予習と参考書による復習
- 第2回 【授業テーマ】 エコール・デ・ボザールと折衷主義  
【内容・方法 等】 20世紀の初めまで世界的な影響力をもっていたパリの国立美術学校とその教育について考察する。  
【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』76、77頁(特集)による予習と参考書による復習
- 第3回 【授業テーマ】 ラファエル前派と反アカデミズム  
【内容・方法 等】 芸術におけるアカデミズムへの反動として現れた英国のラファエル前派のアートとデザインについて考察する。  
【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』12頁(エピソード)、20、21頁(特集)による予習と参考書による復習
- 第4回 【授業テーマ】 ジャポニスム  
【内容・方法 等】 19世紀後半の欧米におこったジャポニスム「日本趣味」の概要を説き、そのデザイン史上の意義について考察する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習および参考書による復習
- 第5回 【授業テーマ】 ウィリアム・モリス  
【内容・方法 等】 近代デザインおよび歴史的環境保護運動の先駆者、ウィリアム・モリスについて論じる。  
【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』44、45頁(理想の社会をめざして)による予習と参考書による復習

- 第6回** 【授業テーマ】 アーツ・アンド・クラフツ運動  
 【内容・方法 等】 モリスを先駆とするアーツ・アンド・クラフツ運動とその拡大について論じる。  
 【事前・事後学習課題】 小テストによる1～5回の理解の確認
- 第7回** 【授業テーマ】 アール・ヌーヴォーと分離派  
 【内容・方法 等】 ヴィオレ・ル・デュック、オットー・ヴァーグナーの理論と作品を中心に、アール・ヌーヴォーや分離派など19世紀末から20世紀初頭にかけての動向について考察する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』70-73頁（国際アーツ&クラフツ運動）による予習と参考書による復習
- 第8回** 【授業テーマ】 ルイス・ヘンリー・サリヴァンとフランク・ロイド・ライト  
 【内容・方法 等】 サリヴァンとライトを中心にアメリカの近代建築について論じる。  
 【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』74頁（アメリカ）による予習と参考書による復習
- 第9回** 【授業テーマ】 ル・コルビュジエとバウハウス  
 【内容・方法 等】 ル・コルビュジエとバウハウスを中心に、国際建築運動の形成について考察する。  
 【事前・事後学習課題】 教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』76-77頁（おわりに）による予習と参考書による復習
- 第10回** 【授業テーマ】 アール・デコとその周辺  
 【内容・方法 等】 フランスを中心とする新しい装飾様式アール・デコと、同時代フランスの機能主義的デザインについて考察する。  
 【事前・事後学習課題】 参考書『作家たちのモダニズム』67-64頁（アイリーン・グレイ）教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』12頁（エピソード）、20、21頁（特集）による予習と同書その他の章による復習
- 第11回** 【授業テーマ】 イームズ夫妻  
 【内容・方法 等】 チャールズ・イームズとレイ・イームズによるデザインについて考察する。  
 【事前・事後学習課題】 小テストによる6～10回の理解の確認
- 第12回** 【授業テーマ】 モダンデザインの展開  
 【内容・方法 等】 モダン・デザインの世界的拡大について、フィンランドなど北欧と日本を例に考察する。  
 【事前・事後学習課題】 参考書『作家たちのモダニズム』105-112頁（アルヴァ・アールト）による予習と同書その他の章による復習
- 第13回** 【授業テーマ】 ポストモダニズム  
 【内容・方法 等】 ヴェンチューリ、ジェンクス、クールハース等を中心に、1970年代以降のデザインについて、建築を中心に考察する。  
 【事前・事後学習課題】 ポストモダニズム関係図書による予習と教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』による関係づけ
- 第14回** 【授業テーマ】 テクノロジーと公共性  
 【内容・方法 等】 1980-90年代のフランスを中心に、現代デザインにおける、テクノロジーと公共性の表現の問題について考える。  
 【事前・事後学習課題】 ハイテク（ハイ・テクノロジー）関係図書による予習と教科書『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』による関係づけ
- 第15回** 【授業テーマ】 21世紀のデザインを考える  
 【内容・方法 等】 20世紀末から21世紀初頭にかけてつくられたいくつかのミュージアムやメディアセンターを比較し、21世紀のデザインについて考える。  
 【事前・事後学習課題】 最終テストによる本授業全体ととくに11～14回の理解の確認。
- 評価方法（基準）**  
 定期試験（筆記）の成績（60%）、小テスト成績等の平常成績（40%）で総合評価する。
- 教材等**  
 教科書…藤田治彦『ウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ』東京美術  
 参考書…藤田治彦他『民藝運動と建築』淡交社  
 黒田智子編『作家たちのモダニズム』学芸出版社
- 学生へのメッセージ**  
 生活・環境・産業といったさまざまな側面で、デザインは私たちの生活の重要な部分を形づくっている。そのようなデザイン思想と実践の歴史に興味がある学生を歓迎します。
- 関連科目**  
 建築史
- 担当者の研究室等**  
 12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

## 衣生活概論

Introduction to Clothing Lifestyles

小林 政司 (コバヤシ マサシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

快適な衣生活の実現に必要な知識を身に付けるために、出来るだけ身近な話題から「着用すること」の学問すなわち被服学をベースとする衣生活を総合的に捉えることを主な目的として授業を展開する。

学科の学習・教育目標との対応：[C]

### 授業方法と留意点

衣服は人間の近接環境ととらえることもできる。繊維を主とする衣服の素材から製造、また購入からその利用、手入れとしての洗浄にいたるまでを、主として使う側の立場つまり消費科学的立場から概説する。授業はテキストないしはプリントを用いた講義形式で行う。

### 科目学習の効果（資格）

快適な衣生活を営むための基礎知識の修得  
 生活環境（衣服=の近接環境）学的視野の拡張  
 TES（繊維製品品質管理士）などの資格取得に活かせる知識の修得

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 授業をはじめるにあたって  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 衣生活の様式  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第3回** 【授業テーマ】 アパレル素材（繊維）  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第4回** 【授業テーマ】 アパレル素材（糸、布）  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第5回** 【授業テーマ】 衣服の色彩  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第6回** 【授業テーマ】 染料と染色  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第7回** 【授業テーマ】 アパレル加工  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第8回** 【授業テーマ】 衣服の洗浄  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第9回** 【授業テーマ】 洗剤と界面活性剤  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第10回** 【授業テーマ】 衣服の管理  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第11回** 【授業テーマ】 衣服と生理  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第12回** 【授業テーマ】 アパレル産業  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第13回** 【授業テーマ】 デザインとファッション  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第14回** 【授業テーマ】 最近の研究成果  
 【内容・方法 等】 講義  
 【事前・事後学習課題】 授業の復習
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめとレポート作成  
 【内容・方法 等】 講義・演習  
 【事前・事後学習課題】 これまでの授業の総復習（事前に行うこと）

### 評価方法（基準）

期末試験（筆記）の成績（約70%）および出欠状況等の平常成績（約30%）で総合評価する。

### 教材等

教科書…別途指示する。また適宜プリントを配布。  
 参考書…「ファッションがわかる本」山口恵子・伊佐治せつ子編著、小林政司他著、ブレーン出版（2006）など。別途指示する。

### 学生へのメッセージ

非常勤講師として本学では初めて授業を担当します。よろしくお願いたします。

### 関連科目



住環境デザイン概論  
住生活学Iなど  
**担当者の研究室等**  
本務校：大阪樟蔭女子大学 学芸学部 被服学科  
**備考**  
授業の内容、進度等に関しては、学生の興味、理解度によって調整を行う。

食生活概論 Introduction to Dietary Lifestyles				
曾 根 良 昭 (ソネ ヨシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
この授業では栄養素の消化吸収の基礎を学び自らの食生活を考える力を養います。そのことにより最終的に自らの食生活を自分でデザインする力を得ることが目的となります。  
学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**  
各時間の初めに授業で理解しなくてはいけない重要な点を指摘します。授業中ではその内容を中心に学習します。このことは課題として次の授業時に提出してもらいます。

**科目学習の効果（資格）**  
フードコーディネーター資格試験の科学の内容の一部（食生活、健康）になります

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 食の適応、不適応  
【内容・方法等】 食物を食べて健康に活動することを考える  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第2回 【授業テーマ】 エネルギー源としての食事  
【内容・方法等】 消費エネルギーと摂取エネルギー  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第3回 【授業テーマ】 人類学から見たヒトの食生活  
【内容・方法等】 ヒトの食生活を他の動物と比較すると  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第4回 【授業テーマ】 食の文化と栄養・代謝の国際比較  
【内容・方法等】 人類の食を国際比較してみると  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第5回 【授業テーマ】 消化・吸収への光の影響  
【内容・方法等】 日本の家屋は明るすぎないか？  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第6回 【授業テーマ】 食事に含まれる三大栄養素について  
【内容・方法等】 三大栄養素の化学を理解しよう  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第7回 【授業テーマ】 三大栄養素の消化・吸収  
【内容・方法等】 たんぱく質、脂質、糖質の消化・吸収について  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第8回 【授業テーマ】 肝臓の働きについて  
【内容・方法等】 肝臓での糖代謝、脂質代謝、たんぱく質代謝の理解  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第9回 【授業テーマ】 エネルギー代謝と臓器の働き  
【内容・方法等】 脳、骨格筋、心臓、脂肪組織、腎臓での糖質、脂質、アミノ酸代謝  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第10回 【授業テーマ】 重要な内分泌器官とそのホルモンの働き  
【内容・方法等】 代謝のホルモンによる制御について  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第11回 【授業テーマ】 全身的な糖質、脂質、たんぱく質代謝の調和的理解  
【内容・方法等】 血糖値の一定性について  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第12回 【授業テーマ】 朝食による糖質代謝の変化  
【内容・方法等】 朝食を食べる意味 1  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
  - 第13回 【授業テーマ】 朝食前後の脂質代謝とタンパク質代謝の変化

- 【内容・方法等】 朝食を食べる意味 2  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
- 第14回 【授業テーマ】 全身的な糖質、脂質、たんぱく質代謝の調和的理解  
【内容・方法等】 食事の調和的相関  
【事前・事後学習課題】 授業の中で事前・事後学習課題は指示する。
- 第15回 【授業テーマ】 自分の食生活について  
【内容・方法等】 私の食事の紹介とその自己評価  
【事前・事後学習課題】 これまでの授業内容を復習しておくこと

**評価方法（基準）**  
毎授業の宿題 - 次の授業に提出 - 2点 x 15 = 30点  
(最終15日目での自分の食事の発表を含む)  
最後の試験 (毎日の宿題から出題) = 70点  
合計 100点

**教材等**  
教科書…ありません  
参考書…授業中に指示する  
**担当者の研究室等**  
12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

インテリアデザイン論 Theory of Interior Design				
川 上 比 奈 子 (カワカミ ヒナコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
インテリアと建築を切り離して考えるのではなく、住環境の中で、衣服の次に身体に近い建築空間としてインテリアを捉える。多様で複雑な現代の諸問題を解決し、生活をより豊かにするためには、どのような空間デザインがありうるかを提案するための基礎知識を獲得することを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[E]

**授業方法と留意点**  
毎回、スライドおよび動画を用いて、講義する。興味をもった点について、スケッチや言葉で記録を取っていくこと。

**科目学習の効果（資格）**  
インテリアコーディネーター 2級建築士 1級建築士 福祉住環境コーディネーター 商業施設士

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 インテリアデザイン論の概要  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな空間体験と記録（スケッチ、メモ、実測）
  - 第2回 【授業テーマ】 インテリアエレメントについて  
【内容・方法等】 インテリアエレメントの概要  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな空間体験と記録（スケッチ、メモ、実測）
  - 第3回 【授業テーマ】 インテリアエレメント 床・壁・天井  
【内容・方法等】 インテリアエレメント 床・壁・天井について、プリント、映像によって講義  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな空間体験と記録（スケッチ、メモ、実測）
  - 第4回 【授業テーマ】 インテリアエレメント 開口部・巾木・回り縁・階段  
【内容・方法等】 インテリアエレメント 開口部・巾木・回り縁・階段について、プリント、映像によって講義  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな空間体験と記録（スケッチ、メモ、実測）
  - 第5回 【授業テーマ】 インテリアエレメント 家具  
【内容・方法等】 インテリアエレメント 家具について、プリント、映像によって講義  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな家具に座ることと記録（スケッチ、メモ、実測）
  - 第6回 【授業テーマ】 インテリアエレメント 照明  
【内容・方法等】 インテリアエレメント 照明について、プリント、映像によって講義  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな照明空間を体験することと記録（スケッチ、メモ、実測）
  - 第7回 【授業テーマ】 現代のインテリア・建築デザイン 海外のデザイナー  
【内容・方法等】 海外のインテリア・建築デザイナーについて、プリント、映像によって講義  
【事前・事後学習課題】 ささまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
  - 第8回 【授業テーマ】 現代のインテリア・建築デザイン 日本のデ

デザイナー

- 【内容・方法 等】 日本のインテリア・建築デザイナーについて、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ、実測）
- 第9回 【授業テーマ】 近代のインテリア・建築デザイン 海外のデザイナー 西欧
- 【内容・方法 等】 近代のインテリア・建築デザイナーについて、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
- 第10回 【授業テーマ】 近代のインテリア・建築デザイン 海外のデザイナー 北欧
- 【内容・方法 等】 近代のインテリア・建築デザイナーについて、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
- 第11回 【授業テーマ】 近代のインテリア・建築デザイン 日本のデザイナー
- 【内容・方法 等】 近代のインテリア・建築デザイナーについて、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
- 第12回 【授業テーマ】 インテリア計画とデザインのプロセス
- 【内容・方法 等】 インテリア計画とデザインのプロセスについて、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
- 第13回 【授業テーマ】 インテリア計画と工法のプロセス
- 【内容・方法 等】 インテリア計画と工法のプロセスについて、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
- 第14回 【授業テーマ】 インテリア・建築デザインと表現方法
- 【内容・方法 等】 インテリア・建築デザインと表現方法について、プリント、映像によって講義
- 【事前・事後学習課題】 さまざまな文献調査と記録（スケッチ、メモ）
- 第15回 【授業テーマ】 まとめと試験
- 【内容・方法 等】 これまでの講義のまとめおよび試験
- 【事前・事後学習課題】 授業内容をよく復習しておくこと

評価方法（基準）

毎回の提出物30% 受講態度 20% 試験 50%

教材等

教科書…プリント配布  
参考書…毎回の授業で紹介する

学生へのメッセージ

インテリアデザインに関する基礎知識を獲得する最良の方法は、実際の空間デザインを体験しておくことです。日頃から、商業施設、公共施設、住宅など、自発的にさまざまな空間の体験を心がけてください。

関連科目

インテリアデザイン演習 設計演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

担当者の研究室等

12号館7階 川上教授室

地域計画学 Regional Planning				
平田陽子(ヒラタ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

私たちは、地域やまちとの関わりの中で生活しており、地域計画は、私たちにとって身近なテーマの一つである。この講義は、生活者の視点で地域の計画を考えていくことを目的とする。駅前商店街や地域の公園、災害時を見とおした防災計画づくりやコミュニティ形成などを、まちづくり・地域づくりの視点で捉え直して欲しい。出来るだけ、学生の皆さんの身近な事例を取り上げることで、まちづくりに興味・関心を持って勉強してもらいたいと考えている。

学科の学習・教育目標との対応：[E]

授業方法と留意点

資料とパワーポイントを用いた講義とする。講義テーマの理解を深めるための小テストを毎回課す予定である。

科目学習の効果（資格）

一級建築士・二級建築士・木造建築士など

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス、地域計画とは

- 【内容・方法 等】 地域生活区間、中間領域
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 【授業テーマ】 景観まちづくり
- 【内容・方法 等】 都市景観、保全計画、建築協定、街並み形成
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第2回 【授業テーマ】 景観まちづくり
- 【内容・方法 等】 都市景観、保全計画、建築協定、街並み形成
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第3回 【授業テーマ】 地域資源とまちづくり
- 【内容・方法 等】 ナショナルトラスト、ピオトープ、伝建地区、登録文化財
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第4回 【授業テーマ】 防災とまちづくり
- 【内容・方法 等】 都市と災害、防災生活圏、減災、共同建て替え
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第5回 【授業テーマ】 交通と福祉のまちづくり
- 【内容・方法 等】 都市交通、バリアフリー、タウンモビリティ、コンパクトシティ
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第6回 【授業テーマ】 土地利用計画（1）
- 【内容・方法 等】 土地利用計画、用途地域、市街化区域、開発許可
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第7回 【授業テーマ】 土地利用計画（2）
- 【内容・方法 等】 地区計画、計画要件、立案プロセス、HOP E計画、街並みガイドライン
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う。中間テストの準備を行うこと。
- 第8回 【授業テーマ】 これまでのまとめと中間テスト
- 【内容・方法 等】 これまでの講義のまとめと中間テスト
- 【事前・事後学習課題】 特になし
- 第9回 【授業テーマ】 市街地開発事業
- 【内容・方法 等】 土地区画整理事業、換地、等価交換、再開発
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第10回 【授業テーマ】 都市施設の計画
- 【内容・方法 等】 都市施設、風致地区、生産緑地、総合公園
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第11回 【授業テーマ】 都市計画法とマスタープラン
- 【内容・方法 等】 都市計画法、都市計画の内容と手続き、マスタープラン
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第12回 【授業テーマ】 地域計画の歴史（1）
- 【内容・方法 等】 計画の思想、西欧と非西欧の都市、都市の形態と機能
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第13回 【授業テーマ】 地域計画の歴史（2）
- 【内容・方法 等】 近代都市計画、田園都市、近隣住区理論
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第14回 【授業テーマ】 地域計画の歴史（3）
- 【内容・方法 等】 日本における近代都市計画、まちづくりの仕組み
- 【事前・事後学習課題】 授業終了時にチェックテストを行う
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
- 【内容・方法 等】 まとめと講義とテスト
- 【事前・事後学習課題】 これまでの講義内容を復習しておくこと

評価方法（基準）

平常点（30%）、中間試験（30%）、まとめの試験（40%）の割合で、総合的に評価します。

教材等

教科書…プリント資料を配布します  
参考書…協田祥尚「みんなの都市計画」(理工学社) 3000円  
伊藤雅春「都市計画とまちづくりがわかる本」(彰国社) 2400円

学生へのメッセージ

講義の中では、身近なまちづくりの事例紹介をしてもらう時間を設け、問題点の整理や課題の抽出をおこなっていきます。

関連科目

住生活学Ⅰ、住生活学Ⅱ、住環境管理学

担当者の研究室等

12号館7階 平田教授室

宅地建物取引概論 Introduction to Real Estate Transaction				
南村幸児(ナムラ コウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

宅地や建物は、我々の生活に欠かせない身近なものであるにも

関わらず、それらを取り巻く権利関係、法律等は複雑かつ難解である。本科目では、宅地及び建物の取引に関する法律、特に民法、不動産登記法、宅地建物取引業法などの法律を取り上げ、実社会における取引及びその関係法律についての基本的知識を習得することを目的とする。宅地建物取引の基礎を理解すれば、不動産業界や金融機関等でその知識を活かすことができる。

**授業方法と留意点**

各回の授業では、前半を講義形式、後半を受講生による発表の形式で行うことを原則とする。講義は教科書を中心に進行し必要があればプリントを配布する。教科書以外に六法（後記参考書のほか携帯用の小さい六法であれば何でも可）を持参することが望ましい。

**科目学習の効果（資格）**

宅地建物取引主任者試験における必要最低限の知識を習得することができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 不動産を取り巻く法制度  
**【内容・方法 等】** 民法、不動産登記法、建築基準法、都市計画法その他の概要  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、教科書について目次を中心に目を通しておくこと
- 第2回 **【授業テーマ】** 民法（基本原則）  
**【内容・方法 等】** 私的自治の原則、所有権絶対の原則、過失責任の原則  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第3回 **【授業テーマ】** 民法（権利の主体、権利の客体）  
**【内容・方法 等】** 権利能力、意思能力、行為能力、物の意義及び分類  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第4回 **【授業テーマ】** 民法（法律行為）  
**【内容・方法 等】** 意思表示、意思の欠缺、瑕疵ある意思表示  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第5回 **【授業テーマ】** 民法（代理）  
**【内容・方法 等】** 代理の意義、無権代理、表見代理  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること  
終了時に小テストを行う
- 第6回 **【授業テーマ】** 民法（物権法定主義、物権の種類）  
**【内容・方法 等】** 所有権、用益物権、担保物権、物権の公示  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第7回 **【授業テーマ】** 民法（抵当権）  
**【内容・方法 等】** 被担保債権と抵当権、根抵当権  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第8回 **【授業テーマ】** 民法（契約総論）  
**【内容・方法 等】** 契約の成立、債務不履行、解除  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第9回 **【授業テーマ】** 民法（売買契約、賃貸借契約）  
**【内容・方法 等】** 売買契約の特徴、瑕疵担保責任、賃貸借契約の特徴、借地借家法  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第10回 **【授業テーマ】** 民法（相続）  
**【内容・方法 等】** 相続とは、相続人と相続分、遺産分割、遺言  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること  
終了時に小テストを行う
- 第11回 **【授業テーマ】** 不動産登記法  
**【内容・方法 等】** 不動産登記制度の意義、登記の種類  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第12回 **【授業テーマ】** 宅地建物取引業法（概要）  
**【内容・方法 等】** 宅地建物取引業とは、営業保証金制度  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第13回 **【授業テーマ】** 宅地建物取引業法（業務及び監督）  
**【内容・方法 等】** 業務の処理上守るべき具体的事項、行政庁の監督及び処分  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第14回 **【授業テーマ】** 法令上の制限  
**【内容・方法 等】** 国土利用計画法、都市計画法、建築基準法、農地法等  
**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること
- 第15回 **【授業テーマ】** 宅地建物に関する税金  
**【内容・方法 等】** 贈与税、相続税、不動産取得税、固定資産税等

**【事前・事後学習課題】** 前回終了時に与えた課題を事前に準備すること  
終了時に小テストを行う

**評価方法（基準）**

定期試験60%、小テスト・発表等の平常点40%で総合的に評価する。

**教材等**

**教科書**…不動産取引研究会編著「平成25年版 宅地建物取引の知識」住宅新報社（3,200円＋税）  
**参考書**…「新六法」三省堂（1,700円）

**学生へのメッセージ**

不動産を取り巻く様々な法律を知れば、今後の社会生活において大きな財産となります。受け身ではなく、積極的に受講してください。

**関連科目**

法学入門、住環境管理学

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

**マンション管理学**  
Condominium Management

平田陽子（ヒラタ ヨウコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

住宅の中に占めるマンションの割合は増加している。それらを適切に維持管理し、建物の資産価値とともに居住性を向上させることは、重要な課題である。マンションは、その所有形態の複雑さから特別な管理方法が必要である。マンションの所有と管理方法、それを取り巻く法制度について学び、比較をする意味で賃貸住宅管理の事例についても学ぶ。学科の学習・教育目標との対応：[E]

**授業方法と留意点**

プリント資料とパワーポイントを用いた講義とする。授業の中ほどで、中間テストを行う予定である。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士、二級建築士、マンション管理士

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 授業のガイダンス、なぜマンション管理を学ぶのか  
**【内容・方法 等】** 日本におけるマンションの現状、マンション管理を学ぶ意義  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第2回 **【授業テーマ】** マンションとは何か  
**【内容・方法 等】** マンションの定義と歴史  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第3回 **【授業テーマ】** マンションの所有の仕組み  
**【内容・方法 等】** 区分所有、区分所有法  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第4回 **【授業テーマ】** マンション管理と管理組合  
**【内容・方法 等】** 管理組合、分譲会社の役割、管理組合の役割と管理システム  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第5回 **【授業テーマ】** 管理組合の運営（1）  
**【内容・方法 等】** 規約、集会  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第6回 **【授業テーマ】** 管理組合の運営（2）  
**【内容・方法 等】** 理事会と理事、管理者  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第7回 **【授業テーマ】** 管理組合の運営（3）  
**【内容・方法 等】** 管理会社、管理組合法人、管理費・修繕積立金  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第8回 **【授業テーマ】** これまでの講義のまとめ  
**【内容・方法 等】** これまでの講義のまとめと中間テスト  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第9回 **【授業テーマ】** マンションの修繕、維持管理  
**【内容・方法 等】** 計画修繕、大規模修繕の進め方  
**【事前・事後学習課題】** 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第10回 **【授業テーマ】** マンションの建て替え

- 【内容・方法等】 合意形成、マンション建て替え円滑化法  
【事前・事後学習課題】 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第11回 【授業テーマ】 マンションの生活管理  
【内容・方法等】 借家人の管理責任、マンションにおけるコミュニティ  
【事前・事後学習課題】 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第12回 【授業テーマ】 マンションをめぐる問題と行政の対応  
【内容・方法等】 マンション管理適正化法、管理標準指針、みらいネット  
【事前・事後学習課題】 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第13回 【授業テーマ】 賃貸住宅の管理（1）  
【内容・方法等】 賃貸住宅の管理とは？  
【事前・事後学習課題】 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第14回 【授業テーマ】 賃貸住宅の管理（2）  
【内容・方法等】 原状回復などのトラブルと解決方法  
【事前・事後学習課題】 授業終了時に簡単なチェックテストを行う
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 まとめの講義とテスト  
【事前・事後学習課題】 これまでの講義内容を復習しておくこと
- 評価方法（基準）  
平常点30%、中間テスト30%、まとめのテスト40%程度で、総合的に評価する。
- 教材等  
教科書…適宜、プリントを配布する  
参考書…斎藤広子著「不動産学部で学ぶマンション管理学入門」
- 学生へのメッセージ  
授業のほかにも、身近にあるマンションを見学したり、管理の実際の話を書くことで、マンション管理への関心が高まり、理解が深まると思います。
- 関連科目  
住生活学Ⅰ、住環境管理学、地域計画学
- 担当者の研究室等  
12号館7階 平田教授室

### 造形演習

Exercises in Formative Art and Design

稲地 秀 介 (イナチ シュウスケ)  
北野 正 治 (キタノ マサハル)  
浅見 雅 之 (アサミ マサユキ)  
三宅 砂 織 (ミヤケ サオリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

#### 授業概要・目的・到達目標

平面と立体の3つの基礎課題を通して、ものづくりに進むための基礎的な造形力・表現力を養うことを目的とする。平面基礎：鉛筆デッサンによる表現課題を通して基礎的な観察力、立体把握力、表現力を養う。立体基礎：加工の容易な素材を使った立体構成物の製作課題を通して基礎的な工作力、発想力、立体構成力、表現力を養う。最後に作品を展示し、講評会を行う。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]

#### 授業方法と留意点

屋内外において個人製作課題とグループ製作課題に取り組む。課題の製作必要時間には個人差があり、必ずしも授業時間内に収まらない場合がある。不足分は授業外での自主的作業によって各自が補うこととする。クロッキー帳や鉛筆などの画材、カッターなどの工具は各自が授業内容および課題の進み具合から判断して、持参することとする。

#### 科目学習の効果（資格）

空間設計・プロダクト設計をする上で必要となる基礎的なデザイン能力を養える。

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション  
【内容・方法等】 授業の内容と進め方について説明および担当する非常勤講師の紹介を行う。クロッキー帳と鉛筆を持参すること。  
【事前・事後学習課題】 各課題に必要な画材や用具を準備すること。
- 第2回 【授業テーマ】 デッサン1：観察と描写  
【内容・方法等】 紙袋などをモチーフとして、デッサンの最も重要な要素である「観察」と「描写」について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。

- 第3回 【授業テーマ】 デッサン2：基礎形体  
【内容・方法等】 レンガ（直方体）とコップ（円柱）など比較的簡単な形の物をモチーフとして、物の形を捉え方・描き方について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第4回 【授業テーマ】 デッサン3：空間表現  
【内容・方法等】 複数の物で構成したモチーフを描くことを通して、手前と奥など空間的な関係の描き方について学ぶ。このテーマは2週連続で1つの課題を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第5回 【授業テーマ】 デッサン4：空間表現  
【内容・方法等】 複数の物で構成したモチーフを描くことを通して、手前と奥など空間的な関係の描き方について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第6回 【授業テーマ】 風から生まれる形1  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、風を受けて形を変化させたり、動いたりするオブジェであるモビールの制作を行う。このテーマは4週連続で1つの課題制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第7回 【授業テーマ】 風から生まれる形2  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、風を受けて形を変化させたり、動いたりするオブジェであるモビールの制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第8回 【授業テーマ】 風から生まれる形3  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、風を受けて形を変化させたり、動いたりするオブジェであるモビールの制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第9回 【授業テーマ】 風から生まれる形4  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、風を受けて形を変化させたり、動いたりするオブジェであるモビールの制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第10回 【授業テーマ】 光から生まれる形1  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、光源を様々な形の素材で覆い、光と影に豊かな表情を与えるシェードの制作を行う。このテーマは4週連続で1つの課題制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第11回 【授業テーマ】 光から生まれる形2  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、光源を様々な形の素材で覆い、光と影に豊かな表情を与えるシェードの制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第12回 【授業テーマ】 光から生まれる形3  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、光源を様々な形の素材で覆い、光と影に豊かな表情を与えるシェードの制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第13回 【授業テーマ】 光から生まれる形4  
【内容・方法等】 環境と呼応する造形課題として、光源を様々な形の素材で覆い、光と影に豊かな表情を与えるシェードの制作を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第14回 【授業テーマ】 講評会展示準備  
【内容・方法等】 講評会の為の展示準備を行う。  
【事前・事後学習課題】 課題を進める上で参考となる資料などを収集すること。
- 第15回 【授業テーマ】 講評会  
【内容・方法等】 作品の講評を行う。  
【事前・事後学習課題】 事前にプレゼンテーション資料などを準備すること。

#### 評価方法（基準）

製作過程における評価50%、完成作品評価50%

#### 教材等

教科書…特になし  
参考書…適宜紹介する。

#### 学生へのメッセージ

ものづくりに進むための基礎的な造形力・表現力を養うという意味で大変重要な演習と考えます。積極的な姿勢で演習に臨んで下さい。

**関連科目**

インテリアデザイン演習、設計演習、プロダクトデザイン演習  
**担当者の研究室等**  
 12号館 7階 稲地講師室

基礎設計演習 Exercises in Basic Architectural Planning and Drawing				
			平田陽子 (ヒラタ ヨウコ)	
			森山正和 (モリヤマ マサカズ)	
			杉山茂一 (スギヤマ シゲカズ)	
			市川裕子 (イチカワ ユウコ)	
			円満字洋介 (エンマンジ ヨウスケ)	
			田所克庸 (タシヨ カツノブ)	
			前川治彦 (マエガワ ハルヒコ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 様々な課題を通して住環境デザインの基礎的な考え方、図面表現、立体表現の基礎技術を習得する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**  
 製図室における演習、全体の講義、グループごとの説明、個人に対するアドバイスが適宜、行われます。授業時には必要な製図用具、画材を必ず準備して臨んでください。提出日時は時間厳守です。作業の進行状況によって授業終了後も引き続き各自で課題に取り組んでもらうことがあります。

**科目学習の効果（資格）**  
 設計製図の基礎を身につける。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス及びスケッチパースⅠ  
 【内容・方法等】 演習系科目のプログラム及び基礎設計演習で学ぶことについて説明。スケッチパースの描き方についての説明。  
 【事前・事後学習課題】 配布された図面をよく見ておくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 スケッチ・パースⅡ  
 【内容・方法等】 建築図面をもとに透視図を描く。  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第3回 【授業テーマ】 スケッチ・パースⅢ；  
 【内容・方法等】 スケッチパースの製作、提出及び講評  
 【事前・事後学習課題】 提出時間を守るように前もって作業スケジュールを考えておく。
- 第4回 【授業テーマ】 RC造住宅図面の模写Ⅰ  
 【内容・方法等】 建築図面における線の描き方の練習  
 【事前・事後学習課題】 配布された図面をよく見ておくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 RC造住宅図面の模写Ⅱ  
 【内容・方法等】 平面、断面、立面図の模写  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第6回 【授業テーマ】 RC造住宅図面の模写Ⅲ及び木造住宅図面の模写Ⅰ  
 【内容・方法等】 RC造住宅図面の模写、提出、講評。木造住宅図面模写についての説明。  
 【事前・事後学習課題】 提出時間を守るように前もって作業スケジュールを考えておく。配布された図面をよく見ておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 木造住宅図面の模写Ⅱ  
 【内容・方法等】 平面図の模写。(題材を3つとしそれぞれグループに分かれて作業)  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第8回 【授業テーマ】 木造住宅図面の模写Ⅲ  
 【内容・方法等】 断面・立面図の模写  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第9回 【授業テーマ】 木造住宅図面の模写Ⅳ及び木造住宅の模型製作Ⅰ  
 【内容・方法等】 配置図の模写、製作物の提出、講評。図面模写した住宅の模型を製作。対象作品の写真紹介。模型の作り方についての説明。  
 【事前・事後学習課題】 提出時間を守るように前もって作業スケジュールを考えておく。配布された図面をよく見ておくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 木造住宅の模型製作Ⅱ  
 【内容・方法等】 模型製作  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第11回 【授業テーマ】 木造住宅の模型製作Ⅲ  
 【内容・方法等】 同上  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第12回 【授業テーマ】 木造住宅の模型製作Ⅳ  
 【内容・方法等】 同上

- 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第13回 【授業テーマ】 木造住宅の模型製作Ⅴ及び構造模型の製作Ⅰ  
 【内容・方法等】 木造住宅模型の製作、提出、講評。構造模型の作り方の説明。  
 【事前・事後学習課題】 提出時間を守るように前もって作業スケジュールを考えておく。配布された図面をよく見ておくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 構造模型の製作Ⅱ；  
 【内容・方法等】 模型製作  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第15回 【授業テーマ】 構造模型の製作Ⅲ；  
 【内容・方法等】 模型製作、提出、講評  
 【事前・事後学習課題】 提出日時の厳守

**評価方法（基準）**  
 提出物を中心に（80%）、毎回の受講態度（20%）を加味して評価。

**教材等**  
 教科書…プリント配布  
 参考書…授業中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
 住環境の設計を学ぶスタートです。基本ルール等をしっかりと学び、以後の設計演習の表現に応用できるように心がけてください。

**関連科目**  
 造形演習、図形科学、設計演習

**担当者の研究室等**  
 12号館 7階 平田教授室、同 森山教授室、同 杉山教授室  
 12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

設計演習Ⅰ Exercises in Architectural Planning and Drawing I				
			榊愛 (サカキ アイ)	
			川上比奈子 (カワカミ ヒナコ)	
			杉山茂一 (スギヤマ シゲカズ)	
			岩田三千子 (イワタ ミチコ)	
			宮本征一 (ミヤモト セイイチ)	
			吉本剛 (ヨシモト ゴウ)	
			今井俊夫 (イマイ トシオ)	
			市川裕子 (イチカワ ユウコ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 基礎設計演習に続いて図面による建築表現を学ぶ。次いで、個人の空間、展示空間といった小規模でシンプルな空間の設計課題に取り組む。家具、展示物などから設計の手がかりをつかみ、空間をつくっていく方法を習得する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**  
 少人数ごとに教員の指導を受け、図面、模型などをとおして提案する。課題に関連する講義および図面、模型などを制作する実習。毎回のエスキースチェックを重視する。授業時間の延長がありうる。とくに講評会では設計の主旨、内容を分かりやすく説明できるように留意してほしい。

**科目学習の効果（資格）**  
 一級建築士試験を受験するには必要不可欠な科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス及び詳細図模写の課題説明  
 【内容・方法等】 設計演習Ⅰの目標、授業の進め方などについて説明する。  
 模写の対象建築物について説明する。  
 【事前・事後学習課題】 配布された図面をよく見ておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 詳細図の理解と製図法の修得  
 【内容・方法等】 詳細図の模写  
 【事前・事後学習課題】 授業終了後も作業を続けることがある。
- 第3回 【授業テーマ】 同上  
 【内容・方法等】 同上  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第4回 【授業テーマ】 同上  
 【内容・方法等】 同上  
 【事前・事後学習課題】 同上
- 第5回 【授業テーマ】 同上  
 【内容・方法等】 同上  
 【事前・事後学習課題】 提出時間を守るように前もって作業スケジュールを考えておく。
- 第6回 【授業テーマ】 住宅の設計  
 【内容・方法等】 課題説明  
 【事前・事後学習課題】 課題に関連する資料の収集

- 第7回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 同上  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第9回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 同上  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第10回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 中間提出とグループごとの講評  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて発表できるようにしておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 同上  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第13回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 同上  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第14回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 作品提出  
【事前・事後学習課題】 作品提出日時の厳守
- 第15回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 講評会  
【事前・事後学習課題】 作品について説明できるように準備しておくこと

評価方法 (基準)

提出物60%、講評会での発表20%、毎回の実習態度20%

教材等

教科書…プリント配布  
参考書…授業中に適宜紹介する

学生へのメッセージ

毎回のエスキースチェックの準備を心がけてください  
講評会は外来講師を交えたフォーマルなものです。その意識で臨んでください。

関連科目

設計演習、プロダクトデザイン演習、インテリアデザイン演習など

担当者の研究室等

12号館 7階 杉山教室、岩田教室、川上教室、宮本准教室、榎講師室  
12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

プロダクトデザイン演習 I Exercises in Product Design I				
		稲地 秀介 (イナチ シュウスケ)		
		森山 正和 (モリヤマ マサカズ)		
		鹿間 栄吉 (シカマ エイキチ)		
		大野 亜紀 (オオノ アキ)		
		竹林 英樹 (タケバヤシ ヒデキ)		
		山田 祐三 (ヤマダ ユウゾウ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この演習は、これまで個別に学習した様々な基礎的な知識を具体的な実践課題を通して総合化することを目的としている。ここでは2つのプログラムを用意している。ひとつは (A)家具などヒューマンスケールのプロダクトを製作するデザイン志向の学生を対象とするプログラム。もうひとつは (B)都市及び建築の環境配慮、エコ技術デザインをテーマとする環境工学志向の学生を対象とするプログラムである。  
各々の到達目標は次の通りである。(A)木のプロダクト製作を通して、材料の特性を活かした機能や造形、加工法などプロダクトデザインにおける基礎的なデザイン能力を獲得する。(B)環境配慮 (主に、パッシブ・デザイン) を理解し、建築設計に応用できる基礎的能力と、都市気候 (主に、ヒートアイランド対策) を理解し、まちづくりに応用する基礎的能力を獲得する。  
学科の学習・教育目標との対応 : [F]

授業方法と留意点

(A)木を材料としたミニオブジェ製作 (設計・加工) から木材料の特性を体験を通して理解するとともに基礎的な設計・製図を学ぶ。次に、簡単な椅子などの自分達の身体寸法にあった木工

家具の製作を行う。定員は30人程度 (最大) とする。製作材料などの費用がかかる。安全指示に従い、正しい服装や態度などを保つことが求められる。指示に従わない場合は、安全確保のため受講中止することがある。  
(B)環境配慮型建築設計演習を7週、クリマアトラスを踏まえたエコまちづくり提案を5週、学生広場の熱環境計画を3週、行う。グループワークを基本とし、1グループは4~5人、合計4グループ、定員は20人程度 (最大) とする。学外講師による特別講演を行うことがある。現地見学や長時間を要するスタディは土曜日にも行うことがある。現地見学の際の交通費、及び模型を作成する場合には、その費用がかかる。

科目学習の効果 (資格)

一級建築士、インテリアプランナー、インテリアコーディネーター、建築設備士、など。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 (A)ガイダンス  
(B)ガイダンス  
【内容・方法 等】 (A)目的、演習概要説明  
(B)目的、演習課題説明  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 (A)レクチャー  
(B)レクチャー  
【内容・方法 等】 (A)目的、演習概要説明  
(B)目的、演習課題説明  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製図1  
(B)環境配慮型建築設計(2a)  
【内容・方法 等】 (A)製図  
(B)エコ技術メニューのレクチャ  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製図2  
(B)環境配慮型建築設計(2b)  
【内容・方法 等】 (A)製図  
(B)エコ技術メニューのレクチャ  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製図3  
(B)環境配慮型建築設計(3a)  
【内容・方法 等】 (A)製図  
(B)発表準備、発表会  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製作1  
(B)環境配慮型建築設計(3b)  
【内容・方法 等】 (A)図面から加工行程へ  
(B)発表準備、発表会  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製作2  
(B)環境配慮型建築設計(4a)  
【内容・方法 等】 (A)図面から加工行程へ  
(B)現地見学会：資料収集  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製作3  
(B)環境配慮型建築設計(4b)  
【内容・方法 等】 (A)加工行程  
(B)現地見学会：資料収集  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製作4  
(B)環境配慮型建築設計(5a)  
【内容・方法 等】 (A)加工工程から仕上行程へ  
(B)エコ技術メニューの追加レクチャとスタディ  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 (A)ミニオブジェ製作5  
(B)環境配慮型建築設計(5b)  
【内容・方法 等】 (A)仕上行程  
(B)エコ技術メニューの追加レクチャとスタディ  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 (A)木工家具レクチャー1  
(B)環境配慮型建築設計(6a)  
【内容・方法 等】 (A)ミニオブジェ作品の講評、木の特性とデザインについて  
(B)スタディ 資料解説、素案作成、グループ討論  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 (A)木工家具レクチャー2  
(B)環境配慮型建築設計(6b)  
【内容・方法 等】 (A)デザインと加工について  
(B)スタディ 資料解説、素案作成、グループ討論  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 (A)木工家具デザイン1  
(B)環境配慮型建築設計(7a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具デザイン作業  
(B)発表準備、発表会  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 (A)木工家具デザイン2  
(B)環境配慮型建築設計(7b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具デザイン作業

- (B)発表準備、発表会
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具製図1  
(B) 環境配慮型まちづくり計画 (1a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具製図作業  
(B)目的、演習概要説明
- 第16回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具製図2  
(B) 環境配慮型まちづくり計画(1b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具製図作業  
(B)目的、演習概要説明
- 第17回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具製図3  
(B)環境配慮型まちづくり計画(2a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具製図作業  
(B)現地見学会：現地において踏査、資料収集
- 第18回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具製図4  
(B)環境配慮型まちづくり計画(2b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具製図作業  
(B)現地見学会：現地において踏査・資料収集
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工1  
(B)環境配慮型まちづくり計画(3a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)レクチャとスタディ：ヒートアイランド対策技術メニュー、資料解説
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工2  
(B)環境配慮型まちづくり計画(3b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)レクチャとスタディ：ヒートアイランド対策技術メニュー、資料解説
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工3  
(B)環境配慮型まちづくり計画(4a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)スタディ：素案作成、グループ討論、発表準備
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工4  
(B)環境配慮型まちづくり計画(4b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)スタディ：素案作成、グループ討論、発表準備
- 第23回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工5  
(B)環境配慮型まちづくり計画(5a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)「環境配慮型まちづくり計画」の発表会
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工6  
(B)環境配慮型まちづくり計画(5b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)「学生広場の熱環境計画」の課題説明
- 第25回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具加工7  
(B)学生広場の熱環境計画(1a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具加工行程  
(B)レクチャと実習：温熱環境指標の測定、又は放射カメラによる表面温度測定、学生広場のスタディ
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具組立と仕上1  
(B)学生広場の熱環境計画(1b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具組立と仕上行程  
(B)レクチャと実習：温熱環境指標の測定、又は放射カメラによる表面温度測定、学生広場のスタディ
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具組立と仕上2  
(B)学生広場の熱環境計画(2a)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具組立と仕上行程  
(B)レクチャと実習：温熱環境指標の測定、又は放射カメラによる表面温度測定、学生広場のスタディ
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)木工家具組立と仕上3  
(B)学生広場の熱環境計画(2b)  
【内容・方法 等】 (A)木工家具組立と仕上行程  
(B)レクチャと実習：温熱環境指標の測定、又は放射カメラによる表面温度測定、学生広場のスタディ
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 (A)講評会1  
(B)学生広場の熱環境計画(3a)  
【内容・方法 等】 (A)講評会を行う  
(B)発表準備、グループ討論  
【事前・事後学習課題】 (A)作品を完成させておくこと  
(B)作品を完成させておくこと

- 第30回** 【授業テーマ】 (A)講評会2  
(B)学生広場の熱環境計画(3b)
- 評価方法 (基準)**  
(A) 制作過程における評価50%、完成作品評価50%  
(B) 制作過程における評価50%、完成作品評価50%
- 教材等**  
教科書…適宜指示する。  
参考書…適宜指示する。
- 学生へのメッセージ**  
(A)家具店やショールームで実物を見て、かたちや仕組みを理解するなど、日常的にプロダクトデザインを意識して演習に臨むようにして下さい。  
(B) 意欲的な学生を求めます。緑、風、光、音、水などの自然環境要素が調和している環境を見出しよく観察して、その環境の良さを日頃から考えて下さい。それを計画に活かすことを期待しています。
- 関連科目**  
(A) 人間工学入門、プロダクトデザイン論、プロダクトデザイン演習Ⅱ  
(B) 住環境工学Ⅰ・Ⅱ、住環境設備
- 担当者の研究室等**  
(A) 12号館7階 稲地講師室  
(B) 12号館7階 森山教授室
- 備考**  
(A) 製作に使用する材料などの購入費用がかかる。木加工は大変危険であるため、服装や行動には注意が必要である。安全指示に背き、受講を続けることが危険と判断される場合には、演習途中でも受講中断することがある。  
(B) 現地見学は土曜日に行うことがある。現地見学の際の交通費、及び模型を作成する場合には、その費用がかかる。

**設計演習II**  
Exercises in Architectural Planning and Drawing II

	川 上 比 奈 子 (カワカミ ヒナコ)
	杉 山 茂 一 (スギヤマ シゲカズ)
	宮 本 征 一 (ミヤモト セイチ)
	白 須 寛 規 (シラス ヒロノリ)
	赤 木 隆 (アカギ タカシ)
	中 山 大 介 (ナカヤマ タイスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
水、緑、光、風といった環境要素を生かすことをテーマとした設計課題を課す。これらの環境要素についての理解を深め、快適な生活空間づくりに活用していく方法を習得する。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]
- 授業方法と留意点**  
少人数ごとに教員の指導を受け、図面、模型などとおして提案する。課題に関連する講義および図面、模型などを制作する実習。毎回のエスキースチェックを重視する。授業時間の延長がありうる。とくに講評会では設計の主旨、内容を分かりやすく説明できるように留意してほしい。
- 科目学習の効果 (資格)**  
一級建築士試験を受験するには必要不可欠な科目である。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 設計演習Ⅱの目標、授業の進め方などについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 ー
- 第2回** 【授業テーマ】 光のちからをかりるギャラリー空間の設計  
【内容・方法 等】 課題説明  
【事前・事後学習課題】 課題に関連する資料の収集
- 第3回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第5回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第6回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 中間提出とグループごとの講評  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて

- 発表できるようにしておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 講評会  
【内容・方法等】 作品提出、及び講評  
【事前・事後学習課題】 作品提出日時の厳守。作品について説明できるように準備しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 水辺空間における集会所の設計  
【内容・方法等】 課題説明  
【事前・事後学習課題】 課題に関連する資料の収集、敷地見学
- 第10回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法等】 中間提出とグループごとの講評  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて発表できるようにしておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 講評会  
【内容・方法等】 作品提出、及び講評  
【事前・事後学習課題】 作品提出日時の厳守。作品について説明できるように準備しておくこと

**評価方法(基準)**

提出物60%、講評会での発表20%、毎回の実習態度20%

**教材等**

教科書…プリント配布  
参考書…授業中に適宜紹介する

**学生へのメッセージ**

毎回のエスキースチェックの準備を心がけてください  
講評会は外来講師を交えたフォーマルなものです。その意識で臨んでください。

**関連科目**

設計演習、プロダクトデザイン演習、インテリアデザイン演習など

**担当者の研究室等**

12号館 7階 川上教授室、杉山教授室、島田准教授室、宮本准教授室  
12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

プロダクトデザイン演習II Exercises in Product Design II				
稲地 秀介 (イナチ シュウスケ) 市川 邦治 (イチカワ クニハル) 澤田 正治 (サワダ マサジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期(30回)	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

プロダクトデザインや建築やまちづくりの現場では、使い手、使われる状況、使われる期間回数...など多種多様なデザイナーとして捉えるべき課題がある。このことを踏まえ、プロダクトデザイン演習IIでは、特にプロダクトデザインにおいて企画からデザインまで、一連の行程を行う上で必要となる、①問題発見能力、②問題解決能力(創造力)、③コミュニケーション能力(伝える力)を学ぶことを目的として演習を行う。学科の学習・教育目標との対応:[F]

**授業方法と留意点**

演習はレクチャーと実習からなっている。商品開発からデザインまでを担当する模擬開発者として、そのプロセスを学ぶ。具体的には、①情報収集・分析手法から、課題を見つける。②ブレインストーミングなどでアイデア出しをしてアイデアシートにまとめる。③商品化決定したアイデアを、デザインする。④デザインしたものを、利用者にわかりやすく伝える。これらは連続した実習として行うため、欠席することは演習を進める上で大きな障害となるので注意すること。演習の内容は受講者の

作業進行状況に合わせて適宜変更する。また、演習作業に必要な材料や大学に無い用具類は各自状況から判断して用意持参することが必要である。

**科目学習の効果(資格)**

インテリアプランナー、インテリアコーディネーターなど

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・レクチャー (商品開発の現場)  
【内容・方法等】 目的、演習概要説明および商品開発の現場についてその概要をレクチャーする  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 レクチャー (商品開発の現場)  
【内容・方法等】 商品開発の現場についてその概要をレクチャーする  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 レクチャー (商品開発の現場)  
【内容・方法等】 商品開発の現場についてその概要をレクチャーする  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 レクチャー (企画・デザイン)  
【内容・方法等】 企画・デザインに必要な考え方についてレクチャーする  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 レクチャー (企画・デザイン)  
【内容・方法等】 企画・デザインに必要な考え方についてレクチャーする  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 実習1  
【内容・方法等】 想定企業を検討するための資料を収集する  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 実習2  
【内容・方法等】 想定企業を検討するための資料を収集する  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 実習3  
【内容・方法等】 想定企業を決定する  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 実習4  
【内容・方法等】 模擬開発者として情報収集・分析を行う  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 実習5  
【内容・方法等】 模擬開発者として情報収集・分析を行う  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 実習6  
【内容・方法等】 模擬開発者として情報収集・分析を行う  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 実習7  
【内容・方法等】 模擬開発者として情報収集・分析をまとめる(課題提出)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 実習8  
【内容・方法等】 ブレインストーミング  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 実習9  
【内容・方法等】 ブレインストーミング  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 実習10  
【内容・方法等】 ブレインストーミング  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第16回 【授業テーマ】 実習11  
【内容・方法等】 ブレインストーミングをまとめる(課題提出)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第17回 【授業テーマ】 実習12  
【内容・方法等】 アイデアシート作成(ニーズ・ネーミング・売り言葉など)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第18回 【授業テーマ】 実習13  
【内容・方法等】 アイデアシート作成(ニーズ・ネーミング・売り言葉など)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第19回 【授業テーマ】 実習14  
【内容・方法等】 アイデアシート作成(ニーズ・ネーミング・売り言葉など)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第20回 【授業テーマ】 実習15  
【内容・方法等】 アイデアシート作成(ニーズ・ネーミング・売り言葉など)(課題提出)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第21回 【授業テーマ】 実習16  
【内容・方法等】 商品化案を決定(デザイン、ラフモデル作成)  
【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと
- 第22回 【授業テーマ】 実習17  
【内容・方法等】 商品化案を決定(デザイン、ラフモデル作成)



- 第23回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習18  
【内容・方法 等】 商品化案を決定（デザイン、ラフモデル作成）
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習19  
【内容・方法 等】 商品化案を決定（デザイン、ラフモデル作成）
- 第25回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習20  
【内容・方法 等】 商品化案を決定（デザイン、ラフモデル作成）（課題提出）
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習21  
【内容・方法 等】 伝える方法の検討制作（ポスター・全紙広告・カタログなど）
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習22  
【内容・方法 等】 伝える方法の検討制作（ポスター・全紙広告・カタログなど）
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習23  
【内容・方法 等】 伝える方法の検討制作（ポスター・全紙広告・カタログなど）
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 実習24  
【内容・方法 等】 伝える方法の検討制作（ポスター・全紙広告・カタログなど）（課題提出）
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 演習の内容をまとめておくこと  
【授業テーマ】 プレゼンテーション
- 評価方法（基準）**  
出席回数（50%）演習課題評価（30%）プレゼン（20%）

**教材等**

教科書…特に指定しない。  
参考書…参考になる図書等は適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

我々は日常的に様々なプロダクトデザインに接している。特にこの演習は短時間で集中的に学ぶプログラムとなっているため、日頃からプロダクトデザインに対して高い意識をもって過ごすことでより有意義な演習となる。

**関連科目**

人間工学入門、プロダクトデザイン論、プロダクトデザイン演習I

**担当者の研究室等**

12号館7階 稲地講師室

**備考**

模型やプレゼンテーションに使用する材料・用具などを購入費用がかかる（モデルボード、カッティングシート、イラストレーションマーカーなど）。

- 第2回** 【事前・事後学習課題】 課題に関連する資料の収集  
【授業テーマ】 大都市におけるコミュニティスクールの設計  
【内容・方法 等】 所要室と面積などの計画案作成、及びこれに関するグループディスカッション  
【事前・事後学習課題】 根拠も含めて計画案について説明できるようにしておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 同上  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第5回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 中間提出とグループ講評  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて発表できるようにしておくこと
- 第6回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと
- 第7回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 作品提出  
【事前・事後学習課題】 作品提出日時の厳守
- 第8回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 講評会  
【事前・事後学習課題】 作品について説明できるように準備しておくこと
- 第9回** 【授業テーマ】 密集市街地における集住体の設計  
【内容・方法 等】 設計課題の説明  
【事前・事後学習課題】 課題に関連する資料の収集、現地調査
- 第10回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 調査結果の報告とグループディスカッション  
【事前・事後学習課題】 敷地見学などの結果を発表できるように準備しておくこと
- 第11回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて発表できるようにしておくこと
- 第12回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 同上  
【事前・事後学習課題】 同上
- 第13回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 中間提出とグループ講評  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて発表できるようにしておくこと
- 第14回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース  
【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと
- 第15回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 作品提出及び講評  
【事前・事後学習課題】 作品提出日時の厳守。作品について説明できるように準備しておくこと

**評価方法（基準）**

提出物60%、講評会での発表20%、毎回の実習態度20%

**教材等**

教科書…プリント配布  
参考書…授業中に適宜紹介する

**学生へのメッセージ**

毎回のエスキースチェックの準備を心がけてください。  
講評会は外来講師を交えたフォーマルなものです。その意識で臨んでください。

**関連科目**

建築計画学、設計演習、プロダクトデザイン演習、インテリアデザイン演習など

**担当者の研究室等**

12号館7階 杉山教授室、川上教授室、榊講師室  
12号館6階 住環境デザイン学科共通準備室

**設計演習III**  
Exercises in Architectural Planning and Drawing III

杉山 茂一（スギヤマ シゲカズ）  
川上 比奈子（カワカミ ヒナコ）  
榊 愛（サカキ アイ）  
久富 敏明（ヒサトミ トシアキ）  
西田 潔史（ニシダ キヨシ）  
中村 文紀（ナカムラ フミノリ）  
中山 大介（ナカヤマ ダイスケ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

学校などの地域施設の設計課題に取り組む。地域環境やコミュニティに視野をひろげ、企画のための調査、計画の組み立て作業を課題に取り入れて、構想力、計画力を養う。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**

少人数ごとに教員の指導を受け、グループの共同作業も行いながら、案をつくりまとめていく。毎回のエスキースチェックを重視する。授業時間の延長がありうる。とくに講評会では設計の主旨、内容を分かりやすく説明できるように留意してほしい。

**科目学習の効果（資格）**

一級建築士試験を受験するには必要不可欠な科目である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス及び設計課題の説明  
【内容・方法 等】 設計演習Ⅲの目標、授業の進め方の説明。  
大都市におけるコミュニティスクールの課題説明。

空間表現演習I (CADI) Exercises in Spatial Presentation I(CADI)				
		榊 愛 (サカキ アイ)		
		牧 尾 晴 喜 (マキオ ハルキ)		
		風 戸 拓 大 (カザト タクヒロ)		
		松 本 崇 (マツモト タカシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

2次元CAD・3次元CADの基本操作を学習し、建物の図面・パースを作成する演習を行う。  
コンピュータを用いた空間表現の基礎的な技術を修得することを目的とする。自分が思い描く建築空間を、コンピュータを用いて的確に表現できるようになることを到達目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**

授業中に課題を与えながら、演習を中心として進める。集中して作業をすれば授業時間内に課題を完成できる。授業の進行に差し支えるため、遅刻、欠席をしないこと。

**科目学習の効果(資格)**

CAD利用技術者試験、CGエンジニアリング検定など。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション、2DCADの基礎1  
【内容・方法 等】 授業内容、進め方、評価基準に関する説明  
CADの概要、基本操作、基本設定  
【事前・事後学習課題】 CADについて調べておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 2DCADの基礎2  
【内容・方法 等】 基本コマンド(作成)  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 2DCADの基礎3  
【内容・方法 等】 基本コマンド(修正)  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 2DCADの基礎4  
【内容・方法 等】 基本コマンド(文字記入、寸法記入)  
【事前・事後学習課題】 課題を提出すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 2DCADの基礎5  
【内容・方法 等】 基本コマンド(スタイル設定、ハッチング、ラスタ、ブロック、印刷、保存など)  
【事前・事後学習課題】 これまでの基本コマンドを復習しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた図面模写1  
【内容・方法 等】 木造住宅 平面図の作成  
【事前・事後学習課題】 基本コマンド、図面の表記ルールを復習しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた図面模写2  
【内容・方法 等】 木造住宅 断面図・立面図の作成  
【事前・事後学習課題】 図面をよく見て空間構成を把握し、図面の表記ルールを復習しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた図面模写3  
【内容・方法 等】 RC造住宅 平面図の作成  
【事前・事後学習課題】 基本コマンド、図面の表記ルールを復習しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた図面模写4  
【内容・方法 等】 RC造住宅 断面図・立面図の作成  
【事前・事後学習課題】 図面をよく見て空間構成を把握し、図面の表記ルールを復習しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた設計1  
【内容・方法 等】 店舗 図面チェック・平面図の作成  
【事前・事後学習課題】 店舗のタイトル、コンセプトを決めて、下書き図面を完成させておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた設計2  
【内容・方法 等】 店舗 図面チェック・断面図の作成  
【事前・事後学習課題】 断面図の描き方を復習しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 2DCADを用いた設計3  
【内容・方法 等】 店舗 仕上げ・印刷  
【事前・事後学習課題】 印刷方法、画像の挿入方法を復習しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 3DCADを用いたパース作成1  
【内容・方法 等】 3Dモデリング基本操作 木造住宅のモデリング  
【事前・事後学習課題】 図面をよく見て空間構成を把握しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 3DCADを用いたパース作成2  
【内容・方法 等】 RC造住宅 モデリング1(各パーツのモデリング)  
【事前・事後学習課題】 図面をよく見て空間構成を把握しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 3DCADを用いたパース作成3  
【内容・方法 等】 RC造住宅 モデリング2(パーツの統合、アングル調整、印刷)、授業のまとめ

**【事前・事後学習課題】** 課題を提出すること。

**評価方法(基準)**

課題・小テスト(80%)、演習態度(20%)を総合的に評価する。

**教材等**

教科書…プリントを配布する  
参考書…授業中に紹介する

**学生へのメッセージ**

より良い作品ができるよう、向上心を持って取り組んでください。

**関連科目**

図形科学、空間表現演習2、設計演習など。

**担当者の研究室等**

12号館 7階 榊講師室  
12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

空間表現演習II (CADII) Exercises in Spatial Presentation II(CADII)				
		榊 愛 (サカキ アイ)		
		鈴木 広 隆 (スズキ ヒロタカ)		
		安 福 健 祐 (ヤスフク ケンスケ)		
		松 本 崇 (マツモト タカシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

コンピュータグラフィクス(CG)、地理情報システム(GIS)、画像処理ソフトなど、さまざまなソフトを用いて空間表現に関する演習を行う。  
コンピュータを用いた空間表現の高度な技術を修得することを目的とする。  
都市、建築、インテリアなどの空間を、コンピュータを用いて的確に、効果的に表現できるようになることを到達目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]

**授業方法と留意点**

授業中に課題を与えながら、演習を中心として進める。集中して作業をすれば授業時間内に課題を完成できる。授業の進行に差し支えるため、遅刻、欠席をしないこと。

**科目学習の効果(資格)**

空間表現に関わる高度な技術を身につけられる

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
CGによる照明器具デザイン1  
【内容・方法 等】 授業内容、進め方、評価基準に関する説明  
テーマに関連するレクチャー、PovRayの基礎  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第2回** 【授業テーマ】 CGによる照明器具デザイン2  
【内容・方法 等】 基本オブジェクトの記述方法、色と明るさ  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 CGによる照明器具デザイン3  
【内容・方法 等】 繰り返しによるオブジェクトの配置方法  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 CGによる照明器具デザイン4  
【内容・方法 等】 ライトの色、拡散透過の表現、曲面の幾何学的分類、幾何学的形状のランブシェード  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 CGによる照明器具デザイン5  
【内容・方法 等】 照明器具の作成  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 写真合成による建築シミュレーション1  
【内容・方法 等】 テーマに関連するレクチャー、透視図に関する復習  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 写真合成による建築シミュレーション2  
【内容・方法 等】 写真照合(3Dモデルと写真の合成)に関する解説と演習  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 写真合成による建築シミュレーション3  
【内容・方法 等】 画像処理(フォトレタッチ)に関する解説と演習  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 写真合成による建築シミュレーション4  
【内容・方法 等】 自分の作品を用いた画像処理演習  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 GISによる空間表現1  
【内容・方法 等】 テーマに関するレクチャー、GISの基本操作、地図データ・属性情報の入力  
【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 GISによる空間表現2  
【内容・方法 等】 対象地域における環境に関わる情報の整理、視覚化

- 第12回** 【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。  
【授業テーマ】 GISによる空間表現3  
【内容・方法 等】 仕上げ、印刷
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。  
【授業テーマ】 プレゼンテーション1  
【内容・方法 等】 テーマに関連するレクチャー、基本操作
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。  
【授業テーマ】 プレゼンテーション2  
【内容・方法 等】 文字の入力、画像の挿入
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。  
【授業テーマ】 プレゼンテーション3  
【内容・方法 等】 レイアウト調整、印刷
- 【事前・事後学習課題】 課題を仕上げて提出すること。
- 評価方法 (基準)**  
課題 (80%)、演習態度 (20%) を総合的に評価する。
- 教材等**  
教科書…プリントを配布する  
参考書…授業中に紹介する
- 学生へのメッセージ**  
より良い作品ができるよう、向上心を持って取り組んでください。
- 関連科目**  
図形科学、空間表現演習1、設計演習など。
- 担当者の研究室等**  
12号館 7階 榊講師室  
12号館 6階 住環境デザイン学科共通準備室

**インテリアデザイン演習**  
Exercises in Planning and Drawing of Interior Design

川上比奈子 (カワカミ ヒナコ)  
吉本光絵 (ヨシモト ミツエ)  
野井成正 (ノイ シゲマサ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

- 授業概要・目的・到達目標**  
住環境の中で、衣服の次に身体に近い空間としてインテリアを捉え、多様で複雑な現代の諸問題を解決し、生活をより豊かにするためには、どのようなデザインがありうるか、その可能性を模索し、具体的に提案できるようにすることを目標とする。特に、商店街の再生のために、商業空間のデザインを設計課題に取り組み。企画のための調査、計画の組み立て、模型・CGのプレゼンテーション作業を課題に取り入れて、構想力、計画力、表現力を養う。  
学科の学習・教育目標との対応：[F]
- 授業方法と留意点**  
少人数ごとに教員の指導を受け、グループの共同作業も行いながら、案をつくりまとめていく。毎週のエスキースチェック、および演習時間中の自発的作業を重視する。とくに講評会では、設計の趣旨、内容を図面、模型、言葉によって、わかりやすく説明できるように留意してほしい。
- 科目学習の効果 (資格)**  
一級建築士 インテリアプランナー インテリアコーディネーター 福祉住環境コーディネーター 商業施設士
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス及び設計課題：商店街の再生と商業空間デザインの説明  
【内容・方法 等】 インテリアデザイン演習の目標、授業の進め方の説明。  
設計課題：商店街の再生と商業空間デザインの課題説明。  
【事前・事後学習課題】 課題に関連する資料の収集  
特に商業空間と商店街の資料収集
- 第2回** 【授業テーマ】 商店街の再生と商業空間デザイン  
【内容・方法 等】 商店街の再生と商業空間デザイン計画案作成、及びこれに関するグループディスカッション  
エスキース作業  
【事前・事後学習課題】 根拠も含めて計画案について説明できるようにしておくこと  
作業をスムーズに進める準備をしておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキースチェック  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 商店街の再生と商業空間デザイン計画案  
エスキース作業  
【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと
- 第5回** 【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキースチェック

- 第6回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース作業
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキースチェック
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース作業
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキースチェック
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキース作業
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキースチェック
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 自分の考えをスケッチやスタディ模型で伝えられるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 中間提出とグループ講評  
【事前・事後学習課題】 要求された図面、模型などをまとめて発表できるようにしておくこと
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 エスキースチェック
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと  
【授業テーマ】 同上  
【内容・方法 等】 模型、図面の完成に向けてプレゼンテーション作業
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 中間提出後の修正案を示せるようにしておくこと  
【授業テーマ】 講評会  
【内容・方法 等】 作品提出及び講評、展示  
【事前・事後学習課題】 作品提出日時の厳守。作品について説明できるように準備しておくこと。展示作業はインテリアデザイン演習にとって、実務に最も近い体験。積極的にインテリアコーディネーター、展示レイアウトを実践すること。
- 評価方法 (基準)**  
提出物60%、講評会での発表20%、毎回の実習態度20%
- 教材等**  
教科書…プリント配布  
参考書…授業中に適宜紹介する
- 学生へのメッセージ**  
毎回のエスキースチェックの準備を心がけてください。  
講評会は外来講師を交えたフォーマルなものです。その意識で臨んでください。
- 関連科目**  
基礎設計演習 設計演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ プロダクトデザイン演習Ⅰ、Ⅱ インテリアデザイン論など
- 担当者の研究室等**  
12号館7階 杉山教授室、川上教授室  
12号館6階 住環境デザイン学科共通準備室

**ゼミ Seminar I**

森山正和 (モリヤマ マサカズ)	杉山茂一 (スギヤマ シゲカズ)	平田陽子 (ヒラタ ヨウコ)	岩田三千子 (イワタ ミチコ)	川上比奈子 (カワカミ ヒナコ)	宮本征一 (ミヤモト セイイチ)	神愛 (サカキ アイ)	稲地秀介 (イナチ シュウスケ)
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数			
1		前期	必修	1			

**授業概要・目的・到達目標**  
[授業の概要・目的]住環境デザイン学科は、学際的な学問領域を含む学科であるため、幅広い分野の科目のなかから自分に適し

た科目を選択し、自分自身で体系化して理解を深める必要がある。ゼミⅠでは、少人数形式の講義、討論、演習、さらに研修旅行や演習の発表会などを通して、多面的価値観を育成すること、及びコミュニケーション力の向上を図ることを目的とする。また同時に、学科の教育目標を周知し、教養教育の補完を図り、自分自身の適性を見つけさせるようにする。

[到達目標] 1) 住環境デザインの概要の把握 2) 多面的価値観の習得 3) コミュニケーション力の向上  
学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**

ゼミは、教員数に合わせ、学生を少人数に分けて行う。教員及び学生全体を大きく3つのグループに分けて行うこともある。研修旅行、見学会等は定時のゼミの時間割を休日等に振り替えて実施することがある。実施日時は学期始めに連絡する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

○第1回全体ゼミ（ガイダンス）：1回  
○研修旅行でのゼミ：2回  
歴史的な民家や街並みや関連する施設を見学し、現地での講義、レポート作成、これらを素材とした議論を行う。  
○少人数ゼミ：合計10回  
少人数グループに分かれ、各教員の指導のもとに特色のある講義、討論、演習などを行う。  
○第2回全体ゼミ、第3回全体ゼミ（発表会、特別講演会）：2回  
少人数ゼミの演習で作成・まとめた課題の発表会を行い、自身の作品について説明するとともに他者の作品の説明を聞いて意見交換する。なお、学内外講師による特別講演とする場合もある。

**評価方法・評価基準**

講義や演習及び討論や発表などの授業に対する取り組み状況80%、レポート等の提出物20%により判定する。

**教材等**

**教科書**…各ゼミ毎によって異なるため、各教員の指示に従うこと。研修旅行、見学会等に関する資料は学科から配布する。  
**参考書**…適宜、紹介する。

**備考**

本学科では、入学時から卒業まで、教員が身近な距離で学生と向き合い、専門職業人としてのキャリア形成を支援するための細やかな指導を行う。ゼミはその一環の創成型演習として開講するものである。学習段階に応じた目標を自覚し、自主的、積極的に学習に取り組んでほしい。

や討論、演習などを行う。

見学会として、実地に街並みや施設を見学し、現地での講義、レポート作成、これらを素材とした議論を行う場合もある。  
○第2回全体ゼミ、第3回全体ゼミ：2回 この2回の全体ゼミでは、知的好奇心を育成するため特別講演会とすることもあり、学外から講師を招くこともある。また、演習の作品発表会を開催し、自身の作品について説明するとともに他者の作品の説明を聞いて意見交換することもある。

**評価方法・評価基準**

講義や演習及び討論や発表などの授業に対する取り組み状況、レポート等の提出物により判定する。

**教材等**

**教科書**…各ゼミ毎によって異なるため、各教員の指示に従うこと。見学会に関する資料は学科から配布する。  
**参考書**…適宜、紹介する。

**備考**

本学科では、入学時から卒業まで、教員が身近な距離で学生と向き合い、専門職業人としてのキャリア形成を支援するための細やかな指導を行う。ゼミはその一環の創成型演習として開講するものである。学習段階に応じた目標を自覚し、自主的、積極的に学習に取り組んでほしい。

**ゼミⅢ**

**Seminar III**

森山正和(モリヤマ マサカズ)  
杉山茂一(スギヤマ シゲカズ)  
平田陽子(ヒラタ ヨウコ)  
岩田三千子(イワタ ミチコ)  
川上比奈子(カワカミ ヒナコ)  
宮本征一(ミヤモト セイイチ)  
榭愛(サカキ アイ)  
稲地秀介(イナチ シュウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的] ゼミⅢでは、少人数形式の講義、議論、演習、さらに見学会や演習の発表会などを通して問題発見、問題解決能力の育成、プレゼンテーション力の向上を図ることを目的とする。また同時に、各研究室の学びのスタイルを体験し、各専門分野の研究の進め方を学習し、自分の個性を生かしながら協調してものづくりをおこなうことの大切さを理解させる。

[到達目標] 1) 問題発見・解決能力の習得 2) プレゼンテーション力の向上 3) 各専門分野の理解 4) 自分自身の適性の把握  
学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**

ゼミは、教員数に合わせ、学生を少人数に分けて行う。見学会は定時のゼミの時間割を休日等に振り替えて実施することがある。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

○全員が集まる全体ゼミを初回、中間、最終回の3回行い、教員個別の少人数ゼミを前半6回、後半6回行う。  
○第1回全体ゼミ（ガイダンス）：1回  
○ゼミ：6回×2、計12回  
少人数グループに分かれ、各教員の専攻による特色のある講義や演習を行う。

見学会として、実地に街並みや施設を見学し、現地での講義、レポート作成、これらを素材とした議論を行う場合もある。  
○第2回全体ゼミ、第3回全体ゼミ：2回 この2回の全体ゼミでは、知的好奇心を育成するため特別講演会とすることもあり、学外から講師を招くこともある。また、演習の作品発表会を開催し、自身の作品について説明するとともに他者の作品の説明を聞いて意見交換することもある。

**評価方法・評価基準**

講義や演習及び討論や発表などの授業に対する取り組み状況80%、レポート等の提出物20%により判定する。

**教材等**

**教科書**…各ゼミ毎によって異なるため、各教員の指示に従うこと。見学会に関する資料は学科から配布する。  
**参考書**…適宜、紹介する。

**備考**

本学科では、入学時から卒業まで、教員が身近な距離で学生と向き合い、専門職業人としてのキャリア形成を支援するための細やかな指導を行う。ゼミはその一環の創成型演習として開講するものである。学習段階に応じた目標を自覚し、自主的、積極的に学習に取り組んでほしい。

**ゼミⅡ**

**Seminar II**

森山正和(モリヤマ マサカズ)  
杉山茂一(スギヤマ シゲカズ)  
平田陽子(ヒラタ ヨウコ)  
岩田三千子(イワタ ミチコ)  
川上比奈子(カワカミ ヒナコ)  
宮本征一(ミヤモト セイイチ)  
榭愛(サカキ アイ)  
稲地秀介(イナチ シュウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的] ゼミⅡでは、ゼミⅠと同様に、少人数形式の講義、議論、演習、さらに見学会や演習の発表会などを通して、多面的価値観を育成し、コミュニケーション力の向上を図ることを目的とする。また同時に、教養教育の補完を図り、自分自身の適性を見つけさせるようにする。さらに、各研究室の学びのスタイルを体験し、各専門分野の研究の進め方を学習し、自分の個性を生かしながら協調してものづくりをおこなうことの大切さを理解させる。

[到達目標] 1) 多面的価値観の習得 2) コミュニケーション力の向上 3) 各専門分野の理解 4) 自分自身の適性の把握  
学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**

ゼミは、教員数に合わせ、学生を少人数に分けて行う。見学会は定時のゼミの時間割を休日等に振り替えて実施することがある。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

○全員が集まる全体ゼミを初回、中間、最終回の3回行い、教員個別の少人数ゼミを前半6回、後半6回行う。  
○第1回全体ゼミ（ガイダンス）：1回、夏休み課題の講評を行うこともある。  
○少人数ゼミ：6回×2、計12回  
少人数グループに分かれ、各教員の専攻による特色のある講義

**ゼミⅣ**  
Seminar IV

森山正和(モリヤマ マサカズ)  
杉山茂一(スギヤマ シゲカズ)  
平田陽子(ヒラタ ヨウコ)  
岩田三千子(イワタ ミチコ)  
川上比奈子(カワカミ ヒナコ)  
宮本征一(ミヤモト セイイチ)  
榊愛(サカキ アイ)  
稲地秀介(イナチ シュウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的] ゼミⅣでは、少人数形式の講義、議論、演習、さらに見学会や演習の発表会などを通して問題発見、問題解決能力の育成、プレゼンテーション力の向上を図ることを目的とする。また同時に、各研究室の学びのスタイルを体験し、各専門分野の研究の進め方を学習し、自分の専門分野を決める段階にあることを自覚させる。

[到達目標] 1) 問題発見・解決能力の習得 2) プレゼンテーション力の向上 3) 社会における専門的職業の認識 4) 自分自身の適性の把握

学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**

ゼミは、教員数に合わせ、学生を少人数に分けて行う。見学会は定時のゼミの時間割を休日等に振り替えて実施することがある。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

○全員が集まる全体ゼミを初回、中間、最終回の3回行い、教員個別の少人数ゼミを前半6回、後半6回行う。

○第1回全体ゼミ (ガイダンス) : 1回

○ゼミ : 6回×2、計12回

少人数グループに分かれ、各教員の専攻による特色のある講義や演習を行う。

見学会として、実地に街並みや施設を見学し、現地での講義、レポート作成、これらを素材とした議論を行う場合もある。

○第2回全体ゼミ、第3回全体ゼミ : 2回

この2回の全体ゼミでは、知的好奇心を育成するため講演会とすることもあり、学外から講師を招くこともある。また、演習の作品発表会を開催し、自身の作品について説明するとともに他者の作品の説明を聞いて意見交換することもある。また、2年終了時にあたる全体ゼミでは、自らの進路を考えさせる内容とすることもある。

**評価方法・評価基準**

講義や演習及び討論や発表などの授業に対する取り組み状況80%、レポート等の提出物20%により判定する。

**教材等**

教科書…各ゼミ毎によって異なるため、各教員の指示に従うこと。見学会に関する資料は学科から配布する。

参考書…適宜、紹介します。

**備考**

本学科では、入学時から卒業まで、教員が身近な距離で学生と向き合い、専門職業人としてのキャリア形成を支援するための細やかな指導を行う。ゼミはその一環の創成型演習として開講するものである。学習段階に応じた目標を自覚し、自主的、積極的に学習に取り組んでほしい。

**専門ゼミⅤ**  
Seminar V

森山正和(モリヤマ マサカズ)  
杉山茂一(スギヤマ シゲカズ)  
平田陽子(ヒラタ ヨウコ)  
岩田三千子(イワタ ミチコ)  
川上比奈子(カワカミ ヒナコ)  
宮本征一(ミヤモト セイイチ)  
榊愛(サカキ アイ)  
稲地秀介(イナチ シュウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的] ゼミⅤは、基本的にゼミⅣと同様に少人数形

式の講義、議論、演習、さらに見学会や演習の発表会などを通して問題発見、問題解決能力の育成、プレゼンテーション力の向上を図ることを目的とする。また同時に、各研究室の学びのスタイルを体験し、各専門分野の研究の進め方を学習し、この授業の最後には自分の専門分野を決める。

[到達目標] 1) 問題発見・解決能力の習得 2) プレゼンテーション力の向上 3) 社会における専門分野の理解 4) 自分自身の専門分野の決定

学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**

ゼミは、教員数に合わせ、学生を少人数に分けて行う。見学会は定時のゼミの時間割を休日等に振り替えて実施することがある。

**科目学習の効果(資格)**

一級建築士、二級建築士など

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

第1回 【授業テーマ】 第1回全体ゼミ：ガイダンス  
【内容・方法等】 第1回は、全員が集まる全体ゼミ。学期初めに当たるため、履修上の注意を伝えるとともに、特別講演を行うこともある。

第2回 【事前・事後学習課題】 特になし  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第3回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第4回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第5回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第6回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第7回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第8回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 第2回全体ゼミ  
【内容・方法等】 全員が集まる全体ゼミ。知的好奇心を育成するため、または進路を考えさせるための講演会とすることがあり、学外講師による特別講演を行うこともある。

第9回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第10回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第11回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第12回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第13回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第14回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。

第15回 【事前・事後学習課題】 各教員の指示に従う  
【授業テーマ】 第3回全体ゼミ (ゼミ配属説明会)  
【内容・方法等】 全員が集まる全体ゼミ。主に、専門ゼミⅥへの配属に関するものを行う。

【事前・事後学習課題】 教員の指示に従う  
**評価方法(基準)**  
講義や演習及び討論や発表などの授業に対する取り組み状況80%、レポート等の提出物20%により判定する。

**教材等**  
教科書…各ゼミによって異なるため、各教員の指示に従うこと。

見学会に関する資料は学科から配布する。

参考書…適宜、紹介する。

### 学生へのメッセージ

本学科では、入学時から卒業まで、教員が身近な距離で学生と向き合い、専門職業人としてのキャリア形成を支援するための細やかな指導を行う。ゼミはその一環の創成型演習として開講するものである。学習段階に応じた目標を自覚し、自主的、積極的に学習に取り組んでほしい。

### 関連科目

ゼミ I～IV

### 担当者の研究室等

12号館7階 各教員研究室

## 専門ゼミVI Seminar VI

森山正和	(モリヤマ マサカズ)
杉山茂一	(スギヤマ シゲカズ)
平田陽子	(ヒラタ ヨウコ)
岩田三千子	(イワタ ミチコ)
川上比奈子	(カワカミ ヒナコ)
宮本征一	(ミヤモト セイイチ)
榊愛	(サカキ アイ)
稲地秀介	(イナチ シュウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的] 専門ゼミVIは、少人数形式の講義、議論、演習、さらに見学会や演習の発表会などを通して問題発見、問題解決能力の育成、プレゼンテーション力の向上を図ることを目的とする。また同時に、各研究室の学びのスタイルを体験し、各専門分野の研究の進め方を学習し、各自の卒業研究に向けた基礎的な力を身につける助走期間とする。

[到達目標] 1) 問題発見・解決能力の習得 2) プレゼンテーション力の向上 3) 配属された研究室における専門分野のより深い理解

学科の学習・教育目標との対応：[G]

### 授業方法と留意点

ゼミは、教員数に合わせ、学生を少人数に分けて行う。見学会は定時のゼミの時間割を休日等に振り替えて実施することがある。

### 科目学習の効果（資格）

一級建築士、二級建築士など

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 第1回全体ゼミ：ガイダンス  
【内容・方法等】 第1回は、全員が集まる全体ゼミ。学期初めに当たるため、履修上の注意を伝えるとともに、特別講演を行うこともある。  
【事前・事後学習課題】 教員の指示に従う
- 第2回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第3回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第4回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第5回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第6回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第7回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第8回 【授業テーマ】 個別ゼミ、または全体ゼミ  
【内容・方法等】 個別ゼミの場合には少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。全員が集まる全体ゼミを行うことがある。知的好奇心を育成

するための講演会や進路を考えるための説明会などとする  
ことがあり、学外講師による特別講演を行うこともある。

- 【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第9回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第10回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第11回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第12回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第13回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第14回 【授業テーマ】 個別ゼミ  
【内容・方法等】 少人数グループに分かれ、各教員の専門による特色ある講義や演習を行う。  
【事前・事後学習課題】 担当教員の指示に従う
- 第15回 【授業テーマ】 全体ゼミ  
【内容・方法等】 全員が集まる全体ゼミ。知的好奇心を育成するための講演会や進路を考えるための説明会などとする  
ことがあり、学外講師による特別講演を行うこともある。  
【事前・事後学習課題】 教員の指示に従う

### 評価方法（基準）

講義や演習及び討論や発表などの授業に対する取り組み状況  
80%、レポート等の提出物20%により判定する。

### 教材等

教科書…各ゼミによって異なるため、各教員の指示に従うこと。  
見学会に関する資料は学科から配布する。

参考書…参考書・適宜、紹介する。

### 学生へのメッセージ

本学科では、入学時から卒業まで、教員が身近な距離で学生と向き合い、専門職業人としてのキャリア形成を支援するための細やかな指導を行う。ゼミはその一環の創成型演習として開講するものである。学習段階に応じた目標を自覚し、自主的、積極的に学習に取り組んでほしい。

### 関連科目

ゼミ I～V

### 担当者の研究室等

12号館7階 各教員研究室

## 卒業研究

### Graduation Thesis

稲地秀介 (イナチ シュウスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

### 授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的・到達目標]

授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。

目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を  
得ることを目的とする。

到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。

学科の学習・教育目標との対応：[G]

### 授業方法と留意点

研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

### 授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[研究テーマ]

プロダクト、建築、地域などのスケールにとらわれず、「未来に求められるカタチ」と「デザイン」に関する研究・制作活動

### 評価方法・評価基準

卒業研究に関するすべてのイベントに参加して、提出物をすべて提出すること。

### 教材等

教科書…必要に応じて、適宜、指示します。

参考書…必要に応じて、適宜、指示します。

卒業研究 Graduation Thesis				
岩田 三千子 (イワタ ミチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を  
 得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 都市や建築空間における光環境・色彩環境についての実験・調査研究  
 【内容】  
 高齢者・視覚障害者に配慮した快適な照明環境計画のための基礎資料の作成  
 色彩イメージを活用した空間計画手法の確立  
 高齢者、障害者、外国人、子どもなどの様々な人に配慮したサイン情報の整備  
 LED照明を用いたサイン情報設備や移動支援設備の開発  
 福祉施設における光・音・温熱などの環境要素の複合的取扱い手法の提案

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…建築環境工学、照明工学、色彩学、建築設備に関連する教科書  
 必要に応じて、適時、指示します。

**備考**  
 実験・調査研究はゼミ内で互いに協力し合って進めます

卒業研究 Graduation Thesis				
川上 比奈子 (カワカミ ヒナコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 インテリア、住宅、公共空間などの計画および設計  
 【内容】  
 住空間、公共空間などについて、現代における社会的な問題を抽出し、事例調査、敷地調査を行い報告書にまとめる。その後、エスキース、スタディモデルの制作を繰り返し、解決策を図面、CG、模型などによって提案する。  
 学科の学習・教育目標との対応[G]

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…必要に応じて、適時、指示します。  
 参考書…必要に応じて、適時、指示します。

**備考**  
 様々な空間を体験しつつ、手と体を動かしながら研究することを重視します。

卒業研究 Graduation Thesis				
榎 愛 (サカキ アイ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を  
 得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 CAD・CG・GISを用いた空間情報に関わるシミュレーション  
 【内容】  
 CAD・CG・GISなどのツールを駆使して、建物や都市が持つ空間情報の分析・可視化を行う。その結果をもとに、より安全・快適で魅力的な空間をつくりだすために考察・検討を行う。

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…必要に応じて、適時、指示します。

**備考**  
 積極的に取り組む姿勢を重視します。時間、ルール、締切を厳守すること。

卒業研究 Graduation Thesis				
杉山 茂一 (スギヤマ シゲカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究のテーマ】  
 建築計画に関する研究、設計  
 【内容】  
 木造密集市街地の再生  
 郊外住宅地の活性化  
 団地再生  
 地域の核としての学校建築  
 都市におけるコミュニティスクール

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…必要に応じて、適時、指示します。

**備考**  
 論文と設計で指導がやや異なることがあります。  
 設計のテーマは自由ですが、論文は1～2のテーマにまとまるように調整します。

卒業研究 Graduation Thesis				
平 田 陽 子 (ヒラタ ヨウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 住宅地や集合住宅における管理と計画、コミュニティに関する調査研究

【内容】  
 快適な住宅環境を形成するために、居住者や供給者などにアンケートやヒアリング調査、フィールドワークなどを行う。  
 そして、得られたデータを分析して、既往研究との比較・検討、および住宅・住宅地計画への提言を行う。

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…必要に応じて、適時、指示する。

**備考**  
 卒業研究を円滑に進めるために、研究室の和を重視します。  
 調査やゼミなどに積極的な参加を希望します。

卒業研究 Graduation Thesis				
宮 本 征 一 (ミヤモト セイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 卒業研究テーマ：教員と学生で話し合い、1年間で実行可能な温熱環境または人間工学に関する研究テーマを与えます。  
 内容・方法：最適な手法により、研究テーマについて考察して結論を導き出せるように、助言します。全体ゼミを週1回、研究テーマゼミを週1回程度を行い、研究が停滞しないように、助言します。

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…環境系授業で用いた教科書

卒業研究 Graduation Thesis				
森 山 正 和 (モリヤマ マサカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	6

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業概要：卒業研究のテーマについて、最適な実験、実測、調査等の手法を用いて、自発的に現象を解明することができるようになることとする。  
 目的：卒業研究を通して、社会人として必要な行動力、思考力、協調性を得ることを目的とする。  
 到達目標：社会人として必要最低限な行動力、思考力、協調性を習得すること。  
 学科の学習・教育目標との対応：[G]

**授業方法と留意点**  
 研究テーマに必要な知識を得るためのゼミ

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**  
 【研究テーマ】  
 「都市のヒートアイランド対策」及び「建築の省エネルギー対策」  
 【内容】  
 科学的手法とエコ技術の視点に基づいた都市や建物の再生計画を提案します。  
 研究対象は、大きく分けると次の4つになります。  
 1. 都市のヒートアイランド現象とその影響及びその対策  
 2. クリマアトラス（都市環境気候地図）の作成  
 3. 建物の省エネルギーおよびエコロジー建築（環境共生建築）  
 4. コンパクト・エコシティの研究

**評価方法・評価基準**  
 卒業研究に関する学科のイベントに全て参加し、提出物を全て提出すること。

**教材等**  
 教科書…必要に応じて、適時、指示します。  
 参考書…必要に応じて、適時、指示します。

**備考**  
 卒業研究を円滑に進めるために、研究室の和を重視します。



古典文学から学ぶ  
Classic Literature

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では『百人一首』を読んでいきます。まず、文学作品としての位置づけを行ったうえで、和歌の鑑賞を通して、我々現代人が忘れてしまった自然と共生する力や方法、また今も昔も変わらない心情などを学びましょう。古典作品は断絶した遠い過去の遺物ではありません。自ら作品に近づき親しむことにより、現代の文学作品と同様に多くの知見や感動を得ることができます。和歌の断片的な知識ではなく、作品としての総合的な理解が目標です。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式です。不定期に小テストを行い、平常点（出席点）とします。

科目学習の効果（資格）

大学生として必要最低限の「古典文学」の知識を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 授業の目的、方法の説明  
【事前・事後学習課題】 『百人一首』を読む
- 第2回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』1  
【内容・方法 等】 『百人一首』の成立と謎  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第3回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』2  
【内容・方法 等】 江戸時代を中心にした『百人一首』の後世の受容  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第4回 【授業テーマ】 作品としての『百人一首』3  
【内容・方法 等】 『百人一首』の構成と和歌を読むための基礎知識  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第5回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春1  
【内容・方法 等】 春の歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第6回 【授業テーマ】 四季歌を読む 春2  
【内容・方法 等】 桜の歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第7回 【授業テーマ】 四季歌を読む 夏  
【内容・方法 等】 夏の歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第8回 【授業テーマ】 四季歌を読む 秋1  
【内容・方法 等】 秋の歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第9回 【授業テーマ】 四季歌を読む 秋2  
【内容・方法 等】 秋の月歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第10回 【授業テーマ】 四季歌を読む 冬  
【内容・方法 等】 冬の歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第11回 【授業テーマ】 恋歌1  
【内容・方法 等】 月を用いた恋歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第12回 【授業テーマ】 恋歌2  
【内容・方法 等】 名所（歌枕）を用いた恋歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第13回 【授業テーマ】 雑歌1  
【内容・方法 等】 友情をテーマにした歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第14回 【授業テーマ】 雑歌2  
【内容・方法 等】 人生をテーマにした歌を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む
- 第15回 【授業テーマ】 授業の総括  
【内容・方法 等】 『百人一首』の意義と他の文学作品との関わり  
【事前・事後学習課題】 配布プリントを読む

評価方法（基準）

平常点（主に小テスト）と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）

教材等

教科書…資料を配付します。

参考書…適宜、講義のなかで紹介します。

学生へのメッセージ

和歌が持つ美しいリズムを味わい、千年前の人々からのメッセージを受け取りましょう。

関連科目

日本語読解

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

近代文学から学ぶ  
Modern Literature

細川 知佐子 (ホソカワ チサコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では明治以降現代までの新聞小説を、朝日新聞を中心に読んでいきます。時代順に読むことにより、新聞小説が持つ役割の変化を考えましょう。時代の中における文学としての役割、新聞紙上での役割など、複数の視点で捉えるようになることが目標です。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

講義形式ですが、不定期に小テストを行います。小テストが平常点となります。

科目学習の効果（資格）

大学生として最低限の教養を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 本講義に臨むための基本姿勢と注意点について説明します  
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第2回 【授業テーマ】 新聞小説とは何か  
【内容・方法 等】 新聞小説の歴史について学びます  
【事前・事後学習課題】 配布資料を読む
- 第3回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説1  
【内容・方法 等】 黎明期（明治30年まで）の新聞小説について  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第4回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説2  
【内容・方法 等】 明治31年以降の新聞小説を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第5回 【授業テーマ】 明治時代の新聞小説3  
【内容・方法 等】 夏目漱石を中心に読みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第6回 【授業テーマ】 大正時代の新聞小説1  
【内容・方法 等】 大正時代の新聞小説の特色  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第7回 【授業テーマ】 大正時代の新聞小説2  
【内容・方法 等】 島崎藤村、谷崎潤一郎などを読みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第8回 【授業テーマ】 昭和初期の新聞小説1  
【内容・方法 等】 昭和初期の新聞小説の特色  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第9回 【授業テーマ】 昭和初期の新聞小説2  
【内容・方法 等】 武者小路実篤、菊池寛などを読みます。  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第10回 【授業テーマ】 戦前の新聞小説  
【内容・方法 等】 戦前の新聞小説の特色を考え、作品を読みます。  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第11回 【授業テーマ】 戦後の新聞小説1  
【内容・方法 等】 戦後の新聞小説の特色と作品を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第12回 【授業テーマ】 戦後の新聞小説2  
【内容・方法 等】 太宰治、石坂洋二郎、三島由紀夫などを読みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第13回 【授業テーマ】 現代の新聞小説1  
【内容・方法 等】 現代の新聞小説の特色と作品を読みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第14回 【授業テーマ】 現代の新聞小説2  
【内容・方法 等】 有吉佐和子、司馬遼太郎、松本清張などを读みます  
【事前・事後学習課題】 配布資料と作品を読む
- 第15回 【授業テーマ】 現代の新聞小説3とまとめ  
【内容・方法 等】 宮部みゆき、重松清などを读み、新聞小説の役割について考えます  
【事前・事後学習課題】 配布資料を読む

評価方法（基準）

平常点と試験によって、総合的に評価します。（平常点30%、定期試験70%）

教材等

教科書…資料を配付します。

参考書…適宜、講義のなかで紹介します。

学生へのメッセージ

新聞小説というジャンルを認識することで、社会と文学との関わりを考えてみましょう。また、授業で学んだ作品を少なくとも一冊は読むこと。

関連科目

日本語読解

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

日本語読解  
Japanese Reading

松尾 佳津子 (マツオ カヅコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日々、何を読んでいますか？ また、日々、何をしていますか？ 何を学ぶにせよ、また学生であれ社会人であれ、「文章を読む」ということを避けて通るわけにはいきません。仲間内でだけ通じる会話や話し言葉でなく、書き言葉を通じてしか手に入らないものがあります。それをぜひ身につけてほしいと願っています。さまざまなジャンルの文章を素材として語句や表現を学び、自分なりの感想を持ちそれを発信する、というトレーニングを積んでみましょう。

語句の知識を増やして定着させること、表現に着目した読解トレーニングを積むこと、読解した内容に対して自分なりの考えを表現できること。この三つの力を磨くことを目標とします。学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

◇毎回、語句チェックを通じて語彙力を磨きます（授業前半）。また毎回、素材となる文章を配布し、プリント形式で読解授業を進めます（授業後半）。

◇授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な取り組みをあなたに要求します。友人の回答の引き写しなど、課題に取り組む態度に不備のある場合は、出席と認めません。

科目学習の効果（資格）

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、自分のことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果です。文章を味読し、自分の考えを文章化し、他者に発信するトレーニングは、積極的に取り組むことで、日々のレポート作成や、就職活動のための種々の文章作成の下地作りにもなるでしょう。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 エッセイ（1）  
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第2回 【授業テーマ】 エッセイ（2）  
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第3回 【授業テーマ】 エッセイ（3）  
【内容・方法 等】 叙情的、軽妙洒脱など、さまざまなタイプの作品に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第4回 【授業テーマ】 文語的な文章（1）  
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第5回 【授業テーマ】 文語的な文章（2）  
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第6回 【授業テーマ】 文語的な文章（3）  
【内容・方法 等】 やや古めかしい言い回しに触れて独特の雰囲気を楽しむ。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第7回 【授業テーマ】 近代の小説（1）  
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第8回 【授業テーマ】 近代の小説（2）  
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。

【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

- 第9回 【授業テーマ】 近代の小説（3）  
【内容・方法 等】 有名作品の一部を読み、梗概や時代背景に触れる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第10回 【授業テーマ】 実用的な文章（1）  
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第11回 【授業テーマ】 実用的な文章（2）  
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第12回 【授業テーマ】 実用的な文章（3）  
【内容・方法 等】 手紙文やビジネス文書を「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第13回 【授業テーマ】 韻文（1）  
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第14回 【授業テーマ】 韻文（2）  
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第15回 【授業テーマ】 韻文（3）  
【内容・方法 等】 身近な歌の「歌詞」を作品として「読解」してみる。  
【事前・事後学習課題】 プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

評価方法（基準）

◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。

◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。

◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。

◇出席不良者は、原則として成績評価を行いません。

教材等

教科書…プリント授業です。

参考書…毎回のプリントの中で提示していきます。

学生へのメッセージ

「本を読むのはキライ」という気持ちを捨てて講義に臨んで下さい。私があなたに求めているのは「今までの知識の積み重ね」ではなく、「自分のことばに自覚的になること、自分のことばで考えること」です。正解のない世界で「自分の答え」を手探りしてみましょう。

関連科目

こういった方面に興味のある人は、他に「文学から学ぶ」や「日本語表現」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現  
Japanese Representation

松尾 佳津子 (マツオ カヅコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日々、何を読んでいますか？ また、日々、何をしていますか？ 何を学ぶにせよ、また学生であれ社会人であれ、「文章を読む」ということを避けて通るわけにはいきません。仲間内でだけ通じる会話や話し言葉でなく、書き言葉を通じてしか手に入らないものがあります。それをぜひ身につけてほしいと願っています。前期に「日本語読解」で身に付けた力をさらに伸ばそうという人も、前期は受講していなかったから後期から頑張りたいという人も、前期以上に幅の広い、さまざまなジャンルの文章を素材として語句や表現を学び、自分なりの感想を持ちそれを発信する、というトレーニングを積みあげていきましょう。語句の知識を増やして定着させること、表現に着目した読解

トレーニングを積むこと、読解した内容に対して自分なりの考えを表現できること。この三つの力を磨くことを目標とします。学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

◇毎回、語句チェックを通じて語彙力を磨きます（授業前半）。また毎回、素材となる文章を配布し、プリント形式で読解授業を進めます（授業後半）。  
◇授業中に随時課題を提示しますので、それらに取り組むことで積極的な取り組みをあなたに要求します。友人の回答の引き写しなど、課題に取り組む態度に不備のある場合は、出席と認めません。

**科目学習の効果（資格）**

「日本語文章能力検定」などの公的資格もありますが、自分のことばに自覚的である感性を養うことが何よりの学習効果です。文章を味読し、自分の考えを文章化し、他者に発信するトレーニングは、積極的に取り組むことで、日々のレポート作成や、就職活動のための種々の文章作成の下地作りにもなるでしょう。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** エッセイ（1）  
**【内容・方法 等】** 着眼点の面白さを味わう。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第2回 **【授業テーマ】** エッセイ（2）  
**【内容・方法 等】** 表現に着目して味わう。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第3回 **【授業テーマ】** エッセイ（3）  
**【内容・方法 等】** 内容を踏まえて自分の意見をまとめる。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第4回 **【授業テーマ】** 新聞記事（1）  
**【内容・方法 等】** 実用的な文章のあり方を考察する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第5回 **【授業テーマ】** 新聞記事（2）  
**【内容・方法 等】** 伝達の効果を高める工夫を考察する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第6回 **【授業テーマ】** 新聞記事（3）  
**【内容・方法 等】** 報道記事以外の文章を考察する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第7回 **【授業テーマ】** 短編小説（1）  
**【内容・方法 等】** 短編小説の構成を味読する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第8回 **【授業テーマ】** 短編小説（2）  
**【内容・方法 等】** 翻訳の文章を考察する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第9回 **【授業テーマ】** 短編小説（3）  
**【内容・方法 等】** 表現技法を考察する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第10回 **【授業テーマ】** 評論（1）  
**【内容・方法 等】** 時事評論を読み解く。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第11回 **【授業テーマ】** 評論（2）  
**【内容・方法 等】** 文芸評論を読み解く。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第12回 **【授業テーマ】** 評論（3）  
**【内容・方法 等】** 文語調の評論を読んでみる。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第13回 **【授業テーマ】** 韻文（1）  
**【内容・方法 等】** 俳句を鑑賞する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第14回 **【授業テーマ】** 韻文（2）  
**【内容・方法 等】** 和歌・短歌を鑑賞する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。
- 第15回 **【授業テーマ】** 韻文（3）  
**【内容・方法 等】** 詩を鑑賞する。  
**【事前・事後学習課題】** プリントに提示した資料の原典を当たってより学習を深めましょう。

**評価方法（基準）**

◇講義中に作成する小レポートが出席確認を兼ねます。近年散見する代筆提出については、代筆者・被代筆者共、成績処理時に大幅減点します。  
◇最終成績は、定期試験の結果7割と小レポートの回答状況3割とを合わせて判断します。

◇私語・飲食・頻繁な離席・他授業の課題作成・居眠りなど、受講態度の著しく悪い学生には退室を指示して当日の出席は無効とし、さらに状況に応じてマイナス評価を下します。また、回収した小レポートの回答状況が著しく悪い場合も、当日の出席は無効とします。  
◇出席不良者は、原則として成績評価を行いません。

**教材等**

**教科書**…プリント授業です。  
**参考書**…毎回のプリントの中で提示していきます。

**学生へのメッセージ**

「日本語なんて今更…」 「国語はキライ！」などの気持ちを捨てて講義に臨んで下さい。私があなたに求めているのは「今までの知識の積み重ね」ではなく、「自分のことばに自覚的になること、自分のことばで考えること」です。正解のない世界で「自分の答え」を手探りしてみましょう。

**関連科目**

こういった方面に興味のある人は、他に「文学から学ぶ」や「日本語表現」などを学ぶことで、より理解を深めることができるでしょう。

**担当者の研究室等**

7号館2階（非常勤講師室）

人間力と心理 Human Capability and Psychology				
山本 雅代 (ヤマモト マサヨ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

心理学とは、我々が周囲のさまざまな環境とのかかわりの中で行う行動や、その背景にある問題を客観的に理解しようとする学問である。授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。特に心理学Ⅰでは、個人に焦点をあて、かつ社会的現実と対比した日常での問題を取り上げ人間理解を目指す。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

基本的には講義形式だが、より理解を深めるため必要に応じてVTRを使用したり、簡単な心理学実験を行う。その際レポートの提出を求めることがある。

**科目学習の効果（資格）**

教養としての心理学を学ぶ。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 心理学とは何か  
**【内容・方法 等】** 心理学、心理学研究の考え方、今までの歩みについて概説する。  
**【事前・事後学習課題】** 心理学について、現在いただいている印象について自分なりの考えをまとめておいて下さい。
- 第2回 **【授業テーマ】** 生物学的基礎  
**【内容・方法 等】** 他の動物が行う行動と比較しながら、生得的行動とは何か、初期経験が人間に与える影響について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** 学習（1）  
**【内容・方法 等】** 人間はいかに学ぶのか、また愛着について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** 学習（2）  
**【内容・方法 等】** 条件づけとは何か、古典的条件づけ、オペラント条件づけについて説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の授業で紹介したVTRについてA4用紙にまとめ提出する。
- 第5回 **【授業テーマ】** 学習（3）  
**【内容・方法 等】** 学習とは学校での勉強のことだけではなく、経験のことをいう。人間における経験がいかに大切であるか、また学習効果について説明する。  
**【事前・事後学習課題】** 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第6回 **【授業テーマ】** 学習（4）  
**【内容・方法 等】** 心理学実験「両促性転移」を行い、学習についての理解を深める。また、心理学の研究方法についても理解を深める。  
**【事前・事後学習課題】** 実験の概要について確認しておくこと。
- 第7回 **【授業テーマ】** 学習（5）  
**【内容・方法 等】** 実験結果から読み取れる問題、人間の傾向について検討する。学習全般のまとめを行う。  
**【事前・事後学習課題】** 実験結果から何が読み取れるのか、

- A4用紙にまとめ提出する。
- 第8回 【授業テーマ】 動機づけ (1)  
【内容・方法 等】 人間が行動に駆り立てられる状況、様々な動機、動機の階層について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 動機づけ (2)  
【内容・方法 等】 生物的動機、内発的動機の違いについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業の中で紹介した人物の動機について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第10回 【授業テーマ】 動機づけ (3)  
【内容・方法 等】 社会的動機について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 パーソナリティ (1)  
【内容・方法 等】 パーソナリティがどのようなものであるのか概説する。。  
【事前・事後学習課題】 パーソナリティについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第12回 【授業テーマ】 パーソナリティ (2)  
【内容・方法 等】 パーソナリティのとらえ方について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第13回 【授業テーマ】 パーソナリティ (3)  
【内容・方法 等】 実際に使用されている様々なパーソナリティテストについて解説する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 パーソナリティ (4)  
【内容・方法 等】 パーソナリティについて自己分析を行う。  
【事前・事後学習課題】 パーソナリティテストの結果について自分なりに解釈しA4用紙にまとめ提出する。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめを行う。  
【事前・事後学習課題】 疑問点がどこであるのか考えておくこと。

**評価方法 (基準)**

定期試験50%、授業での提出物30%、小テスト20%の割合で総合的に判定する。

**教材等**

教科書…特になし。授業中に資料配布。  
参考書…「心理学の基礎」今田寛、宮田洋、賀集寛共編、培風館 (1650円)。その他、講義中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

心理学は大学で初めて学ぶ学問ですが、すでに何らかの印象を持っていると思います。講義を受けて自分の持つ心理学のイメージと違う所があり驚くかも知れませんが、現実社会で起こる身近なトピックも取り上げていきますので、主体的に取り組んでください。

**関連科目**

心理学Ⅱもあわせて履修することが望ましい。

**担当者の研究室等**

11号館6階 経営情報学部事務室

心理と社会 Psychology and Society				
山本雅代 (ヤマモト マサヨ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

心理学とは、我々が周囲のさまざまな環境とのかかわりの中で行う行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。講義では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。特に心理学Ⅱでは、社会的現実と対比した日常でおこる問題を多く取り上げ現実社会における対人間、集団関係でおこる心理状況の理解を目指す。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

基本的に講義形式だが、より理解を深めるために必要に応じてVTRを使用したり、簡単な心理学実験を行う。その際レポートの提出を求めていることがある。

**科目学習の効果 (資格)**

講義を通して自己理解・他者理解を深め、自分と社会との関わりを考えるきっかけを得ることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 心理学とは何か、社会、集団の中でおこる心

- 理  
【内容・方法 等】 心理学、心理学研究についての考え方について説明する。後期において取り扱うトピックの概要説明。  
【事前・事後学習課題】 VTRについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第2回 【授業テーマ】 知覚 (1)  
【内容・方法 等】 人間理解につながる「見えのしくみ」について概説する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 知覚 (2)  
【内容・方法 等】 知覚の種類や見えに及ぼす社会的影響について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 知覚 (3)  
【内容・方法 等】 「ミューラリヤーの錯視」実験を実施し、心理学におけるデータの考え方や人間の知覚行為についての理解を深め。  
【事前・事後学習課題】 実験結果について読み取れる問題をA4にまとめ提出する。
- 第5回 【授業テーマ】 対人関係 (1)  
【内容・方法 等】 人はどのように他者を認知し、自分を呈示していくものなのか、対人認知や印象形成について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 対人関係 (2)  
【内容・方法 等】 人はどのような事をきっかけに親しくなったり別れたりするものなのか、対人魅力について説明する。  
【事前・事後学習課題】 対人魅力について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第7回 【授業テーマ】 対人関係 (3)  
【内容・方法 等】 人が態度かえる時、説得される時とはどのような時なのか、態度変容について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 対人関係 (4)  
【内容・方法 等】 集団のもつ影響力として「同調」や「服従」について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 対人関係 (5)  
【内容・方法 等】 リーダーシップについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 自己のリーダーシップのあり方について考えおくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 うわさ  
【内容・方法 等】 うわさの種類、社会的機能、うわさの発生、消滅のメカニズム等について、実際に世界でおきた事件を例に説明する。  
【事前・事後学習課題】 授業で体験した伝達現象について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第11回 【授業テーマ】 攻撃行動 (1)  
【内容・方法 等】 人間の攻撃行動について概説する。  
【事前・事後学習課題】 VTRについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第12回 【授業テーマ】 攻撃行動 (2)  
【内容・方法 等】 人間が行う攻撃行動の機能性について様々な実験例とともに説明する。またドメスティックヴァイオレンスなどについても解説する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第13回 【授業テーマ】 援助行動 (1)  
【内容・方法 等】 援助行動の形式や発達の仕方について、また援助行為が行われる状況、行われない状況とはどのような状況か、について実際のニュースなどを例に説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 援助行動 (2)  
【内容・方法 等】 援助行動と対人ネットワークの重要性について説明する。  
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 講義に関するまとめを行う。  
【事前・事後学習課題】 疑問点がどこであるのか考える。
- 評価方法 (基準)**  
定期試験50%、授業での提出物30%、小テスト20%の割合で総合的に判定する。
- 教材等**  
教科書…特になし。講義中に適宜資料配布する。  
参考書…「心理学の基礎」今田寛、宮田洋、賀集寛共編、培風館(1960)。その他、講義中に適宜紹介する。
- 学生へのメッセージ**

心理学は大学で初めて学ぶ学問ですが、すでに何らかの印象を持たれていると思います。イメージと違う所があり驚くかもしれません。現実社会で起こるトピックを取り上げ講義していきます。特にⅡではより身近な心理学を扱う予定ですので主体的に取り組んで下さい。

**関連科目**

人間力と心理もあわせて履修することが望ましい。

**担当者の研究室等**

11号館6階 経営学部事務室

実践の思想 Ideas for Practice				
島田 喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本講義では、現代の日本人が持っている行動規範の源流を辿り直すことから、専門技術者を目指す者が身につけておくべき職業観と倫理観を学ぶ。

具体的には、今日の産業社会を考える際のキーワードの一つである「持続可能性sustainability」について、江戸時代の森林保護思想（熊沢蕃山と安藤昌益）を通じて理解する。また、柳宗悦の「民藝」思想を通じて職人の手仕事、匠の技の卓越性と工藝の用と美に触れる。さらに、三木清の「技術哲学」から「技術」の思想とその理論的背景を理解し、自然と人間とがより善く共生できる社会の実現を目指す技術者のマナーと倫理を学ぶ。

到達目標：以下の項目の理解を到達目標とする。1.sustainabilityと技術 2.民藝思想にみる職人の技と矜持 3.自然との共生を目指す技術者倫理

学科の学習と教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

ノート講義形式

**科目学習の効果（資格）**

日本の伝統的な職業観と思想に触れることから、現代の技術者が身につけるべきことは何か、見習うべきことは何かという問いに対して自主的に取り組めるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 講義の説明  
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 科学技術について (1)  
【内容・方法 等】 手塚治虫の鉄腕アトムが問いかけるもの  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 科学技術について (2)  
【内容・方法 等】 科学技術の起源、科学技術と進歩思想  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 【授業テーマ】 自然と技術  
【内容・方法 等】 自然と技術の関係  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (1)  
【内容・方法 等】 sustainabilityとは何か、環境破壊と人間性  
の問題  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第6回 【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (2)  
【内容・方法 等】 熊沢蕃山の思想  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (3)  
【内容・方法 等】 安藤昌益の思想  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第8回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (1)  
【内容・方法 等】 現代社会と道具  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (2)  
【内容・方法 等】 民藝と手仕事、匠の技と品物の性質  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第10回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (3)  
【内容・方法 等】 工藝文化について  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回 【授業テーマ】 社会と技術  
【内容・方法 等】 技術者にとって技術とは何か  
【事前・事後学習課題】 予習 「技術者倫理綱領」の解説を読む
- 第12回 【授業テーマ】 三木清の思想 (1)  
【内容・方法 等】 技術の本質  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第13回 【授業テーマ】 三木清の思想 (2)  
【内容・方法 等】 技術の社会的・道徳的問題 (1)  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第14回 【授業テーマ】 三木清の思想 (3)

- 【内容・方法 等】 技術の社会的・道徳的問題 (2)
- 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 【授業テーマ】 まとめ
- 【内容・方法 等】 講義のふりかえり
- 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

**評価方法（基準）**

定期試験60%、平常点（コメントペーパー、受講態度、出席状況）40%の割合で総合的に評価する。

**教材等**

教科書…公益社団法人日本技術士会のホームページにある「技術者倫理綱領」の解説をダウンロードしておくこと

参考書…加藤尚武『技術と人間の倫理』NHKライブラリー、1996年。

柳宗悦『民藝とは何か』講談社学術文庫、2006年。その他、講義中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

日本の伝統的な「ものの見方」と「立ち居振る舞い方」に触れ、現代社会を主体的に生きていくためのヒントを発見してください。

私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

**関連科目**

哲学から学ぶ

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

実践の思想 Ideas for Practice				
島田 喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本講義では、現代の日本人が持っている行動規範の源流を辿り直すことから、専門技術者を目指す者が身につけておくべき職業観と倫理観を学ぶ。

具体的には、今日の産業社会を考える際のキーワードの一つである「持続可能性sustainability」について、江戸時代の森林保護思想（熊沢蕃山と安藤昌益）を通じて理解する。また、柳宗悦の「民藝」思想を通じて職人の手仕事、匠の技の卓越性と工藝の用と美に触れる。さらに、三木清の「技術哲学」から「技術」の思想とその理論的背景を理解し、自然と人間とがより善く共生できる社会の実現を目指す技術者のマナーと倫理を学ぶ。

到達目標：以下の項目の理解を到達目標とする。1.sustainabilityと技術 2.民藝思想にみる職人の技と矜持 3.自然との共生を目指す技術者倫理

学科の学習と教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

ノート講義形式

**科目学習の効果（資格）**

日本の伝統的な職業観と思想に触れることから、現代の技術者が身につけるべきことは何か、見習うべきことは何かという問いに対して自主的に取り組めるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 講義の説明  
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 科学技術について (1)  
【内容・方法 等】 手塚治虫の鉄腕アトムが問いかけるもの  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 科学技術について (2)  
【内容・方法 等】 科学技術の起源、科学技術と進歩思想  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 【授業テーマ】 自然と技術  
【内容・方法 等】 自然と技術の関係  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (1)  
【内容・方法 等】 sustainabilityとは何か、環境破壊と人間性  
の問題  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第6回 【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (2)  
【内容・方法 等】 熊沢蕃山の思想  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 江戸時代の森林保護思想 (3)  
【内容・方法 等】 安藤昌益の思想  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第8回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (1)  
【内容・方法 等】 現代社会と道具  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

- 第9回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (2)  
【内容・方法等】 民藝と手仕事、匠の技と品物の性質  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第10回 【授業テーマ】 柳宗悦の思想 (3)  
【内容・方法等】 工芸文化について  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回 【授業テーマ】 社会と技術  
【内容・方法等】 技術者にとって技術とは何か  
【事前・事後学習課題】 予習 「技術者倫理綱領」の解説を読む
- 第12回 【授業テーマ】 三木清の思想 (1)  
【内容・方法等】 技術の本質  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第13回 【授業テーマ】 三木清の思想 (2)  
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題 (1)  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第14回 【授業テーマ】 三木清の思想 (3)  
【内容・方法等】 技術の社会的・道徳的問題 (2)  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 講義のふりかえり  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

**評価方法 (基準)**

定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

**教材等**

教科書…公益社団法人日本技術士会のホームページにある「技術者倫理綱領」の解説をダウンロードしておくこと

参考書…加藤尚武『技術と人間の倫理』NHKライブラリー、1996年。

柳宗悦『民藝とは何か』講談社学術文庫、2006年。その他、講義中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

日本の伝統的な「ものの見方」と「立ち居振る舞い方」に触れ、現代社会を主体的に生きていくためのヒントを発見してください。

私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

**関連科目**

哲学から学ぶ

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

哲学から学ぶ Philosophy				
島田喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

わたしたちは環境としての世界のなかで、できるだけ善く生きるために、あるいはできるだけ有効に活動するために、世界のあり方を知ろうとする。こうしたわたしたちの世界を知ろうとする努力が哲学という営為の根本にある。本講義では、世界を知ろうとする哲学の起源である古代哲学を通じて「世界の見方」を学び直すことで常識を突破する知的興奮を学ぶ。そのなかで、どのような仕方で古代の思想が現代社会を生きるわたしたちの指針となりうるか、という問いについて考えてみたい。

到達目標：哲学の源流であるギリシア・ローマの思想を学ぶことから、社会人にとって必要な教養と多角的視点を身につけることができる。

学科の学習と教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

ノート講義方式

**科目学習の効果 (資格)**

古典哲学に触れることから、哲学的思考の基礎を学び、現代の社会構造や現代人の生き方を新たな視点から捉え直す能力が獲得できる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義の説明  
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回 【授業テーマ】 哲学とは何か  
【内容・方法等】 エイリアンとしての哲学者、非常に「非常識な」人たちの話  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 タレスの思想 (1)  
【内容・方法等】 古代神話における神の死と哲学の始まり  
【事前・事後学習課題】 予習 タレスについて調べる。

- 第4回 【授業テーマ】 タレスの思想 (2)  
【内容・方法等】 水の哲学  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (1)  
【内容・方法等】 二分法と火の哲学  
【事前・事後学習課題】 予習 ヘラクレイトスについて調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (2)  
【内容・方法等】 逆理論法  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (1)  
【内容・方法等】 存在の謎  
【事前・事後学習課題】 予習 パルメニデスについて調べる。
- 第8回 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (2)  
【内容・方法等】 存在と永遠  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (1)  
【内容・方法等】 エレンコス  
【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスについて調べる。
- 第10回 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (2)  
【内容・方法等】 非知、あるいは無知について  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回 【授業テーマ】 プラトンの思想 (1)  
【内容・方法等】 身体とミ (身) の哲学  
【事前・事後学習課題】 予習 プラトンについて調べる。
- 第12回 【授業テーマ】 プラトンの思想 (2)  
【内容・方法等】 アイデア論と隠された教説  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第13回 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (1)  
【内容・方法等】 ストイックな生き方  
【事前・事後学習課題】 予習 M.アウレリウスについて調べる。
- 第14回 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (2)  
【内容・方法等】 悪を無化する技法  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 これまでの講義のふりかえり  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

**評価方法 (基準)**

定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

**教材等**

教科書…なし

参考書…藤澤令夫『哲学の課題』岩波書店、1989年。古東哲明『現代思想としてのギリシア哲学』講談社、1998年。その他は、授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

一見、現代の生活スタイルには関係ないと思われる古典哲学の知見が、実は身近なところで生き続けているということを目で確かめてください。

私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

**関連科目**

実践の思想

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

哲学から学ぶ Philosophy				
島田喜行 (シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

わたしたちは環境としての世界のなかで、できるだけ善く生きるために、あるいはできるだけ有効に活動するために、世界のあり方を知ろうとする。こうしたわたしたちの世界を知ろうとする努力が哲学という営為の根本にある。本講義では、世界を知ろうとする哲学の起源である古代哲学を通じて「世界の見方」を学び直すことで常識を突破する知的興奮を学ぶ。そのなかで、どのような仕方で古代の思想が現代社会を生きるわたしたちの指針となりうるか、という問いについて考えてみたい。

到達目標：哲学の源流であるギリシア・ローマの思想を学ぶことから、社会人にとって必要な教養と多角的視点を身につけることができる。

学科の学習と教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

ノート講義方式

**科目学習の効果 (資格)**

古典哲学に触れることから、哲学的思考の基礎を学び、現代の社会構造や現代人の生き方を新たな視点から捉え直す能力が獲得できる。

得できる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義の説明  
【事前・事後学習課題】 とくになし
- 第2回** 【授業テーマ】 哲学とは何か  
【内容・方法等】 エイリアンとしての哲学者、非常に「非常識な」人たちの話  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回** 【授業テーマ】 タレスの思想 (1)  
【内容・方法等】 古代神話における神の死と哲学の始まり  
【事前・事後学習課題】 予習 タレスについて調べる。
- 第4回** 【授業テーマ】 タレスの思想 (2)  
【内容・方法等】 水の哲学  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回** 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (1)  
【内容・方法等】 二分法と火の哲学  
【事前・事後学習課題】 予習 ヘラクレイトスについて調べる。
- 第6回** 【授業テーマ】 ヘラクレイトスの思想 (2)  
【内容・方法等】 逆理論法  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回** 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (1)  
【内容・方法等】 存在の謎  
【事前・事後学習課題】 予習 パルメニデスについて調べる。
- 第8回** 【授業テーマ】 パルメニデスの思想 (2)  
【内容・方法等】 存在と永遠  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回** 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (1)  
【内容・方法等】 エレンコス  
【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスについて調べる。
- 第10回** 【授業テーマ】 ソクラテスの思想 (2)  
【内容・方法等】 非知、あるいは無知について  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回** 【授業テーマ】 プラトンの思想 (1)  
【内容・方法等】 身体とミ(身)の哲学  
【事前・事後学習課題】 予習 プラトンについて調べる。
- 第12回** 【授業テーマ】 プラトンの思想 (2)  
【内容・方法等】 アイデア論と隠された教説  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第13回** 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (1)  
【内容・方法等】 ストイックな生き方  
【事前・事後学習課題】 予習 M.アウレリウスについて調べる。
- 第14回** 【授業テーマ】 M.アウレリウスの思想 (2)  
【内容・方法等】 悪を無化する技法  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 これまでの講義のふりかえり  
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

**評価方法 (基準)**

定期試験60%、平常点 (コメントペーパー、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

**教材等**

教科書…なし  
参考書…藤澤令夫『哲学の課題』岩波書店、1989年。  
古東哲明『現代思想としてのギリシア哲学』講談社、1998年。その他は、授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

一見、現代の生活スタイルには関係ないと思われる古典哲学の知見が、実は身近なところで生き続けているということを自分の目で確かめてください。  
私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

**関連科目**

実践の思想

**担当者の研究室等**

非常勤講師室

歴史に学ぶ				
History				
村上 司 樹 (ムラカミ モトキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

歴史は暗記科目ではない。過去に生きた人びとの具体的な経験から思考力を培う営みである。理工学部を対象とするこの授業では、中世ヨーロッパの歴史を、自然と技術の2つの視点から読み直す。具体的には (1) 機械による労働、(2) 建築家と技術者、(3) 自然学の社会的利用が誕生した状況を知ることができる。理学と

工学のいずれれにとっても大きな転換点であった中世ヨーロッパについて、具体的で中味のある基礎知識を身につけよう。  
学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

毎回プリントを配布し、画像資料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのための2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

**科目学習の効果 (資格)**

文化という視点を得て、理学・工学をより深く、より幅広く理解するための教養を培う。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに  
【内容・方法等】 授業のルール・方針・全体計画  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第2回** 【授業テーマ】 機械からみた中世 I  
【内容・方法等】 中世の産業革命  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第3回** 【授業テーマ】 機械からみた中世 I I  
【内容・方法等】 中世の産業革命 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第4回** 【授業テーマ】 機械からみた中世 I I I  
【内容・方法等】 領主と農民のエネルギー利用  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第5回** 【授業テーマ】 機械からみた中世 I V  
【内容・方法等】 領主と農民のエネルギー利用 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第6回** 【授業テーマ】 機械からみた中世 V  
【内容・方法等】 教会と技術  
【事前・事後学習課題】 小レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 建築からみた中世 I  
【内容・方法等】 教会と建築  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第8回** 【授業テーマ】 建築からみた中世 I I  
【内容・方法等】 教会と建築 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第9回** 【授業テーマ】 建築からみた中世 I I I  
【内容・方法等】 教会と建築 (続々)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第10回** 【授業テーマ】 建築からみた中世 I V  
【内容・方法等】 修道院と石造り  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第11回** 【授業テーマ】 建築からみた中世 I V  
【内容・方法等】 修道院と石造り (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第12回** 【授業テーマ】 建築からみた中世 V  
【内容・方法等】 大聖堂と石造り  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第13回** 【授業テーマ】 自然からみた中世 I  
【内容・方法等】 奇蹟と魔術の自然学  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第14回** 【授業テーマ】 自然からみた中世 I I  
【内容・方法等】 奇蹟と魔術の自然学 (続)  
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第15回** 【授業テーマ】 自然からみた中世 I I I  
【内容・方法等】 奇蹟と魔術の自然学 (続々)  
【事前・事後学習課題】 テストの準備

**評価方法 (基準)**

暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験 (40%)、②小レポート (30%)、③レスポンスペーパー (30%) の3つで評価する。①～③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

**教材等**

教科書…参考資料を適宜配布する。  
参考書…授業中に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**

一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンスペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やることが多い」などとネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

**担当者の研究室等**

7号館2階 (非常勤講師室)

歴史に学ぶ  
History

佐伯智広 (サエキ トモヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的・到達目標：近代日本の成立についての歴史的な基礎知識を身に付け、その特質を理解する。  
概要：私たちは、日本という「国」に暮らしていることを、当たり前のこと・自然なことだと思っています。ですが、もしもそれが「自然ではないこと」だと言われたら…ちょっと「えっ？」と思いませんか？現在の私たちが暮らす「国」とは何なのか。それが誰によって、何のために、どのように作られたのか。この講義では、そうした国の成り立ちの歴史について学びます。それは、単なる歴史ではなく、現代社会について理解することにつながるでしょう。学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果（資格）

近代日本という国の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション 「国」とは何か  
【内容・方法 等】 私たちが現在暮らす「国」とは何なのかについて説明します。  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 開国  
【内容・方法 等】 幕末の開国について、江戸時代の鎖国と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第3回 【授業テーマ】 廃藩置県  
【内容・方法 等】 廃藩置県について、江戸時代の幕藩体制と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「廃藩置県」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第4回 【授業テーマ】 徴兵令  
【内容・方法 等】 徴兵令について、江戸時代の武士と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「徴兵令」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第5回 【授業テーマ】 文明開化  
【内容・方法 等】 文明開化について、江戸時代の蘭学・国学と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 自由民権運動  
【内容・方法 等】 自由民権運動について、現代の政治制度と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「自由民権運動」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第7回 【授業テーマ】 大日本帝国憲法  
【内容・方法 等】 大日本帝国憲法について、日本国憲法と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「大日本帝国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第8回 【授業テーマ】 条約改正  
【内容・方法 等】 不平等条約の改正について考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「条約改正」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第9回 【授業テーマ】 日清戦争・日露戦争  
【内容・方法 等】 日清戦争・日露戦争について、前後の時代の戦争と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「日清戦争」「日露戦争」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第10回 【授業テーマ】 第一次世界大戦  
【内容・方法 等】 第一次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「第一次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第11回 【授業テーマ】 ワシントン体制  
【内容・方法 等】 ワシントン体制について、現代の戦争問題と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「ワシントン体制」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第12回 【授業テーマ】 大正デモクラシー  
【内容・方法 等】 大正デモクラシーについて、現代の政治制度と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「大正デモクラシー」と

- いう語について辞書的な意味を調べる。
- 第13回 【授業テーマ】 世界恐慌  
【内容・方法 等】 世界恐慌について、現代の経済問題と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「世界恐慌」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第14回 【授業テーマ】 第二次世界大戦  
【内容・方法 等】 第二次世界大戦について、前後の時代の戦争と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「第二次世界大戦」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第15回 【授業テーマ】 そして現代へ  
【内容・方法 等】 第二次世界大戦後の日本について、現代と比較して考えます。  
【事前・事後学習課題】 予習として、「日本国憲法」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法（基準）

予習シート30%、定期試験70%

教材等

教科書…ありません。  
参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきょうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目

ありません。

担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

健康論

Theory of Health

横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会では、健康問題が最大の関心事である。特に生活習慣病は増加の一途をたどっている。この要因は食生活・運動・喫煙・飲酒・休養・ストレス等のライフスタイルに強く関連している。本講義では以上を踏まえて受講者が生涯にわたって自ら健康づくりを実践できる方途を具体的に論述する。(到達目標) ①ライフスタイルの重要性について理解する。②生活習慣病について理解する。③健康づくりのための運動処方について理解する。④疾病について理解する。学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）

本人が自覚して健康維持・増進を図ることの出来る能力を身につけ、生活の内容を豊かにすることを願う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 健康論とは  
【内容・方法 等】 ・ガイダンス  
・現代の健康についての概念  
【事前・事後学習課題】 ・筆記用具の準備
- 第2回 【授業テーマ】 薬物と健康  
【内容・方法 等】 ・違法薬物とは ・薬物中毒 ・薬物の内容・弊害  
【事前・事後学習課題】 ・違法薬物に対する理解
- 第3回 【授業テーマ】 喫煙と健康  
【内容・方法 等】 ・煙草の種類 ・喫煙のリスク  
・喫煙の弊害  
【事前・事後学習課題】 ・喫煙のリスク、健康への害に対する理解
- 第4回 【授業テーマ】 飲酒と健康  
【内容・方法 等】 ・飲酒と健康  
・飲酒の弊害  
【事前・事後学習課題】 ・アルコールの知識を理解を深める
- 第5回 【授業テーマ】 思春期と性  
【内容・方法 等】 ・身体の変化  
・性とは  
【事前・事後学習課題】 ・性に対する理解を深める  
・小テスト



- 第6回 【授業テーマ】 妊娠・出産（前半）  
 【内容・方法等】 ・妊娠とは  
 ・妊娠初期について ・妊娠中期について  
 【事前・事後学習課題】 ・妊娠初期、中期の理解
- 第7回 【授業テーマ】 妊娠・出産（後半）  
 【内容・方法等】 ・妊娠後期について  
 ・産じょく期について  
 【事前・事後学習課題】 ・妊娠後期、産褥期の理解
- 第8回 【授業テーマ】 性感染症  
 【内容・方法等】 ・性感染症とは  
 ・現代の性感染症 ・予防方法  
 【事前・事後学習課題】 ・現代の性感染症の確認と理解  
 ・小テスト"
- 第9回 【授業テーマ】 エイズ1  
 【内容・方法等】 ・エイズを知る  
 ・現代のエイズ状況  
 【事前・事後学習課題】 ・世界の現状を理解
- 第10回 【授業テーマ】 エイズ2  
 【内容・方法等】 ・HIVとAIDS  
 ・感染経路  
 【事前・事後学習課題】 ・エイズの感染経路の確認と理解
- 第11回 【授業テーマ】 エイズ3  
 【内容・方法等】 ・エイズの予防対策  
 【事前・事後学習課題】 ・エイズの予防の確認と理解  
 ・小テスト"
- 第12回 【授業テーマ】 応急手当①  
 【内容・方法等】 ・日常の応急手当  
 【事前・事後学習課題】 ・日常生活の応急処置の方法
- 第13回 【授業テーマ】 応急手当②  
 【内容・方法等】 ・救急処置法  
 ・救急処置の実際  
 【事前・事後学習課題】 ・事故などに関する応急処置の方法
- 第14回 【授業テーマ】 食事と睡眠・心身相関  
 【内容・方法等】 ・健康な食事と睡眠 ・心身の関係性  
 【事前・事後学習課題】 ・正しい食事、睡眠の確認と理解  
 ・小テスト"
- 第15回 【授業テーマ】 欲求と適応規制  
 【内容・方法等】 ・欲求と欲求不満 ・適応規制  
 【事前・事後学習課題】 ・欲求のメカニズムの理解  
 ・適応規制の理解

評価方法（基準）  
 定期試験・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。  
 配分は、定期テスト70%、平常態度30%

教材等  
 教科書…教科書の指定はしない。  
 参考書…なし

学生へのメッセージ  
 質問等がある場合は、研究室あるいは総合体育館事務室に来て下さい。

関連科目  
 スポーツ科学実習1・2  
 生涯スポーツ実習

担当者の研究室等  
 総合体育館1階 横山助教室

健康論 Theory of Health				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
 【授業概要・目的・到達目標】  
 現代社会では、健康問題が最大の関心事である。特に生活習慣病は増加の一途をたどっている。この要因は食生活・運動・喫煙・飲酒・休養・ストレス等のライフスタイルに強く関連している。本講義では以上を踏まえて受講者が生涯にわたって自ら健康づくりを実践できる方途を具体的に論述する。(到達目標) ライフスタイルの重要性について理解する。生活習慣病について理解する。健康づくりのための運動処方について理解する。疾病について理解する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点  
 講義形式で授業を進める。

科目学習の効果（資格）  
 本人が自覚して健康維持・増進を図ることの出来る能力を身につけ、生活の内容を豊かにすることを願う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題  
 第1回 【授業テーマ】 健康論とは

- 【内容・方法等】 ・ガイダンス  
 ・現代の健康についての概念  
 【事前・事後学習課題】 ・筆記用具の準備
- 第2回 【授業テーマ】 薬物と健康  
 【内容・方法等】 ・違法薬物とは ・薬物中毒 ・薬物の内容・弊害  
 【事前・事後学習課題】 ・違法薬物に対する理解
- 第3回 【授業テーマ】 喫煙と健康  
 【内容・方法等】 ・煙草の種類 ・喫煙のリスク  
 ・喫煙の弊害  
 【事前・事後学習課題】 ・喫煙のリスク、健康への害に対する理解
- 第4回 【授業テーマ】 飲酒と健康  
 【内容・方法等】 ・飲酒と健康  
 【事前・事後学習課題】 ・飲酒の弊害・アルコールの知識を理解を深める
- 第5回 【授業テーマ】 思春期と性  
 【内容・方法等】 ・身体の変化・性とは  
 【事前・事後学習課題】 ・性に対する理解を深める  
 ・小テスト"
- 第6回 【授業テーマ】 妊娠・出産（前半）  
 【内容・方法等】 ・妊娠とは  
 ・妊娠初期について  
 【事前・事後学習課題】 ・妊娠中期について・妊娠初期、中期の理解
- 第7回 【授業テーマ】 妊娠・出産（後半）  
 【内容・方法等】 ・妊娠後期について  
 ・産じょく期について  
 【事前・事後学習課題】 ・妊娠後期、産褥期の理解
- 第8回 【授業テーマ】 性感染症・性感染症とは  
 【内容・方法等】 ・現代の性感染症 ・予防方法  
 【事前・事後学習課題】 ・現代の性感染症の確認と理解  
 ・小テスト"
- 第9回 【授業テーマ】 エイズ1  
 【内容・方法等】 ・エイズを知る  
 【事前・事後学習課題】 ・現代のエイズ状況・世界の現状を理解
- 第10回 【授業テーマ】 エイズ2  
 【内容・方法等】 ・HIVとAIDS  
 【事前・事後学習課題】 ・感染経路・エイズの感染経路の確認と理解
- 第11回 【授業テーマ】 エイズ3  
 【内容・方法等】 ・エイズの予防対策  
 【事前・事後学習課題】 ・エイズの予防の確認と理解  
 ・小テスト"
- 第12回 【授業テーマ】 応急手当1  
 【内容・方法等】 ・日常の応急手当  
 【事前・事後学習課題】 ・日常生活の応急処置の方法
- 第13回 【授業テーマ】 応急手当2  
 【内容・方法等】 ・救急処置法  
 【事前・事後学習課題】 ・救急処置の実際・事故などに関する応急処置の方法
- 第14回 【授業テーマ】 食事と睡眠・心身相関  
 【内容・方法等】 ・健康な食事と睡眠  
 【事前・事後学習課題】 ・心身の関係性・正しい食事、睡眠の確認と理解  
 ・小テスト"
- 第15回 【授業テーマ】 欲求と適応規制  
 【内容・方法等】 ・欲求と欲求不満  
 【事前・事後学習課題】 ・適応規制・欲求のメカニズムの理解  
 ・適応規制の理解

評価方法（基準）  
 定期試験・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。  
 配分は、定期テスト70%、平常態度30%

教材等  
 教科書…教科書の指定はしない。  
 参考書…なし

学生へのメッセージ  
 質問等がある場合は、研究室あるいは総合体育館事務室に来て下さい。

関連科目  
 スポーツ科学実習1・2  
 生涯スポーツ実習

担当者の研究室等  
 総合体育館1階 横山助教室

**スポーツ科学実習 I**  
Practicum in Sports Science I

内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

ラグラグビーを通じて、体力や運動能力の維持、増進を図ることと、健康についての知識を深める。ラグラグビーは、通常のラグビーと違いタックルなどの身体接触がなく、複雑なルールや高度な技術を必要としない為、運動能力の個人差や男女差が顕在化しない特徴をもっている。また、鬼遊びの要素を持ったゲームで、スポーツの楽しさと、チームプレーによるコミュニケーション能力を養うことができ、学生間の交流や、社会での適応力を高めることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある)  
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。  
原則として、スポーツ科学実習 I と II で同じ種目を履修することはできない。

**科目学習の効果(資格)**

個人としての基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得、及び団体競技における協調性を養う。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 ガイダンス (履修上の注意やコース種目分け)  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①  
【内容・方法 等】 屋外種目  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②  
【内容・方法 等】 屋内種目  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価
- 第4回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 競技説明(ルールの説明)及び基本技術(ランニング・パス)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術(タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術(タグを使用して、基本的なアタック&ディフェンス練習)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習(タグを使った簡易ゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習(タグを使った簡易ゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習(タグを使った簡易ゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム(実際の試合のルールに慣れる)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム(実際の試合のルールに慣れる)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 基本技術、応用練習、ミニゲーム(実際の試合のルールに慣れる)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合(成績記録)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合(成績記録)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 タグラグビー  
【内容・方法 等】 試合(成績記録)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

**評価方法(基準)**

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

**教材等**

教科書…使用しません  
参考書…使用しません

**学生へのメッセージ**

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。  
実施場所は、第1グラウンド(人工芝)で行う。  
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

**関連科目**

生涯スポーツ実習

**担当者の研究室等**

体育館1F 内部助教室  
セミナー室

**スポーツ科学実習 I**  
Practicum in Sports Science I

近藤 潤 (コンドウ ジュン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

スポーツ科学実習 II はスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。  
本授業では、バレーボールを教材とし、ゲームを主体に基礎技術やルールを身につけチームワークなどコミュニケーション能力を高める。  
《到達目標》  
①運動技術の向上  
②競技ルールの理解  
③学生相互のコミュニケーション能力の向上  
学科の学習・教育目標との対応：[B]

**授業方法と留意点**

【授業内容】  
実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

**科目学習の効果(資格)**

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 各履修コースを決定  
【事前・事後学習課題】 選択種目の確認
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①  
【内容・方法 等】 屋外種目  
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②  
【内容・方法 等】 屋内種目  
【事前・事後学習課題】 体力測定評価
- 第4回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術(パス・レシーブ)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術(サーブ・アタック・ブロック)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術・ゲームの基礎  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 基礎技術・ゲームの基礎  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 応用技術 レシーブフォーメーション  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 応用技術 レシーブフォーメーション  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 ゲーム リーグ戦  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 ゲーム リーグ戦  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法 等】 ゲーム リーグ戦  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 バレーボール

第14回 【内容・方法等】 ゲーム リーグ戦  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バレーボール

第15回 【内容・方法等】 ゲーム リーグ戦  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バレーボール  
【内容・方法等】 ゲーム リーグ戦  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法 (基準)  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等  
教科書…使用しない  
参考書…使用しない

学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。  
実施場所は体育館2Fアリーナで行う。  
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目  
生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等  
体育館1F 近藤研究室

スポーツ科学実習II Practicum in Sports Science II				
河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
スポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体能力を実践する能力を育成することを目的とする。本授業では、数種目の競技のルール・技術を身につけさらにグループの中でゲーム進行などコミュニケーション能力を向上させる。  
《到達目標》  
①運動技術の向上  
②競技ルールの理解  
③学生相互のコミュニケーション能力の向上  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)  
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。  
原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

**科目学習の効果(資格)**  
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 ガイダンス (履修上の注意やコース種目分け)  
【事前・事後学習課題】 ルールの理解

第2回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 基本技術 (パス)  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価

第3回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 基本技術 (トス)  
【事前・事後学習課題】 測定記録評価

第4回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第5回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第6回 【授業テーマ】 バレー  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第7回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 基本技術 (レシーブ)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第8回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 基本技術 (スマッシュ)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第9回 【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)

第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)

第11回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バトミントン  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)

第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法等】 基本技術 (ドリブル)

第13回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法等】 基本技術 (パス)

第14回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)

第15回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 バスケットボール  
【内容・方法等】 応用練習 (ミニゲーム)

評価方法 (基準)  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等  
教科書…使用しません  
参考書…使用しません

学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目  
生涯スポーツ実習・健康論

担当者の研究室等  
総合体育館 河瀬研究室

スポーツ科学実習II Practicum in Sports Science II				
近藤 潤 (コンドウ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
スポーツ科学実習IIはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツをする楽しさを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。  
《到達目標》  
①運動技術の向上  
②競技ルールの理解  
③学生相互のコミュニケーション能力の向上  
～スポーツコース～  
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合っけるスポーツを各自が見つけ出せるように、ソフトボールとサッカーを実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
【授業内容】

実技形式で行う。(雨天の場合、講義形式を行う場合がある。)

**科目学習の効果(資格)**  
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 コース種目分け、履修上の注意  
【事前・事後学習課題】 選択種目の確認

第2回 【授業テーマ】 ソフトボール  
【内容・方法等】 基本技術 (キャッチボール・バッティング)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第3回 【授業テーマ】 ソフトボール  
【内容・方法等】 基本技術 (キャッチボール・バッティング)、ゲーム  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第4回 【授業テーマ】 ソフトボール  
【内容・方法等】 リーグ戦及び実技テスト  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

第5回 【授業テーマ】 ソフトボール  
【内容・方法等】 リーグ戦及び実技テスト

- 第6回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 ソフトボール  
【内容・方法等】 リーグ戦及び実技テスト
- 第7回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 ソフトボール  
【内容・方法等】 リーグ戦及び実技テスト（総合評価）
- 第8回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 基本技術（リフティング、パス、ドリブル）ミニゲーム
- 第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 基本技術（リフティング、パス、ドリブル）ミニゲーム
- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 ミニコートゲーム・オールコートゲーム
- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 ミニコートゲーム・オールコートゲーム
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 オールコートゲーム
- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 オールコートゲーム（成績記録）
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 オールコートゲーム（成績記録）
- 第15回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 サッカー  
【内容・方法等】 オールコートゲーム（総合評価）

評価方法（基準）  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等  
教科書…使用しない  
参考書…使用しない

学生へのメッセージ  
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室に来ること。  
実施場所はグラウンドで行う。  
服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目  
生涯スポーツ実習・健康論  
担当者の研究室等  
総合体育館1F 近藤研究室

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
		近藤 潤 (コンドウ ジュン)		
		菅生 貴之 (スゴウ タカユキ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標  
ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的とする。  
《到達目標》  
運動技術の向上  
競技ルールの理解  
学生相互のコミュニケーション能力の向上  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点  
事前ガイダンスと集中授業4日間合わせて5日間で行う。  
後期の生涯スポーツ実習が履修できること。  
5日間すべて受講できること。  
事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題  
テーマ 学習内容 場所  
1回目 事前ガイダンス 目的、日程、準備する物、ゴルフについて 総合体育館  
2回目 AM：ゴルフの基礎知識 ゴルフのルール・マナーについて 総合体育館  
PM：基礎技術 グリップ・スウィング・バター 多目的グラウンドおよび第1グラウンド  
3回目 AM：基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場  
PM：基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド

4回目 AM：基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場  
PM：基礎技術 アプローチ、バター練習 第1グラウンド  
5回目 PM：応用編 ラウンド（9H） 京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準  
平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等  
教科書…指定なし  
参考書…使用しない

備考  
ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス（半ズボン）の場合はハイソックス着用、運動靴（スパイク類は禁止）

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
		河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)		
		近藤 潤 (コンドウ ジュン)		
		藤林 真美 (フジバヤシ マミ)		
		横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)		
		内 部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標  
スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。  
《到達目標》  
①運動技術の向上  
②競技ルールの理解  
③学生相互のコミュニケーション能力の向上  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点  
【授業内容】  
授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。  
前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球  
後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。  
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果（資格）  
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）  
コース種目分け
- 第2回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
- 第3回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習
- 第4回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
- 第5回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
- 第6回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
- 第7回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
- 第8回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（グループピンク・成績記録）
- 第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技  
【内容・方法等】 ゲーム（グループピンク・成績記録）
- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
【授業テーマ】 各コース別実技

- 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第11回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第12回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第13回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第14回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第15回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

**評価方法（基準）**  
 平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

**教材等**  
 教科書…使用しない  
 参考書…使用しない

**学生へのメッセージ**  
 授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

**関連科目**  
 スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

**担当者の研究室等**  
 体育館1F 体育館事務室

**備考**  
 【準備物】  
 トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

**生涯スポーツ実習**  
 Lifetime Sports

河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)  
 近藤 潤 (コンドウ ジュン)  
 藤林 真美 (フジバヤシ マミ)  
 内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的にする。  
 《到達目標》  
 ①運動技術の向上  
 ②競技ルールの理解  
 ③学生相互のコミュニケーション能力の向上  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 【授業内容】  
 授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。  
 前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球  
 後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。  
 ※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

**科目学習の効果（資格）**  
 生活していくうえで個人の基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
 【内容・方法等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）  
 コース種目分け  
 【事前・事後学習課題】 ルールの理解  
**第2回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第3回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第4回** 【授業テーマ】 各コース別実技

- 【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第5回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第6回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第7回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第8回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第9回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第10回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第11回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第12回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第13回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第14回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ  
**第15回** 【授業テーマ】 各コース別実技  
 【内容・方法等】 ゲーム（グループワーク・成績記録）  
 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

**評価方法（基準）**  
 平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

**教材等**  
 教科書…使用しない  
 参考書…使用しない

**学生へのメッセージ**  
 授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

**関連科目**  
 スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

**担当者の研究室等**  
 体育館1F 体育館事務室

**備考**  
 【準備物】  
 トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

**基礎英語Ia**  
 Basic English Ia

木村 理恵子 (キムラ リエコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 この授業においては、基礎的な文法を復習しながら、TOEICの基礎能力を向上させて行くことが目的です。ここでは単に英語をパズルのように紙上で解くだけでなく、リスニング、スピーキングといった技能を用いる活動を取り入れながら、英語を習得を行っていきます。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 毎週のTOEICの単語学習をベースとして、作業・活動を中心にした、自発的に考え、英語に取り組むことを毎週行います。

**科目学習の効果（資格）**  
 英語の基礎能力の向上  
**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
**第1回** 【授業テーマ】 授業・授業方法についての説明, Unit 1 & 2 Noun and Article  
 【内容・方法等】 授業方法を説明します。さらにテキストUnit 1と2より、名詞・冠詞の復習をします。2つあるReading部分より一つを行います。  
 【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。

- 第2回** 【授業テーマ】 Unit 3 & 4 Pronoun  
TOEIC QUIZ 1 単語帳 (1番～12番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
代名詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第3回** 【授業テーマ】 Unit 5 & 6 Tense  
TOEIC QUIZ 2 単語帳 (13番～23番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
動詞の時制の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第4回** 【授業テーマ】 Unit 7 & 8 Tense and Auxiliary Verb  
TOEIC QUIZ 3 単語帳 (24番～36番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
動詞の時制・助動詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 Review Quiz (Unit 1 to 8までの範囲で)  
TOEIC QUIZ 4 単語帳 (37番～48番)  
【内容・方法等】 Review Quizでは、宿題・課題として各自が行ってきた学習の中から行います。  
さらに、TOEICの単語テストはいつものように行います。  
テスト以外の時間はThinkingを利用した活動を行います。  
【事前・事後学習課題】 次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 Unit 9 & 10 Auxiliary Verb and Voice  
TOEIC QUIZ 5 単語帳 (49番～60番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
助動詞・態の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第7回** 【授業テーマ】 Unit 11 & 12 Voice and To-Infinitive  
TOEIC QUIZ 6 単語帳 (61番～73番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
態・To不定詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第8回** 【授業テーマ】 Unit 13 & 14 To-Infinitive and Participle  
TOEIC QUIZ 7 単語帳 (74番～84番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
To不定詞・分詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第9回** 【授業テーマ】 Unit 15 & 16 Participle and Gerund  
TOEIC QUIZ 8 単語帳 (85番～95番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
分詞h・動名詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第10回** 【授業テーマ】 Review Quiz (Unit 9 から16までの範囲で)  
TOEIC QUIZ 9 単語帳 (96番～108番)  
【内容・方法等】 Review Quizでは、宿題・課題として各自が行ってきた学習の中から行います。  
さらに、TOEICの単語テストはいつものように行います。  
テスト以外の時間はThinkingを利用した活動を行います。  
【事前・事後学習課題】 次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第11回** 【授業テーマ】 Unit 17 & 18 Gerund, Adverb and Adjective  
TOEIC QUIZ 10 単語帳 (109番～120番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
動名詞・副詞と形容詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第12回** 【授業テーマ】 Unit 19 & 20 Comparative  
TOEIC QUIZ 11 単語帳 (121番～134番)

- 【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
比較級の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第13回** 【授業テーマ】 Unit 21 & 22 Relative  
TOEIC QUIZ 12 単語帳 (135番～150番)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
関係詞の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第14回** 【授業テーマ】 Unit 23 & 24 Subjunctive mood  
TOEIC QUIZ 単語帳 (1番～150番の復習)  
【内容・方法等】 TOEICの単語テストを行います。  
仮定法の用法の復習を行います。  
二つあるReading部分より一つを授業内に行います。  
【事前・事後学習課題】 Review Quizまでに残ったReading部分は宿題、または課題として各自で行ってください。次週の単語テスト部分を確認し準備すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 テキストからの復習  
TOEIC QUIZ 単語帳 (1番～150番の復習)  
【内容・方法等】 テキストからの復習を行います。期末テストにも関係してくる内容になります。  
さらに、TOEICのテストはいつものように行います。  
【事前・事後学習課題】 授業内容をよく確認して、テキストの復習とTOEICの単語の復習を行うこと。

**評価方法 (基準)**  
共通試験30%【TOEIC20%、単語試験10%】 定期試験50% 平常点20%

**教材等**  
教科書…Mastering Basic English Grammar (成美堂, 1800円)  
参考書…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂, 1700円)

**学生へのメッセージ**  
英語におけるコミュニケーションの基本として、英文法が挙げられます。  
授業においてはその点を踏まえて、積極的に活動やタスクに参加することが大切です。

**関連科目**  
その他の英語科目

**担当者の研究室等**  
7号館2階 (非常勤講師室)

**備考**  
このクラスのTOEIC単語集の学習番号は 0001 から 0150です。

基礎英語Ia Basic English Ia				
大江麻里子 (オオエ マリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
基礎的な英文法をおさえながらも、簡単な読解や語彙力も身につけることを目的とする。様々な物語を紹介すると同時に、その背景の食文化について読んでいく。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
出来るだけ毎回全員を指名するので予習をしておく必要があります。分からない単語はひいて、授業の準備をしておいてください。

**科目学習の効果 (資格)**

TOEIC等のスコアアップ

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 授業の進め方、評価方法等の説明など。  
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 chocolate frogs  
【内容・方法等】 単語テスト  
テキストの読解、練習問題  
文法事項の確認  
【事前・事後学習課題】 単語学習(1-12)  
テキストの予習、復習
- 第3回** 【授業テーマ】 Chapter 2: Peter Rabbit and Pie  
【内容・方法等】 単語テスト  
テキストの読解、練習問題

- 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(13-24)  
 テキストの予習、復習
- 第4回 **【授業テーマ】** Chapter 3 : Mrs. Rabbit and Herb Tea  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(25-36)  
 テキストの予習、復習
- 第5回 **【授業テーマ】** Chapter 4 : Winnie-the-Pooh and Honey  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(37-48)  
 テキストの予習、復習
- 第6回 **【授業テーマ】** Chapter 5 : Daddy-Long-Legs and Ice Cream  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(49-60)  
 テキストの予習、復習
- 第7回 **【授業テーマ】** Chapter 6 : Kenji Miyazawa and Tomatoes  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(61-72)  
 テキストの予習、復習
- 第8回 **【授業テーマ】** Chapter 7 : O. Henry and "Witches' Loaves"  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(73-84)  
 テキストの予習、復習
- 第9回 **【授業テーマ】** Chapter 8 : The Old Man and Fish  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(85-96)  
 テキストの予習、復習
- 第10回 **【授業テーマ】** Chapter 9 : East of Eden and Lettuce  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(97-108)  
 テキストの予習、復習
- 第11回 **【授業テーマ】** Chapter 10 : Laura and Cheese-Making on the Prairie  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(109-120)  
 テキストの予習、復習
- 第12回 **【授業テーマ】** Chapter 11 : Breakfast and Tiffany's  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(121-132)  
 テキストの予習、復習
- 第13回 **【授業テーマ】** Chapter 12 : "Mujina" and "Soba"  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習(133-150)  
 テキストの予習、復習
- 第14回 **【授業テーマ】** Chapter 13 : Bridget Jones and Dieting  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** テキストの予習、復習
- 第15回 **【授業テーマ】** Chapter 14 : Agatha Christies and Apples  
**【内容・方法 等】** 単語テスト  
 テキストの読解、練習問題  
 文法事項の確認  
**【事前・事後学習課題】** 教科書全体を見直して、質問する点があれば、まとめておく
- 評価方法 (基準)  
 定期試験 (40%)、工学部共通試験 (TOEICブリッジ) 20%、統一英語単語テスト(10%)、平常点 (課題・小テスト・授業態度等) 30%
- 教材等  
 教科書…「フィクションにみる食文化」(朝日出版社) 1700円  
 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test」(成美堂) 1700円  
 参考書…特になし

学生へのメッセージ

高校までの英語をおさらいしつつも、文学や食文化について勉強しましょう。毎回ほぼ全員があたりますので、積極的に授業に参加してください。

関連科目

他の英語科目など

担当者の研究室等

7号館2階 (非常勤講師室)

備考

(電子) 辞書持参

基礎英語I b

Basic English I

木村 ゆみ (キムラ ユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英文を「聞いて」「読んで」「考える」ワークブック形式のテキストを通して、実践英語の基礎固めをする。リスニング、リーディング、ボキャブラリーを中心に英語の運用能力を高めることを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応 : [A]

授業方法と留意点

教科書に沿って進むが、随時プリント教材で補足する。

単語テストは8回に分けて授業の最初に行う。

ただ出席するだけではなく、積極的な授業参加が求められる。携帯の使用や、私語、居眠り等が認められた場合は減点となるので注意すること。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC Bridgeの得点アップ、英検におけるレベルアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** ・授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明  
 ・教科書Unit 1を少し進める  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 151～ NO 168
- 第2回 **【授業テーマ】** Unit 1 基礎文法の確認  
**【内容・方法 等】** 演習と解説  
 単語テスト1  
**【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 169～ NO 186  
 当該ユニットの予習 復習
- 第3回 **【授業テーマ】** これまでの授業の復習と、発展的学習  
**【内容・方法 等】** 演習と解説、発展問題  
 単語テスト2  
**【事前・事後学習課題】** 課題：授業で指示する
- 第4回 **【授業テーマ】** これまでの授業内容の確認  
**【内容・方法 等】** 臨時試験、復習  
**【事前・事後学習課題】** 課題：授業で指示する  
 単語テストの予習 NO 187～ NO 205
- 第5回 **【授業テーマ】** Unit 2 基礎文法の確認  
**【内容・方法 等】** 演習と解説  
 単語テスト3  
**【事前・事後学習課題】** 当該ユニットの予習 復習  
 単語テストの予習 NO 206～ NO 224
- 第6回 **【授業テーマ】** Unit 3 基礎文法の確認  
**【内容・方法 等】** 演習と解説  
 単語テスト4  
**【事前・事後学習課題】** 当該ユニットの予習 復習  
 単語テストの予習 NO 225～ NO 243
- 第7回 **【授業テーマ】** これまでの授業の復習と、発展的学習  
**【内容・方法 等】** 演習と解説  
 単語テスト5  
**【事前・事後学習課題】** 課題：授業で指示する
- 第8回 **【授業テーマ】** これまでの学習内容の確認  
**【内容・方法 等】** 臨時試験、復習  
**【事前・事後学習課題】** 課題：授業で指示する  
 単語テストの予習 NO 244～ NO 262
- 第9回 **【授業テーマ】** Unit 4 読解の方法  
**【内容・方法 等】** 演習と解説  
 単語テスト6  
**【事前・事後学習課題】** 当該ユニットの予習 復習  
 単語テストの予習 NO 263～ NO 281
- 第10回 **【授業テーマ】** Unit 5 読解の方法  
**【内容・方法 等】** 演習と解説  
 単語テスト7  
**【事前・事後学習課題】** 当該ユニットの予習 復習  
 単語テストの予習 NO 282～ NO 300
- 第11回 **【授業テーマ】** これまでの授業の復習と、発展的学習  
**【内容・方法 等】** 演習と解説

たんとテスト8

- 第12回 【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
【授業テーマ】 これまでの学習内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習
- 第13回 【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
【授業テーマ】 Unit 6 英語の語彙  
【内容・方法等】 演習と解説  
【事前・事後学習課題】 当該ユニットの予習 復習
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 7 英語の語彙  
【内容・方法等】 演習と解説  
【事前・事後学習課題】 当該ユニットの予習 復習
- 第15回 【授業テーマ】 これまでの学習内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する

**評価方法 (基準)**

平常点 (発表授業中の態度) 10%、臨時試験と課題提出 30%、統一英語単語テスト10%、共通試験 (TOEICブリッジ) 20%、定期試験を30%として、総合的に評価する。

**教材等**

教科書…・Story Box (2,000円+税) センゲージラーニング株式会社  
・The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 成美堂(1,700円)

参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

・各自の予習 (単語、フレーズ調べ) が不可欠です  
・e-learning教材と、テキスト付属CDを使って自宅学習を行います。地道な努力により、英語力は必ず伸びます、がんばりましょう。

**関連科目**

他の英語関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

**備考**

授業計画は進度によって変わる場合がある。

- 第6回 【授業テーマ】 5 法助動詞 (2)  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.42-45  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第7回 【授業テーマ】 6 法助動詞 (3)  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.46-49  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第8回 【授業テーマ】 7 仮定法  
臨時試験 (中間テスト)  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
前半のまとめ  
TOEIC単語小テスト：pp.50-51/26-27  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、テスト範囲の復習  
予習：文法問題、英作文をする
- 第9回 【授業テーマ】 7 仮定法  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.28-31  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第10回 【授業テーマ】 8 関係詞  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.32-35  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第11回 【授業テーマ】 9 否定と比較  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.36-39  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第12回 【授業テーマ】 10 前置詞  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.40-43  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第13回 【授業テーマ】 [作文] 11 HAVE+過去分詞  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.44-47  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第14回 【授業テーマ】 12 Be+現在分詞  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.48-51  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第15回 【授業テーマ】 13 Be+過去分詞  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：総復習  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする

**評価方法 (基準)**

共通試験30% (TOEICブリッジ20%、共通英語単語テスト10%)、定期試験50%、平常点 (発表、小テスト、授業態度) 20%とし、総合的に評価する。

**教材等**

教科書…・English for Your Future I-Grammar and Writing  
石崎一樹 他著、(株) マクミラン ランゲージハウス 2000  
円  
・The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test;  
Word Book 成美堂

参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

必ずexerciseをして授業にでること。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

基礎英語I b Basic English I				
金原 真由美 (カネハラ マユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

英語の文法と作文の力を向上させることを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

文法解説の後は課題のチェックを行う。文法問題と英作文を自分の力でできるところまで進めておくこと。  
毎回授業の始めにTOEICのための単語小テスト (4ページずつ) を行う。

**科目学習の効果 (資格)**

TOEIC,英検での語彙、文法の力の向上

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ・授業のオリエンテーション、自己紹介  
・Chapter1 を少し始める  
【内容・方法等】 授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を次回の授業に向けて予習しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 [文法]1 進行形  
【内容・方法等】 座席を指定する。  
文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.26-29  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第3回 【授業テーマ】 2 完了形  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.30-33  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第4回 【授業テーマ】 3 分詞  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.34-37  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする
- 第5回 【授業テーマ】 4 法助動詞 (1)  
【内容・方法等】 文法解説、課題チェック、英作文  
TOEIC単語小テスト：pp.38-41  
【事前・事後学習課題】 文法の整理復習、予習：文法問題、英作文をする

基礎英語II a Basic English IIa				
後藤 一章 (ゴトウ カズアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

このクラスでは、マルチメディア教材と文法教材を併用し、リスニング力、語彙力、文法力、読解力といった総合的な英語運用能力の向上を目指す。なお、教室はCALL教室を利用する。



学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

マルチメディア教材を利用したリスニング訓練と、単語テストを毎時間行う。さらに、徹底した文法項目の学習や、英文読解練習を行うことで、基礎的な英語力を身につける。授業内容が多岐にわたるため、普段から自習に励むこと。

**科目学習の効果（資格）**

TOEICスコアアップ

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス  
**【内容・方法 等】** 講義内容、授業の進め方、成績評価の説明  
**【事前・事後学習課題】** 予習をすること
- 第2回 **【授業テーマ】** Unit 1  
**【内容・方法 等】** 文型について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.50-51)
- 第3回 **【授業テーマ】** Unit 2  
**【内容・方法 等】** 文型について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.52-53)
- 第4回 **【授業テーマ】** Unit 3 名詞  
**【内容・方法 等】** 名詞について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.54-55)
- 第5回 **【授業テーマ】** Unit 4 冠詞  
**【内容・方法 等】** 冠詞について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.56-57)
- 第6回 **【授業テーマ】** Unit 5 代名詞  
**【内容・方法 等】** 代名詞について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.58-59)
- 第7回 **【授業テーマ】** Unit 6 代名詞  
**【内容・方法 等】** 代名詞について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.60-61)
- 第8回 **【授業テーマ】** Unit 7 未来形  
**【内容・方法 等】** 未来形について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.62-63)
- 第9回 **【授業テーマ】** Unit 8 進行形  
**【内容・方法 等】** 進行形について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.64-65)
- 第10回 **【授業テーマ】** Unit 9 完了形  
**【内容・方法 等】** 完了形について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.66-67)
- 第11回 **【授業テーマ】** Unit 10 助動詞  
**【内容・方法 等】** 助動詞について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.68-69)
- 第12回 **【授業テーマ】** Unit 11 助動詞  
**【内容・方法 等】** 助動詞について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.70-71)
- 第13回 **【授業テーマ】** Unit 12 態  
**【内容・方法 等】** 態について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.72-73)
- 第14回 **【授業テーマ】** Unit 13 態  
**【内容・方法 等】** 態について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 前週の指示通り予習・復習をすること  
単語試験の学習 (pp.74-75)
- 第15回 **【授業テーマ】** 総復習  
**【内容・方法 等】** \_\_\_\_\_  
**【事前・事後学習課題】** 単語の総復習 (pp.50-75)

**評価方法（基準）**

共通試験20%（統一英語単語テスト20%）、定期試験50%、小テスト20%、授業態度10%の割合で総合的に評価する

**教材等**

教科書…『English Makeover』成美堂（1,800円＋税）

『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test』成美堂

参考書…なし

**学生へのメッセージ**

日頃から英語に興味を持ち、授業には積極的な態度で臨んでください。

**関連科目**

新聞英語、商業英語等、英語関連科目

**担当者の研究室等**

7号館5階 後藤研究室（外国語学部）

**基礎英語II a**

Basic English IIa

齋藤 安以子 (サイトウ アイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

文法の知識を、英語で情報を取り込んだり発信したりする際に運用できるようにする。  
語彙や構文がシンプルでも内容が充実した英語の文章を読み、理解できるようにする。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

- ・文法項目の復習
- ・その項目が実際に用いられている英文を読み、理解する。
- ・自分でも話したり書いたりする際にその項目が使えるよう練習する。

**科目学習の効果（資格）**

「選択肢の中から正しい答えを速く選ぶ」だけでなく、「実際に文法の知識を使って情報を伝える」ようになるためのトレーニングをします。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 学習方法って何？  
**【内容・方法 等】** ・いろいろな言語の学び方の中から、自分が得意な方法を探す実験をする。  
・単語テストの準備の方法や、ペースを考える  
**【事前・事後学習課題】** 前期のテキストを読み直す  
単語：No.0301-0310
- 第2回 **【授業テーマ】** 時制（1）  
**【内容・方法 等】** ・現在時制が示すいろいろな時の概念を、実例を探しながら考える。  
単語のドリル  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習：No.0311-0320  
宿題
- 第3回 **【授業テーマ】** 時制（2）  
**【内容・方法 等】** ・単純過去形と現在完了形のちがいは何か、実例を探しながら考える。  
単語のドリル  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習：No. 0321-0330  
宿題
- 第4回 **【授業テーマ】** 時制（3）  
**【内容・方法 等】** ・進行形が意味するものは何か、実例を探しながら考える。  
単語のドリル  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習：No.0331-0340  
宿題
- 第5回 **【授業テーマ】** 文型（1）  
**【内容・方法 等】** ・文型がわかると見えてくること  
・命令も依頼も基本は同じ。日常でよく使う表現の文型を学ぶ。  
単語のドリル  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習：No.0341-0350  
宿題
- 第6回 **【授業テーマ】** 文型（2）  
**【内容・方法 等】** ・Be動詞は何のためにあるのか？  
単語のドリル  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習：No.0351-0360  
宿題
- 第7回 **【授業テーマ】** 能動態と受動態（1）  
**【内容・方法 等】** ・受動態の作り方の復習  
・受動態を使うのはどんなとき？実例を探す。  
単語のドリル  
**【事前・事後学習課題】** 単語学習：No.0361-0370  
宿題
- 第8回 **【授業テーマ】** 能動態と受動態（2）  
**【内容・方法 等】** ・受動態を使うのはどんなとき？探した実例の発表、およびなぜ能動態ではなく受動態を使ったかの分析

- 単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0371-0380  
宿題
- 第9回 【授業テーマ】 代名詞  
【内容・方法等】 ・代名詞のいろいろな形  
・所有をあらわすいろいろな表現  
単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0381-0390  
宿題
- 第10回 【授業テーマ】 文法と音  
【内容・方法等】 ・同じ単語の並べ方でも、発音で意味が変わる例  
・リスニングで聞き取りにくい箇所には、何が起きているのか  
単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0391-0400  
宿題
- 第11回 【授業テーマ】 単数と複数  
【内容・方法等】 ・英語の中の「数えられる・数えられない」という分類  
・「数えられない」ものをどうやって数えるか  
単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0401-0410  
宿題
- 第12回 【授業テーマ】 まとまりのある文章を書く（1）  
【内容・方法等】 発表の準備  
単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0411-0420  
宿題
- 第13回 【授業テーマ】 まとまりのある文章を書く（2）  
【内容・方法等】 発表の準備  
単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0421-0436  
宿題
- 第14回 【授業テーマ】 発表  
【内容・方法等】 文法的に正しい英語で、プレゼンテーションをする  
単語のドリル  
【事前・事後学習課題】 単語学習:No.0437-0450  
宿題
- 第15回 【授業テーマ】 まとめとふりかえり  
今後の学習方法について  
【内容・方法等】 ・後期にできるようになったことをふりかえり  
・単語の総復習  
【事前・事後学習課題】 期末試験の準備  
単語：0301-0450 の復習

**評価方法（基準）**

授業中の発表 30%  
定期試験 50%  
共通試験（統一英語単語テスト） 20%

**教材等**

教科書…前期の基礎英語Ia と同じ。ただし、くりかえし解くためではなく、文法事項の参考書代わりに使います。  
参考書…The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test（成美堂,1700円）

**学生へのメッセージ**

単語も文法も、暗記しただけでは、使えるようになりません。授業を通して、それらをたくさん使うことで、便利な道具として自分のものにしていきましょう。

**関連科目**

基礎英語Ia ほか

**担当者の研究室等**

7号館4階 齋藤研究室

**備考**

図書館のリーディングラウンジにある易しい英語の本のコレクションや、インターネット上の無料の英語教材も使います。自分に合った学び方を探しながら、勉強をすすめましょう。

基礎英語II b Basic English II				
木村 ゆみ (キムラ ユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

英文を「聞いて」「読んで」「考える」ワークブック形式のテキストを通してさらなるリスニング力、読解力、語彙・文法力をつけ、実践英語の基礎固めをする。  
TOEIC等で高得点がとれるようリスニング力、読解力、

語彙・文法力、をつけることを目標とする  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

教科書に沿って進むが、随時プリント教材で補足する。  
単語テストは8回に分けて授業の最初に行う。  
ただ出席するだけではなく、積極的な授業参加が求められる。  
携帯の使用や、私語、居眠り等が認められた場合は減点となるので注意すること。

**科目学習の効果（資格）**

TOEIC Bridgeの得点アップ、英検におけるレベルアップ

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 ・授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明  
・Unit 8 英文構造  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 451～NO469
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 9 英文構造  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト1  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習 復習  
単語テストの予習 NO 470～NO 488
- 第3回 【授業テーマ】 これまでの授業の復習と、発展的学習  
【内容・方法等】 演習と解説、発展問題  
単語テスト2  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
【授業テーマ】 これまでの授業内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
単語テストの予習 NO 489～NO 507
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 10 英文内容把握  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト3  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 508～NO 526
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 11 英文内容把握  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト4  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 527～NO 545
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 12 リスニング対策  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト5  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
【授業テーマ】 これまでの学習内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
単語テストの予習 NO 546～NO 564
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 12 リスニング対策  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト6  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 565～NO 582
- 第8回 【授業テーマ】 Unit 13 リスニング対策  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト7  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 583～NO 600
- 第9回 【授業テーマ】 これまでの授業の復習と、発展的学習  
【内容・方法等】 演習と解説  
単語テスト8  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
【授業テーマ】 これまでの学習内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
単語テストの予習 NO 601～NO 618
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 14 さらなる語彙力アップ  
【内容・方法等】 演習と解説  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 619～NO 636
- 第11回 【授業テーマ】 総合演習  
【内容・方法等】 演習と解説  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 637～NO 654
- 第12回 【授業テーマ】 これまでの学習内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
単語テストの予習 NO 655～NO 672
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 15 総合演習  
【内容・方法等】 演習と解説  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 673～NO 690
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 16 総合演習  
【内容・方法等】 演習と解説  
【事前・事後学習課題】 該当UNITの予習、復習  
単語テストの予習 NO 691～NO 708
- 第15回 【授業テーマ】 これまでの学習内容の確認  
【内容・方法等】 臨時試験、復習  
【事前・事後学習課題】 課題：授業で指示する  
単語テストの予習 NO 709～NO 726

**評価方法（基準）**

平常点（発表、授業中の態度）10%、臨時試験と課題提出40%、共通単語試験 20%、定期試験を30%として、総合的に評価する

**教材等**

教科書…・Story Box センゲージラーニング株式会社（2,000円＋税）  
・The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 成美堂(1,700円＋税)  
参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

- ・各自の予習（単語、フレーズ調べ）が不可欠です
- ・e-learning教材と、テキスト付属CDを使って自宅学習を行いましょう。地道な努力により、英語力は必ず伸びます、がんばりましょう。

**関連科目**

他の英語関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

**備考**

授業計画は進度によって変わる場合がある。

基礎英語II b Basic English II				
金原 真由美 (カネハラ マユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

語彙力の増強と読解の力を養うことを目的とする。文の構成や読み方に注意しながら様々な分野のトピックを読むことによってreading skillを身につけていく。  
毎回授業の始めにTOEICのための単語小テスト(4ページずつ)をおこなう。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

単語の意味を確認し、本文の読みと解釈を中心に進めていく。分からないところを事前に調べ、段落の要旨を掴んでおくこと。受講者全員にできるだけ多く発表してもらうので、一人一人が一つのUnitをきちんと予習してきて欲しい。

**科目学習の効果(資格)**

TOEIC、英検での語彙と読解力の向上

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 授業のオリエンテーション、座席決めをする。  
文法の復習(確認テスト)  
Unit 1  
【内容・方法 等】 教科書の進め方、評価方法の説明  
Unit 1 長文の読み方の説明  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第2回** 【授業テーマ】 1 The Amazing Flying Chair 目的語と補語  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.74-77  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第3回** 【授業テーマ】 2 Dropping Out of High School S+V+O+O  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.78-81  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第4回** 【授業テーマ】 3 Bad Medical Advice? S+V+O+C  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.82-85  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第5回** 【授業テーマ】 4 The Colonel's Bad Luck 単文・複文(1)  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.86-87 / 90-91  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第6回** 【授業テーマ】 5 A World Without Birds 単文・複文(2)  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.92-95  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第7回** 【授業テーマ】 6 The Great Invention 補語：名詞節を導くthat  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.96-99  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)
- 第8回** 【授業テーマ】 7 Garlic, Wonder Root 接続詞

臨時試験(中間テスト)

【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
前半のまとめ  
TOEIC単語小テスト：pp.100-103  
【事前・事後学習課題】 テストに備えた復習  
予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第9回**

【授業テーマ】 7 Garlic, Wonder Root 接続詞  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.74-77  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第10回**

【授業テーマ】 8 John Chapman, a strange, but Heroic Man 修飾語(1)  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.78-81  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第11回**

【授業テーマ】 9 Baseball Curses 修飾語(2)  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.82-85  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第12回**

【授業テーマ】 10 Untimely Death 前置詞の目的語  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.86-87 / 90-91  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第13回**

【授業テーマ】 11 Train Gropers 関係代名詞  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.92-95  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第14回**

【授業テーマ】 12 Japan Saves an Anime Star 関係副詞  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.96-99  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**第15回**

【授業テーマ】 13 Seeing Red 仮定法(1)  
【内容・方法 等】 語彙のチェック、本文の内容理解、exercises  
TOEIC単語小テスト：pp.100-103  
【事前・事後学習課題】 予習(単語調べ、本文の要旨を掴んでおく)

**評価方法(基準)**

共通単語試験 20%、中間と定期試験60%、平常点(発表、小テスト、授業中の態度) 20%として、総合的に評価する。

**教材等**

教科書…・Premium Reader - Pre-intermediate, Robert Juppe/馬場幸雄著 金星堂 (1995円)  
・The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: Word Book 成美堂 (1700円)

参考書…特になし

**学生へのメッセージ**

reading strategyを意識して本文を読んでおくこと。単語やフレーズは丹念に辞書を引いてください。  
授業には辞書を必ず持参し、常に引くこと。

**関連科目**

他の英語科目

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

**備考**

授業計画は進度によって変更する場合がある。

実践英語入門 Introduction to Practical English				
金原 真由美 (カネハラ マユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

TOEICの試験の形式に慣れスコアを上げるために必要な力をつけることを到達目標とする。内容の連動した教科書を2冊用い、

文法、読解、リスニング、スピーキングの練習を通して英語の総合的な力をつけていく。

また毎回授業の始めにTOEICのための単語小テストを行う。

**授業方法と留意点**

授業では2冊の教科書の解答と解説を中心に進めていく。予習していないと授業に参加できない、家庭での予習や日々の学習が不可欠です。教科書付属のCDとスマートフォンアプリ対応機能を十分に活用してもらいたい。

**科目学習の効果（資格）**

TOEICテストに有効な英語の総合的な力

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 授業のorientation、自己紹介 Reading 1 を少し進める。  
【内容・方法 等】 授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 座席を決める。  
1 Disaster: Into the Future  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：pp.102-105  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第3回 【授業テーマ】 2 Inspiring Women: Yoko Ono  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：pp.106-109  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第4回 【授業テーマ】 3 Fashion : Levi Strauss and Company  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：pp.110-113  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第5回 【授業テーマ】 4 Politics: Tea Party  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：pp.114-117  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第6回 【授業テーマ】 5 Animals: The Panda  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：pp.118-121  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第7回 【授業テーマ】 6 The Environment: Things are Heating up  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：pp.122-125  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第8回 【授業テーマ】 7 Social Issues: Artist and Activist  
臨時テスト  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
前半のまとめ  
TOEIC単語小テスト：pp.126-127 / 102-103  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第9回 【授業テーマ】 7 Social Issues: Artist and Activist  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：104-107  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 8 Sports: Nadeshiko Japan  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：108-111  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第11回 【授業テーマ】 9 The Human Body: Pain  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：112-115  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 第12回 【授業テーマ】 10 Global Economy: Open for Business  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：116-119

【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。

- 第13回 【授業テーマ】 11 Space: Yuri Gagarin--the First Man in Space  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：120-123  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
  - 第14回 【授業テーマ】 12 Food for Thought: A Hungry Planet  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：124-127  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
  - 第15回 【授業テーマ】 13 The Globalization: The EU  
【内容・方法 等】 解答と解説、リスニングとスピーキング練習  
TOEIC単語小テスト：総復習  
【事前・事後学習課題】 授業で指示した箇所を予習、復習しておく。
- 評価方法（基準）**  
共通試験30%(TOEICブリッジ20%、単語試験10%)、中間テストと定期試験50%、平常点（発表、小テスト、授業態度）20%とし総合的に評価する。
- 教材等**  
教科書…教科書は全部で3冊となります。  
・Interactive English Book for the TOEIC Test Book 2、内田雅克 他2名、松柏社 (1580円)  
・Interactive English Book for Reading Book 2、内田雅克 他3名、松柏社(1800円)  
・【単語集】The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book西谷恒志著 成美堂  
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ**  
受講者全員にできるだけ多く発表してもらうので、一人一人がきちんと予習してくることを。
- 関連科目**  
他の英語関連科目
- 担当者の研究室等**  
7号館2階（非常勤講師室）

**実践英語入門**

Introduction to Practical English

木村 ゆみ (キムラ ユミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

TOEIC Bridge テストを意識してリスニング、読解、文法、語彙能力向上を図り、実用的な英語のスキルアップを目指す。TOEIC Bridgeに慣れて、高得点を目指せるようになることが目標である。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

テキストに沿って進むとともに練習問題に取り組んでいく。単語テストは10回に分けて授業の最初に行う。予習、復習をしっかりと行うこと。また、ただ出席するだけではなく、積極的な授業参加が求められます。携帯の使用や、私語、居眠りが認められた場合は即減点となるので注意。

**科目学習の効果（資格）**

TOEIC Bridge のリスニング、語彙、文法、読解力の向上

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス、およびTOEIC Bridge形式のプレテスト  
【内容・方法 等】 ・授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明  
・TOEIC Bridge プレテスト  
【事前・事後学習課題】 文法全般を予習、課題は授業中に指示する  
単語テストの予習 NO 601~615
- 第2回 【授業テーマ】 リスニング対策  
【内容・方法 等】 リスニングを中心とし、語彙、文法の練習もする  
単語テスト1  
【事前・事後学習課題】 単語テストの予習 NO 616~630  
該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 第3回 【授業テーマ】 リスニング対策  
【内容・方法 等】 リスニングを中心とし、語彙、文法の練習  
単語テスト2

- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 631～645  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** リスニング対策
- 【内容・方法等】** リスニングを中心とし、語彙、文法の練習もする  
 単語テスト3
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 646～660  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 語彙問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト4
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 661～675  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 語彙問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト5
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 676～690  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 語彙問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト6
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 691～705  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 文法問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト7
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 706～720  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 文法問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト8
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 721～735  
 復該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 文法問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト9
- 【事前・事後学習課題】** 単語テストの予習 NO 736～750  
 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 文法問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習  
 単語テスト10
- 【事前・事後学習課題】** 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 読解問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習
- 【事前・事後学習課題】** 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 読解問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習
- 【事前・事後学習課題】** 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 読解問題対策
- 【内容・方法等】** 語彙、読解、文法、writingの練習
- 【事前・事後学習課題】** 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理
- 【授業テーマ】** 総まとめ TOEIC Bridge 形式ポストテスト
- 【内容・方法等】** 総復習 TOEIC Bridge ポストテスト
- 【事前・事後学習課題】** 重要項目、フレーズの整理、総復習

**評価方法 (基準)**

平常点 (発表、授業中の態度) 10%、臨時試験 + 課題提出30%、共通単語テスト10%、共通試験 (TOEICブリッジ) 20%、定期試験を30%として、総合的に評価する。

**教材等**

**教科書**… Pop Music World TOEIC TEST形式で学ぶ総合英語 三修社 (1,800円 + 税)  
 ・ The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 成美堂(1,700円 + 税)

**参考書**…特になし

**学生へのメッセージ**

- ・各自の予習が不可欠です。授業での積極的な参加を求めます。
- ・辞書は毎回必携のこと
- ・e-learning 教材と、テキスト付属CDを使って自宅学習を行いましょ。地道な努力により英語力は必ず伸びます、がんばりましょ。

**関連科目**

他の英語関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

**実践英語初級**

Practical English for Beginners

玉木 晋太 (タマキ シンタ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

TOEIC Testに準じたテキストを使用しながら文法を学んでいく中で、語いの強化・英文法の知識を整理し、さまざまなジャンルの設問を解いていくことにより、TOEIC Bridgeのスコアをのばすことが目標である。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

本講義では、授業の前半で文法説明を行い、後半で設問を解いて行くことで授業を進行して行く。設問の答え合せの際には、学生を順番に指名して解答を確認するので、授業内で必ず各設問を解いておく事が必要である。

また、毎回の授業の最初に小テストを行うので、必ず事前学習が必要である。

**科目学習の効果 (資格)**

TOEIC試験に順ずる文法テキストを用いて基本的な文法の学習を進めることによって、試験の際に必要な文法知識の定着が期待される。また、文法は暗記ではなく、理解する事で様々な場面に応用できる事が理解できる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法等】** 授業の進め方、評価方法について  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：毎回単語テストを行うので、指定された範囲の単語 (意味と綴りの両方) を暗記しておく。(毎回10単語程度)  
 事後学習：単語集0751～0761
- 第2回** **【授業テーマ】** Unit 1 品詞の種類  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 品詞の種類と働きについて  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0762～0772
- 第3回** **【授業テーマ】** Unit 2 動詞【1】  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 完了・受動態の用法  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0773～0783
- 第4回** **【授業テーマ】** Unit 3 動詞【2】  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 条件節内の動詞・動詞のとりとる徳部  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0784～0794
- 第5回** **【授業テーマ】** Unit 4 助動詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 助動詞の種類と働き  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0795～0805
- 第6回** **【授業テーマ】** Unit 5 不定詞と動名詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 不定詞と動名詞の働きと違い  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0806～0816
- 第7回** **【授業テーマ】** Unit 6 分詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 分詞の働きとさまざまな用法  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0817～0827
- 第8回** **【授業テーマ】** Unit 7 形容詞と副詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 形容詞と副詞の働き  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0828～0838
- 第9回** **【授業テーマ】** Unit 8 前置詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 前置詞の種類と働き  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0839～0849
- 第10回** **【授業テーマ】** Unit 9 接続詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 接続詞の種類と用法  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0850～0860
- 第11回** **【授業テーマ】** Unit 10 名詞  
**【内容・方法等】** 小テスト  
 さまざまな名詞と数の一致  
**【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
 事後学習：0861～0871
- 第12回** **【授業テーマ】** Unit 11 代名詞

- 【内容・方法 等】** 小テスト  
代名詞の用法と違い
- 【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
事後学習：0872～0882
- 第13回 【授業テーマ】** Unit 12 比較
- 【内容・方法 等】** 小テスト  
比較級・最上級・原級とさまざまな用法
- 【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
事後学習：0883～0893
- 第14回 【授業テーマ】** Unit 13 関係詞
- 【内容・方法 等】** 小テスト  
関係節のさまざまな用法
- 【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上  
事後学習：0894～0900
- 第15回 【授業テーマ】** Unit 14 仮定法
- 【内容・方法 等】** 小テスト  
仮定法過去と過去完了の使い分け
- 【事前・事後学習課題】** 事前学習：同上
- 評価方法 (基準)**  
TOEICブリッジ 20%  
統一英単語テスト 10%  
小テスト 20%  
平常点 (授業に取り組む姿勢) 20%  
期末試験 30%
- 教材等**  
教科書…Satoru FURUYA, Chikako SAKURAI and Mark ACHOLLUM 「Practical Grammar for the TOEIC Test (南雲堂)」(1800円)  
NISHIYA Koji 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂)」(1700円)
- 参考書…なし
- 学生へのメッセージ**  
何事も日々の努力の積み重ねによって成せるものです。全ての授業が終わって、何を得られるのかは、個人個人の努力量によって異なります。できる限り多くのものが得られるようにしましょう。
- 関連科目**  
すべての英語科目
- 担当者の研究室等**  
7号館2階(非常勤講師室)
- 備考**  
辞書等持参する事が望ましい。  
授業開始後1ヶ月以内にテキストを所持していないものには単位を認定しないので、必ずテキストを入手しておくように。

**実践英語初級**

Practical English for Beginners

中本明子 (ナカモト アキコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

ユニットごとにTOEICテスト頻出の Vocabulary や文法を学習し、無理なくTOEICテストに慣れ親しみます。単なる得点獲得のテクニックではなく、文法の基礎を確認しながらしっかりと読解力とコミュニケーション能力を身につけていきます。学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

初めに板書講義で重要事項を説明した後、練習問題を解きます。知識の定着を図るために、毎回小テストをします。授業の最後に質疑応答時間を設けます。英和辞書は必ず持参してください。電子辞書の場合、説明書を読んで使い方を確実にマスターしておいて下さい(熟語の引き方がわからない人が時々見受けられます)。

**科目学習の効果 (資格)**

TOEICや英検など資格試験の得点アップにつながります。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】** Orientation  
**【内容・方法 等】** 講義内容、授業の進め方、成績評価の説明  
英文の基本構造と品詞  
**【事前・事後学習課題】** 教科書全体に目を通しておくこと
- 第2回 【授業テーマ】** Unit 1  
自動詞と他動詞  
現在形  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up  
単語集の指定された単語 (0751～0771)
- 第3回 【授業テーマ】** Unit 2

- 現在完了形  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up  
単語集の指定された単語 (0772～0796)
- 第4回 【授業テーマ】** Unit 3  
品詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up  
単語集の指定された単語 (0797～0819)
- 第5回 【授業テーマ】** Unit 4  
仮定法  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up  
単語集の指定された単語 (0820～842)
- 第6回 【授業テーマ】** Unit 5  
不定詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up  
単語集の指定された単語 (0843～0865)
- 第7回 【授業テーマ】** Unit 6  
動名詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up  
単語集の指定された単語 (0866～0890)
- 第8回 【授業テーマ】** Unit 7  
分詞形容詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Upgrade  
単語集の指定された単語 (0891～0900)
- 第9回 【授業テーマ】** Unit 8  
分詞構文  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up
- 第10回 【授業テーマ】** Unit 9  
比較  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up
- 第11回 【授業テーマ】** Unit 10  
不定代名詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up
- 第12回 【授業テーマ】** Unit 11  
関係代名詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Build-up
- 第13回 【授業テーマ】** Unit 12  
関係副詞  
**【内容・方法 等】** Vocabulary の確認  
Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** Vocabulary Upgrade
- 第14回 【授業テーマ】** ミニTOEICテスト (1回目) と解説 (講義)  
**【内容・方法 等】** Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** 英文の基本構構造 (S、V、O、C) の確認
- 第15回 【授業テーマ】** ミニTOEICテスト (2回目) と解説 (講義)  
**【内容・方法 等】** Listening Part 1～4  
Reading Part 5～7  
**【事前・事後学習課題】** 品詞 (特に名詞、動詞、形容詞、副詞、前置詞) の確認
- 評価方法 (基準)**  
定期試験を実施50%、さらに共通評価試験30% (TOEICブリッジ20%、統一英語単語テスト10%)、小テスト20%で、授業態度

は減点方式とし、総合的に評価します。

**教材等**

**教科書**…北原良夫著 「Welcome to the TOEIC Test」 朝日出版社 (1800円+税)  
西谷恒志著 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test: WORD BOOK」 成美堂 (1700円+税)  
**参考書**…英和辞書

**学生へのメッセージ**

単語集の単語だけでなく、テキストの各ユニットにおける「Vocabulary Build-up」は、英和辞書を使って予習しておいて下さい。語彙力が英語の上達に大きく影響します。

**関連科目**

実践英語入門、実践英語中級、実践英語上級、TOEIC関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階 非常勤講師室

**備考**

休まず積極的に授業に参加して下さい。努力は実ります。

実践英語中級 Practical English for Intermediates				
金原 真由美 (カネハラ マユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	A	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

アメリカの科学雑誌「Science」から取り出した多彩なトピックを通して英語の読解力を養うことを目的とする。明確な論旨で成り立つ科学記事だが語彙も豊富である。受講生は丹念に正確に読むことで科学英語の運用力を身につけていける筈である。学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

各Unitはwords & definition, idiom, reading, exercise, opinionのパートから成っている。本文を読み最後には自分の意見を発表することも重視する。授業では質問への解答を何度も求めることになるので、一人一人が辞書を引き調べて臨むことが大切である。毎回授業の始めにTOEICのための単語小テスト(4ページずつ)を行う。

**科目学習の効果(資格)**

TOEICのスコアアップ、英検のレベルアップ

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 コースの概要説明、教科書の進め方の説明、席決めをする  
教科書Unit 1に少し入る。  
【内容・方法 等】 授業方針、評価方法、テストや出席の扱いなどの説明  
【事前・事後学習課題】 予習Unit 1の単語
- 第2回** 【授業テーマ】 1 Why Diets Fail  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.150-155  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第3回** 【授業テーマ】 2 Dance Moves Are Irresistible  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.158-161  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第4回** 【授業テーマ】 3 The Origins of Tidiness  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.162-165  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第5回** 【授業テーマ】 4 Malagasy Spiders Spin the World's Toughest Biological Material  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.166-169  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第6回** 【授業テーマ】 5 Say Goodbye to Sunspots?  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.170-173  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第7回** 【授業テーマ】 6 Folklore Confirmed: The Moon's Phase Affects Rainfall

- 【内容・方法 等】** TOEIC単語小テスト：pp.174-177  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise
- 【事前・事後学習課題】** 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第8回** 【授業テーマ】 7 Safe Passage for Salmon?  
臨時テスト(中間テスト)  
【内容・方法 等】 単語とイディオムの意味確認  
前半のまとめ  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、テスト範囲の復習  
予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第9回** 【授業テーマ】 7 Safe Passage for Salmon?  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.178-181  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第10回** 【授業テーマ】 8 Face to Face with Human Mobility Research  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.182-185  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第11回** 【授業テーマ】 9 Alien Gases in Our Atmosphere  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.186-189  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第12回** 【授業テーマ】 10 'Altitude Doping' Has Its Limits  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.190-193  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第13回** 【授業テーマ】 11 When Pigeons Flock, Who's in Command?  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.194-197  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第14回** 【授業テーマ】 12 Japanese Guts Are Made for Sushi  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：pp.198-201  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 第15回** 【授業テーマ】 13 Cats' Tongues Employ Tricky Physics  
【内容・方法 等】 TOEIC単語小テスト：総復習  
単語とイディオムの意味確認、全員で朗読、和訳、内容把握、exercise  
【事前・事後学習課題】 既習単語とイディオムの復習、予習：単語調べ、本文の内容把握、音読
- 評価方法(基準)**  
共通単語試験20%、中間テストと定期試験60%、平常点(発表、小テスト、授業態度)20%とし総合的に評価する。
- 教材等**  
**教科書**… Science Fair 野崎嘉信 他著 新雲堂 (1900円+税)  
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂,1700円)  
**参考書**…特になし
- 学生へのメッセージ**  
丹念に辞書を引いて授業に臨むこと。英文の概略を掴み、声に出して読んでおくこと。  
授業には辞書必携。
- 関連科目**  
他の英語関連科目
- 担当者の研究室等**  
7号館2階(非常勤講師室)
- 備考**  
授業計画は進度によって多少変更する場合がある。

教養科目

実践英語中級 Practical English for Intermediates				
木村 ゆみ (キムラ ユミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	B	後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

TOEIC テストを意識してリスニング、読解、文法、語彙能力向上を図り、実用的な英語のスキルアップを目指す。実際のTOEICテストに慣れ、高得点を目指すことを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

テキストに沿って進むとともに練習問題に取り組んでいく。単語テストは10回に分けて授業の最初に行う。予習、復習をしっかりと行うこと。また、ただ出席するだけでなく、積極的な授業参加が求められます。携帯の使用や、私語、居眠りが認められた場合は即減点となるので注意。

**科目学習の効果（資格）**

TOEIC のリスニング、語彙、文法、読解力の向上

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス、およびTOEIC 形式のプレテスト

【内容・方法 等】 ・授業方針、評価方法、出欠の扱いなどの説明

・TOEIC プレテスト

【事前・事後学習課題】 文法全般を予習、課題は授業中に指示する

単語テスト予習 NO 901~927

**第2回** 【授業テーマ】 リスニング対策

【内容・方法 等】 リスニングを中心とし、語彙、文法の練習もする

単語テスト1

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 928~954

**第3回** 【授業テーマ】 リスニング対策

【内容・方法 等】 リスニングを中心とし、語彙、文法の練習もする

単語テスト2

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO955~981

**第4回** 【授業テーマ】 リスニング対策

【内容・方法 等】 リスニングを中心とし、語彙、文法の練習もする

単語テスト3

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 982~1008

**第5回** 【授業テーマ】 語彙問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト4

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 1009~1036

**第6回** 【授業テーマ】 語彙問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト5

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 1037~1064

**第7回** 【授業テーマ】 語彙問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト6

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 1065~1092

**第8回** 【授業テーマ】 文法問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト7

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 1093~1120

**第9回** 【授業テーマ】 文法問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト8

【事前・事後学習課題】 復該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 1121~1148

**第10回** 【授業テーマ】 文法問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト9

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

単語テスト予習 NO 1149~1176

**第11回** 【授業テーマ】 文法問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

単語テスト10

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

**第12回** 【授業テーマ】 読解問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

**第13回** 【授業テーマ】 読解問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

**第14回** 【授業テーマ】 読解問題対策

【内容・方法 等】 語彙、読解、文法、writingの練習

【事前・事後学習課題】 該当Unitの予習、重要項目、フレーズの整理

**第15回** 【授業テーマ】 総まとめ TOEIC形式 ポストテスト

【内容・方法 等】 総復習 TOEIC ポストテスト

【事前・事後学習課題】 重要項目、フレーズの整理、総復習

**評価方法（基準）**

平常点（発表、授業中の態度）10%、臨時試験+課題提出40%、共通単語テスト20%、定期試験30% として総合的に評価する。

**教材等**

教科書・・・Pop Music World TOEIC TEST形式で学ぶ総合英語 三修社 (1,800円+税)

・The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 成美堂(1,700円+税)

参考書・・・特になし

**学生へのメッセージ**

- ・各自の予習が不可欠です。授業での積極的な参加を求めます。
- ・辞書は毎回必携のこと
- ・e-learning 教材と、テキスト付属CDを使って自宅学習を行いましょ。地道な努力により英語力は必ず伸びます、がんばりましょ。

**関連科目**

他の英語関連科目

**担当者の研究室等**

7号館2階(非常勤講師室)

**実践英語上級**

Practical English for the Advanced

松浦茂寿(マツウラ シゲトシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

今までに学んだ知識を駆使し、皆さんが受けるTOEICブリッジ受験に必要な解法テクニック、特に普段の努力を積み重ねれば必ず伸びる文法力、語彙力並びに読解力の更なる向上を目標とする。又、授業に平行してテスト受験に欠かせない語彙力向上も目指す。また、授業計画は進度によって変わる場合がある。  
学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

単語の本から毎週、単語テストを行う予定。今まで習ってきた語彙や文法知識を駆使し、一つでも多くの問題が解けることを望む。予習として次に進む分の練習問題を解いて授業に臨もう。特に4択問題は今まで習った知識を駆使し、「この選択肢はこう間違っているから違う」と分かる様になればしめたもの。授業で出てきた新しい単語や学んだ内容をくり返して覚えるのが上達への早道です！

**科目学習の効果（資格）**

TOEICブリッジ受験に必要な基本的事項の復習及び知識の養成。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション

【内容・方法 等】 授業方法、提出物、評価方法についての説明

【事前・事後学習課題】 次回の第一回単語テスト範囲、1201~1225番を勉強する事。

**第2回** 【授業テーマ】 Chapter 1 Computers and Society コンピューター社会

【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ

【事前・事後学習課題】 教科書p.1-7、次回の第二回単語テスト範囲、1226~1250番を勉強する事。

**第3回** 【授業テーマ】 Chapter 2 Business Transaction ビジネス

【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ

【事前・事後学習課題】 教科書p.8-14、次回の第三回単語テスト範囲、1251~1275番を勉強する事。

**第4回** 【授業テーマ】 Chapter 3 At the Office オフィス

【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ

【事前・事後学習課題】 教科書p.15-21、次回の第四回単語テスト範囲、1276~1300番を勉強する事。

**第5回** 【授業テーマ】 Chapter 4 Cars and Society 車社会

【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ

【事前・事後学習課題】 教科書p.22-29、次回の第五回単語テ



- ト範囲、1301～1325番を勉強する事。
- 第6回 【授業テーマ】 Chapter 5 Eating and Drinking 食生活  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.31-37、次回の第六回単語テスト範囲、1326～1350番を勉強する事。
- 第7回 【授業テーマ】 Chapter 6 Shopping  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.38-44、次回の第七回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第8回 【授業テーマ】 Chapter 7 Entertainment 娯楽  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.45-51、次回の第八回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第9回 【授業テーマ】 Chapter 8 Accidents & Crimes 事故、犯罪  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.52-58、次回の第九回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第10回 【授業テーマ】 Chapter 9 Teaching and Learning 教育、学問  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.59-66、次回の第十回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第11回 【授業テーマ】 Chapter 10 Medicine & Hospitals 医療、病院  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.67-73、次回の第十一回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第12回 【授業テーマ】 Chapter 11 Finance and Banks 金融、銀行  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.74-81、次回の第十二回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第13回 【授業テーマ】 Chapter 12 Economy and Industry 経済、産業  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.82-89、次回の第十三回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第14回 【授業テーマ】 Unit 13 Geography and Travels 地理、旅行  
【内容・方法 等】 問題演習、答え合わせ  
【事前・事後学習課題】 教科書p.90-97、次回の第十四回単語テスト範囲(追って指示します)を勉強する事。
- 第15回 【授業テーマ】 総合復習  
【内容・方法 等】 試験直前対策  
【事前・事後学習課題】 教科書など前期範囲一通り

**評価方法 (基準)**  
平常点、提出物、定期試験の点数が70%、理工学部共通試験 (TOEICブリッジ) を20%、単語テスト10%を総合評価する。TOEICブリッジ及び単語テストを受験しなかった者は評価に大きく影響します。また、日頃の授業態度も重視します。

**教材等**  
教科書…『Total Strategy for the TOEIC Test』石井隆之、山口修、馬渡秀孝、松村優子、Thomas Koch著 成美堂(2100円)、The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test 成美堂(1785円)  
参考書…なし

**学生へのメッセージ**  
「明るく、元気で、感動と発見を与える授業に！」私語をせず、マナーを守り、積極的に参加してクラス全体が一つになる様に、各自協力してもらいたい。折角、授業中に学んだことを暗記したままではすぐに忘れます。例えば英語で書かれた看板のメッセージ等を見ただけで指示が読めるように授業外で繰り返し学習するのが英語上達への早道です。教える側も学ぶ側も仲良く、楽しく、実りある半期になる事を祈る！

**関連科目**  
なし  
**担当者の研究室等**  
7号館2階非常勤講師室  
**備考**  
なし

英語基礎会話 a				
Basic English Conversation a				
ブライアン トーマス スレーター				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
基礎英会話の習得を目標とする。テキストは日常的に使っている英文を扱っており、しっかり学習すれば、リスニング、スピーキングの力も確実に向上する。会話の習得を目的とする授業であるから、学生が中心になり、学生によって進められていくべきであることは言うまでもない。

- 学科の学習・教育目標との対応:[A]  
**授業方法と留意点**  
学生主導の授業である。ペアワークなど、躊躇することなく積極的に参加すること。
- 科目学習の効果 (資格)**  
英語を使つてのコミュニケーション能力がつき、今後遭遇すると思われるさまざまなシチュエーションで役に立つ。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 授業ガイダンス、自己紹介、英語パズルなど  
【内容・方法 等】 ガイダンス、自己紹介、TOEICのスコアなど  
【事前・事後学習課題】 U1の予習
- 第2回 【授業テーマ】 挨拶、自己紹介等の会話  
【内容・方法 等】 現在形の文で挨拶、自己紹介などの会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U1の復習、予習
- 第3回 【授業テーマ】 挨拶、自己紹介等の会話  
【内容・方法 等】 現在形の文で挨拶、自己紹介などの会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U1の復習、U2の予習
- 第4回 【授業テーマ】 日常生活、学生生活の会話  
【内容・方法 等】 日常生活、学生生活の会話 Wh-の疑問文 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U2の復習、予習
- 第5回 【授業テーマ】 日常生活、学生生活の会話  
【内容・方法 等】 日常生活、学生生活の会話 Wh-の疑問文 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U2の復習、U3の予習
- 第6回 【授業テーマ】 娯楽、趣味の会話  
【内容・方法 等】 ～ができる。助動詞を使った会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U3の復習、予習
- 第7回 【授業テーマ】 娯楽、趣味の会話  
【内容・方法 等】 ～ができる。助動詞を使った会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U3の復習
- 第8回 【授業テーマ】 U1～3の見直し、復習  
【内容・方法 等】 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U4の予習
- 第9回 【授業テーマ】 場所の会話  
【内容・方法 等】 ～があります。故郷や近所をたずねる会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U4の復習、予習
- 第10回 【授業テーマ】 場所の会話  
【内容・方法 等】 ～があります。故郷や近所をたずねる会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U4の復習、U5の予習
- 第11回 【授業テーマ】 旅行の会話  
【内容・方法 等】 ～はどこですか。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U5の復習、予習
- 第12回 【授業テーマ】 旅行の会話  
【内容・方法 等】 ～はどこですか。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U5の復習、U6の予習
- 第13回 【授業テーマ】 買い物の会話  
【内容・方法 等】 ～はいくらですか。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U6の復習、予習
- 第14回 【授業テーマ】 買い物の会話  
【内容・方法 等】 ～はいくらですか。の会話 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U6の復習
- 第15回 【授業テーマ】 U4～6の見直し、復習  
【内容・方法 等】 教科書を使い、リスニング、ディクテーション、ペアワークなど  
【事前・事後学習課題】 U1～6の復習
- 評価方法 (基準)**  
平常点 (毎週のクイズ40%、発表30%、課題提出30%) にて評価する。
- 教材等**

教科書…Miles Craven 「Breakthrough Success with English」  
Macmillan  
参考書…辞書を持参のこと(発音機能付きの電子辞書が望ましい)

学生へのメッセージ

積極的な参加が最も大切である。

関連科目

他の英語のクラスすべて

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語基礎会話 b

Basic English Conversation

本 多 善 (ホンダ タクミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語のコミュニケーション能力は、リスニング能力はもちろんのこと、繰り返しの会話の失敗を通して向上します。そのため、失敗を恐れず、新しい文法、アプリケーション、発音やイントネーションを積極的に使用して授業を進めていきます。

学科の学習・教育目標との対応:[A]

授業方法と留意点

授業ではテキストを使いながら、さまざまな異文化間コミュニケーションを実践していきます。たとえば、ジェスチャーの違い、あるいはイントネーションなどなどコミュニケーション能力向上に向けたよりアクティブで効果的なテクニックを学びます。授業には必ず出席してください。授業中は失敗してもいいので積極的に発言してください。

科目学習の効果(資格)

英語で簡単なプレゼンテーションができるレベルを目指します。もちろん、原稿をみながらでもOKです。また面接やコミュニケーション(自己紹介&専門的対話)を英語でできる程度の能力を身に着けます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Unit1. The Japanese Bow  
【内容・方法等】 お辞儀の挨拶について英語で学ぶ、単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の予習
- 第2回 【授業テーマ】 Unit 2. Smiles  
【内容・方法等】 挨拶の際の笑顔と印象。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第3回 【授業テーマ】 Unit 3. Eye Contact  
【内容・方法等】 コミュニケーションの際の目線と印象。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第4回 【授業テーマ】 Unit 4. Touching Behavior  
【内容・方法等】 スキンシップとその際の留意点。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第5回 【授業テーマ】 Unit 5. Hand Gestures  
【内容・方法等】 効果的なハンド・ジェスチャーとは。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第6回 【授業テーマ】 Unit 6. Body Movements  
【内容・方法等】 対話における身のこなし方。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第7回 【授業テーマ】 Unit 7. Space  
【内容・方法等】 コミュニケーションの際のスペースの取り方。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習。  
次週に行う対人コミュニケーションの練習。
- 第8回 【授業テーマ】 Unit.1 ~7 までの復習  
【内容・方法等】 Unit1~7までのコミュニケーション法を利用して、一対一のコミュニケーションテスト。  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第9回 【授業テーマ】 Unit 8. Same Words Different Meaning  
【内容・方法等】 一つの単語とその多様な意味について。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第10回 【授業テーマ】 Unit 9. Intonation  
【内容・方法等】 声の抑揚によるコミュニケーションの変化。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第11回 【授業テーマ】 Unit 10. Succinct or Elaborate  
【内容・方法等】 語法の意味と差異について。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習

- 第12回 【授業テーマ】 Unit 11. Personal of Contextual  
【内容・方法等】 語法の意味と差異について。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第13回 【授業テーマ】 Unit 12. Sarcasm  
【内容・方法等】 英語での様々な表現、酷評等。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第14回 【授業テーマ】 Politically Correct  
【内容・方法等】 政治的な正しさについての考察。リーディング・単語・文法の習得  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第15回 【授業テーマ】 スピーキングテスト  
【内容・方法等】 プレゼンテーション(前半は自己紹介、後半は時事問題に対する自分の考えをプレゼン各3分)  
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習、プレゼンの準備

評価方法(基準)

評価方法

「授業前準備20%、授業態度40%、コミュニケーション・プレゼンテーション40%」とします。

教材等

教科書…What Do You Mean? Exploring Communication Gaps

「コミュニケーション・ギャップと異文化理解」矢代京子/Cecilia Ikeguchi/ Robin Sakamoto(金星堂) ¥1995(税込)

参考書…なし

学生へのメッセージ

このクラスでは失敗することを恐れず、様々なコミュニケーションスキルを身に着けることを目標とします。今後くるかもしれない英語でのプレゼンに遭遇したとき、きっと役に立つクラスとなるはず。毎回出席をとります。休まないように。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

海外語学研修

Overseas Language Training

齋 藤 安以子 (サイトウ アイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この研修は、語学力(英語力)の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は約35~40万円程度を予定(為替レートにより変動の可能性あり)。\*詳細は、3月~4月の募集ガイダンスで周知する。

学科の学習・教育目標との対応:[A]

授業方法と留意点

研修前に3回の事前ガイダンスを行う(6月~8月)  
研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。2週間、3週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- 3月上旬~4月下旬  
募集ガイダンス(日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する)、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。
- 5月  
申込書の提出
- 5月下旬  
派遣学生の決定および履修申請
- 6月~8月  
事前ガイダンスを実施(全3回)
- 8月上旬  
結団式  
研修スケジュール>  
[2週間コース]  
8月中旬~8月下旬(予定)  
[3週間コース]  
8月中旬~9月上旬(予定)
- 9月  
成果報告書の提出

9月中旬  
 成果報告会  
**評価方法・評価基準**  
 帰国後に提出する成果報告書（20%）および研修先での成績（80%）を基に評価する。

**教材等**  
**教科書**…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。  
**参考書**…研修先の国、地域の観光局等のホームページ  
 ・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

**備考**  
 ①参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡すること。  
 ②事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意すること。

日本の政治 Japanese Politics				
松 永 信 一 (マツナガ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 現代日本政治の政治制度や政治過程・政策過程の基本的な知識の習得を目指す。そのことによって、メディアによって流される日々の政治情報を把握し、成熟した市民社会の一員にふさわしい形で政治について語り、政治に参加できる社会人になることを目標とした。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 講述形式を中心にしていく。プリントを毎時間配布。質問やディスカッションの時間もできる限り設けたい。

**科目学習の効果（資格）**  
 成熟した近代社会における市民としての常識的知識の獲得。適性試験における「一般常識問題」に対応。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** はじめに  
**【内容・方法 等】** 授業のやり方と受け方。成績評価の基準。授業内容の概要。政治知識についてのアンケート調査。  
**【事前・事後学習課題】** 高校の現代社会、日本史、政経の教科書の政治関連部分を読み直す。
- 第2回 **【授業テーマ】** 近代国家について  
**【内容・方法 等】** 国民国家とは何か。象徴天皇制について。国際社会の中の日本。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第3回 **【授業テーマ】** 様々な政治制度  
**【内容・方法 等】** 支配の3つの形態—君主政、貴族政、民主政—  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第4回 **【授業テーマ】** 近代における様々な政治制度  
**【内容・方法 等】** 民主的な政治体制と非民主的な政治体制。議院内閣制と大統領制。連邦制。二院制。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第5回 **【授業テーマ】** 立法過程 その1  
**【内容・方法 等】** 政策過程と立法過程。国会の役割。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第6回 **【授業テーマ】** 立法過程 その2  
**【内容・方法 等】** 官僚と官僚組織。諮問機関。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第7回 **【授業テーマ】** 立法過程 その3  
**【内容・方法 等】** 与党審査。利益団体。下位政府。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第8回 **【授業テーマ】** 立法過程 その4  
**【内容・方法 等】** 首相のリーダーシップ。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄について

- は質問すること。
- 第9回 **【授業テーマ】** 選挙について その1  
**【内容・方法 等】** 選挙の役割。選挙制度の比較。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない事柄については質問すること。
- 第10回 **【授業テーマ】** 選挙について その2  
**【内容・方法 等】** 有権者の投票行動。政治に参加すること。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第11回 **【授業テーマ】** 選挙について その3  
**【内容・方法 等】** 誰が候補者になるのか。政治家という職業。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第12回 **【授業テーマ】** 選挙について その4  
**【内容・方法 等】** 候補者と政党。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第13回 **【授業テーマ】** 地方政治について その1  
**【内容・方法 等】** 地方自治の仕組み。地方自治の抱える諸問題。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第14回 **【授業テーマ】** 地方政治について その2  
**【内容・方法 等】** 地方分権に行方。政治の新しいスタイル。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを復習し不明な点があれば、参考書や事典で解決に努め、それができない点は質問すること。
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめと定期試験について  
**【内容・方法 等】** 授業を振り返る。試験対策について。  
**【事前・事後学習課題】** プリントを読み返し、不明な点についての質問がないかどうかを確かめる。

**評価方法（基準）**  
 試験成績（90%）と平常点＝「授業での対応」（10%）による。

**教材等**  
**教科書**…授業の中で指示する。  
**参考書**…五十嵐仁『現代日本政治』（八潮社）、伊藤光利『ポリティカルサイエンス事始め』（有斐閣ブックス）、甲斐祥子『現代政治のナビゲーター』（北樹出版）

**学生へのメッセージ**  
 連絡をとりたい人、授業内容について質問のある人などは以下にメールを送って下さい。  
 matunaga@law.setsunan.ac.jp

**関連科目**  
 社会科学系科目  
**担当者の研究室等**  
 11号館10階 松永研究室

現代と地理学 Geography in Modern Age				
笠 原 俊 則 (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 「環境」ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な術語の一つである。そして近年人間活動にともなうこの環境に著しい変化が生じている。本講義では、最近の地理的環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にでもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、講義中に適宜プリントを配布する。

**科目学習の効果（資格）**  
 人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

第1回 **【授業テーマ】** 地理学とは？  
**【内容・方法 等】** ・地理学の歴史  
 ・地理学の定義  
**【事前・事後学習課題】** 指定テキストに目を通しておいて下さ

- い。
- 第2回 【授業テーマ】 地理学と環境  
【内容・方法等】 ・人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形-その1-  
【内容・方法等】 ・扇状地の地形と土地利用  
・台地の発達と土地利用  
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形-その2-  
【内容・方法等】 ・自然堤防帯における生活と土地利用  
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 ため池の多面的機能  
【内容・方法等】 ・ため池の持つ多面的な機能とその活用  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 ダムの歴史  
【内容・方法等】 ・世界のダムと日本のダムの歴史  
・日本におけるダム建設の歩み  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 ダム上流における環境の変化  
【内容・方法等】 ・ダム堆砂  
・ダム上流における河床上昇とその影響  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 ダム下流における環境の変化  
【内容・方法等】 ・ダム下流における河床の低下  
・日本における海岸侵食の状況  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 都市化にともなう水文環境の変化  
【内容・方法等】 ・都市化にともなう流出および水質の変化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 都市化にともなう水災害の変化  
【内容・方法等】 ・都市化地域における水害と下水道整備  
・農業地域における都市化と中小河川の変化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 干拓地の自然的特性  
【内容・方法等】 ・干拓地の地形  
・干拓地の水環境  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 すみわけられた都市社会空間  
【内容・方法等】 ・エスニックマイノリティ社会  
・インナーシティ問題  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 ニュータウンの高齢化  
【内容・方法等】 ・日本におけるニュータウンの成立  
・千里ニュータウンの高齢化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 都市商業の盛衰と多様化  
【内容・方法等】 ・都市商業の発展と社会環境の変化  
・都市中心部の空洞化と都市商業の変化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】 伝統工業の地域構成  
【内容・方法等】 ・伝統工業の発展とその系譜  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

**評価方法（基準）**

定期試験を実施する。さらに前期中頃に小テストも実施する。評価の割合は、定期試験70%、小テスト30%である。

**教材等**

- 教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院（2400円＋税）  
参考書…「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子、岩波書店（700円＋税）  
「川と国土の危機 水害と社会（岩波新書1387）」高橋裕、岩波書店（700円＋税）

**学生へのメッセージ**

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいらっしゃるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

**関連科目**

「環境関連科目」等  
担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

**現代と地理学**

Geography in Modern Age

笠原俊則(カサハラ トシノリ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

「環境」ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な術語の一つである。そして近年人間活動にともなうこの環境に著しい変化が生じている。本講義では、最近の地理的環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしてもらいたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、講義中に適宜プリントを配布する。

**科目学習の効果（資格）**

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 地理学とは？  
【内容・方法等】 ・地理学の歴史  
・地理学の定義  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 地理学と環境  
【内容・方法等】 ・人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形-その1-  
【内容・方法等】 ・扇状地の地形と土地利用  
・台地の発達と土地利用  
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 生活の舞台としての地形-その2-  
【内容・方法等】 ・自然堤防帯における生活と土地利用  
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 ため池の多面的機能  
【内容・方法等】 ・ため池の持つ多面的な機能とその活用  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 ダムの歴史  
【内容・方法等】 ・世界のダムと日本のダムの歴史  
・日本におけるダム建設の歩み  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 ダム上流における環境の変化  
【内容・方法等】 ・ダム堆砂  
・ダム上流における河床上昇とその影響  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 ダム下流における環境の変化  
【内容・方法等】 ・ダム下流における河床の低下  
・日本における海岸侵食の状況  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 都市化にともなう水文環境の変化  
【内容・方法等】 ・都市化にともなう流出および水質の変化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 都市化にともなう水災害の変化  
【内容・方法等】 ・都市化地域における水害と下水道整備  
・農業地域における都市化と中小河川の変化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 干拓地の自然的特性  
【内容・方法等】 ・干拓地の地形  
・干拓地の水環境  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

- 第12回 【授業テーマ】 すみわけられた都市社会空間  
【内容・方法 等】 ・エスニックマイノリティー社会  
・インナーシティ問題  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 ニュータウンの高齢化  
【内容・方法 等】 ・日本におけるニュータウンの成立  
・千里ニュータウンの高齢化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 都市商業の盛衰と多様化  
【内容・方法 等】 ・都市商業の発展と社会環境の変化  
・都市中心部の空洞化と都市商業の変化  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】 伝統工業の地域構成  
【内容・方法 等】 ・伝統工業の発展とその系譜  
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法 (基準)  
定期試験を実施する。さらに前期中頃に小テストも実施する。評価の割合は、定期試験70%、小テスト30%である。

教材等  
教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院 (2400円+税)  
参考書…「ダムと日本 (岩波新書716)」天野礼子、岩波書店 (700円+税)  
「川と国土の危機 水害と社会 (岩波新書1387)」高橋裕、岩波書店 (700円+税)

学生へのメッセージ  
地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。

関連科目  
「環境関連科目」等  
担当者の研究室等  
7号館2階 非常勤講師室

法学入門 Jurisprudence				
福 嶋 由 里 子 (フクシマ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
授業概要：日本の法システムの根幹を成す憲法・民法・刑法・民事訴訟法・刑事訴訟法の基礎を、現代的なトピックをあげながら解説する。特に民法に関する事例を扱う。そして、法律問題について考えたり、調べたりするトレーニングの機会を提供する。目的：必要最低限の法律の知識を身につけること。到達目標：今後の研究や社会生活において有益となる法律知識の取得。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点  
教科書は用いず、講義の概要プリントを配布する予定。

科目学習の効果 (資格)  
各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得。後期の日本国憲法の準備科目となる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 法律を学ぶこととは  
【内容・方法 等】 私たちの生活に、法律はどのように関わっているのか。  
【事前・事後学習課題】 新聞等を通じて、国内外の法律に関する情報を幅広く入手する習慣をつけてください。
- 第2回 【授業テーマ】 現代日本の法制度  
【内容・方法 等】 日本の法制度の基本や法律の種類、国際法との関係について。  
【事前・事後学習課題】 日常生活や、自分の専門分野に関係する法律を調べておく。
- 第3回 【授業テーマ】 憲法 (1)  
【内容・方法 等】 憲法の役割とは。憲法の基本原理や立憲主義の成り立ち。  
【事前・事後学習課題】 日本国憲法を読み、関心のある条文を選び、それに関するニュースや事件を調べる。
- 第4回 【授業テーマ】 憲法 (2)  
【内容・方法 等】 憲法で守られるべき権利とは。社会の中の憲法問題。  
【事前・事後学習課題】 前回の課題についてまとめ、提出する。

- 第5回 【授業テーマ】 憲法 (3)  
【内容・方法 等】 基本的人権とは。国内外の人権問題や国際人権法について。  
【事前・事後学習課題】 国際的な人権問題や他国の人権問題に関する記事に目を通しておく。
- 第6回 【授業テーマ】 民法 (1)  
【内容・方法 等】 民法の基本的仕組み。暮らしと民法の関わりについて。  
【事前・事後学習課題】 民法に関するニュースや事件に関する記事に目を通しておく。
- 第7回 【授業テーマ】 民法 (2)  
【内容・方法 等】 日常生活の中の契約と、さまざまなトラブル (消費者契約、交通事故等)。  
【事前・事後学習課題】 前回の課題についてまとめ、提出する。
- 第8回 【授業テーマ】 民法 (3)  
【内容・方法 等】 労働に関する問題と民法  
【事前・事後学習課題】 就職時、または就職後に起こりうると思われる問題を列挙し提出する。
- 第9回 【授業テーマ】 民法 (4)  
【内容・方法 等】 結婚、離婚、親子関係と民法  
【事前・事後学習課題】 結婚、離婚、親子関係に関するニュースや事件を1つ選び、それについて調べる。
- 第10回 【授業テーマ】 民法 (5)  
【内容・方法 等】 相続法の基本について。  
【事前・事後学習課題】 前回の課題についてまとめ、提出する。
- 第11回 【授業テーマ】 民事訴訟法  
【内容・方法 等】 民事訴訟法の役割。いかに民事紛争を解決していくのか。  
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。
- 第12回 【授業テーマ】 刑法  
【内容・方法 等】 刑法の仕組みや基本的な考え方について。  
【事前・事後学習課題】 最近の刑事事件に関する記事に目を通しておく。
- 第13回 【授業テーマ】 刑事訴訟法  
【内容・方法 等】 刑事訴訟法の基本的な内容について。刑事事件をいかに裁くのか。  
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。
- 第14回 【授業テーマ】 裁判員制度について  
【内容・方法 等】 もし裁判員に選ばれたら。裁判員の仕事と役割。  
【事前・事後学習課題】 最近の裁判員裁判に関する記事に目を通しておく。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。

評価方法 (基準)  
定期試験40%、レポート40%、毎回の授業での提出物20%の割合で総合的に評価する。

教材等  
教科書…指定しない。  
参考書…指定しない。

学生へのメッセージ  
法律は難しく近寄り難い存在と捉えられがちですが、実は私たちの生活の中に、さまざまな形で法律は潜んでいます。この授業を通して、いかに法律が私たちの身近な存在かを実感し、社会問題に対する洞察力を身につけてください。

関連科目  
日本国憲法  
担当者の研究室等  
11号館6階 法学部事務室

日本国憲法 The Japanese Constitutional Law				
福 嶋 由 里 子 (フクシマ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
概要：日本国憲法の基本的な内容を、身近な問題や裁判例などを通して説明する。また憲法の中核を成す基本的人権の問題について、幅広い視野で考える機会を提供する。目的：憲法の基本原理や重要判例を学び、憲法が社会において、特に人権保障という点において、どのような役割を果たしているか理解する。到達目標：憲法の基本原理を理解し、人権や法的利益が衝突したときに生じる問題に対して、憲法の視点に立って考察できる力を養う。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点  
教科書は用いず、講義の概要プリントを配布する。

科目学習の効果 (資格)

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得。前期の法学入門の応用。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 日本国憲法とは
【内容・方法 等】 憲法とは何か。立憲主義とは何か。憲法が私たちの暮らしにどのように関わっているのか。
【事前・事後学習課題】 新聞等を読み、日々のニュースと憲法が、どのようにつながっているか考察する。
第2回 【授業テーマ】 日本国憲法史（1）
【内容・方法 等】 大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴や違い、立憲主義の歴史的背景について解説する。
【事前・事後学習課題】 立憲主義の発展の歴史について、高校等の教科書を用いて復習をしておく。
第3回 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理（1）
【内容・方法 等】 国民主権の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第4回 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理（2）
【内容・方法 等】 平和主義の原理や、憲法9条に関する様々な見解、判例について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第5回 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理（3）
【内容・方法 等】 基本的人権の原理と人権の種類について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第6回 【授業テーマ】 権利の保障（1）
【内容・方法 等】 基本的人権の限界、公共の福祉等について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第7回 【授業テーマ】 権利の保障（2）
【内容・方法 等】 幸福追求権と法の下での平等について解説する（人格権、名誉権、プライバシー権、自己決定権等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第8回 【授業テーマ】 権利の保障（3）
【内容・方法 等】 精神的自由権（内心の自由）について解説する（思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第9回 【授業テーマ】 権利の保障（4）
【内容・方法 等】 精神的自由権（表現の自由）について解説する（報道の自由、性表現・名誉棄損的表現、表現の自由の限界等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第10回 【授業テーマ】 権利の保障（5）
【内容・方法 等】 経済的自由権について解説する（職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第11回 【授業テーマ】 権利の保障（6）
【内容・方法 等】 人身の自由について解説する（奴隷的拘束からの自由、意に反する苦役からの自由、被疑者・被告人の権利等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第12回 【授業テーマ】 権利の保障（7）
【内容・方法 等】 社会権について解説する（生存権、教育を受ける権利、勤労の自由、動労基本権等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第13回 【授業テーマ】 統治機構
【内容・方法 等】 権力分離の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第14回 【授業テーマ】 憲法改正について
【内容・方法 等】 硬性憲法の意義や、憲法改正の手続き、国民投票制度について解説する。
【事前・事後学習課題】 憲法改正に関する国民投票制度について調べておく。
第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。

評価方法（基準）

定期試験40%、レポート40%、毎回の授業での提出物20%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…指定しない。

学生へのメッセージ

憲法は、人権とは切っても切り離せない存在です。そこで、本

授業の基本的な人権を扱う授業では、憲法だけを扱うのではなく、少し視野を広げ、国内外の人権問題やその解決を目指す条約や法律、市民の取り組みなどを、映像等の資料を用いて紹介し、人権感覚を磨く機会を設けます。

関連科目

法学入門

担当者の研究室等

11号館6階 法学部事務室

日本国憲法

The Japanese Constitutional Law

福嶋 由里子 (フクシマ ユリコ)

Table with 5 columns: 配当年次, クラス, 学期, 履修区分, 単位数. Values: 2, 0, 後期, 選択, 2

授業概要・目的・到達目標

概要：日本国憲法の基本的な内容を、身近な問題や裁判例などを通して説明する。また憲法の中核を成す基本的人権の問題について、幅広い視野で考える機会を提供する。目的：憲法の基本原理や重要判例を学び、憲法が社会において、特に人権保障という点において、どのような役割を果たしているか理解する。到達目標：憲法の基本原理を理解し、人権や法的利益が衝突したときに生じる問題に対して、憲法の視点に立って考察できる力を養う。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

教科書は用いず、講義の概要プリントを配布する。

科目学習の効果（資格）

各種公的資格試験の法学科目の基礎知識の取得。前期の法学入門の応用。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 日本国憲法とは
【内容・方法 等】 憲法とは何か。立憲主義とは何か。憲法が私たちの暮らしにどのように関わっているのか。
【事前・事後学習課題】 新聞等を読み、日々のニュースと憲法が、どのようにつながっているか考察する。
第2回 【授業テーマ】 日本国憲法史（1）
【内容・方法 等】 大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴や違い、立憲主義の歴史的背景について解説する。
【事前・事後学習課題】 立憲主義の発展の歴史について、高校等の教科書を用いて復習をしておく。
第3回 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理（1）
【内容・方法 等】 国民主権の原理について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第4回 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理（2）
【内容・方法 等】 平和主義の原理や、憲法9条に関する様々な見解、判例について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第5回 【授業テーマ】 日本国憲法の基本原理（3）
【内容・方法 等】 基本的人権の原理と人権の種類について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第6回 【授業テーマ】 権利の保障（1）
【内容・方法 等】 基本的人権の限界、公共の福祉等について解説する。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第7回 【授業テーマ】 権利の保障（2）
【内容・方法 等】 幸福追求権と法の下での平等について解説する（人格権、名誉権、プライバシー権、自己決定権等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第8回 【授業テーマ】 権利の保障（3）
【内容・方法 等】 精神的自由権（内心の自由）について解説する（思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第9回 【授業テーマ】 権利の保障（4）
【内容・方法 等】 精神的自由権（表現の自由）について解説する（報道の自由、性表現・名誉棄損的表現、表現の自由の限界等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
第10回 【授業テーマ】 権利の保障（5）
【内容・方法 等】 経済的自由権について解説する（職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権等）。
【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。

- 関する設問に答え提出する。
- 第11回** 【授業テーマ】 権利の保障（6）  
 【内容・方法等】 人身の自由について解説する（奴隷的拘束からの自由、意に反する苦役からの自由、被疑者・被告人の権利等）。  
 【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第12回** 【授業テーマ】 権利の保障（7）  
 【内容・方法等】 社会権について解説する（生存権、教育を受ける権利、勤労の自由、勤労基本権等）。  
 【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第13回** 【授業テーマ】 統治機構  
 【内容・方法等】 権力分離の原理について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 判例を題材とした事例を読み、それに関する設問に答え提出する。
- 第14回** 【授業テーマ】 憲法改正について  
 【内容・方法等】 硬性憲法の意義や、憲法改正の手続き、国民投票制度について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 憲法改正に関する国民投票制度について調べておく。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
 【内容・方法等】 授業全体のまとめ  
 【事前・事後学習課題】 授業で課した問題を提出する。

**評価方法（基準）**  
 定期試験40%、レポート40%、毎回の授業での提出物20%の割合で総合的に評価する。

**教材等**  
 教科書…指定しない。  
 参考書…指定しない。

**学生へのメッセージ**  
 憲法は、人権とは切っても切り離せない存在です。そこで、本授業の基本的な人権を扱う授業では、憲法だけを扱うのではなく、少し視野を広げ、国内外の人権問題やその解決を目指す条約や法律、市民の取り組みなどを、映像等の資料を用いて紹介し、人権感覚を磨く機会を設けます。

**関連科目**  
 法学入門  
**担当者の研究室等**  
 11号館6階 法学部事務室

マクロ経済学入門 Introduction to Macroeconomics				
伊藤 正 純 (イトウ マサズミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業の到達目標は工学部・理工学部の学生諸君にとっても、新聞の経済記事が少しは理解できるようにすることである。そのため、新聞によく登場するマクロ経済学（その中心は国民所得）およびミクロ経済学（その中心は市場）の基礎概念（基本用語）をできるだけわかりやすく解説する。ただし、一般常識の範囲である。  
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**  
 主としてプリントと板書を用いて講義する。授業の最後で授業の感想を書いてもらう。それを読んで次の授業のやり方を工夫する。

**科目学習の効果（資格）**  
 マクロ経済学の諸概念を学び、経済新聞の記事における経済専門用語を理解できるようになる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 経済主体と経済循環  
 【内容・方法等】 経済主体（家計、企業、政府）。生産と支出（消費+投資）の経済循環。マクロ経済学とミクロ経済学との関係。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第2回** 【授業テーマ】 生産物市場 市場とは何か(1)  
 【内容・方法等】 需要・供給・価格決定論。財貨・サービスの市場。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第3回** 【授業テーマ】 労働市場 その1 市場とは何か(2)  
 【内容・方法等】 労働需要と労働供給。賃金の決定と失業の発生。雇用慣行。就職。  
 【事前・事後学習課題】 プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。
- 第4回** 【授業テーマ】 労働市場 その2 市場とは何か(2)続

**【内容・方法等】** 雇用形態の流動化。正規雇用と非正規雇用。労働者派遣法の変遷と雇用状況の変化。総額人件費抑制と「春闘」の形骸化。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第5回** 【授業テーマ】 金融市場、株式市場 市場とは何か(3)  
**【内容・方法等】** 直接金融と間接金融。自己資本と他人資本。株式会社とは何か。株価。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第6回** 【授業テーマ】 国民所得と経済成長率  
**【内容・方法等】** フローとストックの違い。国民所得とは何か。GNP(国民総生産)とGDP(国内総生産)の違い。経済成長率(GDP増加率)。名目成長率。実質成長率。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第7回** 【授業テーマ】 円高・円安 為替レート  
**【内容・方法等】** ドルを基準に考える。円高と円安はどっちが得？ 実効為替レート。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第8回** 【授業テーマ】 国際収支  
**【内容・方法等】** 輸出、輸入。経常収支（貿易収支、貿易外収支）、資本収支など。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第9回** 【授業テーマ】 インフレ・デフレ  
**【内容・方法等】** 物価上昇、物価下落。消費者物価指数、企業物価指数。賃金デフレ。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第10回** 【授業テーマ】 好況・不況  
**【内容・方法等】** 景気循環、有効需要。政府による景気対策。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第11回** 【授業テーマ】 貯蓄・投資バランス  
**【内容・方法等】** 所得 = 消費 + 貯蓄、所得 = 消費 + 投資、ゆえに、貯蓄 = 投資。家計と企業と政府の動向。家計の貯蓄減少（賃金デフレと高齢化）。貯蓄し投資しない企業。政府の財政赤字。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第12回** 【授業テーマ】 国民負担率と政府の役割  
**【内容・方法等】** 租税負担率 + 社会保障負担率。大きな政府か小さな政府か。消費税増税による「税と社会保障の一体改革」。所得再分配機能。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第13回** 【授業テーマ】 デフレの罨  
**【内容・方法等】** グローバリゼーションと総額人件費抑制策。価格破壊と賃下げ。労働分配率の低下。経済格差と貧困。消費不況の長期化。  
**【事前・事後学習課題】** プリントをみて復讐すること。次の講義資料を配布する。

**第14回** 【授業テーマ】 超低金利政策  
**【内容・方法等】** なぜ超低金利政策なのか？ 円キャリートレードと世界の過剰流動性。見えない成長戦略。  
**【事前・事後学習課題】** 全体の復習をし、疑問点があれば次回質問すること。

**第15回** 【授業テーマ】 成長戦略は？ まとめと復習  
**【内容・方法等】** 先決事項は、賃金デフレ解消と企業投資の復活、そのための政府の役割。  
**【事前・事後学習課題】** 小テストで答えられなかった点をもう一度復習すること。

**評価方法（基準）**  
 定期試験（筆記試験）50%、小テスト40%、毎回の授業での提出物10%。無断欠席が4回以上ある場合は成績評価をしない。

**教材等**  
 教科書…なし  
 参考書…野口旭『ゼロからわかる経済の基本』講談社現代新書、700円+税。  
 吉本佳生『日本経済の奇妙な常識』講談社現代新書、740円+税。

**学生へのメッセージ**  
 ちょっと難しいが、吉本佳生さんの本の第2章を事前に読んでおいてほしい。そうすれば、日本経済が置かれている状況がイメージしやすくなり、授業中に説明する経済学の基礎用語の意味が理解しやすくなる。

**関連科目**  
 なし  
**担当者の研究室等**  
 非常勤講師室（7号館2階）

**マクロ経済学入門**  
Introduction to Macroeconomics

内田 勝巳 (ウチダ カツミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本授業は、経済学の知識がない学生が、マクロ経済学の基礎理論を身につけることを目的とする。株式市場、外国為替、国民所得、デフレ・インフレ、生産物市場等、主要な経済用語を理解し、新聞の経済記事を読めるようになることを到達目標とする。入社試験・公務員試験・資格試験にも役立つように、毎回、演習問題(課題)を提示する。  
学科の学習・教育目標との対応:「A」

**授業方法と留意点**

授業は、基本的に、前回の課題の解説(復習)、本日の授業テーマの解説、授業内容に対応する課題の提示の順序で進めていく。

**科目学習の効果(資格)**

マクロ経済学の基礎概念を学び、新聞記事の経済基礎用語を理解できるようになる。入社試験・公務員試験・資格試験に役立つ知識が身につく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション  
**【内容・方法等】** マクロ経済学とはどのような学問かについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、アンケートの実施
- 第2回 **【授業テーマ】** 国民経済計算  
**【内容・方法等】** 付加価値、GDPとGNPの相違、三面等価の原則、名目値と実質値(GDPデフレーター)について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第3回 **【授業テーマ】** 生産物市場  
**【内容・方法等】** 消費と貯蓄の理論(ケインズ型消費関数と貯蓄関数)について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第4回 **【授業テーマ】** 生産物市場(II)  
**【内容・方法等】** 投資の理論(ケインズの限界効率理論)について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第5回 **【授業テーマ】** 国民所得の決定理論  
**【内容・方法等】** 有効需要と乗数理論について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第6回 **【授業テーマ】** 金融市場  
**【内容・方法等】** 貨幣の役割、株式市場における株価について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第7回 **【授業テーマ】** 中央銀行と金融政策  
**【内容・方法等】** 流動性選好理論(利率の決定)と中央銀行の役割について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第8回 **【授業テーマ】** 財政金融政策の有効性  
**【内容・方法等】** IS-LM分析と経済政策の有効性について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第9回 **【授業テーマ】** まとめと中間試験  
**【内容・方法等】** 8回までの講義のまとめを行ったうえで、中間試験を実施する。  
**【事前・事後学習課題】** 事前に、8回までの内容を復習すること
- 第10回 **【授業テーマ】** デフレとインフレ  
**【内容・方法等】** 物価の変動を考慮した分析とデフレ・インフレの発生要因を解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第11回 **【授業テーマ】** 労働市場  
**【内容・方法等】** 失業とフィリップス曲線について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第12回 **【授業テーマ】** 国際マクロ経済  
**【内容・方法等】** 貿易と国際収支について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第13回 **【授業テーマ】** 国際マクロ経済(II)  
**【内容・方法等】** 外国為替レートについて解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第14回 **【授業テーマ】** 国際マクロ経済(III)  
**【内容・方法等】** 経常収支の決定理論について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出
- 第15回 **【授業テーマ】** 経済成長  
**【内容・方法等】** 経済成長理論について解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 授業後、課題の提出

**評価方法(基準)**

中間試験30%、期末試験50%、授業での課題提出及び授業態度20%の割合で総合的に評価する。ただし、無断欠席が4回以上ある場合には、成績評価しない。

**教材等**

教科書…特に指定しない。適時、レジュメを配布する。

参考書…福田 慎一、照山 博司『演習式 マクロ経済学・入門』有斐閣(2,500円+税)

ヨラム・パウマン、グレディ・クライン/山形浩生訳『この世で一番おもしろいマクロ経済学-みんながもっと豊かになれるかもしれない16講』ダイヤモンド社(1,500円+税)

**学生へのメッセージ**

工学部・理工学部の学生にとって、マクロ経済学で使用するグラフの読み方は決して難しいものではないと思います。本授業を通じて、一般教養としてのマクロ経済学の基礎知識を習得しましょう。

**関連科目**

特になし

**担当者の研究室等**

1号館7階 郭講師室 (経済学部)

**企業経営**

Corporate Management / Business Management

北尾 隆夫 (キタオ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

大学での学業を終えられた学生諸氏は、社会人として必ず企業との関わりを持たれます。就職する会社や、自らが経営する会社が、何を目指し、何に悩み、何に生き甲斐を求めているのかを、事例を通じ理解を深めて戴きます。ステークホルダーとの関わりの中で、企業が果たすべき役割を考えると共に、企業経営者に求められる素養や判断すべき内容、企業組織の在り方、更にはCSRで代表される企業の社会的責任に言及します。産業資本主義と金融資本主義との狭間で揺れ動く企業経営の実態と今後の企業経営の展望を一緒に考える授業です。

**<到達目標>**

- ①会社形態、組織形態とその運営への理解
- ②ビジネスの目的と意義への理解
- ③アントレプレナーの目的や意義への理解
- ④起業の方法や留意事項への理解
- ⑤株式会社が生み出す経済活動と社会的責任への理解

学科の学習・教育目標との対応:「A」

**授業方法と留意点**

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものになります。授業全体を通じ、その時々々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。

**科目学習の効果(資格)**

企業経営の観点だけでなく、企業での就業の意味や目的を、更には自らの起業や経営の在り方について、経営的観点から理解を深めていただく効果を期待します。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** はじめに - 企業のはじまりの歴史の意味 -  
**【内容・方法等】** ・講師自己紹介、授業ガイダンス  
・企業(株式会社)の発祥の歴史の経緯や社会的意味、意義を解説します。  
**【事前・事後学習課題】** シラバスをよく読んでください。
- 第2回 **【授業テーマ】** 「法人」の定義と「起業」の意義・目的  
**【内容・方法等】** 企業や団体が「法人」と定義される意味と、その形態を分類整理します。また、企業が事業目的を遂行するために必要とする業務内容とその相互の関連性について解説すると共に、事業を起こすこと(起業)の目的や意義を、企業業務に関連づけて説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 法人という定義を事前に調べてください。
- 第3回 **【授業テーマ】** 企業の経済活動  
**【内容・方法等】** 企業は、消費財の提供に伴う経済活動だけでなく、資本や資金の調達、利益の配分などの複雑な経済活動を行っています。その経済活動の種類や目的について解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 株式などの有価証券の意味を事前に学習してください。
- 第4回 **【授業テーマ】** 企業とステークホルダーの関係とその活動  
**【内容・方法等】** 企業は消費財を提供することによる消費者との関係だけでなく、種々の社会構造や社会機能との関わりを持っています。企業の社会との関わりについて解説し、身近な事象についての討議を行います。  
**【事前・事後学習課題】** ステークホルダーの意味を調べておいてください。
- 第5回 **【授業テーマ】** 企業の活動目標と組織運営  
**【内容・方法等】** 企業は、その活動目標を達成するために組



織を形成し、役割分担や責任体制を明確化しています。企業における組織の在り方と目標設定の意義について解説します。

**【事前・事後学習課題】** 企業が持つべき業務機能について考えておいてください。

**第6回 【授業テーマ】** 分業の意義と問題点

**【内容・方法 等】** 目的を共有する複数の人が集まり、組織を形成することにより発生する分業について解説し、分業が持つ効果と問題点を整理します。また、ディスカッションにより、具体的な認識を高めていただきます。

**【事前・事後学習課題】** 分業という言葉の定義を調べておいてください。

**第7回 【授業テーマ】** 経済情勢と企業経営の方向性  
= 新たなビジネスの探索 =

**【内容・方法 等】** リーマンショック以降の世界的経済情勢の変化に触れ、「モノづくり」中心の日本産業の直面する課題を整理し、その打開策を学生諸氏と共に考え、これからの企業の在り方の探索や起業分野を考える一助に供します。

**【事前・事後学習課題】** 2008年に発生した世界的な経済問題であるリーマンショックについて、その概要を調べておいてください。

**第8回 【授業テーマ】** 情報化社会の意味と我々の生活

**【内容・方法 等】** あらゆる局面で「情報化社会」という言葉が使われているが、その定義と我々の生活に与える変化、また我々が対応すべき事柄などを解説します。

**【事前・事後学習課題】** 情報化社会に関連する新聞記事やインターネット情報を事前に調べ、持参してください。

**第9回 【授業テーマ】** 企業戦略とそのアプローチ方法 I

**【内容・方法 等】** 企業は自らの目的を達成するために、事前に調査、分析、戦略立案を行います。その経営戦略の枠組みと、経営資源とは何かを論理的に解説します。

**【事前・事後学習課題】** どの様な企業でも、持っている目的とは何かを事前に考えておいてください。

**第10回 【授業テーマ】** 企業戦略とそのアプローチ方法 II

**【内容・方法 等】** 企業は自らの目的を達成するため行う事前の調査、分析、戦略立案のアプローチ方法を整理し、それぞれの適用ケースを解説します。また、経営者が持つべき戦略的思考についても併せて解説します。

**【事前・事後学習課題】** 松下幸之助の経営哲学に関する情報を事前に学習してください。

**第11回 【授業テーマ】** 企業活動における情報活用の目的

**【内容・方法 等】** 企業経営においては、物理的な資源以外に「情報」というものの経営資源としての価値が取り上げられ、その活用方法が企業戦略の命運を左右すると言われていす。その理由や背景を判り易く解説します。

**【事前・事後学習課題】** 企業経営が必要とする「情報」を事前に考えてみてください。

**第12回 【授業テーマ】** 経営意思決定とそのアプローチ

= 「起業趣旨」と「起業手続き」を踏まえて =  
**【内容・方法 等】** 経営意思決定は、経営者の独断に依存するのではなく、戦略要因の定量的分析と取捨選択の的確性により支えられます。「起業の趣旨」を幹に据えた意思決定アプローチについて、「起業の手続き」を交えて、具体的に解説します。

**【事前・事後学習課題】** 経営意思決定の成功例を事前に調査してください。

**第13回 【授業テーマ】** CSR - 企業の社会的責任 - I

**【内容・方法 等】** 企業は、消費財の供給だけでなく、企業活動が及ぼす社会的影響が問題視されています。企業が活動を行う上で、考慮しなければならない側面を解説すると同時に、皆さんの考えを整理して載きます。

**【事前・事後学習課題】** 環境問題などの事例を調査してください。

**第14回 【授業テーマ】** CSR - 企業の社会的責任 - II

**【内容・方法 等】** 企業の社会的責任の中でも、経営資源としても挙げられる「情報」の取り扱いを、情報セキュリティの観点から解説します。企業だけでなく、我々に日常生活に於ける情報漏洩などの問題点も併せて説明します。

**【事前・事後学習課題】** 情報漏洩事件などのニュースを事前に調べておいてください。

**第15回 【授業テーマ】** 授業全体のまとめ

**【内容・方法 等】** 「企業経営」の講義についてのまとめと感想。授業の要点と重要なポイントをレビューし、質問等にお答えします。

**【事前・事後学習課題】** 「企業経営」の講義の全体を復習しておいてください。質問等を事前に準備しておいてください。

**評価方法 (基準)**

全体評価は、平常評価 (35%) と学期末試験評価 (65%) により行います。平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。

また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。

**教材等**

**教科書**…特段、教科書の設定は行いません。授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションにより進めます。

**参考書**…参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。

また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。

**学生へのメッセージ**

- ・ 毎回出席をとります [連絡カード配付]。遅刻をしないようにしてください。
- ・ 座席は前から詰めて着席してください [座席は指定しません]。
- ・ 授業中の私語は謹んでください [真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります]。

**関連科目**

経営、経済、組織、社会工学などに関連する授業などが、本授業の参考になり、理解を深めて戴く一助になります。

**担当者の研究室等**

11号館6階(経営学部事務室、講師控入室)

## 企業経営

Corporate Management / Business Management

北尾隆夫 (キタオ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

大学での学業を終えられた学生諸氏は、社会人として必ず企業との関わりを持たれます。就職する会社や、自らが経営する会社が、何を目指し、何に悩み、何に生き甲斐を求めているのかを、事例を通じ理解を深めて載きます。ステークホルダーとの関わりの中で、企業が果たすべき役割を考えると共に、企業経営者に求められる素養や判断すべき内容、企業組織の在り方、更にはCSRで代表される企業の社会的責任に言及します。産業資本主義と金融資本主義との狭間で揺れ動く企業経営の実態と今後の企業経営の展望を一緒に考える授業です。

<到達目標>

- ①会社形態、組織形態とその運営への理解
- ②ビジネスの目的と意義への理解
- ③アントレプレナーの目的や意義の理解
- ④起業の方法や留意事項への理解
- ⑤株式会社が生み出す経済活動と社会的責任への理解

学科の学習・教育目標との対応: [A]

**授業方法と留意点**

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにします。授業全体を通じ、その時々々の社会情勢を中心に、プリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介し、全員で考えながら授業を進めます。

**科目学習の効果 (資格)**

企業経営の観点だけでなく、企業での就業の意味や目的を、更には自らの起業や経営の在り方について、経営的観点から理解を深めていただく効果を期待します。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回 【授業テーマ】** はじめに - 企業のはじまりの歴史の意味 -

**【内容・方法 等】** ・講師自己紹介、授業ガイダンス  
・企業 (株式会社) の発祥の歴史の経緯や社会的意味、意義を解説します。

**【事前・事後学習課題】** シラバスをよく読んできてください。

**第2回 【授業テーマ】** 「法人」の定義 と 「起業」の意義・目的

**【内容・方法 等】** 企業や団体が「法人」と定義される意味と、その形態を分類整理します。また、企業が事業目的を遂行するために必要とする業務内容とその相互の関連性について解説すると共に、事業を起こすこと (起業) の目的や意義を、企業業務に関連づけて説明します。

**【事前・事後学習課題】** 法人という定義を事前に調べてください。

**第3回 【授業テーマ】** 企業の経済活動

**【内容・方法 等】** 企業は、消費財の提供に伴う経済活動だけでなく、資本や資金の調達、利益の配分などの複雑な経済活動を行っています。その経済活動の種類や目的について解説します。

**【事前・事後学習課題】** 株式などの有価証券の意味を事前に学習してください。

**第4回 【授業テーマ】** 企業とステークホルダーの関係とその活動

**【内容・方法 等】** 企業は消費財を提供することによる消費者との関係だけでなく、種々の社会構造や社会機能との関わり

りを持っています。企業の社会との関わりについて解説し、身近な事象についての討議を行います。

**【事前・事後学習課題】** ステークホルダーの意味を調べておいてください。

**第5回** **【授業テーマ】** 企業の活動目標と組織運営  
**【内容・方法 等】** 企業は、その活動目標を達成するために組織を形成し、役割分担や責任体制を明確化しています。企業における組織の在り方と目標設定の意義について解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 企業が持つべき業務機能について考えておいてください。

**第6回** **【授業テーマ】** 分業の意義と問題点  
**【内容・方法 等】** 目的を共有する複数の人が集まり、組織を形成することにより発生する分業について解説し、分業が持つ効果と問題点を整理します。また、ディスカッションにより、具体的な認識を高めていただきます。  
**【事前・事後学習課題】** 分業という言葉の定義を調べておいてください。

**第7回** **【授業テーマ】** 経済情勢と企業経営の方向性  
 =新たなビジネスの探索=  
**【内容・方法 等】** リーマンショック以降の世界的経済情勢の変化に触れ、「モノづくり」中心の日本産業の直面する課題を整理し、その打開策を学生諸氏と共に考え、これからの企業の在り方の探索や起業分野を考える一助に供します。  
**【事前・事後学習課題】** 2008年に発生した世界的な経済問題であるリーマンショックについて、その概要を調べておいてください。

**第8回** **【授業テーマ】** 情報化社会の意味と我々の生活  
**【内容・方法 等】** あらゆる局面で「情報化社会」という言葉が使われているが、その定義と我々の生活に与える変化、また我々が対応すべき事柄などを解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 情報化社会に関連する新聞記事やインターネット情報を事前に調べ、持参してください。

**第9回** **【授業テーマ】** 企業戦略とそのアプローチ方法 I  
**【内容・方法 等】** 企業は自らの目的を達成するために、事前に調査、分析、戦略立案を行います。その経営戦略の枠組みと、経営資源とは何かを論理的に解説します。  
**【事前・事後学習課題】** どの様な企業でも、持っている目的とは何かを事前に考えておいてください。

**第10回** **【授業テーマ】** 企業戦略とそのアプローチ方法 II  
**【内容・方法 等】** 企業は自らの目的を達成するため行う事前の調査、分析、戦略立案のアプローチ方法を整理し、それぞれの適用ケースを解説します。また、経営者が持つべき戦略的思考についても併せて解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 松下幸之助の経営哲学に関する情報を事前に学習してください。

**第11回** **【授業テーマ】** 企業活動における情報活用の目的  
**【内容・方法 等】** 企業経営においては、物理的な資源以外に「情報」というものの経営資源としての価値が取り上げられ、その活用方法が企業戦略の命運を左右すると言われていいます。その理由や背景を判り易く解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 企業経営が必要とする「情報」を事前に考えてみてください。

**第12回** **【授業テーマ】** 経営意思決定とそのアプローチ  
 =「起業趣旨」と「起業手続き」を踏まえて=  
**【内容・方法 等】** 経営意思決定は、経営者の独断に依存するのではなく、戦略要因の定量的分析と取捨選択の的確性により支えられます。「起業の趣旨」を軸に据えた意思決定アプローチについて、「起業の手続き」を交えて、具体的に解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 経営意思決定の成功例を事前に調査してください。

**第13回** **【授業テーマ】** CSR -企業の社会的責任- I  
**【内容・方法 等】** 企業は、消費財の供給だけでなく、企業活動が及ぼす社会的影響が問題視されています。企業が活動を行う上で、考慮しなければならない側面を解説すると同時に、皆さんの考えを整理して戴きます。  
**【事前・事後学習課題】** 環境問題などの事例を調査してください。

**第14回** **【授業テーマ】** CSR -企業の社会的責任- II  
**【内容・方法 等】** 企業の社会的責任の中でも、経営資源としても挙げられる「情報」の取り扱いを、情報セキュリティの観点から解説します。企業だけでなく、我々に日常生活に於ける情報漏洩などの問題点も併せて説明します。  
**【事前・事後学習課題】** 情報漏洩事件などのニュースを事前に調べておいてください。

**第15回** **【授業テーマ】** 授業全体のまとめ  
**【内容・方法 等】** 「企業経営」の講義についてのまとめと感想。授業の要点と重要なポイントをレビューし、質問等にお答えします。  
**【事前・事後学習課題】** 「企業経営」の講義の全体を復習しておいてください。質問等を事前に準備しておいてください。

**評価方法 (基準)**

全体評価は、平常評価 (35%) と学期末試験評価 (65%) により行います。平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上、自己表現力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。また、レポート課題および学期末試験の設問は、到達目標に纏わる内容とし、その結果で達成評価を行います。

**教材等**

**教科書**…特段、教科書の設定は行いません。授業は配布プリントとパワーポイントによるプレゼンテーションにより進めます。  
**参考書**…参考資料も、毎回の授業のテーマに沿って必要なものを配布します。また、授業の参考になる書籍、ビジネス雑誌、更にはインターネット情報を紹介し、授業の一助に供します。

**学生へのメッセージ**

- ・ 毎回出席をとります [連絡カード配付]。遅刻をしないようにしてください。
- ・ 座席は前から詰めて着席してください [座席は指定しません]。
- ・ 授業中の私語は謹んでください [真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります]。

**関連科目**

経営、経済、組織、社会学などに関連する授業などが、本授業の参考になり、理解を深めて戴く一助になります。

**担当者の研究室等**

11号館6階(経営学部事務室、講師控え室)

社会の仕組み Structure of Society				
金 政 芸 (キム ジョウン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本講義の目標は、私たちの生きる社会の仕組みを理解することである。社会の仕組みを知ることで、自分の行動や自分の経験するさまざまな出来事の原因が何を理解することができる。本講義では、まず社会の仕組みを理解するための学問である社会学の概要と、家族、地域、国家、国際社会の構造とそれぞれの社会のかかえる諸問題について紹介する。  
 学科の学習・教育目標との対応: [A]

**授業方法と留意点**

基本的には講義形式の授業がおこなわれる。講義では、理解を深めるために具体的な研究を紹介していく。

**科目学習の効果 (資格)**

日々の個人的な経験を、社会の構造やその変化から把握する能力を身につけることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** 講義を始めるにあたって  
**【内容・方法 等】** オリエンテーション  
**【事前・事後学習課題】** 授業の流れについて理解する。
- 第2回** **【授業テーマ】** 社会学とは何か I  
**【内容・方法 等】** 社会学の定義と歴史について。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第3回** **【授業テーマ】** 社会学とは何か II  
**【内容・方法 等】** 社会学の古典的研究の紹介。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第4回** **【授業テーマ】** 他者と自己  
**【内容・方法 等】** 他者との関係のなかで形成される自己意識について。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第5回** **【授業テーマ】** 集団と個人  
**【内容・方法 等】** 単なる個人の集合体を越えた存在としての社会集団の特徴について。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第6回** **【授業テーマ】** 家族の社会学 I  
**【内容・方法 等】** 近代的家族の出現とその変容について。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第7回** **【授業テーマ】** 家族の社会学 II  
**【内容・方法 等】** 現代の家族のかかえるさまざまな問題について。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第8回** **【授業テーマ】** 地域の社会学 I  
**【内容・方法 等】** 現代都市の特徴について。  
**【事前・事後学習課題】** レジュメを読んで復習する。
- 第9回** **【授業テーマ】** 地域の社会学 II  
**【内容・方法 等】** 現代の都市のかかえるさまざまな問題について。

- 第10回 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。  
【授業テーマ】 ネーションとエスニシティ I  
【内容・方法 等】 ネーションの概念整理と、その実在にかかわる諸議論について。
- 第11回 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。  
【授業テーマ】 ネーションとエスニシティ II  
【内容・方法 等】 移民とエスニック・マイノリティ、ナショナリズムについて。
- 第12回 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。  
【授業テーマ】 グローバリゼーション  
【内容・方法 等】 グローバリゼーションとは何か。
- 第13回 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。  
【授業テーマ】 階層と格差 I  
【内容・方法 等】 階級と階層、そこに存在する格差という問題について。
- 第14回 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。  
【授業テーマ】 階層と格差 II  
【内容・方法 等】 格差はどのように再生産されるのか。
- 第15回 【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。  
【授業テーマ】 講義を終えるにあたって  
【内容・方法 等】 総括  
【事前・事後学習課題】 レジュメを読んで復習する。

**評価方法 (基準)**

授業態度、中間レポート、期末試験で評価する。

**教材等**

教科書…レジュメを配布。  
参考書…授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

馴染みのない理論や概念がたくさん出てきますが、講義に集中すれば十分に理解できると思います。紹介された理論を身近な経験に適用していけばより理解が深まるでしょう。

**関連科目**

担当者の研究室等

- の区分について検討する。  
【事前・事後学習課題】 家族の多様性について理解を進めること。
- 第5回 【授業テーマ】 都市社会とは何か?  
【内容・方法 等】 都市へ転換構造と都市をとりまく諸問題について考える。  
【事前・事後学習課題】 都市問題について一定の認識を持つこと。
- 第6回 【授業テーマ】 国民国家とは何か?  
【内容・方法 等】 国民国家の概念やナショナリズムについて検討する。  
【事前・事後学習課題】 国民国家やナショナリズムについて説明ができること。
- 第7回 【授業テーマ】 「人種」概念の無効性  
【内容・方法 等】 流通する「人種」概念と、その無効性について検討する  
【事前・事後学習課題】 「人種」概念の無効性について、一定の説明をすることができること。
- 第8回 【授業テーマ】 「民族」とは何か?  
【内容・方法 等】 日頃意識しない「民族」の概念について検討する。  
【事前・事後学習課題】 「民族」の概念について、具体的に検討できること。
- 第9回 【授業テーマ】 情報をめぐる不可思議  
【内容・方法 等】 情報のありさまをめぐる問題について検討する。  
【事前・事後学習課題】 情報と消費の関係性について、意見を呈示することができる。
- 第10回 【授業テーマ】 IT化と社会  
【内容・方法 等】 IT(Information Technology)化が進行する中での社会の動態について検討する。  
【事前・事後学習課題】 IT化と社会について、関連性を見いだすことができる。
- 第11回 【授業テーマ】 「犯罪」とは何か?  
【内容・方法 等】 「犯罪」とはどのような事象を指すのか検討し、その主体についても検討する。  
【事前・事後学習課題】 社会学的な「犯罪」の概念を呈示できること。
- 第12回 【授業テーマ】 安全とは何か?  
【内容・方法 等】 社会における安全への取り組みや、安全に対する認識を深める。  
【事前・事後学習課題】 安全の考え方について、一定の認識を持てること。
- 第13回 【授業テーマ】 人間と誤謬  
【内容・方法 等】 人は誤りを犯す動物だが、社会におけるその具体例を検討する。  
【事前・事後学習課題】 誤謬による事故の予防などについて、意見を呈示できること。
- 第14回 【授業テーマ】 遺伝子組み換えの論理と倫理  
【内容・方法 等】 遺伝子組み換えの考え方とその倫理的側面について講じる。  
【事前・事後学習課題】 遺伝子組み換えの理論とその倫理的側面について、意見を呈示することができる。
- 第15回 【授業テーマ】 科学と技術の融合  
【内容・方法 等】 科学(Science)とは何か、またそれとの技術的な融合は社会に何を生み出すのかについて考える。  
【事前・事後学習課題】 科学と技術の融合論について、一定の論理展開ができること。

**評価方法 (基準)**

レポート60%、授業参加度(質問・感想等)40%の割合で総合的に評価する。

**教材等**

教科書…とくに使用しない。  
参考書…授業中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

授業の内容の中に自分の将来に役に立つ知識を積極的に探そうと努力すること。授業中の私語と携帯電話の使用は厳禁である。パワーポイントのスライドを授業時に使用するため、積極的にノートをとることが肝要。

**関連科目**

なし。

**担当者の研究室等**

11号館6階、経営学部事務室

社会の仕組み Structure of Society				
谷口 裕久 (タニグチ ヤスヒサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

人は文化のなかに生まれ、そこで社会を形成して生きる存在である。人は単独では生きてはゆけず、常に周囲に依存し影響を受けながら生きてゆく。この授業では、社会学の重厚な論題の中から、「社会の仕組み」を選び、それを身近な課題と結びつけることによって、わかりやすい授業の展開を志したい。授業の具体的な内容は授業計画を参照いただきたいが、社会における諸事象を各回のトピックとして取り上げ、解説を進めてゆく。授業は1回から3回程度で完結するオムニバス形式で行う。これらの諸課題の学習(受講とその後の復習など)を通じて、受講者諸項目の社会的な意味づけを理解させながら、社会全体への豊かな視点も養成できればと考えている。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

講義形式が中心。授業内容に即した映像を副次的に教材として利用することがある。積極的にノートをとることが肝要。

**科目学習の効果 (資格)**

工学諸分野と協同すべき社会の諸問題をめぐり、社会学の枠組や考え方に則して、問題の理解と解決方法の考察を行うことができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 授業の進め方・「コモন্ズの悲劇」を考える。  
【内容・方法 等】 「コモন্ズの悲劇」の事例から、共同参画する社会への認識を深める。  
【事前・事後学習課題】 「コモন্ズの悲劇」について説明できること。
- 第2回 【授業テーマ】 社会と文化  
【内容・方法 等】 社会や文化に対する認識を深める。  
【事前・事後学習課題】 社会と文化に対する概念について説明できること。
- 第3回 【授業テーマ】 親とは誰か? 家族とは何か?  
【内容・方法 等】 多様な親や家族の概念について教授する。  
【事前・事後学習課題】 親や家族の概念について説明できること。
- 第4回 【授業テーマ】 家族の区分  
【内容・方法 等】 形態論だけではなく、生き方としての家族

マーケティング Marketing				
樋口 友紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

近年、ビジネスにおいてマーケティングは欠かすことのできないツールとなった。商品を生産すれば売れた時代とは違い、現在では多様化する消費者ニーズに的確に対応することが、企業にとって市場で生き残っていくためのカギとなっている。本講義では、マーケティングの基本について学習する。なぜマーケティングが必要であるのか、どのように行えば良いのか、その手法と実際を紹介する。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

教員からの講義の他に、講義内容に関連した実際の問題について学生自身にも考え、発表してもらう。これは、学生の発想力と創造力を伸ばすためでもある。

**科目学習の効果（資格）**

マーケティングの基礎知識を学習し、現実の問題について考えることで、世の中で行われているマーケティング手法について身近に理解できるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 マーケティングとは何か、基本的な用語について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第2回** 【授業テーマ】 マーケティングの基礎  
【内容・方法 等】 マーケティングの歴史、4P、様々な分析手法について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第3回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略1  
【内容・方法 等】 製品戦略について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第4回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略2  
【内容・方法 等】 価格戦略について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第5回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略3  
【内容・方法 等】 チャネル戦略について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第6回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略4  
【内容・方法 等】 プロモーションについて  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第7回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略5  
【内容・方法 等】 インターネット戦略について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第8回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略6  
【内容・方法 等】 各種の戦略や、現実の事例について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第9回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略7  
【内容・方法 等】 サービス・マーケティングについて  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第10回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略8  
【内容・方法 等】 ブランドとは何かを学ぶ  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第11回** 【授業テーマ】 マーケティング戦略9  
【内容・方法 等】 ブランド戦略について  
【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
- 第12回** 【授業テーマ】 ニュービジネス設計(1)  
【内容・方法 等】 これまでの講義内容をふまえ、実際にニュービジネスの設計を行ってもらいます。  
【事前・事後学習課題】 ニュービジネスについてアイデアを出せるよう、書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 ニュービジネス設計(2)  
【内容・方法 等】 これまでの講義内容をふまえ、実際にニュービジネスの設計を行ってもらいます。  
【事前・事後学習課題】 考案したニュービジネスについて、プレゼンテーションができるように掘り下げて考えて下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 ニュービジネス設計およびプレゼンテーション  
【内容・方法 等】 ニュービジネスの設計を完成させます。設計したニュービジネスを発表資料としてまとめ、発表もしくは提出してもらいます。また、他の学生の考案したニュービジネスについて分析を加えます。  
【事前・事後学習課題】 ビジネスについて書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義まとめ  
【内容・方法 等】 授業に関する質問に回答します。  
【事前・事後学習課題】 半年間の復習をしておいてください。

**評価方法（基準）**

講義内課題70%、期末試験30%

**教材等**

教科書…教科書：現代マーケティングICT時代の新しいコミュニケーション/竹安和博・石井康夫・樋口友紀

参考書…講義中に適宜指示する。

**学生へのメッセージ**

日ごろ自分達がどのように考え、どういった商品を購入しているかを思い浮かべつつ、講義に臨んでもらいたい。

**関連科目**

特になし  
担当者の研究室等  
樋口研究室

**備考**

学生の理解度や使用教室などによって、適宜講義内容を変更する場合がある。

**産業社会と知的財産**

Industrial Society and Intellectual Property

杉山典正（スギヤマ）

箱田聖二（ハコダ セイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

企業において、アイデアを財産権とした「知的財産権」の活用は当然となっている。さらに、企業のグローバル化に伴い、知的財産をめぐる戦略的な活動が、より要求されるようになってきた。

そこで本講義では、産業社会において、知的財産がどのようなものなのか、そして現代産業社会においていかに機能しているか、その役割を理解する目的で講義を実施する。

本講義を開講するにあたり、到達目標は下記のとおり設定する。

- 1.特許、意匠、商標、著作権の基本が理解できている。
- 2.知的財産が産業・文化にどのような影響をもたらすのかを理解できている。
- 3.企業の営業活動において、知的財産がどのように活用されているかを理解できている。
- 4.知的財産法の体系が理解でき、国際的な関係も理解できている。

学生は、上記を達成することで、グローバル企業における知的財産戦略の重要性を理解し、知的財産活用を含めたビジネスアイデアを考えられるようになる。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

資料を配布し、講義形式で進行する。学生は、配布された資料に適宜メモをする。

また、学習の確認のために小テストやレポート課題を実施する。

**科目学習の効果（資格）**

本講義で学ぶ内容は、企業（特に製造業）で製品・サービスの国際競争力を高めるアイデアを生み出す基礎知識となる。また、国家資格である「知的財産管理技能検定」の受験に役立つことができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 知的財産の概要  
【内容・方法 等】 知的財産法の全体像を概説するとともに、その保護対象について近年の事例をもとに例示する。そして、保護によって産業社会にどのような影響をもたらすコンセプトなのかを理解する。  
【事前・事後学習課題】 事前：特になし、知的財産に関する記事などをインターネットで見しておくこと。  
事後：講義内容と関連するニュースをチェックしておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 特許網の形成と活用  
【内容・方法 等】 特許の保護要件・期間・手続などについて概説する。さらに企業が形成する特許網の役割、活用について考える。  
【事前・事後学習課題】 事前：特になし。  
事後：企業が特許を取得するのはなぜか。その理由を考える。
- 第3回** 【授業テーマ】 インダストリアルデザインと意匠保護  
【内容・方法 等】 インダストリアルデザインが担う役割を踏まえ、意匠の保護要件・期間・手続などについて概説する。そして、意匠登録を企業利益につなげる戦略について考える。  
【事前・事後学習課題】 事前：身の回りの工業デザインを発見しておく。  
事後：製品にデザインを施す理由とは何か、意匠を保護する意匠法は、企業でどのように活用されているか考える。
- 第4回** 【授業テーマ】 ブランドイメージ向上と商標保護  
【内容・方法 等】 ブランドイメージ向上と商標保護が、企業においてどのような意味を持つのかを踏まえ、商標の保護要件・期間・手続などについて概説する。さらに、保護対象拡大の流れについて解説する。  
【事前・事後学習課題】 事前：一般的に言われる「ブランド」とは何かを考えておく。  
事後：商標の有無によって、商品の購買にどのような影響がでるのかを考える。商標が今度どのように変わっていくのかを把握しておく。
- 第5回** 【授業テーマ】 著作権の体系と権利の主体  
【内容・方法 等】 著作物の保護要件・期間などについて概説

する。著作権の体系について示し、財産権、人格権、隣接権の位置づけについて理解する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：著作権が問題となったニュースを2,3調べておく。  
事後：著作権法の体系を整理しておく。

第6回

**【授業テーマ】** ITと知的財産  
**【内容・方法等】** ITの発達が知的財産にもたらした影響について考える。特にデジタルコンテンツ、ソフトウェアの取扱いに関して問題となった事例を紹介し、その内容を理解する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：インターネット上でコンテンツがどのように活用されているか、調べておく。  
事後：どうすれば、コンテンツやソフトウェアを適切に保護できるのか復習しておく。

第7回

**【授業テーマ】** 知的財産の保護と共有  
**【内容・方法等】** 知的財産の共有に関する話題を紹介する。クリエイティブ・コモンズ、標準化技術、フリーソフトウェアについて概説し、保護と共有のバランスについて考える。

**【事前・事後学習課題】** 事前：身の回りにある規格にどのようなものがあるか、調べておく。  
事後：紹介した各々の事例において、何を目的として考え出されたコンセプトなのか、理解しておく。

第8回

**【授業テーマ】** 医薬品開発と特許(前半)  
**【内容・方法等】** 医薬品の開発から上市までの流れおよび上市後の企業戦略について特許と絡めつつ、また、医薬品と機械・電気系との特許に対する違いを比べながら解説する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：特になし。  
事後：医薬品と機械・電気製品とは、何が異なるのか。保護する際に留意すべきことは何か、復習しておく。

第9回

**【授業テーマ】** 医薬品開発と特許(後半)  
**【内容・方法等】** 同上

**【事前・事後学習課題】** 事前：前回の講義内容のポイントを押さえておく。  
事後：医薬品特許の特性、取得するために必要な知識、抱えている問題、について把握する。

第10回

**【授業テーマ】** Patent Portfolio Management(前半)  
**【内容・方法等】** 医薬品産業はglobal化が進んでおり、開発品・製品に関する特許のglobalなmanagementが重要になっている。開発品・製品に関する特許群を資産(portfolio)と捉え、外国出願戦略を含めたmanagementの考え方および手法について解説する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：企業における知財活用事例について調べておく。  
事後：講義内容のポイントをまとめておく。

第11回

**【授業テーマ】** Patent Portfolio Management(後半)  
**【内容・方法等】** 同上

**【事前・事後学習課題】** 事前：前回の講義内容のポイントを押さえておく。  
事後：知財マネジメントの目的は何か、グローバルな知財戦略において必要とされる知識は何かを把握しておく。

第12回

**【授業テーマ】** 医薬品と国際的課題  
**【内容・方法等】** 先進国での医薬品市場の伸びは頭打ちになり、新興国でのビジネスが重要になっている。しかし、新興国でのビジネスでは「医薬品アクセス問題」という課題があり、特許も大きく関係している。(例. インドでの強制実施権等)これらの課題について解説する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：先進国における医薬品ビジネスに関するニュースを調べておく。  
事後：講義内で解説された事例について、問題点、課題についてまとめておく。

第13回

**【授業テーマ】** 特許と訴訟(前半)  
**【内容・方法等】** 企業間で行われる特許訴訟に関して、最近の事例(医薬品、電気機械、食品等)を挙げて解説する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：特許の基本的な知識を復習しておく。  
事後：講義内で解説された事例について、インターネットで検索し、改めて理解しておく。

第14回

**【授業テーマ】** 特許と訴訟(後半)  
**【内容・方法等】** 同上

**【事前・事後学習課題】** 事前：前回の講義内容のポイントを押さえておく。  
事後：講義内で解説された事例について、インターネットで検索し、改めて理解する。

第15回

**【授業テーマ】** まとめ  
**【内容・方法等】** 総まとめとして、演習問題を実施する。

**【事前・事後学習課題】** 事前：14回の講義で学んだ内容とポイントを整理しておくこと。  
事後：技術者であっても「知的財産」を意識しておかなくてはならない。本講義で学んだ知識を将来に役立てるよう、ニュースなどで知的財産の話題を見かけた際には、積極的に理解すること。

評価方法(基準)

小テスト・レポート課題(小テスト1回、レポート1回実施予定)を50%、15回目に実施する最終課題を50%として総合評価とする。

教材等

教科書…なし  
参考書…特許庁監修「知的財産標準テキスト」

学生へのメッセージ

工学を学ぶ者にとって、知的財産の知識は必須である。興味深い内容の授業とすべく工夫するので、必ず出席をし、積極的に講義に参加することが望まれる。

関連科目

なし

担当者の研究室等

大阪工業大学 1号館 10階 杉山講師室  
連絡先:sugiyama@ip.oit.ac.jp

備考

なし

国際理解概論 International Cooperation				
		劉	洋(リュウ ヨウ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

第二次世界大戦以降、世界では貿易および多国籍企業の規模が拡大し、世界レベルの市場および競争もそれに伴って、拡張してきました。いまや、先進工業国に住んでいる私達は自分の家のなかで、世界中からの商品を手に入れることができるようになり、まさに世界の多くの国に広がっている巨大企業が私達の周りにあります。しかし、この現象は自然に、そして急に起きたものではありません。では、こうした国際産業はどのような特徴があり、どのように働いているのか。また、私達および他の国の人々の暮らしとどのような関係があるのか。この科目は、個別産業に焦点をあてながらグローバルなネットワークの形成とそのガバナンスの実態を明らかにし、現在のグローバル経済の現実を考察します。グローバル化をめぐる議論を理解することおよびグローバル化と日本との関係を理解することがこの授業の到達目標です。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

主に講義形式で授業は行われますが、授業内容に対する学生の積極的な議論も期待しています。また、場合によっては授業内容に即した映像を副教材として利用します。講師の指示に従って、事前・事後学習するのは学生の責任です。

科目学習の効果(資格)

日本の立場を国際的な視野から見ます。

毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 産業、社会と、変動する世界  
**【内容・方法等】** 講座の全体的流れを認識し、経済および文化のグローバル化の実例について考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 講師の指示に従って次回への展開。
- 第2回 **【授業テーマ】** グローバル化とは何か  
**【内容・方法等】** グローバル化の概念を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第3回 **【授業テーマ】** グローバル化をめぐる理論(1)。  
**【内容・方法等】** グローバル化をめぐる理論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第4回 **【授業テーマ】** グローバル化をめぐる理論(2)  
**【内容・方法等】** グローバル化をめぐる理論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第5回 **【授業テーマ】** 経済のグローバル化  
**【内容・方法等】** 経済のグローバル化をめぐる議論を考察します。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第6回 **【授業テーマ】** 自動車産業のグローバル化  
**【内容・方法等】** 産業のグローバル化において自動車産業の重要性を理解し、日本産業の位置づけについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第7回 **【授業テーマ】** 繊維産業・衣料産業のグローバル化(1)  
**【内容・方法等】** 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。
- 第8回 **【授業テーマ】** 繊維産業・衣料産業のグローバル化(2)  
**【内容・方法等】** 国際繊維産業・衣服産業の現状を理解し、

日本産業および日本市場の位置づけについて考えます。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第9回 【授業テーマ】 グローバル化と環境破壊  
【内容・方法等】 グローバル化と世界の環境問題との関係を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第10回 【授業テーマ】 世界の労働とグローバル化（1）  
【内容・方法等】 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第11回 【授業テーマ】 世界の労働とグローバル化（2）  
【内容・方法等】 国際労働の現状と、グローバル化の影響を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第12回 【授業テーマ】 政治のグローバル化（1）  
【内容・方法等】 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第13回 【授業テーマ】 政治のグローバル化（2）  
【内容・方法等】 国際機関、政府やNPOによって世界市場における企業行動などのガバナンスの現状と可能性を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第14回 【授業テーマ】 文化のグローバル化（1）  
【内容・方法等】 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習と、講師の指示に従って次回への展開。

第15回 【授業テーマ】 文化のグローバル化（2）  
まとめ

【内容・方法等】 文化のグローバル化の現状および文化のグローバル化をめぐる議論を考察します。

全体を復習し、14回の授業のそれぞれの関連を考える上で、1回目の授業における課題をもう一度考察します。

【事前・事後学習課題】 前回の復習。

評価方法（基準）

定期試験と小テストを主とし、授業参加率・態度等を総合評価します。  
（定期試験 50%、小テスト30%、授業参加率、態度等を 20%の割合で総合的に評価する。）

教材等

教科書…無し。  
参考書…デヴィッド・ヘルド（編）『グローバル化とは何か：文化・経済・政治』、京都：法律文化社、2002年。  
Peter Dicken (2010) "Global Shift". New York, London: The Guilford Press.

学生へのメッセージ

授業の内容を丸暗記するのではなく、積極的に考えて理解すること。  
授業中に私語などマナー違反がある場合は、退室を命じます。

関連科目

特にありません。

担当者の研究室等

非常勤講師ですので研究室はありません。その代わり、授業中に質問の時間を設ける予定です。

インターンシップ Internship I				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	I	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に①仕事の社会における役割 ②仕事の成果とは ③仕事の責任と充実感を肌で感じてもらうことです。

インターンシップIでは、インターンシップへ意欲的に自信を持って参加できるようになることを目標とします。

学科の学習と教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

グループワークやプレゼンテーションなどを行う参加型の授業

です。

実際のインターンシップにつながる講義ですので、能動的に、真摯に参加することを求めます。

科目学習の効果（資格）

インターンシップへ行く目的を理解し、準備ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 インターンシップとは  
【内容・方法等】 授業オリエンテーション  
インターンシップとアルバイトの違い  
インターンシップの狙い

【事前・事後学習課題】 インターンシップとはどのようなものかを調べておいて下さい。

第2回 【授業テーマ】 学びと社会のつながり  
【内容・方法等】 大学での学びは、社会とどうつながるのかを考える。

【事前・事後学習課題】 自分の専攻分野と社会のかかわりを考えてください。

第3回 【授業テーマ】 実習参加企業について  
【内容・方法等】 産業の分類を知る。  
業種、内容、実施時期等、実習参加企業について知る。  
【事前・事後学習課題】 インターン受入企業リストに目を通して下さい。

第4回 【授業テーマ】 インターンシップの目的  
【内容・方法等】 社会人と学生の違いを知る。  
志望動機とインターンシップでの目標を設定する。  
【事前・事後学習課題】 授業内で提示した課題を実施して下さい。

第5回 【授業テーマ】 効果的なプレゼンテーションとは  
【内容・方法等】 効果的なプレゼンテーションの仕方、注意点などを知る。

【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第6回 【授業テーマ】 課題のプレゼンテーション  
【内容・方法等】 第4回目の課題をプレゼンテーションする。  
【事前・事後学習課題】 第4回目の課題について、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第7回 【授業テーマ】 社会人のマナー①  
【内容・方法等】 社会人としての心構えを知る。  
【事前・事後学習課題】 マナーが何故大切なのかを考えて下さい。

第8回 【授業テーマ】 社会人のマナー②  
【内容・方法等】 電話のかけ方、指示の受け方、ハウレンソウについて  
【事前・事後学習課題】 授業以降は丁寧な電話の受け答えを心がけてください。

第9回 【授業テーマ】 社会人のマナー③  
【内容・方法等】 御礼状の書き方、メールの書き方について  
【事前・事後学習課題】 マナーの大切さを再度考えて下さい。

第10回 【授業テーマ】 事前訪問について  
【内容・方法等】 事前訪問のマナーと準備について  
【事前・事後学習課題】 インターン先の企業のことをもう一度調べて下さい。

第11回 【授業テーマ】 コミュニケーションの基本  
【内容・方法等】 聴く力、相手を尊重したコミュニケーションの方法について  
【事前・事後学習課題】 授業後は相手を尊重したコミュニケーションを意識してください

第12回 【授業テーマ】 グループワーク①  
【内容・方法等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。  
【事前・事後学習課題】 グループ内の自分の役割を考えて下さい。

第13回 【授業テーマ】 グループワーク②  
【内容・方法等】 掲示された課題について、チームで情報を集約、検証、プレゼンテーションを行う。  
【事前・事後学習課題】 グループの最大の力を出すために、自分に何ができるかを考え、プレゼンテーションの準備をして下さい。

第14回 【授業テーマ】 PDCAサイクル・トラブル対応  
【内容・方法等】 PDCAサイクルについて  
トラブル対応について  
【事前・事後学習課題】 PDCAとは何か、を調べて下さい。

第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ  
【内容・方法等】 授業を振り返る。  
インターンシップの目的を再考する。  
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を身につけたいかをもう一度考えて下さい。

評価方法（基準）

発表（30%）、提出物（30%）、授業態度（40%）による総合評価とします。

教材等

教科書…必要に応じてレジュメを配布  
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ

インターシップの流れ ※4月下旬にリスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み→5月下旬に就職部から受け入れ可否の回答→6月末頃に事前訪問→8月上旬から実習(予定)

**関連科目**

インターンシップⅡ(企業での就業体験実習)を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること

**担当者の研究室等**

3号館4階 キャリア教育推進室

インターンシップ Internship I				
伊 藤 譲 (イトウ ユズル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ロ・ニ	前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

これから就職活動始める学生(大学3年)を対象に、社会人として必要とされる一般的なマナー・基礎知識の学生時代での習得を目的として、社会人・組織人としての社会的役割および責任、仕事への情熱、創造的姿勢、能力向上意欲を喚起させる。到達目標は、次のとおりである。

- (1)社会人としてのマナーを身につける。(2)仕事の基本に関する知識を修得する。(3)環境問題/意識についての体験をする。(4)企業における品質問題を体験する。(5)原価管理の基礎知識を修得する。(6)PDCAサイクルによる課題解決を体験する。

学科の学習・教育目標との対応:[A]

**授業方法と留意点**

パナソニック(株)より社外講師を招き、企業人・社会人としての基礎となる知識と心がまえについて、講義に加えて具体事例演習を通じて体得させる。なお、1~5回目までは120分授業(途中5分程度の休憩)とする。

**科目学習の効果(資格)**

将来の職業選択意識を高めるとともに、社会人・企業人として適切な行動が取れるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは①  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事に基本①の講義終了後、レポートを提出すること(書式は別途)
- 第2回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは②  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第3回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは③  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本②~③の講義終了後、レポートを提出すること(書式は別途)
- 第4回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは④  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第5回** 【授業テーマ】 企業・製造業・仕事の基本とは⑤  
【内容・方法等】 社会人としてのマナー、仕事に取組む基本姿勢の習得、および5S・安全・環境教育を通じて、社会人としての基礎知識を習得する  
【事前・事後学習課題】 企業・製造業・仕事の基本④~⑤の講義終了後、レポートを提出すること(書式は別途)
- 第6回** 【授業テーマ】 品質教育①  
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第7回** 【授業テーマ】 品質教育②  
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)  
【事前・事後学習課題】 ---
- 第8回** 【授業テーマ】 品質教育③  
【内容・方法等】 企業活動の命運をにぎる品質問題について、品質管理の基礎からQC7つ道具の活用・具体実習等により、品質の重要性を体得する(座学と実習)  
【事前・事後学習課題】 品質教育①~③の講義終了後、レポートを提出すること(書式は別途)
- 第9回** 【授業テーマ】 原価・コスト教育①

【内容・方法等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する

【事前・事後学習課題】 ---

**第10回**

【授業テーマ】 原価・コスト教育②

【内容・方法等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する

【事前・事後学習課題】 ---

**第11回**

【授業テーマ】 原価・コスト教育③

【内容・方法等】 企業活動の根幹を成す原価についての基礎概念と原価管理の基礎知識を習得する

【事前・事後学習課題】 原価・コスト教育①~③の講義終了後、レポートを提出する(書式は別途)

**第12回**

【授業テーマ】 課題解決教育①

【内容・方法等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する

【事前・事後学習課題】 ---

**第13回**

【授業テーマ】 課題解決教育②

【内容・方法等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する

【事前・事後学習課題】 ---

**第14回**

【授業テーマ】 課題解決教育③

【内容・方法等】 PDCAサイクルを回すことの重要性の習得により、課題形成力・問題解決力を強化する

【事前・事後学習課題】 課題解決教育①~③の講義終了後、レポートを提出すること(書式は別途)  
また、14回目までの講義を総括して、最終回での質問事項を考えておくこと

**第15回**

【授業テーマ】 全体討議・質疑応答

【内容・方法等】 14回の講義を総括しての討議・質疑応答を実施する

【事前・事後学習課題】 最終報告として受講レポートを提出する

**評価方法(基準)**

課題レポート(6回)40%、授業態度(積極性)20%、受講レポート10%、全体討議(プレゼンテーション)10%、期末試験20%とした総合評価を行う。

**教材等**

教科書…資料を配布する。

**学生へのメッセージ**

日本を代表する企業と共同で実施する研修を体験して、企業は学生に何を求めているのかを知り、職業人としての基礎知識を身につけるとともに社会人になるための意識転換をして下さい。

**関連科目**

『インターンシップⅡ』(ロ組)と理工学部海外インターンシップを履修する学生は、必ずこの科目を同時履修すること。

**担当者の研究室等**

1号館3階 伊藤教授室

**備考**

【担当者】  
摂南大学:石田講師、榊講師、加嶋准教授、川野教授、横田講師、奥野准教授、熊谷教授、田中講師  
パナソニック講師:佐藤哲志、山下秀行、福田祥一、高岡清

インターンシップⅡ Internship II				
水 野 武 (ミスノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	イ	前期非終講	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

インターンシップの目的は、実際の仕事現場の一員として業務を担当させていただくことで社会人の方々がどのような考え方で働かれているのか、特に社会における仕事の役割、仕事の成果、仕事に対する責任と充実感を肌で感じてもらうことです。インターンシップⅡでは、インターンシップ実習の機会を最大限に活用し、自分や社会をより理解し、将来の選択肢や可能性を広げることが目標とします。

**授業方法と留意点**

事前指導→インターンシップ実習→事後指導  
実習中は、大学の代表、そして実習先の一員としての意識を持って参加してください。

**科目学習の効果(資格)**

就職活動や将来を考えるうえでの貴重な出会いや気づきを得ることが出来ます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 直前教育①  
6月22日(土) 3限目  
【内容・方法等】 インターンシップの心構え  
今後のスケジュールの確認  
【事前・事後学習課題】 社会人を意識したスーツ着用

教 養 科 目

- 第2回** 【授業テーマ】 直前教育②  
6月22日(土) 4限目  
【内容・方法等】 報告書の書き方、注意点/マナー・身だしなみの最終確認  
【事前・事後学習課題】 マナーについて考えて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 直前教育③  
6月29日(土) 3限目  
【内容・方法等】 プレゼンテーション①  
【事前・事後学習課題】 他者に何かを伝える際に気を付けることを考えて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 直前教育④  
6月29日(土) 4限目  
【内容・方法等】 プレゼンテーション②  
【事前・事後学習課題】 インターンシップで何を学びたいのかを考えて下さい。
- 第5回** 【授業テーマ】 インターンシップ実習  
【内容・方法等】 夏季休暇中に二週間以上  
【事前・事後学習課題】 実習中は毎日日誌をつけること。
- 第6回** 【授業テーマ】 インターンシップ実習  
【内容・方法等】 夏季休暇中に二週間以上  
【事前・事後学習課題】 事前に立てた目標を意識して参加してください。
- 第7回** 【授業テーマ】 体験報告書の作成・提出・指導  
【内容・方法等】 報告書提出/ゼミ教員・インターンシップ担当教員における報告書のチェックと指導  
(担当教員への提出と教務課へ電子データを提出)  
【事前・事後学習課題】 事前指導の通りに報告書を作成する。提出前に必ず推敲を行うこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 事後指導①  
9月28日(土) 3限目  
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】 事後指導②  
9月28日(土) 4限目  
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
【事前・事後学習課題】 個人発表用のレジメを準備し、プレゼンテーションができるようにして下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 事後指導③  
10月19日(土) 3限目  
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第11回** 【授業テーマ】 事後指導④  
10月19日(土) 4限目  
【内容・方法等】 体験報告会に向けたプレゼン指導及び個人発表  
【事前・事後学習課題】 代表者はスライドを作成し、プレゼンテーションの準備をして下さい。
- 第12回** 【授業テーマ】 事後指導⑤  
10月26日(土) 3限目  
【内容・方法等】 インターンシップを振り返る  
(実習記録簿の提出)  
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来て下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】 事後指導⑥  
10月26日(土) 4限目  
【内容・方法等】 インターンシップを振り返る  
【事前・事後学習課題】 実習記録簿を見直して来て下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 事後指導⑦  
11月9日(土) 1限目  
【内容・方法等】 全体報告会  
学生代表者の発表  
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで10分で報告ができるように準備して下さい。
- 第15回** 【授業テーマ】 事後指導⑧  
11月9日(土) 2限目  
【内容・方法等】 全体報告会  
受け入れ企業管理者の講演とまとめ  
【事前・事後学習課題】 全員スーツ着用

**評価方法 (基準)**

企業による報告書:20%、体験報告書等提出物:40%、発表・授業態度:40%

**教材等**

教科書…必要に応じてレジメ配布  
参考書…必要に応じて推薦図書を提示

**学生へのメッセージ**

インターンシップIを必ず履修してください。  
インターンシップIの履修には、3月のガイダンスに出席し履修申し込み書を提出する必要があります。  
履修希望者が多い場合は、選考することがあります。

**関連科目**

インターンシップI  
担当者の研究室等  
3号館4階 キャリア教育推進室

**インターンシップII**  
Internship II

伊 藤 譲 (イトウ ユズル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ロ	前期非終講	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

『インターンシップI』(ロ組)の実践コースとして、『インターンシップI』(ロ組)で学んだ内容をパナソニックのモノづくり現場で具体実習・実践することにより、更なる理解を進め、自らの武器として習得することを目的とする。 到達目標は以下のとおりである。

(1)生産革新・改善を体験する。(2)製造業の成り立ち・仕組みを体験する。(3)チームワーク・QCD問題を体験する。(4)パナソニックの工場を見学する。(5)研修成果を発表する。

学科の学習・教育目標との対応:[A]

**授業方法と留意点**

パナソニック(株) 枚方 人材開発カンパニーで、計7日間の現場実習を行なう。事前指導としてインターンシップIのまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

直前指導

・1回目 インターンシップIのまとめ、インターンシップIIの準備 7/11(木)6限目

・2回目 インターンシップI全体討議プレゼンテーション指導 7/18(木)6限目

宿泊実習(パナソニック人材開発カンパニー)

・1~3日目

【授業テーマ】

生産革新演習

【内容・方法等】

1個流しセル生産のロールプレイを通じて、生産革新実践・方法等を体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習課題】

演習終了後、レポートを提出のこと

・4~5日目

【授業テーマ】

モノづくりシミュレーション演習

【内容・方法等】

四角錐製作を通じて、製造業の成り立ち・しくみを習得(設計→生産)し、目標達成のためのチームワーク・QCD問題意識の重要性を体得する。(グループ演習)

【事前・事後学習】

演習終了後、レポートを提出のこと

・6日目

【授業テーマ】

工場見学

【内容・方法等】

パナソニックのモノづくりを工場見学を通じて体得する。(2工場)

【事前・事後学習課題】

見学終了後、レポートを提出のこと

・7日目

【授業テーマ】

研修成果報告会

【内容・方法等】

研修成果報告会の実施。(グループ単位)

【事前・事後学習課題】

グループ単位でPPに報告資料をまとめておくこと

実習中指導

・8月31日(土) 2~5限目 プレゼンテーション指導

実習後指導

・1回目 体験報告書の添削指導

・2回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・3回目 研修成果報告会(2回目)に向けたプレゼンテーション指導

・4回目 研修成果報告会(2回目)

・5回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑

・6回目 全体報告会 企業管理者の講演と講師

**評価方法・評価基準**

実習成果40%、研修成果報告会(2回)20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行なう。

**教材等**

教科書…未決定

参考書…なし



**備考**

**【注意事項】**

期間：2013年 8月26日（月）～8月30日（金）、9月2日（月）～9月3日（火） パナソニック（株）人材開発カンパニーでの宿泊研修です。その間、パナソニック（株）社員の、朝礼、ランニングにも参加します。ジーンズ、スリッパは禁止。ランニングできる履物、着替えが必要です。宿泊費・食費の一部は別途徴収します。

**【担当者】**

摂南大学：川崎教授、宮本准教授、加嶋准教授、山崎講師、片田准教授、瀬良准教授  
パナソニック講師：山北剛、佐藤哲志、高岡清、熊本義久

**インターンシップ II**  
Internship II

川野 常夫 (カワノ ツネオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	ニ	前期非終講	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

日本の企業がますますグローバル化する中で、国際的視野と素養を身に付けた人材はますます重要となる。本科目は、「ものづくり海外インターンシップ」と呼び、世界展開をしている「ものづくり企業」の海外工場において具体的に実習体験をすることにより、グローバル企業の現状を理解するとともに、自らの視野と経験を広げることが目的とする。研修先はとりわけ東南アジアの日系企業とする。

到達目標は以下のとおりである。

- (1) グローバル企業の現状が理解できる。
- (2) 海外でのものづくりの工程を体験できる。
- (3) チームワークを体験できる。
- (4) 国際的視野を広げられる。
- (5) 研修成果が発表できる。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

東南アジアの日系企業において、本学の夏休み中に往復を含めて計10日間の現場実習を行う。事前指導としてインターンシップIのまとめを行い、事後指導として実習で得られた成果の定着をはかる。

「ものづくり企業」での研修であるが、専門知識は特に必要としないので、参加学生は専門分野も、文系・理系も問わない。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

**直前指導**

- ・1回目 インターンシップIのまとめ、インターンシップIIの準備 7/11（木） 6限目
- ・2回目 全体報告会に向けたプレゼンテーション指導 7/18（木） 6限目
- ・3回目 海外で実習するための事前指導

**海外実習**

- ・1～2日目

**【授業テーマ】**

移動、オリエンテーション

**【内容・方法等】**

研修先企業の概要、オリエンテーション、語学（英語）研修

**【事前・事後学習課題】**

実習終了後、レポートを提出のこと

- ・3日目

**【授業テーマ】**

企画・設計部門実習

**【内容・方法等】**

ものづくり工程の川上である企画・設計部門において、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）

**【事前・事後学習】**

実習終了後、レポートを提出のこと

- ・4～5日目

**【授業テーマ】**

工場見学会、交流会

**【内容・方法等】**

関連工場の見学、現地従業員との交流会に参加する。交流会では、英語によるコミュニケーションを行う。

**【事前・事後学習課題】**

交流会終了後、レポートを提出のこと

- ・6～8日目

**【授業テーマ】**

金型・加工・プレス部門、組立部門、検査・品質管理・出荷部門実習

**【内容・方法等】**

ものづくり工程の中流、下流である製造、組立、検査部門について、その役割、重要性などを体得する。（グループ演習）

**【事前・事後学習課題】**

実習終了後、レポートを提出のこと

- ・9～10日目

**【授業テーマ】**

研修成果報告会、移動

**【内容・方法等】**

グループ単位でPPTでプレゼン

**【事前・事後学習課題】**

実習終了後、最終レポートを提出のこと

**実習後指導**

- ・1回目 最終レポート（体験報告書）の添削指導
- ・2回目 研修成果報告会（2回目）に向けたプレゼンテーション指導
- ・3回目 全体報告会 学生代表者の発表・質疑
- ・4回目 全体報告会 企業管理者の講演と講評

**評価方法・評価基準**

実習成果40%、研修成果報告会（2回）20%、実習最終レポート10%、体験報告書10%、実習・授業態度20%とした総合評価を行う。

**教材等**

教科書…必要時にプリント等を配布する。

参考書…内永ゆか子：日本企業が欲しい「グローバル人材」の必須スキル、朝日新聞出版（2011/9/7）

**備考**

**【注意事項】**

研修予定期間：2013年 8月21日（水）～8月30日（金）（研修先の都合により変更する場合があります。）航空運賃、宿泊費、保険代などは自己負担となります。

【共同担当者】 熊谷樹一郎教授

**コミュニケーション I**  
Communication I

櫻井 清華 (サクライ キョウカ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

現代社会に生きるわれわれは、他者とのかわりなしに生きてゆくことはできない。その「なかだち」がコミュニケーションである。特に日本語によるコミュニケーションには、日本語を母語とする人々の関心の持ち方、考え方、感じ方が反映されている。これらを分析的に学びながら、本講義では日本語の音声言語（話し言葉）に焦点を当て、実践的な日本語によるコミュニケーションを学ぶ。あわせて場の認識の仕方・待遇表現・言語行動と非言語と副言語の関係等の言語技術を修得することが目標である。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

講義と実践（グループワーク）

**科目学習の効果（資格）**

特になし

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 コミュニケーションとはどのような現象か  
【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第2回** 【授業テーマ】 コミュニケーションのメッセージモデル  
【内容・方法等】 情報伝達の回路と機能をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 メッセージの発生と循環を日常会話をもとに考えてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション(1)  
【内容・方法等】 言語と非言語の認識と効果  
【事前・事後学習課題】 とくに非言語のバリエーションについて、日常生活の中でみずから発見してください。
- 第4回** 【授業テーマ】 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション(2)  
【内容・方法等】 言語と非言語の認識と効果  
【事前・事後学習課題】 非言語の国際的差異を身近なところで発見してください。
- 第5回** 【授業テーマ】 言語が獲得される過程  
【内容・方法等】 母語話者として成長する過程をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 母語話者として成長する過程を自身のうけた義務教育から反芻してください。
- 第6回** 【授業テーマ】 メッセージの送り手と受け手の関係  
【内容・方法等】 会話における送信者と受信者の関係についてまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項を日常会話において実践してください。
- 第7回** 【授業テーマ】 情報伝達の優先順位  
【内容・方法等】 情報を有効に伝達する方法をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 多くの事柄を一度に伝えるとき、何が有効な方法を実践、あるいは反省的に振り返ってみてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 言葉と記号の関係

- 【内容・方法等】 マスメディアと消費者の関係をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 なぜ消費意欲が煽られるのかを考えてください。
- 第9回 【授業テーマ】 言葉の働き  
【内容・方法等】 おなじ言葉が状況次第でどのように変化させられるかをまなぶ  
【事前・事後学習課題】 言葉がコンテキストによってどのように意味と意義を変容させるかを考えてください。
- 第10回 【授業テーマ】 スキーマとスクリプト  
【内容・方法等】 「おきまり」の話型をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 「おきまり」の話型とはなにかをドラマや漫画で考えてください。
- 第11回 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係(1)  
【内容・方法等】 非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項を日常会話において実践してください。
- 第12回 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係(1)  
【内容・方法等】 非言語コミュニケーションと言語コミュニケーションの相互関係をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項を日常会話において実践してください。
- 第13回 【授業テーマ】 非言語コミュニケーションの影響力  
【内容・方法等】 非言語の特色と効果についてまなぶ  
【事前・事後学習課題】 非言語の有効性と危険性を考えてください。
- 第14回 【授業テーマ】 非言語と言語の生得性  
【内容・方法等】 しぐさと言葉、いずれが生得的なのかをまなぶ  
【事前・事後学習課題】 言葉の前にまずなにがあるかを考えてください。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 前期項目の総括  
【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践、そして社会人としての自覚生成

評価方法(基準)  
平常点30%、定期試験70%

教材等

教科書…なし  
参考書…特になし

学生へのメッセージ

意欲的な参加を求めます。

関連科目

国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション学、コミュニケーションIIなど

担当者の研究室等

7号館2階(講師控室)

コミュニケーションII Communication II				
櫻井清華(サクライ キョカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、音声言語(話し言葉)のみならず、文字言語(書き言葉)によるコミュニケーションも射程に入れ、「コミュニケーションI」で修得した言語技術をさらに深めさせることを目指す。挨拶・紹介・説明(研究発表を含む)・報告(調査報告を含む)・依頼・勧誘・質疑応答・議論・話し合い・見舞い・詫び・感謝・賞賛といった目的別の言語行動を想定し、より実践的な言語運用能力を修得することを目標とする。  
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

講義と実践(グループワーク)

科目学習の効果(資格)

特になし。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義と実践(グループワーク)  
【事前・事後学習課題】 コミュニケーションとはどのような現象かを考えてください。
- 第2回 【授業テーマ】 「うわさ」の構造  
【内容・方法等】 うわさが持つ波及力をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 うわさの実際を日常から考えてください。
- 第3回 【授業テーマ】 メディアの戦略  
【内容・方法等】 あらゆるメディアの戦略についてまなぶ

- 【事前・事後学習課題】 情報そのものに敏感になろう
- 第4回 【授業テーマ】 会話の技術(挨拶)  
【内容・方法等】 立ち位置、目線、言葉の総合行為をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 日頃の行動を振り返ってみよう
- 第5回 【授業テーマ】 会話の技術(説明と報告)  
【内容・方法等】 有益な説明と報告のコツをまなぶ  
【事前・事後学習課題】 就職活動に有益な文書作成をまなぶ
- 第6回 【授業テーマ】 会話の技術(依頼と勧誘)  
【内容・方法等】 繰り返される心理と繰り返される心理をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第7回 【授業テーマ】 会話の技術(謝罪と感謝、賞賛)  
【内容・方法等】 言葉の力を認識することをまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第8回 【授業テーマ】 方言と共通語の利用法  
【内容・方法等】 関西弁と多言語の文化関係をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 メディアで利用される方言戦略を知ろう
- 第9回 【授業テーマ】 敬語表現  
【内容・方法等】 敬語の基礎をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項を社会で実践できるようにする
- 第10回 【授業テーマ】 敬語表現  
【内容・方法等】 敬語の応用をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項を社会で実践できるようにする
- 第11回 【授業テーマ】 敬語表現  
【内容・方法等】 日常生活で遭遇する「妙な敬語」を正しくすることをまなぶ  
【事前・事後学習課題】 習得事項を社会で実践できるようにする
- 第12回 【授業テーマ】 若者言葉とはなにか  
【内容・方法等】 流行語の生成過程をまなぶ  
【事前・事後学習課題】 若者言葉を日常生活でさがしてみよう
- 第13回 【授業テーマ】 言葉のジェンダー  
【内容・方法等】 なぜ男言葉と女言葉があるのかをまなぶ  
【事前・事後学習課題】 多言語の男言葉・女言葉とはどのようなものを調べよう
- 第14回 【授業テーマ】 よい聞き手になるために  
【内容・方法等】 よい話者とは、最上の聞き手であるという極意  
【事前・事後学習課題】 習得事項の日常実践
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 後期総括  
【事前・事後学習課題】 習得事項の日常および社会生活での実践

評価方法(基準)  
平常点30%、定期試験70%

教材等

教科書…なし  
参考書…特になし。

学生へのメッセージ

意欲的な参加を求めます。

関連科目

国語学、言語学、日本語学、社会学、コミュニケーション論、コミュニケーションIなど

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

技術英語 Engineering English				
有本好一郎(アリモト コウイチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

普段の生活で見かける商品を製造する国内の有名企業の秘話(商品開発、製造、販売など)を英語で学習し、主に読解力、語彙力の向上を目的とするが、簡単なリスニングも行い聴解力向上にも取り組む。理工学部で学ぶことが企業でどう生かされているのかを英語で学び、工学系の知識を習得して欲しい。また、中高の復習と同時に、資格(TOEIC、英検)取得に前向きに挑戦していくことを期待します。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

テキストより各企業の歴史、商品開発の秘話を読解し、語彙力、発信力をつける。語彙は平易でないものも多いので辞書を必ず持参すること。

科目学習の効果(資格)

TOEICのスコアアップにつながる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 サントリー  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第2回 【授業テーマ】 ナベル  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第3回 【授業テーマ】 象印マホービン  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第4回 【授業テーマ】 竹中工務店  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第5回 【授業テーマ】 サントリーの青いバラの開発  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第6回 【授業テーマ】 コクヨ  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第7回 【授業テーマ】 紀州技研工業  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第8回 【授業テーマ】 コーナン  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第9回 【授業テーマ】 モンベル  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第10回 【授業テーマ】 トタニ技研工業  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第11回 【授業テーマ】 サンスター  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第12回 【授業テーマ】 武田薬品工業  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第13回 【授業テーマ】 江崎グリコ  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第14回 【授業テーマ】 あなたが作る企業紹介ページ  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第15回 【授業テーマ】 象印マホービンの「みまもりほっとライン」  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 定期試験の準備

**評価方法 (基準)**

毎回のクイズ (40%)、定期試験 (60%) で評価。

**教材等**

教科書…井上 治、『A Visit to Amazing Kansai-based Companies 英語で知る日本の企業秘話』、松柏社  
参考書…英和、和英辞書

**学生へのメッセージ**

最近では多数の企業が海外進出するなかで、英語力が重視される時代です。真面目に出席し、努力すること。また、資格試験などに積極的に挑戦すること。

**関連科目**

他の英語科目すべて

**担当者の研究室等**

非常勤講師控室

**科学英語**

Scientific English

有本 好一郎(アリモト コウイチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

授業を通して、理系の学生に必要な数学、物理、科学などの話題を英語を通して学習することを目的とする。数字の読み方、公式など科学系のテーマを読解、発信を習得すること。必要があれば中高の復習も行う、読解、文法力向上に取り組みます。また、英語クロスワードパズルなどを用いて、取り組みやすい教材で英語力向上を図ります。学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

毎週のテーマは数学や科学に関するテーマを使い、短い英文、練習問題を解き授業を進める。難解な語彙も多いので辞書を持参。

**科目学習の効果 (資格)**

科学系の英文に触れることにより、英語論文の読解力向上につながるようにする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 数を読む  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第2回 【授業テーマ】 自然数  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第3回 【授業テーマ】 いろいろな数  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第4回 【授業テーマ】 ピタゴラスの定理  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第5回 【授業テーマ】 微積分学  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第6回 【授業テーマ】 ベクトル  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第7回 【授業テーマ】 力学  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第8回 【授業テーマ】 地球温暖化  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第9回 【授業テーマ】 元素と原子  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第10回 【授業テーマ】 電気と磁気  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第11回 【授業テーマ】 ビッグバン  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第12回 【授業テーマ】 星の形成  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第13回 【授業テーマ】 惑星の形成  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第14回 【授業テーマ】 地球近傍小天体  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 テキスト本文の復習、クイズの準備
- 第15回 【授業テーマ】 ブラックホール  
【内容・方法等】 テキスト本文、練習問題  
【事前・事後学習課題】 定期試験の準備

**評価方法 (基準)**

毎回のクイズ (40%)、定期試験 (60%) で評価。

**教材等**

教科書…金星堂、『Basic English for Engineers and Scientists』、Shigeo Uehara  
参考書…英和、和英辞書

**学生へのメッセージ**

真面目に出席し、努力することを期待します。

**関連科目**

数学、科学系科目

**担当者の研究室等**

非常勤講師控室

**産業技術史**

History of Industrial Technology

照元 弘行(テルモト ヒロユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

様々な産業で用いられる技術を「産業技術」という。この「産業技術」は、どのような経路をたどりながら、何を原動力として発展してきたかという問題について考える。本講義では、様々な「産業技術」の変遷を体系的に捉え、地球規模での産業技術の役割について考え、これまでに築かれてきた技術を学習・理解することで、今後、独創的な技術を生み出していく手がかりを提供する。  
到達目標：幅広い教養と地球的視野をもった技術者の育成。具体的には、それぞれの産業技術の歴史を学習・理解することで、技術者として幅広い教養を、また、情報社会の世界情勢や地球環境問題を学ぶことで、物事を地球的視点から多面的に捉える

能力と素養を身につけることができる。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

授業形式は、視聴覚教材を多用する「プレゼンテーション授業」である。  
 講義中心の授業となるが、産業技術をできるだけわかりやすく理解してもらうために、視聴覚教材および資料集などの図を用いて解説する。

**科目学習の効果（資格）**

現在の産業技術社会は、膨大な情報と知識の専門化が進んでおり、この産業技術の世界を系統的に学ぶ機会、一般教養科目を学ぶ以外の時期には少なくなる傾向にあり、他分野の知識の吸収には、自分自身で常に努力していく必要がある。それゆえ、できるだけ早い時期に産業技術の源を学んでおくことは、多くの分野に興味をもつための一助になると考えている。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 産業技術史を学ぶにあたって／特許から見た産業発展史  
**【内容・方法 等】** 産業技術史を学ぶ意味を考える。  
 明治時代の近代日本創生から現代のプロパテント時代まで、日本の産業発展に特許制度が果たした役割を理解し、我が国の歴史から産業発展と特許制度の関係を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 課題レポート提出①
- 第2回 **【授業テーマ】** 製鉄・鉄鋼産業の技術史①  
**【内容・方法 等】** 金属材料について学ぶ。  
 伝統の日本製鉄法「たたら」について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出②
- 第3回 **【授業テーマ】** 製鉄・鉄鋼産業の技術史②  
**【内容・方法 等】** 製鉄・鉄鋼産業の技術発展史とその公害・環境対策について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出③
- 第4回 **【授業テーマ】** 製鉄・鉄鋼産業の技術史③  
**【内容・方法 等】** 製鉄所のシンボルである高炉について学ぶ。  
 国産技術で育てた画期的な次世代の鉄「超鉄鋼」について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出④
- 第5回 **【授業テーマ】** 情報技術産業の歴史①  
**【内容・方法 等】** 今日、日常的に利用しているワープロの歴史とその技術について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑤
- 第6回 **【授業テーマ】** 情報技術産業の歴史②  
**【内容・方法 等】** これからの携帯電話技術の「デファクトスタンダード」をめぐる激しい争いを事例にして、これらの技術について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑥
- 第7回 **【授業テーマ】** 自動車産業の歴史①  
**【内容・方法 等】** 国産自動車トヨタAA型の開発を事例にして、日本の自動車産業を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑦
- 第8回 **【授業テーマ】** 自動車産業の歴史②  
**【内容・方法 等】** 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。  
 ここでは、低公害エンジン「CVCC」を事例にして学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑧
- 第9回 **【授業テーマ】** 自動車産業の歴史③  
**【内容・方法 等】** 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。  
 ここでは、「ハイブリッドカー」を事例にして学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑨
- 第10回 **【授業テーマ】** 自動車産業の歴史④  
**【内容・方法 等】** 自動車産業の公害・環境問題について学ぶ。  
 ここでは、燃料電池の技術と「究極のエコカー」である燃料電池自動車について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑩
- 第11回 **【授業テーマ】** 鉄道産業の歴史①  
**【内容・方法 等】** 国と地方の問題から「新幹線問題」について学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑪
- 第12回 **【授業テーマ】** 鉄道産業の歴史②  
**【内容・方法 等】** 高速鉄道「新幹線」の開発の歴史とその主要技術について学ぶ。  
 新幹線を作る様々な技術（町工場がもつアナログ的な技術）を学ぶ。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑫
- 第13回 **【授業テーマ】** 鉄道産業の歴史③

**【内容・方法 等】** 未来の高速鉄道「リニアモーターカー」について学ぶ。

また、これからの鉄道の公害・環境対策技術、安全対策について学ぶ。

**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。

- 第14回 **【授業テーマ】** 公害・環境対策の技術史  
**【内容・方法 等】** 産業競争力強化の重要な柱の1つである「ISO14001」の認証取得の事例を解説する。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑬
- 第15回 **【授業テーマ】** 世界の産業技術  
**【内容・方法 等】** 産業技術の未来への取り組みについて、子どもたちへの活動を通して考える。  
**【事前・事後学習課題】** 資料集を事前に読んでおくこと。  
 課題レポート提出⑭

**評価方法（基準）**

各授業毎の課題レポート（50点配分）と定期試験（50点配分）で総合的（合計100点）に評価する。なお、合格基準は、レポートおよび定期試験がそれぞれ30点以上、総合評価で60点以上を合格とする。

**教材等**

**教科書**…特に、教科書は、指定しないが、資料集などを配布する予定である。  
**参考書**…参考書は、講義の中で適宜、紹介していく予定である。

**学生へのメッセージ**

1時間目の授業ではありますが、遅刻せずに毎回出席することが望ましい。授業中は私語を慎み、集中して授業に臨み、理解した授業の内容を整理できるように心がけて下さい。

**関連科目**

産業技術史は、多面的で複合的な科目であることから、大学において、できるだけ数多くの科目を習得すれば、必ず役立つと思います。

**担当者の研究室等**

第1回目の講義時にお知らせします。

**備考**

講義のキーワードとして、「特許」、「公害・環境問題」、「アナログ的な技術・デジタル的な技術」などを示しておく。

科学技術教養V1				
Scientific and Technological Literacy V1				
	西村	仁	(ニシムラ ヒトシ)	
	芳本	忠	(ヨシモト タダシ)	
	松川	通	(マツカワ トオル)	
	川崎	勝己	(カワサキ カツミ)	
	尾山	廣	(オヤマ ヒロシ)	
	船越	英資	(フナコシ エイシ)	
	中嶋	義隆	(ナカジマ ヨシタカ)	
	居場	嘉教	(イバ ヨシノリ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

新聞やテレビが病気・くすりについてのニュースを取り上げることは珍しくないが、その内容を理解することは容易ではない。本講義では、病気・くすりの発見や原因解明の歴史、生命現象との関係などを個体レベルから遺伝子レベルにわたって幅広く平易に概説する。この講義の到達目標は、病気・くすりに関する知識を習得し、新聞やテレビのニュースを理解できるようになることである。また、病気の原因解明や治療法・くすりの開発における生命科学の意義を理解できるようになることを目指す。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

一話完結型のオムニバス形式で講義を行い、配付する資料とパワーポイントを用いて解説する。講義ごとに講義メモの提出を求める。その他、レポート、小論文、演習問題などの課題を課す。

**科目学習の効果（資格）**

新聞やテレビで見聞きする病気やくすりについてのニュースが理解できる。また、病気の原因解明やくすりの開発における生命科学の意義を知ることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 **【授業テーマ】** 病気とくすりの歴史  
**【内容・方法 等】** 人類の発生から現在まで、人々は病気に悩まされてきた。病気の克服、戦闘などで傷ついた体を癒す目的で自然界のいろいろな物質を試行錯誤で用いてきた。その過程で伝統的な薬を見出し、近年になり生命科学の技

- 術により組換え医薬品へ発展してきた創薬技術の歴史を追う。
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 病気と遺伝子。  
【内容・方法等】 内容：生物のDNAは常に外界の危険因子によって傷（変異）を受けているが、生物の体内には傷を発見して治療する安全システムが存在している。この安全システムはどのように作動して、また不具合が生じた場合にどうなるのか？また身近に存在する危険因子や疾患の代表例について考える。
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 脳・神経の病気のしくみ。  
【内容・方法等】 脳や神経の病気は難病と言われているものが多く、治療、快復が困難な現状である。まず難病のいくつかを紹介し、それらの治療のためにどのようなことがなされているかを概説する。
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 免疫が引き起こす病気のしくみ。  
【内容・方法等】 外敵や内なる敵から自らを守るためにつくられた免疫システムの概要と、がん、ウイルス感染(インフルエンザ、H I V、肝炎)、アレルギー疾患などとの関連について紹介する。
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 がんの発生とその予防法。  
【内容・方法等】 死因別死亡率のトップはがんであり、約3人に1人ががんで亡くなっている。自分の意思で調節可能なはずの危険因子である喫煙が、がんの原因の30%を占めており、単因子要因としては最大である。本講義では、がんの発生機序やその予防法について説明する。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 不妊のしくみ。  
【内容・方法等】 日本人夫婦(カップル)は10組のうち1組は不妊と言われており、実際に治療を受けている人が多い。しかし、なぜ不妊になるのかははっきりしない場合も多い。本講義では受精の仕組みから考えられる不妊の原因と現在の治療法について概説する。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 くすりと遺伝子工学。  
【内容・方法等】 ある生物から分離した遺伝子を別の細胞または生物体に導入して、遺伝子産物(タンパク質)を生産したり、新しい形質を作り出すなど、遺伝子を人工的に操作する技術、遺伝子工学について紹介する。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 くすりと組換え生物。  
【内容・方法等】 8年ほど前にヒトのすべてのDNA配列が解読されて、ヒトには約2万2千の遺伝子があることが明らかにされた。ポストゲノム研究では、マウスやラットなどを用いた「遺伝子組み換え生物」が作製され、再生医療や疾患の新しい治療法を開発するための重要なツールとして利用されていることに加え、バイオ医薬品の作製などにも役立つ。遺伝子組み換え生物の作成と応用について考える。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 くすりとバイオインフォマティクス。  
【内容・方法等】 遺伝子やタンパク質の配列情報を例にバイオインフォマティクスの概要について説明し、病気と遺伝子、ゲノム創薬への応用について述べる。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 くすりとタンパク質のかたち。  
【内容・方法等】 タンパク質構造決定の意義と構造決定法のひとつであるX線結晶構造解析の概要から、インフルエンザ治療薬を例に医薬品開発への応用について述べる。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 くすりとゲノム。  
【内容・方法等】 ゲノムとは、創薬とは、遺伝子診断などを解説し、生命倫理、歴史的な背景や将来の課題と発展方向をさぐる。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 薬物乱用と依存性薬物。  
【内容・方法等】 社会のルールからはずれた方法や目的で、薬物を使うことを薬物乱用という。薬物依存というと、その人の性格や人格の問題と思われがちであるが、脳内報酬系の異常という生物学的基盤があることを理解する必要がある。本講義では、薬物依存の形成機構および各種の依存性薬物について説明する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 遺伝子治療の最前線。  
【内容・方法等】 遺伝子により治療はできるか、遺伝性疾患、科学・技術の概要、基本的な原理、を解説。生命倫理や関連した話題のトピックについても触れる。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 神経再生治療の最前線。  
【内容・方法等】 ヒトの中枢神経は損傷から回復できない。また、抹消神経であっても神経細胞そのものがダメージを

- 受けるとやはり回復は難しい。ヒトの神経及び神経細胞の損傷からの回復を目指して様々な努力が行われている。それらの研究をわかりやすく概説する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。  
【授業テーマ】 iPS細胞研究の最前線。  
【内容・方法等】 京都大学の山中伸弥教授によって作り出されたiPS細胞の基礎・臨床研究は今や国家プロジェクトであり、新聞やテレビでもたびたび登場する。本講義でiPS細胞の発見から現在までの研究状況を概説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 評価方法(基準)**  
授業態度20%、講義メモ40%、およびレポート・小論文・演習問題などの課題40%の総合点で評価する。
- 教材等**  
教科書…特になし。  
参考書…配布資料。
- 学生へのメッセージ**  
病気やくすりはみなさんの身近な問題で、関心も大きいと思います。本講義では病気やくすりについて、生命科学の観点から具体例を挙げて分かりやすく解説します。
- 関連科目**  
特になし。
- 担当者の研究室等**  
1号館9階(芳本、松川、川崎、尾山、西村、船越、中嶋、居場)研究室。
- 備考**  
欠席・遅刻の扱いは理工学部の規則に従って処理します。

科学技術教養V2				
Scientific and Technological Literacy V2				
	青 芳 八 中 西 松 石 長	笹 本 木 室 矢 尾 田 田	治 (アオザサ オサム) 忠 (ヨシモト タダシ) 策 (ヤギ シュンサク) 彦 (ナカムロ カツヒコ) 昭 (ニシヤ ヨシアキ) 光 (マツオ ヤスミツ) 子 (イシダ ユウコ) 武 (ナガタ タケシ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
本講義では、微生物の単離・殺菌技術や化粧品の開発、繊維加工に利用されている遺伝子組換え技術など、我々の暮らしを豊かにするバイオテクノロジーから、水資源の利用や環境リスクの評価など、ヒトの健康を守る知識や技術まで、生命科学の分野における最新の研究事例を取り上げ、幅広く解説する。本講義の到達目標は、醗酵・腐敗の歴史、遺伝子組換え技術、バイオエネルギー、機能性食品および自然再生技術など、我々の健康と暮らしを支えている生命科学についての知識を習得することである。
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]
- 授業方法と留意点**  
講義内容について資料を配付し、パワーポイントを用いて解説する。講義ごとに受講メモの提出を求める。その他、レポート、小論文、演習問題などの課題を課す。
- 科目学習の効果(資格)**  
遺伝子組換え技術などのバイオテクノロジーと、我々のくらしや健康との関わりが理解できる。
- 毎回の授業テーマ・内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 醗酵・腐敗とバイオテクノロジー  
【内容・方法等】 古代よりアルコール醗酵がおこなわれてきたが、自然醗酵によっていたため、度々腐敗となっていたであろう。安定した生産を求めたことが微生物の単離、殺菌技術の開発、そして現在の遺伝子組換え技術など生命科学の発展をもたらした。この歴史を学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第2回** 【授業テーマ】 化粧品とバイオテクノロジー  
【内容・方法等】 バイオテクノロジーを化粧品開発に応用した事例を紹介し、実際の商品をとり上げてバイオテクノロジーのメリットを解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第3回** 【授業テーマ】 繊維とバイオテクノロジー  
【内容・方法等】 繊維に反応する酵素を紹介し、これらを用いた繊維加工の応用例および今後の可能性について解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。

- 第4回** 【授業テーマ】 遺伝子組換え植物とその将来  
【内容・方法 等】 代表的な遺伝子組換え植物の創生方法について簡単に紹介し、世界における遺伝子組換え植物の実際、遺伝子組換え作物の環境への影響、また、日本における組換え作物の安全審査について説明する。さらに、遺伝子組換え賛成派と反対派の主な意見についても触れる。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第5回** 【授業テーマ】 バイオレメディエーションの可能性  
【内容・方法 等】 過去、日本であった重金属汚染について簡単に復習し、特に水銀に焦点を合わせて水銀浄化法を説明する。物理化学的浄化法と微生物を用いた生物学的浄化法を対比しながら、適宜遺伝子組換え技術について補足を加え概説し、植物を用いた生物学的浄化法についても説明する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第6回** 【授業テーマ】 最先端のバイオエネルギー技術  
【内容・方法 等】 21世紀に入り、エネルギー枯渇問題、環境負荷低減の要請から、生物の持つエネルギーを新しい代替エネルギーとして利用する試みが急速に発展している。本講義では、バイオエネルギーの概要から最先端のバイオエネルギー技術まで、現在のエネルギーとの比較や生態系・環境との共生の立場から解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第7回** 【授業テーマ】 新規エネルギーの創生と生物・環境に及ぼす影響  
【内容・方法 等】 近年、エネルギーの枯渇化問題や生物とこれを取りまく環境との共生の問題を解決する新規エネルギーの創生が強く望まれている。本講義では、これまでに使用されてきたエネルギーから最先端のエネルギーまでの特徴を、生物と環境へ及ぼす影響といった観点から解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第8回** 【授業テーマ】 機能性食品などの新しい食品の形態  
【内容・方法 等】 食品の一次機能(栄養素)、二次機能(味、触感など)および三次機能(生体機能の調節などの新規機能)について解説し、保健機能食品制度、特定保健用食品、栄養機能食品など新しい食品の形態を講述する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第9回** 【授業テーマ】 食品の健康障害リスクと対策  
【内容・方法 等】 微生物、アレルギー性物質、残留農薬などの食品に存在するヒトの健康障害リスクについて具体的な事例を取り上げ、解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第10回** 【授業テーマ】 地球規模の環境破壊と人体への影響  
【内容・方法 等】 主にオゾン層の破壊、地球の温暖化および酸性雨に関して発生原因、発生機構、人への影響およびその防止対策に関して述べる。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第11回** 【授業テーマ】 ヒトの健康と暮らしを支える水資源  
【内容・方法 等】 水循環、水利用、上水道と高度浄水処理、下水道と高度下水処理など、ヒトの健康と暮らしを支える水資源について解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第12回** 【授業テーマ】 生物多様性の必要性と保全のための国内外の動き  
【内容・方法 等】 持続可能な地球環境を保全していくためには、生物多様性が不可欠である。この講義では、生態系や生物多様性のしくみを理解し、生物多様性保全のための国内外の動きについて解説する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第13回** 【授業テーマ】 自然の再生に利用されるビオトープ  
【内容・方法 等】 河川管理は、治水・利水の視点は持ちつつ生態系や自然環境をも考慮していくことが求められている。そのため、全国の河川で自然再生事業が広がってきている。この講義では、そういった全国の事例紹介をし、講義担当者が研究に取り組んでいる生態系保全のための河川管理の考え方について解説する。また、摂南大学で取り組んでいるビオトープを使った自然再生について紹介する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第14回** 【授業テーマ】 環境リスクの評価方法  
【内容・方法 等】 環境汚染物質や食品添加物などの合成化学物質などのヒトに対する安全性評価すなわちリスクアセスメントの考え方を講述し、水道水質基準や環境基準の策定に関する基本的な考え方を述べる。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。
- 第15回** 【授業テーマ】 環境マネジメントの国際規格と支援技術  
【内容・方法 等】 環境管理の国際規格であるISO14000シリーズを中心として、環境マネジメントシステム、環境ラベル、ライフサイクルアセスメントなどについて解説する。また環境効率、ゼロ・エミッション、MIPSなどの考え方についても紹介する。  
【事前・事後学習課題】 配布資料を復習する。

**評価方法 (基準)**

授業態度20%、受講メモ40%およびレポート、小論文、演習問題などの課題40%の総合点で評価する。

**教材等**

教科書…配布プリント

参考書…適宜、講義中に紹介する。

**学生へのメッセージ**

遺伝子組換え技術、バイオエネルギー、機能性食品および自然再生技術など、我々の健康と暮らしを支えている生命科学について、具体的な事例を取り上げ、分かりやすく解説します。

**関連科目**

科学技術教養V1

**担当者の研究室等**

1号館8階 環境分析学研究室 (青笹)

**備考**

出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

**科学技術教養 A 1**

Scientific and Technological Literacy A1

柳 沢 学 (ヤナギサワ マナブ)
佐野 潤一 (サノ ジュンイチ)
木多 彩子 (キタ アヤコ)
原 克巳 (ハラ カツミ)
上谷 宏二 (ウエタニ コウジ)
本多 友常 (ホンタ トモツネ)
加嶋 章博 (カシマ アキヒロ)
大谷 由紀子 (オオタニ ユキコ)
池内 淳子 (イケウチ ジュンコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

広範な社会や人間生活の場面における現状と課題から、建築学に関わる学問体系のおおよそについて紹介し、社会や人間生活環境のあり方を考える基本的な教養を身につける。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

パワーポイントや板書による講義を行う。  
講義の内容に沿った課題・演習・小テストを毎回行う。講義を集中して聴く態度が求められる。

**科目学習の効果 (資格)**

身近な建築と生活や環境、都市環境に関するデザインの知識と手法が身に付く。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 建築とは何か  
【内容・方法 等】 建築の考え方、建築家の果たす役割  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第2回** 【授業テーマ】 建築と人間生活  
【内容・方法 等】 建築の種類と計画空間、ライフスタイルからみた多様性、民族・地域からみた多様性  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第3回** 【授業テーマ】 建築と都市環境  
【内容・方法 等】 建築と都市の関係、都市環境のデザイン  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第4回** 【授業テーマ】 建築の歴史  
【内容・方法 等】 建築の歴史の変遷から建築における多様な「技術」について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第5回** 【授業テーマ】 建築のかたち  
【内容・方法 等】 現代の建築作品、カタチのつくり方  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第6回** 【授業テーマ】 建築の内装  
【内容・方法 等】 インテリア、家具・内装  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第7回** 【授業テーマ】 建築の外装・外構  
【内容・方法 等】 外装材とはエクステリア、造園  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

- 第8回 【授業テーマ】 建築のUD  
【内容・方法 等】 こともと建築、バリアフリー、ユニバーサルデザイン  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第9回 【授業テーマ】 建築の保存活用  
【内容・方法 等】 建築と社会の結びつきについて、建築のストック活用事例、保存手法、コンバージョンといった建築保存の視点から見る。  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第10回 【授業テーマ】 建築と光環境  
【内容・方法 等】 照明デザイン、照明器具  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第11回 【授業テーマ】 建築における設備  
【内容・方法 等】 採光・照明・通風・熱環境・給排水・騒音・エネルギー、エレベーター、エスカレーター  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第12回 【授業テーマ】 建築の骨組み  
【内容・方法 等】 構造と力の流れ、構造材料の性能  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第13回 【授業テーマ】 建築の材料  
【内容・方法 等】 構造と仕上げ材料  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第14回 【授業テーマ】 建築と防災  
【内容・方法 等】 災害、避難、防災教育  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第15回 【授業テーマ】 建築をつくる新技術  
【内容・方法 等】 構造、材料、施工の新技術  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

**評価方法（基準）**  
講義中における受講態度20%、講義メモ・課題・小テストなどを合わせ80%で評価する。期末試験は行わない。理工学部の出席規定を遵守すること。

**教材等**  
教科書…資料を配布する  
参考書…なし

**学生へのメッセージ**  
受講希望者数が定数を超えた場合は、成績などで選択順位を決めることがある。

**関連科目**  
なし

**担当者の研究室等**  
8号館3階

科学技術教養 A 2 Scientific and Technological Literacy A2				
	柳 沢	学 (ヤナギサワ マナブ)		
	佐 野	潤 一 (サノ ジュンイチ)		
	木 多	彩 子 (キタ アヤコ)		
	原 克	巳 (ハラ カツミ)		
	上 谷	宏 二 (ウエタニ コウジ)		
	本 多	友 常 (ホンタ トモツネ)		
	加 嶋	章 博 (カシマ アキヒロ)		
	大 谷	由 紀子 (オオタニ ユキコ)		
	池 内	淳 子 (イケウチ ジュンコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
広範な社会や人間生活の場面における現状と課題から、建築の代表的な計画デザインや実施の事例、およびその手法について紹介し、社会や人間生活環境のあり方を考える基本的な教養を身につける。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
パワーポイントや板書による講義を行う。  
講義の内容に沿った課題・演習・小テストを毎回行う。講義を集中して聴く態度が求められる。

**科目学習の効果（資格）**

身近な建築と生活や環境、都市環境に関するデザインの知識と手法が身に付く。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 住む建築  
【内容・方法 等】 住宅、住むことの工夫  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第2回 【授業テーマ】 集まって住む建築  
【内容・方法 等】 集まって住む楽しさ、集まって住むカタチ  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第3回 【授業テーマ】 福祉医療の建築  
【内容・方法 等】 建築と福祉医療  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第4回 【授業テーマ】 公共の建築  
【内容・方法 等】 公共の建築、パブリックスペース、公共性のある都市施設等に着目し、建築の公共性について考える。  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第5回 【授業テーマ】 商業の建築  
【内容・方法 等】 商業建築、商店街の歴史と再生  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第6回 【授業テーマ】 文化の建築  
【内容・方法 等】 建築に象徴された様々な文化を読み取る。  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第7回 【授業テーマ】 交通の建築  
【内容・方法 等】 陸・海・空の交通  
交通建築の特徴  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第8回 【授業テーマ】 高層の建築  
【内容・方法 等】 五重塔と超高層、超高層建築の性能と設計、耐震要素と構造技術  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第9回 【授業テーマ】 地下空間の建築  
【内容・方法 等】 地下空間のメリット、地下空間の利用、大深度地下、地下都市  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第10回 【授業テーマ】 大空間の建築  
【内容・方法 等】 形の美しさと構造合理性、アーチ、ドーム、吊り構造、トラス、折版構造  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第11回 【授業テーマ】 木造の建築  
【内容・方法 等】 木匠、伝統技術と最新技術  
木造建築、木材の使用  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第12回 【授業テーマ】 プレハブ建築  
【内容・方法 等】 種類と概要、プレハブ化の普及、設計と生産、災害仮設住宅  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第13回 【授業テーマ】 建築とロボット  
【内容・方法 等】 ロボット導入の経緯、ロボット化の現状と技術、今後のロボット  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第14回 【授業テーマ】 街並みの建築  
【内容・方法 等】 ランドスケープと建築、街並みと要素  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう
- 第15回 【授業テーマ】 将来の建築  
【内容・方法 等】 空間条件と心理、ヒューマンスケール、人はどこに住むか、近代建築の問題、将来の建替  
【事前・事後学習課題】 講義で知り得た情報について、身近な場面からそれらを見つけて評価してみよう

**評価方法（基準）**  
講義中における受講態度20%、講義メモ・課題・小テストなどを合わせ80%で評価する。期末試験は行わない。理工学部の出席規定を遵守すること。

**教材等**  
教科書…資料を配布する  
参考書…随時、紹介する

**学生へのメッセージ**

受講者希望者数が定数を超えた場合は、成績などで選択順位を決めることがある。

**関連科目**

専門科目全般

**担当者の研究室等**

8号館3階

**備考**

出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

**科学技術教養M1**

Scientific and Technological Literacy M1

辻野良二 (ツジノ リョウジ)  
 久保司郎 (クボ シロウ)  
 森脇俊道 (モリワキ トシミチ)  
 横田祥 (ヨコタ ショウ)  
 橋本正治 (ハシモト マサハル)  
 一色美博 (イツシキ ヨシヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

機械工学は、ヒトが活動する上での効率化、合理化、さらには自動化を図るモノやコトの技術・学問の体系である。本講義では、ヒトはなぜモノを作ろうとするのか、何を用いてモノを作ってきたのか、どのようにモノを作るのかに注目し、その上で日本が世界に誇ると言われる「モノづくり」の諸技術を学ぶ。モノの材料から道具を作ること、さらには産業の発展に役立ってきたさまざまな機械とその諸技術について学ぶ。  
 到達目標：機械技術およびものづくり技術全般の基礎知識を身につけ、機械工学と社会・生活との関わりを理解する。  
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

・各テーマごとにその歴史、基本原理、最先端の話題を2回もしくは3回にわたって提供する。  
 ・スライドを中心にビデオを用いた講義形式を取る。講義の終盤に講義内容のメモ（ノート）を提出するため、講義の内容をよく聞き、ノートにしていぬいにまとめていくことが大事。

**科目学習の効果（資格）**

世の中に存在する工業製品、人力を越えた能力を備える機械など人工物・人工物システムの役割・仕組み・機能に関する幅広い知識を得て、知見を広めることができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 機械工学とは？  
 【内容・方法 等】 ・機械工学の発展の歴史を概観する。  
 ・「機械工学曼荼羅」を用いて、機械工学の役割、範囲、応用を紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 道具を作る(1)- ヒトと道具  
 【内容・方法 等】 ・道具の歴史：ヒトの手の動作を補う道具から労働としての道具へ  
 ・農具 漁具 大工道具 手動工具 電動工具  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 道具を作る(2)- 作り方  
 【内容・方法 等】 ・鋳造、塑性加工、粉末冶金、材料加工、生産加工  
 ・刀鍛冶、セラミックス、溶接・切断  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 モノの材料を知る(1)- 金属材料  
 【内容・方法 等】 ・金属材料はなぜ素材たり得るか？  
 ・鉄鋼の製造方法  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 モノの材料を知る(2)- セラミックス・ポリマー  
 【内容・方法 等】 ・セラミックス・ポリマーの構造（金属と何が異なるか？）  
 ・高強度・機能性材料の話  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 モノの材料を知る(3)- 新素材  
 【内容・方法 等】 ・新素材と高度産業化社会  
 ・形状記憶、超伝導、ナノ材料  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 ものづくり(1)- 母なる機械  
 【内容・方法 等】 ・機械部品を作る機械（工作機械の歴史）  
 ・機械時計、工具と運動、機械部品  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 ものづくり(2)- 精密に加工する  
 【内容・方法 等】 ・精度を追求する（コンピュータと工作機

械）

・精密加工、マシニングセル、ナノ加工

- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。  
 【授業テーマ】 ものづくり(3)- 工場（ファクトリー）  
 【内容・方法 等】 ・世界が学ぶ・日本が誇る製造システム  
 ・無人化工場、デジタル屋台、トヨタ生産方式  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 大きな力を得る(1)- 車輪  
 【内容・方法 等】 ・作業を補助する機械の歴史  
 ・車輪、滑車、てこ、歯車  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 大きな力を得る(2)- 建設運搬機械  
 【内容・方法 等】 ・巨大な力を得るためのアクチュエータ  
 ・油圧・水圧・空気圧機器、電動機  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 大きな力を得る(3)- パワーアシスト  
 【内容・方法 等】 ・アクチュエータの知能化とパワーアシスト  
 ・パワードスーツ、電動アシスト自転車、人工筋肉  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 ミクロの機械(1)- 精密機械  
 【内容・方法 等】 ・小さくなることで変わる使い方  
 ・時計、携帯電話、計算機、テレビカメラ、情報機器  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 ミクロの機械(2)- 小さく作る  
 【内容・方法 等】 ・小さくすることで変わる物理の法則、加工法・アクチュエータ  
 ・微細加工、ナノテク、半導体製造、カーボンナノチューブ、微細気泡  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 ミクロの機械(3)- 小さくて広大な世界  
 【内容・方法 等】 ・半導体製造技術を用いた微細構造を持つ機械  
 ・カプセル内視鏡、鞭毛モーター  
 【事前・事後学習課題】 配布資料に目を通しておくこと。

**評価方法（基準）**

毎回、講義メモとレポートを提出する。  
 受講態度（20%）、講義メモ（40%）、レポート（40%）を総合的に評価する。

**教材等**

教科書…なし  
 参考書…配布資料

**学生へのメッセージ**

機械工学に関わる製品や技術を、大きなスケールで幅広く知ることができます。また、道具はどうやって進化してきたのか？日本の「ものづくり」がなぜ優れているのか？近未来にどういう乗り物が実現されているか？等々、工業製品にまつわる歴史や最新のトピックを紹介します。本講義を受講し、就職活動や職業観の涵養に役立てましょう。

**関連科目**

産業技術史

**担当者の研究室等**

担当教員の居室 [1号館の3階・4階・5階]

**科学技術教養M2**

Scientific and Technological Literacy M2

倉田光雄 (クラタ ミツオ)  
 池田博一 (イケダ ヒロカス)  
 岸本直子 (キシモト ナオコ)  
 橋本正治 (ハシモト マサハル)  
 山崎達志 (ヤマサキ タツシ)  
 川野常夫 (カワノ ツネオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

機械工学は、ヒトが活動する上での効率化、合理化、さらには自動化を図るモノやコトの技術・学問体系である。本講義では、ヒトはなぜモノを作ろうとするのか、何を用いてモノを作ってきたのか、どのようにモノを作るのかに注目し、その上で日本が世界に誇ると言われる「モノづくり」の諸技術を学ぶ。モノの材料から道具を作ること、さらには産業の発展に役立ってきたさまざまな機械とその諸技術について学ぶ。  
 到達目標：人の活動に貢献し生活を豊かにする機械技術を理解するとともに、機械システムと社会や経済活動、生活・生命との関わりを理解する。  
 学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**



- ・各テーマごとに、歴史、基本原理、最先端の話題を2回もしくは3回にわたって提供する。
- ・スライドを中心にビデオを用いた講義形式を取る。講義の終盤に講義内容のメモ（ノート）を提出するため、講義の内容をよく聞き、ノートにしていぬいにまとめていくことが大事。

**科目学習の効果（資格）**

世の中に存在する工業製品、人力を越えた能力を備える機械など人工物・人工物システムの役割・仕組み・機能に関する幅広い知識を得て、知見を広めることができる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 機械工学とは？  
【内容・方法 等】 ・機械工学の発展の歴史を概観する。  
・「機械工学曼荼羅」を用いて、機械工学の役割、範囲、応用を紹介する。
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 活動の源(1)- 動力・エネルギーの世界  
【内容・方法 等】 ・身近なエネルギー利用と動力の歴史  
・人力、蓄力、水力、風力、蒸気力
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 活動の源(2)- 発電  
【内容・方法 等】 ・エネルギー利用と発電  
・水力、風力、火力、地熱、原子力発電
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 乗り物(1)- エンジン  
【内容・方法 等】 ・熱工学とエンジンシステム  
・種々のエンジン（ガソリン等）、電気モータ
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 乗り物(2)- 輸送する  
【内容・方法 等】 ・交通と物流  
・自動車交通、船舶、鉄道
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 空間を移動する(1)- 空を飛ぶ  
【内容・方法 等】 ・空を飛ぶことができる機械の機能、種類、歴史と原理  
・飛行機、ヘリコプター、飛行船、揚力
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 空間を移動する(2)- 高速移動  
【内容・方法 等】 ・深海に潜ることができる機械の機能、種類、歴史と原理  
・しんかい6500、深海探査、水圧、チタン合金、生命維持システム
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 空間を移動する(3)- 宇宙へ飛び立つ  
【内容・方法 等】 ・宇宙空間に飛んでいける機械の機能、種類、歴史と原理  
・ロケット、スペースシャトル、宇宙ステーション、高真空、ロケットエンジン
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 物を測る  
【内容・方法 等】 ・測り方を共通にすることで広がる世界  
・度量衡と政治の関係、原器、ものさし、機械的測定
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 センサで測る  
【内容・方法 等】 ・センサの発達と誤差との戦い  
・センサ、センシング技術、計測と誤差
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 制御する  
【内容・方法 等】 ・制御の成り立ちと発展、自動制御とは？  
・调速機、結果を見て制御する（フィードバック）
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 操る・抑える  
【内容・方法 等】 ・サーボ機構とプロセス制御  
・ロボットアーム、ロケット、原子力発電、鉄鋼プラント
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 生命・生体に倣う機械(1) バイオエンジニアリング  
【内容・方法 等】 ・バイオエンジニアリング、生体工学の世界  
・生体の模倣と設計、鳥と飛行機、ハコフグと低燃費自動車、サソリと多足ロボット
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 生命・生体に倣う機械(2)- 医療と健康  
【内容・方法 等】 ・人間を援ける医用工学、人間を癒す福祉工学の世界  
・人工臓器、福祉機器、健康機器、スポーツ機器
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと  
【授業テーマ】 生命・生体に倣う機械(3)- ヒューマノイド  
【内容・方法 等】 ・人間を測る、診る、まねる世界  
・生体計測、生体力学、医用診断装置、ヒューマノイドロボット
- 【事前・事後学習課題】 配付資料に目を通しておくこと
- 評価方法（基準）**  
毎回、講義メモとレポートを提出する。

受講態度（20%）、講義メモ（40%）、レポート（40%）を総合的に評価する。

**教材等**

- 教科書…なし
- 参考書…配布資料

**学生へのメッセージ**

機械工学が関わる製品や技術を、大きなスケールで幅広く知ることができます。また、道具はどうやって進化してきたのか？日本の「ものづくり」がなぜ優れているのか？近未来にどういう乗り物が実現されているのか？等々、工業製品にまつわる歴史や最新のトピックを紹介します。本講義を受講し、就職活動や職業観の涵養に役立てましょう。

**関連科目**

産業技術史

**担当者の研究室等**

担当教員の居室〔1号館の3階・4階・5階〕

**備考**

出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

**科学技術教養 E 1**  
Scientific and Technological Literacy E1

田口俊弘	(タグチ トシヒロ)
小川英一	(オガワ エイチ)
大家重明	(オオケ シゲアキ)
山本淳治	(ヤマモト ジュンジ)
山本啓三	(ヤマモト ケイゾウ)
井上雅彦	(イノウエ マサヒコ)
高瀬冬人	(タカセ フクト)
堀内利一	(ホリウチ トシカズ)
奥野竜平	(オクノ リュウヘイ)
片田喜章	(カタダ ヨシアキ)
鹿間信介	(シカマ シンスケ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

電気は我々の生活になくってはならないものである。この講義では電気の簡単な基礎理論を紹介しながら、身の回りにおける電気製品を題材として電気電子工学から通信情報分野までの多岐にわたる応用技術を学習させることを目的とする。電気を作る電池の話や電気を力に変えるモータ、半導体や太陽電池の構造、携帯電話やパソコン、インターネットの仕組みまで、電気を使った最新技術がどのような仕組みで暮らしの中で活用されているかを理解させることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

授業はスライドを用いて行い、授業中にメモを取らせて授業後に回収する。

講義は1話完結であるが、相互につながりがある。電気を用いた科学技術の全体像を理解するように努めよう。

**科目学習の効果（資格）**

計測装置・電気設備など電気工学以外の分野でも電気を使った機器はいたるところで使われている。これらの原理や特性を知ること、その性能をフルに引き出すことができる。また、身近な電気製品の仕組みを知ること、より有効活用することができる。国家資格で電気の基礎の出題がある場合には、その基礎勉強にもなる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 電気の歴史と電気回路の基礎  
【内容・方法 等】 電磁気学の歴史、電気回路の基礎、抵抗と電気エネルギーの利用、消費電力、交流と直流
- 第2回** 【事前・事後学習課題】 電気に関するニュースに注意する  
【授業テーマ】 電池の構造と応用技術  
【内容・方法 等】 磁石と力、電磁石、直流モータと交流モータ
- 第3回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する  
【授業テーマ】 モータの仕組みと応用  
【内容・方法 等】 磁石と力、電磁石、直流モータと交流モータ
- 第4回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する  
【授業テーマ】 半導体のお話  
【内容・方法 等】 半導体とは何か、p形とn形、大規模集積回路、LED照明とは
- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配付資料を復習する  
【授業テーマ】 太陽電池の構造と家庭での利用

- 【内容・方法 等】** 半導体で光エネルギーを電気に変換する売電の仕組み
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** 様々な電子回路
- 【内容・方法 等】** 電子回路の歴史, 真空管と半導体・集積回路, 代表的なアナログ電子回路
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** 電波応用技術の変遷
- 【内容・方法 等】** 電波と光, マクスウェル理論とヘルツの実験, 変調方式, ラジオとテレビ
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** モールス通信から携帯電話へ
- 【内容・方法 等】** モールス電信からベルの電話へ, 電話機と交換機の仕組み, アナログからデジタルへ, 携帯電話とネットワークの仕組み
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** アナログからデジタルへ
- 【内容・方法 等】** アナログとデジタル, 2進数とは, 論理回路入門
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** パソコンの内部構造
- 【内容・方法 等】** 真空管計算機ENIAC, 電子回路で論理計算をする, ハードウェアとソフトウェア, CPUとメモリ, ハードディスクとSSD
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** マイコンで制御される家電製品
- 【内容・方法 等】** 電気制御の重要性, 温度制御, 圧力制御, 電子レンジやIHの仕組み
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** AV機器の仕組み
- 【内容・方法 等】** マイクとスピーカ, デジタルカメラ, ビデオカメラ, 光で記録する, CD, DVDの仕組み, ブルーレイ
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** 画像表示の仕組み
- 【内容・方法 等】** 画像表示の歴史と原理, 各種表示デバイスの仕組み, 立体映像表示の原理と実例
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** インターネットのつながり方
- 【内容・方法 等】** インターネットの仕組み, ルータとハブ, 無線LAN, ネットワークセキュリティ
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 【授業テーマ】** 医療分野への貢献
- 【内容・方法 等】** ガルバノの実験, 義手の制御, 電気工学の医療への応用
- 【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 評価方法 (基準)** 受講態度20%, 受講メモ40%, 小テスト40%の総合点で評価する
- 教材等** 教科書…資料を配付する  
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ** 身の回りの電気製品は日々進化しています。これらを便利な道具としてブラックボックス的に使うのではなく, その仕組みを知って使うことでさらに活用することができます。そういった仕組みに興味を持って受講して下さい。
- 関連科目** 特になし
- 担当者の研究室等** 1号館4階・5階の電気電子工学教員室

## 科学技術教養 E 2

Scientific and Technological Literacy E2

田口俊弘 (タグチ トシヒロ)  
小川英一 (オガワ エイチ)  
大家重明 (オオケ シゲアキ)  
山本淳治 (ヤマモト ジュンジ)  
山本啓三 (ヤマモト ケイゾウ)  
井上雅彦 (イノウエ マサヒコ)  
高瀬冬人 (タカセ フユト)  
堀内利一 (ホリウチ トシカス)  
奥野竜平 (オクノ リュウヘイ)  
片田喜章 (カタダ ヨシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

電気は我々の生活になくてはならないものである。この講義では電気の歴史と簡単な基礎理論を説明した後, 電気を発生する発電の仕組みとその方法を手始めに, 現代社会において応用されている電気電子工学, 通信情報工学の最新科学技術について講述する。電車の仕組みや放送技術, 携帯電話やレーザー光線の原理, 最新の計算機事情やロボット工学, また宇宙規模の電気の話などもあり, 最終的には電気を使った科学技術がどのような仕組みで我々の暮らしに関わっているかを理解させることを到達目標とする。

学科の学習・教育目標との対応: [A]

### 授業方法と留意点

授業はスライドを用いて行い, 授業中にメモを取らせて授業後に回収する。

講義は1話完結であるが, 相互につながりがある。電気を用いた科学技術の全体像を理解するように努めよう。

### 科目学習の効果 (資格)

現代社会を支えている電気エネルギーとその応用について総合的に学ぶことにより, 電気への理解を深め, これにより原子力発電も含めた電力供給系と節電に対する正しい考え方を身につけることができる。また, 携帯電話やスマートフォンでどこでも通信ができる社会の仕組み等も知ることができる。国家資格で電気の基礎の出題がある場合には, その基礎勉強にもなる。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** 電気の歴史  
**【内容・方法 等】** 琥珀はエレクトロン, 磁石の利用, クーロンの法則, アンペールの法則, ファラデーの電磁誘導, マクスウェル理論と電磁波の予言  
**【事前・事後学習課題】** 電気に関するニュースに注意する
- 第2回** **【授業テーマ】** 発電の原理と発電所  
**【内容・方法 等】** 電気エネルギーを発生させる仕組み, 発電機, 水力, 火力  
交流発生か直流か, 50Hzと60Hz  
**【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 第3回** **【授業テーマ】** 原子力発電  
**【内容・方法 等】** 核エネルギーの発生, 原子力発電のしくみ, 事故と防災対策, 放射線の性質と測定  
**【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 第4回** **【授業テーマ】** 再生可能エネルギー  
**【内容・方法 等】** 太陽光発電, 風力発電, 地熱発電, 海洋エネルギー, 宇宙発電, エネルギー効率  
**【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 第5回** **【授業テーマ】** 送電・配電  
**【内容・方法 等】** 電気を安定に送る, 交流送電か直流送電, 周波数変換, 送電電圧と家庭電圧への変換, スマートグリッド  
**【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 第6回** **【授業テーマ】** モータの仕組みと電車  
**【内容・方法 等】** 磁石と電流による力の発生, モータの仕組み, 電車, リニア新幹線, 電気ブレーキと電力回生  
**【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 第7回** **【授業テーマ】** 電波と放送  
**【内容・方法 等】** 電波の利用と電波法, 初期のラジオ放送, 電波に映像を載せる, テレビ放送の開始からカラーテレビへ, デジタル化と双方向テレビ  
**【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する
- 第8回** **【授業テーマ】** 衛星の利用  
**【内容・方法 等】** 無線通信と電波の伝わり方, 衛星による電波の中継, 静止衛星と周回衛星, 衛星通信から衛星放送へ, GPSなど

- への応用
- 第9回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** 携帯電話の仕組み  
**【内容・方法 等】** 有線電話から無線へ、無線基地局と無線ゾーン、携帯電話がつながる仕組み、メールやWebへの応用、携帯電話のこれから
- 第10回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** レーザーの発明  
**【内容・方法 等】** 物質からの光放射、線スペクトルと誘導放射  
 レーザーからレーザーへ、レーザーの特徴
- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** 電気通信から光通信へ  
**【内容・方法 等】** 電気信号と光信号の変換、光で通信する光ファイバと高速・大容量化、光で測る
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** 半導体による電算機の高速度と小型化  
**【内容・方法 等】** GBとGHzを実現する半導体技術、超並列への発展  
 一番を目指すコンピュータ、光コンピュータへ
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** プログラマブル高速計算機の発達  
**【内容・方法 等】** チューリング機械、手回し計算機と計算尺、最初の電算機ENIAC  
 弾道ミサイルの計算、金融計算から天気予報まで
- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** 最新ロボット工学  
**【内容・方法 等】** ロボット工学の過去・現在・未来  
 ハードとソフト（人工知能）はどこまでできているのか
- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 配付資料を復習する  
**【授業テーマ】** 電気と宇宙  
**【内容・方法 等】** プラズマ物理の発展と核融合への道、雷と太陽の関係  
 オーロラは蛍光灯、宇宙天気予報

**評価方法 (基準)**  
 受講態度20%、受講メモ40%、小テスト40%の総合点で評価する

**教材等**  
 教科書…資料を配付する  
 参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
 我々の暮らしに電気は不可欠です。しかも原子力発電の問題が出てきて、エネルギー問題への関心は節電対策も含め高まっています。しかし、単純に噂などを鵜呑みにするのではなく、電気の発生から伝達までの仕組みを詳しく知れば、風評に惑わされることなく、対策を考えることができます。常に様々な電気関連のニュースに注意を払いながら受講して下さい。

**関連科目**  
 特になし

**担当者の研究室等**  
 1号館4階・5階電気電子工学科教員室

**備考**  
 出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

従事した人々にも注目して講義する。第4～7回は「土木」の由来となる基本的な材料、第8～11回は設計方法、第12～15回は計画と環境問題について講義する。  
 到達目標：土木技術全般の基礎知識を身につけ、土木技術と社会や経済活動、生活との関りを理解する。  
 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 ・基本的にパワーポイントを用いた講義形式。授業中はメモを取らせ授業終了時もしくは終了後に提出する。  
 ・歴史と人物と基本原理をセットとして取り扱う。第4回以降は材料や設計の基本原則を扱う。基本的に古くからの基礎的な技術と現在の技術をセットで取り扱う。  
 ・講義だけではイメージを伝えることが困難な場合には、サンプルや簡単な実験を併用する。

**科目学習の効果 (資格)**  
 産業・経済活動や私たちの生活を支える道路・鉄道・上下水道などの社会基盤施設に関する基礎的な知識が得られ、安全安心な社会システム構築への興味関心が深まる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 私たちの日常生活と土木技術  
**【内容・方法 等】** 私たちの身の回りの土木技術：・鉄道・道路網、上下水道、エネルギー施設、防災施設、憩い、私たちの生活にどう関わっているのか？・技術を支える人たち（建設会社、設計コンサルタント、公務員、メーカー…）  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第2回 **【授業テーマ】** 国土は先人たちによってどのように形作られてきたのか①  
**【内容・方法 等】** 国土建設の歴史  
 ・古墳時代～江戸時代  
 ・明治～第二次大戦、敗戦以降  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第3回 **【授業テーマ】** 国土は先人たちによってどのように形作られてきたのか②  
**【内容・方法 等】** 国土建設を行った人々  
 ・古墳時代～江戸時代  
 ・明治～第二次大戦、敗戦以降  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 都市をつくる材料の話①  
 -土木技術は土から始まった-  
**【内容・方法 等】** 最も古い材料、土と人類、土と木  
 締固めて使う、事例1（古くからの技術）、事例2（近代以降の技術）  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 都市をつくる材料の話②  
 -セメントコンクリートの発明-  
**【内容・方法 等】** セメントの発見・発明  
 耐久性、品質管理  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 都市をつくる材料の話③  
 -鋼は文明を支える-  
**【内容・方法 等】** 産業革命による鉄利用の拡大  
 鋼構造  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 都市をつくる材料の話④  
 -循環型社会と土木材料-  
**【内容・方法 等】** 新材料、リサイクル材料  
 産業廃棄物の利用  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第8回 **【授業テーマ】** 国土を測る方法  
**【内容・方法 等】** 広い国土をどうやって測るのか。  
 歩測からGPSまで、原理、応用  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 都市の造り方①  
 -橋を設計する-  
**【内容・方法 等】** 橋はなぜ必要か？橋はどうやって重力に抵抗しているのか。  
 構造力学の基礎  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第10回 **【授業テーマ】** 都市の造り方②  
 -川を設計する-  
**【内容・方法 等】** 治水は国を治める。水と波の力を計算する。  
 川、ダムと港の設計へ。  
 水理学の基礎  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第11回 **【授業テーマ】** 都市の造り方③  
 -地盤とトンネルを設計する-  
**【内容・方法 等】** 都市を支える地盤の役割、地下空間。  
 地盤力学の基礎  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習
- 第12回 **【授業テーマ】** 安全で安心な都市へ①  
 -未来の都市を計画する-  
**【内容・方法 等】** 都市地域計画  
 (計画学の基礎)  
**【事前・事後学習課題】** 配布資料講義部分の復習

科学技術教養C1				
Scientific and Technological Literacy C1				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 授業の目的は、受講者に私たちの生活を支える土木技術に対する興味を持たせることと技術の基本原則を知ってもらうことである。第1回目の授業では、身の回りの土木技術の例を取り上げ、それらが技術者によってどのように守られているのかを説明する。第2・3回目は現在にまでつながる国土開発の歴史をそれに

- 第13回 【授業テーマ】 安全で安心な都市へ②  
 -命の水を守る-  
 【内容・方法等】 衛生工学  
 (上下水道学の基礎)  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第14回 【授業テーマ】 安全で安心な都市へ③  
 -持続可能な都市を-  
 【内容・方法等】 地球規模環境問題, 循環型社会.  
 (環境工学)  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第15回 【授業テーマ】 安全で安心な都市へ④  
 -都市の生命線-  
 【内容・方法等】 ライフラインと防災  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

**評価方法 (基準)**  
 受講態度20%, 受講メモ40%, レポート・小論文40%の総合点で評価する。 ※レポート・小論文は、授業のまとめとして毎回あるいは2~3回に一回程度実施する予定。 期末試験は行わない。

**教材等**  
 教科書…配布資料  
 参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
 豊かな自然に恵まれた日本は世界で最も厳しい自然災害にさらされる国土でもあります。 この講義を通じて、自然災害の防災・減災や産業・経済活動を支える社会基盤施設に関する基礎知識を身につけていただければ幸いです。

**関連科目**  
 特になし  
**担当者の研究室等**  
 講義担当者居室 1号館3階および4階

**科学技術教養C2**  
 Scientific and Technological Literacy C2

頭井洋 (ズイ ヒロシ)
伊藤讓 (イトウ ユズル)
道廣一利 (ミチヒロ カストシ)
熊野知司 (クマノ トモジ)
澤井健二 (サワイ ケンジ)
海老瀬潜一 (エビセ センイチ)
熊谷樹一郎 (クマガイ キイチロウ)
瀬良昌憲 (セラ マサノリ)
片桐信 (カタギリ シン)
田中賢太郎 (タナカ ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
 概要：いくつかのプロジェクトを例に、建設事業の流れに沿って、社会的な位置づけ、市民生活との関わりを解説する。 第1回目の授業では、事業主体別にプロジェクトの流れを説明する。 第2~3回目は、高速道路建設を例に地形の調査・土質の調査、環境の調査を解説する。 第4~7回は高速道路を構成する橋、トンネル、道路の設計と施工の考え方を解説する。 第8~15回は、安全で潤いのある社会を築く観点からダム・堰、堤防、浸水対策、ライフライン、公園・まちづくり、地震防災など身近なテーマを概説する。  
 到達目標：土木構造物の計画から施工管理までの流れの概要を理解し土木構造物と社会や経済活動、生活との関わりを理解する。 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
 授業はパワーポイントを用いた講義形式とする。 私たちの生活を支える社会基盤がどのようにして計画され、設計・施工されているかを事業の流れに沿って解説する。 代表的な構造物や身近なテーマを取り上げ、安全で安心な社会を築くため、何が重要かを理解できるように講義を進める。

**科目学習の効果 (資格)**  
 産業・経済活動や私たちの生活を支える道路・鉄道・上下水道などの社会基盤施設がどのように計画設計され施工されているかなどの知識が得られ、安全安心な社会システム構築への興味関心が深まる

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**  
 第1回 【授業テーマ】 社会基盤をつくる建設事業の流れ  
 【内容・方法等】 国家プロジェクト, 地域プロジェクト, 民間主導プロジェクトなど事業主体別の建設の流れ, 計画(意思決定)~調査~設計~施工の概要  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

- 第2回 【授業テーマ】 高速道路建設の計画・調査・設計  
 【内容・方法等】 国土開発や都市計画・地域計画との関連, 一般道路や鉄道との関連, 需要予測, 予算, 資本回収の考え方  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第3回 【授業テーマ】 建設に必要な調査①(地形の調査・土質の調査)  
 【内容・方法等】 測量計測技術(地形測量・平板測量・水準測量・写真測量・GPS測量), 地盤の調査  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第4回 【授業テーマ】 建設に必要な調査②(環境の調査)  
 【内容・方法等】 生態系・環境への影響, 負荷の軽減策, 排ガス規制と大気汚染など環境アセスメント  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習
- 第5回 【授業テーマ】 橋の設計と施工  
 【内容・方法等】 コンクリート橋と鋼橋, 橋の形式と適用支間長, 景観設計, 施工法  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第6回 【授業テーマ】 トンネル, 半地下開削工法  
 【内容・方法等】 山岳トンネル・都市地下トンネルの設計と施工, 地山の強度と工法, 半地下開削工法  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第7回 【授業テーマ】 道路の設計と施工  
 【内容・方法等】 盛土形式と高架形式, 道路の構造, 道路舗装  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第8回 【授業テーマ】 ダム・堰の計画と施工  
 【内容・方法等】 洪水への備え(治水、防災), 発電・灌漑・上水などの多目的ダム, ダムの構造と種類  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第9回 【授業テーマ】 堰・堤防の計画と設計・施工  
 【内容・方法等】 洪水・土砂災害への備え(治山・治水、防災), 計画雨量, 遊水池, 親水施設  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第10回 【授業テーマ】 都市型洪水への備え  
 【内容・方法等】 透水性舗装, 都市大型地下貯槽, 屋上緑化, 排水と下水道設計, 地下道・地下鉄の浸水対策  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第11回 【授業テーマ】 市民の日常生活を支えるライフライン  
 【内容・方法等】 上下水道, 水質管理, 水質浄化, 下水処理, 電気, 通信設備  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第12回 【授業テーマ】 市民の生活に潤いを与える公園・まちづくり  
 【内容・方法等】 まちづくりとは, 実現するものは, 人とのかわり, 技術とのかわり  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第13回 【授業テーマ】 市民の生活環境を守る  
 【内容・方法等】 地球環境と生態系, 人口増加と都市化・食糧生産・自然エネルギーの問題点, 火力発電所と大気汚染・温暖化, 原子力発電と放射能問題, 温排水問題  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第14回 【授業テーマ】 震災から市民を守る  
 【内容・方法等】 地震の種類と特性, 地震に備える構造とは? 制震構造と免震構造, ライフラインの耐震, 避難体制, 緊急地震速報  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

第15回 【授業テーマ】 津波や台風・高潮から市民を守る  
 【内容・方法等】 港湾施設・防波堤, 津波, 避難施設, 避難誘導  
 【事前・事後学習課題】 配布資料講義部分の復習

**評価方法 (基準)**  
 受講態度20%, 受講メモ40%, レポート・小論文40%の総合点で評価する。 ※レポート・小論文は、授業のまとめとして毎回あるいは2~3回に一回程度実施する予定。 期末試験は行わない。

**教材等**  
 教科書…配布資料  
 参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
 豊かな自然に恵まれた日本は世界で最も厳しい自然災害にさらされる国土でもあります。 この講義を通じて、自然災害の防災・減災や産業・経済活動を支える社会基盤施設がどのように計画設計され施工されているか知り理解を深めていただければ幸いです。

**関連科目**  
 特になし  
**担当者の研究室等**  
 講義担当者居室 1号館3階および4階

**備考**  
 出席および遅刻・欠席の扱いは、理工学部専門科目の出席および遅刻・欠席と同じ扱いとする。

## 日本事情 F I

Japanese Culture and Society FI

門 脇 薫 (カドワキ カオル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

### 授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

### 科目学習の効果(資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルのチェック  
【内容・方法等】 授業の概要・進め方について・スピーチ  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表  
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第12回 【授業テーマ】 映画4：「民族」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 映画4：「民族」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第14回 【授業テーマ】 映画4：「民族」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表  
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

### 評価方法(基準)

各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

### 教材等

教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社(2,415円)

参考書…授業時に指示します。

### 学生へのメッセージ

映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

### 関連科目

国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生

担当者の研究室等

7号館4階(門脇研究室)

## 日本事情 F II

Japanese Culture and Society FII

門 脇 薫 (カドワキ カオル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

### 授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

### 科目学習の効果(資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルチェック  
【内容・方法等】 授業の概要・進め方について・スピーチ  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表  
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生生活」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回 【授業テーマ】 映画3：「大学生生活」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生生活」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第12回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」  
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」  
【内容・方法等】 内容理解、タスク  
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第14回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」  
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表  
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション  
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

### 評価方法(基準)

各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

### 教材等

教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社(2,415円)

参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ

映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目

国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生

担当者の研究室等

7号館4階(門脇研究室)

教養科目

日本語読解F I  
Japanese Reading F I

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果(資格)

大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業の進め方の説明  
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー 1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー 2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(上) 1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(上) 2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(下) 1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(下) 2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1  
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2  
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト  
【内容・方法 等】 確認テスト  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ  
【内容・方法 等】 テスト解説  
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法(基準)

単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ

さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。

関連科目

日本語文法 I

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

日本語読解F II

Japanese Reading F II

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果(資格)

大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 授業の進め方の説明  
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 金融教育1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 金融教育2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 言語と文化1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 言語と文化2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 統計と数学1  
【内容・方法 等】 読解, 内容理解  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 統計と数学2  
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1  
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2  
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト  
【内容・方法 等】 確認テスト  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ  
【内容・方法 等】 テスト解説  
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法(基準)

単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に提示します。  
**学生へのメッセージ**  
 さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。  
**関連科目**  
 日本語文法Ⅱ  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階（非常勤講師室）

日本語文法 F I Japanese Grammar FI				
赤 城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

**授業方法と留意点**  
 授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

**科目学習の効果（資格）**  
 高度な日本語運用能力

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法 等】 授業の進め方の説明  
 【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1  
 【内容・方法 等】 今学期扱った文法事項の復習  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2  
 【内容・方法 等】 今学期扱った文法事項の復習  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト  
 【内容・方法 等】 確認テスト  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ  
 【内容・方法 等】 テスト解説  
 【事前・事後学習課題】 復習

**評価方法（基準）**  
 確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

**教材等**  
 教科書…プリントを配布します。  
 参考書…授業中に提示します。

**学生へのメッセージ**  
 場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。

**関連科目**  
 日本語読解Ⅰ  
**担当者の研究室等**

7号館2階（非常勤講師室）

日本語文法 F II Japanese Grammar FII				
赤 城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

**授業方法と留意点**  
 授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

**科目学習の効果（資格）**  
 高度な日本語運用能力

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法 等】 授業の進め方の説明  
 【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 金融教育1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 金融教育2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 言語と文化1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 言語と文化2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然？1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然？2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 統計と数学1  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 統計と数学2  
 【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1  
 【内容・方法 等】 今学期扱った文法項目の復習  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2  
 【内容・方法 等】 今学期扱った文法項目の復習  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト  
 【内容・方法 等】 確認テスト  
 【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ  
 【内容・方法 等】 テスト解説  
 【事前・事後学習課題】 復習

**評価方法（基準）**  
 確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

**教材等**  
 教科書…プリントを配布します。  
 参考書…授業中に提示します。

**学生へのメッセージ**  
 場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。

**関連科目**  
 日本語読解Ⅱ  
**担当者の研究室等**  
 7号館2階（非常勤講師室）

## 日本語表現作文 F I

Japanese Reading and Writing FI

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

### 授業概要・目的・到達目標

この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

### 授業方法と留意点

授業では、教師による解説と練習問題を行います。

### 科目学習の効果(資格)

大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 授業についての説明  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 基礎編1 よく使われる文の形  
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる文の形について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 基礎編2 よく使われる語と表現  
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる語と表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 基礎編3 引用  
【内容・方法等】 引用の仕方について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 基礎編4 句読点  
【内容・方法等】 句読点の使い方を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 基礎編5 表記規則  
【内容・方法等】 表記規則について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 基礎編6 まとめ方の練習  
【内容・方法等】 これまで学んだことのまとめ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 1 論文とは  
【内容・方法等】 レポート、論文を書くときに気をつけることを学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 2 論文の構成  
【内容・方法等】 論文の構成について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 3 構成の作り方  
【内容・方法等】 論文の作り方について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 4 本論のまとめ方  
【内容・方法等】 本論のまとめ方について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 5 書いてみよう①  
【内容・方法等】 論文の構成を書いてみる  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 6 3種類の文  
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの? 7 書いてみよう②  
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方で書いてみる  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総復習  
【内容・方法等】 今学期学んだことのまとめ  
【事前・事後学習課題】 復習

### 評価方法(基準)

課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

### 教材等

教科書…毎回プリントを配付します。

参考書…授業で指示します。

### 学生へのメッセージ

レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう!

### 関連科目

他の日本語関連の科目

### 担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

## 日本語表現作文 F II

Japanese Reading and Writing FII

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

### 授業概要・目的・到達目標

この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

### 授業方法と留意点

授業では、教師による解説と練習問題を行います。

### 科目学習の効果(資格)

大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 授業についての説明  
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現①  
【内容・方法等】 図表に関する表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現②  
【内容・方法等】 図表に関する表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集2 資料に関する表現  
【内容・方法等】 資料に関する表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集3 調査・実験に関する表現  
【内容・方法等】 調査・実験に関する表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術1 例を挙げる  
【内容・方法等】 例を挙げる表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術2 対比する  
【内容・方法等】 対比する表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術3 注目させる  
【内容・方法等】 注目させる表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術4 推論を示す  
【内容・方法等】 推論を示す表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術5 結論の補強  
【内容・方法等】 結論を補強する表現について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために1 論文の付属要素  
【内容・方法等】 論文の付属要素について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために2 書いてみよう  
【内容・方法等】 論文の付属要素を書いてみる  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 レポート作成①  
【内容・方法等】 レポートを作成する  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 レポート作成②  
【内容・方法等】 レポートを作成する  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総復習  
【内容・方法等】 今学期学んだことのまとめ  
【事前・事後学習課題】 復習

### 評価方法(基準)

課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

### 教材等

教科書…毎回プリントを配付します。

参考書…授業で指示します。

### 学生へのメッセージ

レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう!

### 関連科目

他の日本語関連の科目

### 担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)



日本語上級読解 F I  
Advanced Japanese Reading

古川 由理子 (フルカワ ユリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。  
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る  
②まとまった内容の文章の大意を把握する  
③できるだけ速く①と②をできるようにする  
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に読んでいなくても、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。

1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果(資格)

- ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
- ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
- ・その成果を専門の文章の読解に応用する。  
(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 授業の概要説明  
プレースメントテスト  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 指示語に注意する  
【内容・方法 等】 練習問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第3回 【授業テーマ】 キーワードに注意する  
【内容・方法 等】 穴埋め問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第4回 【授業テーマ】 文章の内容を予測する  
【内容・方法 等】 並べ替えの問題  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第5回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (1)  
【内容・方法 等】 練習問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第6回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (2)  
【内容・方法 等】 練習問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第7回 【授業テーマ】 要約をする  
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第8回 【授業テーマ】 説明文を読む (1)  
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第9回 【授業テーマ】 説明文を読む (2)  
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第10回 【授業テーマ】 論説文を読む (1)  
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第11回 【授業テーマ】 論説文を読む (2)  
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第12回 【授業テーマ】 随筆を読む  
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第13回 【授業テーマ】 小説を読む (1)  
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第14回 【授業テーマ】 小説を読む (2)  
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第15回 【授業テーマ】 期末テスト  
【内容・方法 等】 授業中に指示する  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する

評価方法(基準)

定期試験を実施(試験の形式については授業中に説明する)  
出席・授業態度 + 期末テスト = 100%  
50% 50%

教材等

教科書…授業中プリントを配布する  
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。  
出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室(7号館2階)

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

教養科目

日本語上級読解 F II  
Advanced Japanese Reading FII

古川 由理子 (フルカワ ユリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。  
①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る  
②まとまった内容の文章の大意を把握する  
③できるだけ速く①と②をできるようにする  
なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に読んでいなくても、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。

1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果(資格)

- ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
- ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
- ・その成果を専門の文章の読解に応用する。  
(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 授業の概要説明  
プレースメントテスト  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 指示語に注意する  
【内容・方法 等】 練習問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第3回 【授業テーマ】 キーワードに注意する  
【内容・方法 等】 穴埋め問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第4回 【授業テーマ】 文章の内容を予測する  
【内容・方法 等】 並べ替えの問題  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第5回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (1)  
【内容・方法 等】 練習問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第6回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (2)  
【内容・方法 等】 練習問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第7回 【授業テーマ】 要約をする  
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第8回 【授業テーマ】 説明文を読む (1)  
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第9回 【授業テーマ】 説明文を読む (2)  
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第10回 【授業テーマ】 論説文を読む (1)  
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第11回 【授業テーマ】 論説文を読む (2)  
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く  
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第12回 【授業テーマ】 随筆を読む  
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く

**第13回** 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する  
**【授業テーマ】** 小説を読む (1)  
**【内容・方法 等】** 2~3の小説を読み、問題を解く  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容を復習する

**第14回** 【授業テーマ】 小説を読む (2)  
**【内容・方法 等】** 2~3の小説を読み、問題を解く  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容を復習する

**第15回** 【授業テーマ】 期末テスト  
**【内容・方法 等】** 授業中に指示する  
**【事前・事後学習課題】** 授業内容を復習する

**評価方法 (基準)**  
 定期試験を実施 (試験の形式については授業中に説明する)  
 出席・授業態度 + 期末テスト = 100%  
 50% 50%

**教材等**  
**教科書**…授業中プリントを配布する  
**参考書**…授業中に指示する

**学生へのメッセージ**  
 受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。  
 出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

**関連科目**  
 日本語表現作文

**担当者の研究室等**  
 外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)

**備考**  
 受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

**【内容・方法 等】** ゼミ会・クラス会に先生をお誘いするメールを書く

**第12回** 【事前・事後学習課題】 実際に先生を誘う  
**【授業テーマ】** Eメール6  
**【内容・方法 等】** ゼミ会・クラス会の事前リマインドメールを書く  
**【事前・事後学習課題】** 実際にリマインドのメールを送る。

**第13回** 【授業テーマ】 掲示物1  
**【内容・方法 等】** 外国語学習者募集の貼り紙を作る  
**【事前・事後学習課題】** 実際に先生を誘う

**第14回** 【授業テーマ】 掲示物2  
**【内容・方法 等】** 不要な家具・家電譲渡の貼り紙を作る  
**【事前・事後学習課題】** 第13・14回の授業を踏まえ、掲示物を作成する

**第15回** 【授業テーマ】 総合復習  
**【内容・方法 等】** 総合的なフィードバック  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**評価方法 (基準)**  
 課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

**教材等**  
**教科書**…授業中にプリントを配布する  
**参考書**…授業中に指示する

**学生へのメッセージ**  
 適切な文、相手に伝わる効果的な文を勉強して、近将来の就職活動に役立てましょう。

**関連科目**  
 日本語上級読解、日本語上級会話

**担当者の研究室等**  
 7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級作文F I Advanced Japanese Writing FI				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 相手との関係や文を書く目的を考慮し、媒体に応じて適切な文が書けるようになる。

**授業方法と留意点**  
 授業は、説明と実践が中心である。

**科目学習の効果 (資格)**  
 媒体、内容、読み手との関係を考慮した、適切な文章が書けるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 授業の説明  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_

**第2回** 【授業テーマ】 自己アピール1  
**【内容・方法 等】** 奨学金に応募する1  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第3回** 【授業テーマ】 自己アピール2  
**【内容・方法 等】** 奨学金に応募する2  
**【事前・事後学習課題】** 第2・3回の授業を踏まえて、清書する

**第4回** 【授業テーマ】 自己アピール3  
**【内容・方法 等】** 履歴書を書く  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第5回** 【授業テーマ】 自己アピール4  
**【内容・方法 等】** 就職活動のためのエントリーシートを書く1  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第6回** 【授業テーマ】 自己アピール5  
**【内容・方法 等】** 就職活動のためのエントリーシートを書く2  
**【事前・事後学習課題】** 第5・6回の授業を踏まえて、清書する

**第7回** 【授業テーマ】 Eメール1  
**【内容・方法 等】** 会社に問い合わせする  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第8回** 【授業テーマ】 Eメール2  
**【内容・方法 等】** 面接の機会をもらう  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第9回** 【授業テーマ】 Eメール3  
**【内容・方法 等】** ゼミ会・クラス会のお誘いメールを書く  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第10回** 【授業テーマ】 Eメール4  
**【内容・方法 等】** ゼミ会・クラス会のお誘いメールに返信する  
**【事前・事後学習課題】** 第9・10回の授業を踏まえて、実際に受講生間でメールの交換をする

**第11回** 【授業テーマ】 Eメール5

日本語上級作文F II Advanced Japanese Writing FII				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**  
 ビジネス場面でどのようなメールを交換しているのかを説明しながら、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。

**授業方法と留意点**  
 授業は、講義と実践が中心である。

**科目学習の効果 (資格)**  
 ビジネスメールが目的に応じて適切に書けるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 授業の説明  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_

**第2回** 【授業テーマ】 ビジネスメール1  
**【内容・方法 等】** 面識を持った人に挨拶のメール  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第3回** 【授業テーマ】 ビジネスメール2  
**【内容・方法 等】** アポイントを取る (1)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第4回** 【授業テーマ】 ビジネスメール3  
**【内容・方法 等】** アポイントを取る (2)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第5回** 【授業テーマ】 ビジネスメール4  
**【内容・方法 等】** アポイントの確約をする  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第6回** 【授業テーマ】 ビジネスメール5  
**【内容・方法 等】** お問い合わせメール (1)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第7回** 【授業テーマ】 ビジネスメール6  
**【内容・方法 等】** お問い合わせメール (2)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第8回** 【授業テーマ】 ビジネスメール7  
**【内容・方法 等】** 報告をする  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第9回** 【授業テーマ】 ビジネスメール8  
**【内容・方法 等】** お願いをする (1)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第10回** 【授業テーマ】 ビジネスメール9  
**【内容・方法 等】** お願いをする (2)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第11回** 【授業テーマ】 ビジネスメール10  
**【内容・方法 等】** 催促をする (1)  
**【事前・事後学習課題】** 復習

**第12回** 【授業テーマ】 ビジネスメール11  
**【内容・方法 等】** 催促をする (2)

- 第13回 【事前・事後学習課題】 復習  
【授業テーマ】 ビジネスメール 1 2  
【内容・方法 等】 お礼のメール
- 第14回 【事前・事後学習課題】 復習  
【授業テーマ】 ビジネスメール 1 3  
【内容・方法 等】 お詫びのメール
- 第15回 【事前・事後学習課題】 復習  
【授業テーマ】 総合復習  
【内容・方法 等】 学習したビジネスメールの振り返り  
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)  
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教材等  
教科書…授業中にプリントを配布する  
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ  
就職後、日系の会社あるいは日本国内の会社で働く際に必要なビジネスメールの書き方を一緒に勉強して、就職後に戸惑わないように練習しましょう。

関連科目  
日本語上級読解、日本語上級会話

担当者の研究室等  
7号館2階 (非常勤講師室)

- 【内容・方法 等】 語彙・表現の復習、実践練習
- 第15回 【事前・事後学習課題】 復習  
【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 確認テスト  
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)  
授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等  
教科書…適宜プリントを配布する。  
参考書…特になし

学生へのメッセージ  
ビジネス日本語能力テストは、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーション能力を測る試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目  
日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等  
国際交流センター

日本語上級会話 F I Advanced Japanese Speaking 高 井 美 穂 (タカイ ミホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

ビジネス日本語能力テスト (BJT) において出題される聴解問題、聴読解問題の練習を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

**授業方法と留意点**

聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

**科目学習の効果 (資格)**

就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 敬語  
【内容・方法 等】 敬語の復習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 上司の指示を理解する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 上司の指示を理解する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 同僚の指示を理解する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 同僚の指示を理解する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 社内 (部外) の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 社内 (部外) の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 社外の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 社外の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 会議・プレゼンの内容を理解する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 会議・プレゼンの内容を理解する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 復習

日本語上級会話 F II Advanced Japanese Speaking FII 高 井 美 穂 (タカイ ミホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

**授業概要・目的・到達目標**

前期に引き続き、ビジネス日本語能力テスト (BJT) において出題される聴解問題、聴読解問題の対策を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

**授業方法と留意点**

聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

**科目学習の効果 (資格)**

就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 敬語  
【内容・方法 等】 敬語の復習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 上司と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 上司と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 同僚と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 同僚と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 社内 (部外) の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 社内 (部外) の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 社外の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 社外の人と話す  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 メモの内容に応じて行動する  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 会議・プレゼン  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 会議・プレゼン  
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 復習  
【内容・方法 等】 語彙・表現の復習、実践練習  
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 確認テスト

**【事前・事後学習課題】** 復習

**評価方法 (基準)**  
授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

**教材等**  
教科書…適宜プリントを配布する。  
参考書…特になし

**学生へのメッセージ**  
ビジネス日本語能力テスト (BJT) は、ビジネス場面において必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定する試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

**関連科目**  
日本語上級作文、日本語上級読解

**担当者の研究室等**  
国際交流センター

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「社会と人権」 Human rights and Society				
		石 崎 嘉 彦 (イシザキ ヨシヒコ)		
		林 田 敏 子 (ハヤシダ トシコ)		
		橋 本 正 俊 (ハシモト マサトシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。具体的には「現実生活と人権」および「人権の歴史」の二つをテーマとして、担当者がそれぞれ専門的な見地から講義するとともに、教員間、教員と学生間の討議を通して人権に対する総合的な理解の獲得をめざす。授業においては、毎回二人以上の教員が出席し担当する。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
毎回、二名以上の教員が同一テーマについて、異なる立場と視点から講義する。

**科目学習の効果 (資格)**  
人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることが出来る。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション  
**【内容・方法 等】** 授業の進め方について(林田・橋本・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** なし
- 第2回 **【授業テーマ】** 人権とは何か  
**【内容・方法 等】** 人権という考え方の基本について(石崎・林田担当)  
**【事前・事後学習課題】** 資料の予習
- 第3回 **【授業テーマ】** 人権の歴史  
**【内容・方法 等】** 人権という考え方の歴史について(林田・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第4回 **【授業テーマ】** 女性と人権  
**【内容・方法 等】** 女性差別の現状と構造(林田・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第5回 **【授業テーマ】** 指紋あるいは遺伝子情報と人権  
**【内容・方法 等】** 個人識別とプライバシーの保護について(石崎・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第6回 **【授業テーマ】** 警察と人権  
**【内容・方法 等】** 民事不介入の原則について(林田・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第7回 **【授業テーマ】** 国際問題としての人権  
**【内容・方法 等】** 貧困や難民問題と人権の問題について(石崎・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第8回 **【授業テーマ】** 日本における人権問題  
**【内容・方法 等】** 同和問題の歴史と現状(橋本・石崎担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第9回 **【授業テーマ】** 教育と人権  
**【内容・方法 等】** 人権問題と教育の役割(林田・橋本担当)  
**【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習
- 第10回 **【授業テーマ】** 監獄と人権  
**【内容・方法 等】** 一望監獄 (パノプティコン) と見えない権力(林田・石崎担当)

- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習  
**【授業テーマ】** 情報化社会における人権問題  
**【内容・方法 等】** 身体障害と表現(橋本・林田担当)
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習  
**【授業テーマ】** マスメディアとネット社会の人権問題  
**【内容・方法 等】** マスコミによる人権侵害と報道の自由について(橋本・石崎担当)
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 前回のまとめと資料の予習  
**【授業テーマ】** 人権問題の全体を再考する  
**【内容・方法 等】** 具体的な経験を語り合うことを通して(林田・石崎担当)
- 第14回 **【事前・事後学習課題】** これまでのまとめを行っておく  
**【授業テーマ】** 人権についての考えをまとめる  
**【内容・方法 等】** これまでの講義をまとめてレポートを作成する(石崎・橋本・林田担当)
- 第15回 **【事前・事後学習課題】** これまでの復習  
**【授業テーマ】** 総括と展望  
**【内容・方法 等】** 纏めた文章の相互批評と評価(石崎・橋本・林田担当)
- 【事前・事後学習課題】** レポートを読み返しておく

**評価方法 (基準)**  
授業中における意見の表明など授業参加点と授業中に行う論文形式の小テストにより総合的に評価する。

**教材等**  
教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。  
参考書…とくになし。

**学生へのメッセージ**  
人権がわたしたちの日常にきわめて深くかかわっている事柄であることを理解できるような講義を目指す。複数の教員が同一テーマについて同じ時間内に講義するという他に例のない授業形式の醍醐味に触れて欲しい。

**関連科目**  
法学、歴史学、日本史学、哲学、日本文学

**担当者の研究室等**  
7号館4階(石崎・橋本・林田研究室)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「応用倫理学入門」 Introduction to Applied Ethics				
		石 崎 嘉 彦 (イシザキ ヨシヒコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
応用倫理学は、環境、生命、情報、経済、政治など生活世界の諸問題を「倫理的パラダイム」の視点から総合的に読み解こうとする試みであるが、この講義では、その中でも特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる諸問題に焦点を合わせて考えていこうと思う。そこから、科学とは区別される仕方でも生命、環境、テクノロジーなどの諸問題に対して対処する道があることを確認していく。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**  
石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)をテキストに用いた講義である。とりわけ今年度は、グローバル・エシックスに焦点を合わせた議論となる。

**科目学習の効果 (資格)**  
近代的思考法を超える新しい思考法の獲得に繋がる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** はじめに  
**【内容・方法 等】** 授業の進め方、評価の仕方、倫理について  
**【事前・事後学習課題】** なし
- 第2回 **【授業テーマ】** グローバル世界の倫理と人間論  
**【内容・方法 等】** 人間論としての倫理学、いわゆる肉眼で見ることの復権について  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 **【授業テーマ】** グローバル化とグローバル世界  
**【内容・方法 等】** 経済のグローバル化と政治のグローバル化  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 **【授業テーマ】** 倫理と自然法について  
**【内容・方法 等】** 力の世界と野蛮化の可能性について  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 **【授業テーマ】** グローバル世界と帝国  
**【内容・方法 等】** 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の指定された箇所を予習する
- 第6回 **【授業テーマ】** 人権とヒューマニズムのために  
**【内容・方法 等】** 歓待の倫理—共同への欲求と親密圏について  
**【事前・事後学習課題】** 教科書の指定された箇所を予習する
- 第7回 **【授業テーマ】** テクノロジーの専制

- 【内容・方法等】 総動員体制にどう応えるか—技術とナショナリズムに抗して
- 第8回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 南北問題と環境の倫理学  
【内容・方法等】 全体論は悪いか—自国の利益よりも世界全体の利益を優先させるために
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 管理社会から福祉社会へ  
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来に立ち向かうために
- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 帝国主義でも全体主義の帝国でもなく  
【内容・方法等】 徳と教養の帝国、愛郷主義の帝国は可能か
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 男女と貧富の平等について  
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうのか
- 第12回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 大衆・メディア・コミュニケーション  
【内容・方法等】 情報技術とメディアの横暴を押し止めるために
- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 平和の問題と倫理  
【内容・方法等】 戦争をこの世からなくすことについて—グローバルズムを越えて
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 共生のために—まとめにかえて  
【内容・方法等】 コスモポリタニズムと共生
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する  
【授業テーマ】 到達度の点検と確認  
【内容・方法等】 レポート作成とその評価  
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す
- 評価方法 (基準)  
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定
- 教材等  
教科書…石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)  
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダン的人間論』(ナカニシヤ出版)  
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』(ナカニシヤ出版)
- 学生へのメッセージ  
これからの時代を生きていくためのキーワードは「倫理」と「正義」だよ
- 関連科目  
哲学、エコロジー、環境倫理学、技術者倫理、情報倫理など
- 担当者の研究室等  
7号館4階(石崎研究室)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「役立つ金融知力」 Useful Financial Literacy				
東 浩 規 (ヒガシ ヒロキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
金融の自由化が進展し、多様な金融商品やサービスが登場するなど、消費者の選択肢が大きく広がり、これまでも増して利便性や収益機会が得られるようになりました。その一方で、私たちに金融取引において、自身の判断と責任において行うべきとする「自己責任」が求められる時代になっています。自分で考え、行動することが求められるなか、「自立した個人」となるための素養・能力を養うことが今、必要とされています。これから社会人となる学生諸君も、金融・経済やマーケットの仕組みを理解する知識を身に付けていくことは、とても大切です。これらは、さまざまな金銭・金融トラブルから私たちの身を守るのに役立つばかりでなく、今後の豊かな人生の実現に欠かせないものだからです。  
本講義は、個人のライフステージのさまざまな局面で自立的な意思決定や適切な判断を行うのに役立つ、金融リテラシー(知力)を養成することを目指しています。

**授業方法と留意点**  
講義形式で、時事的な問題も適宜取り上げながら、基礎的内容から実務の入り口まで解説を行い、実践的な知識の習得を図ります。

**科目学習の効果(資格)**  
ファイナンシャル・プランナー資格(民間資格)、ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 金融知力の必要性  
【内容・方法等】 ガイダンス  
金融リテラシー(知力)の必要性について学ぶ。

- 第2回 【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。  
【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(1)  
【内容・方法等】 GDPや景気動向、経済指標等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第3回 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(2)  
【内容・方法等】 金利、金融政策、景気対策等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第4回 【授業テーマ】 ライフプランニング(1)  
【内容・方法等】 私たちの将来設計と資金計画について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第5回 【授業テーマ】 ライフプランニング(2)  
【内容・方法等】 私たちの将来設計と資金計画、人生の三大資金について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。  
課題レポート：自分の将来設計をする/キャッシュフロー表の作成
- 第6回 【授業テーマ】 貯蓄型商品  
【内容・方法等】 預貯金や金利計算について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第7回 【授業テーマ】 リスクとリターン  
【内容・方法等】 金融取引に関わるリスクとリターン、およびリスクを分散する方法について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第8回 【授業テーマ】 投資信託  
【内容・方法等】 投資信託の特徴やその仕組みについて学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)とレジュメをよく読み復習する。
- 第9回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(1)  
【内容・方法等】 株式の基礎知識、株価変動の要因、経済と株式市場の関係等について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第10回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(2)  
【内容・方法等】 株式指標や投資指標等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第11回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(1)  
【内容・方法等】 債券投資の特徴とリスク、利回り等について学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第12回 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(2)  
【内容・方法等】 債券の格付け、金利と債券価格、日本の財政等について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第13回 【授業テーマ】 外貨建て商品、証券化  
【内容・方法等】 外貨建て商品や為替の基本的な仕組み、証券化について入門的に学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第14回 【授業テーマ】 セーフティネット  
【内容・方法等】 セーフティネットについて学習する。  
【事前・事後学習課題】 日頃、経済や金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめと定期試験対策  
【内容・方法等】 これまでの学習のまとめ、試験の想定問題とその対策。  
【事前・事後学習課題】 教科書とこれまで配布されたレジュメをよく読んで、総復習すること。

**評価方法（基準）**

学期末試験期間中に実施する筆記試験70%、課題レポート30%を基本に、理解度を確認する<まとめ問題>や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価。なお、試験は持ち込み不可。

**教材等**

**教科書**…『ファイナンス基礎（第四版）』発行：NPO法人金融  
知力普及協会

（一般の書店では購入できないので注意して下さい）  
教科書は授業では使用しません。レジュメ・資料を、  
毎回配布します。

**参考書**…特定のもの是指定しません

**学生へのメッセージ**

経済や金融をより身近に感じてもらうためにも、新聞・ニュースには必ず目を通す習慣を身に付け、今世の中で何が起きているのか常に関心を持つようにしてください。事後学習として、テキスト(授業の該当ページ)と配布されたレジュメをよく読んで復習しておくこと、またとっつきにくい話であっても自分自身で考える、わからないところは調べてみる姿勢が望ましい。

社会人としてしっかり生きていける素養を磨くことを目標とします。授業に積極的で、私語をしない学生の参加を歓迎します。

**関連科目**

「ビジネスマナー」「就職実践基礎」

**担当者の研究室等**

11号館1階（教務課）

**備考**

この授業は、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社による「寄附講座」です。

**教養特別講義I～V「地域連携教育活動I」**  
Community-Based Education Support Activities I

浅野 英一（アサノ エイチ）  
浦野 崇央（ウラノ タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本授業はサービスマナーの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

**授業方法と留意点**

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

**科目学習の効果（資格）**

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育-1（授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）  
【内容・方法 等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育-2  
【内容・方法 等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育-3  
【内容・方法 等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備  
【内容・方法 等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する  
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動-1  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動開始  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回 【授業テーマ】 活動-2  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第7回 【授業テーマ】 活動-3

- 【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第8回 【授業テーマ】 活動-4  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回 【授業テーマ】 活動-5  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回 【授業テーマ】 活動-6  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回 【授業テーマ】 活動-7  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回 【授業テーマ】 活動-8  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 活動-9  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回 【授業テーマ】 活動-10  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回 【授業テーマ】 活動-11  
【内容・方法 等】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【授業テーマ】 活動-12  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回 【授業テーマ】 活動-13  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回 【授業テーマ】 活動-14  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回 【授業テーマ】 活動-15  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回 【授業テーマ】 活動-16  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第21回 【授業テーマ】 活動-17  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第22回 【授業テーマ】 活動-18  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第23回 【授業テーマ】 活動-19  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第24回 【授業テーマ】 活動-20  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第25回 【授業テーマ】 活動-21  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第26回 【授業テーマ】 活動-22  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第27回 【授業テーマ】 活動-23  
【内容・方法 等】 受け入れ校にて活動

- 活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2.4  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2.5  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-2.6・最終報告会

**評価方法 (基準)**

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数 (出席数) 票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

**教材等**

教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**

大学の授業と授業の間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえない財産形成を行ってください。

**関連科目**

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

**担当者の研究室等**

7号館5階 (浅野研究室)  
7号館4階 (浦野研究室)

**備考**

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義I～V「地域連携教育活動II」 Community-Based Education Support ActivitiesII				
浅野 英一 (アサノ エイチ) 浦野 崇央 (ウラノ タカオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本授業はサービスマーケティングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

**授業方法と留意点**

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動I」を履修した学生のみが登録できる。

**科目学習の効果 (資格)**

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育-1 (授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。)  
【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育-2  
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について (学外講師を含む)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育-3  
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について (教育委員会からの学外講師)  
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回 【授業テーマ】 活動準備  
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する  
【事前・事後学習課題】 年間計画 (案) の作成
- 第5回 【授業テーマ】 活動-1  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

- 第6回 【授業テーマ】 活動-2  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第7回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-3  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第8回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-4  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の提出  
活動進捗状況報告書①の提出
- 第9回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の提出  
状況報告書の作成  
【授業テーマ】 活動-5  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第10回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-6  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第11回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-7  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第12回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-8  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第13回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備  
【授業テーマ】 活動-9  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
- 第14回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の提出  
状況報告書の作成  
【授業テーマ】 活動-10  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第15回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-11  
【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-12  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第17回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-13  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第18回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-14  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第19回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-15  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出  
活動進捗状況報告書③の提出
- 第20回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の提出  
状況報告書の作成  
【授業テーマ】 活動-16  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第21回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-17  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第22回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-18  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第23回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-19  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第24回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-20  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第25回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-21  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第26回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動-22

- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第27回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動ー2・3  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第28回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動ー2・4  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動  
活動業務日報・活動時間票の提出
- 第29回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動ー2・5  
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 第30回 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成  
【授業テーマ】 活動ー2・6・最終報告会

**評価方法 (基準)**

①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数(出席数)票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

**教材等**

教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

**関連科目**

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

**担当者の研究室等**

7号館5階 (浅野研究室)  
7号館4階 (浦野研究室)

**備考**

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「キャリアデザイン(BASIC)」 Career Planning I(Basic)				
中 川 浩 一 (ナカカワ コウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

社会に出て活躍するために大学時代に何をなすべきなのか、早い段階で目的意識を持ち、4年間のキャンパスライフを有意義に送るための授業です。  
この講義を通して、①自己理解を深め、自信が持てるようになる。  
②コミュニケーションについて、理解を深め、コミュニケーション力アップのし方を知る。  
③社会(企業)の変化を知り、自分のワーキングスタイルを考えてみましょう。④大学生活および人生設計ができるようになる。を講義の到達目標とします。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

講義だけでなくグループワークなどを織り交ぜて進行しますので積極的な態度で受講して下さい。

**科目学習の効果(資格)**

社会と自分の接点を考えるきっかけとなります。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 フレッシュな自分を確認しよう  
【内容・方法等】 ・キャリアデザインとは?何故必要なのか?  
【事前・事後学習課題】 自分にとって“キャリアデザイン”とは何か?を考えておいて下さい
- 第2回 【授業テーマ】 摂南大学  
【内容・方法等】 ・摂南大学の建学の精神と教育理念を理解する・授業の活用術を知る・大学生活において“目標とするもの”を考える  
【事前・事後学習課題】 テキストP11～P17を熟読して下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 社会は君を待っている  
【内容・方法等】 ・進路についてのイメージづくり・20代の内に身につけたい力を知る・未来予想図を描く  
【事前・事後学習課題】 テキストP19～P26を熟読して下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 社会で活躍するOB・OG  
【内容・方法等】 ・進路の多様性(進学(院・専門学校)、資格、公務員、企業、海外等)を知る  
【事前・事後学習課題】 卒業後の進路について考えておいて下さい。

- テキストP39～P44を熟読して下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 グループ課題の設定  
【内容・方法等】 与えられた課題をグループで取り組む  
【事前・事後学習課題】 チームの中で「自分はどんな役割を果たしたいか」を考えておいて下さい
- 第6回 【授業テーマ】 社会の仕組み  
【内容・方法等】 ・GDPから見る社会の仕組み・税金の種類と役割・業種/職種を知る  
【事前・事後学習課題】 テキストP27～P37を熟読して下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 お金の話  
【内容・方法等】 ・正社員とフリーターの違いを考える  
【事前・事後学習課題】 自分が“欲しいモノを3つ”考えておいて下さい。  
テキストP53～P57を熟読して下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 自己分析から自分づくりへ①  
【内容・方法等】 ・自分の関心事柄を知る・性格、適性、能力を考える・自分の大事にしているモノ(価値観)を整理する  
【事前・事後学習課題】 自分の長所や短所について考え、周囲の人にも聞いておいて下さい。  
テキストP59～P69を熟読して下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 自己分析から自分づくりへ②  
【内容・方法等】 ・キャリア理論を知り、自分の関心事、性格、適性や能力の喚起へと繋げる  
【事前・事後学習課題】 テキストP59～P69を熟読して下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 スケジュール管理術  
【内容・方法等】 ・社会人基礎力を理解する・PDCAサイクルを身につける・問題解決の思考法を身につける  
【事前・事後学習課題】 テキストに目を通しておいて下さい。  
テキストP79～P88を熟読して下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 グループ課題のプレゼンテーション  
【内容・方法等】 ・グループで取り組んだ内容をプレゼンテーションしていただきます  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第12回 【授業テーマ】 グループワークに取り組む  
【内容・方法等】 グループで課題に取り組む  
【事前・事後学習課題】 グループでプランを作成してください
- 第13回 【授業テーマ】 グループ課題のプレゼンテーション  
【内容・方法等】 グループごとにプレゼンテーションを行う  
【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備を行ってください
- 第14回 【授業テーマ】 グループ活動の振り返り  
【内容・方法等】 グループ活動の振り返りから「コミュニケーション、ホスピタリティ、マナー」等を再認識する  
【事前・事後学習課題】 グループ活動の経緯を振り返っておいて下さい
- 第15回 【授業テーマ】 未来予想図/講義のおさらい  
【内容・方法等】 ・大学1年生の夏休みから何を始めるか?を考え、グループ内で発表する  
【事前・事後学習課題】 夏休み以降の大学生生活の目標を考えておいて下さい

**評価方法 (基準)**

平常点(30%)、グループ活動(20%)、レポート(50%)で総合評価をします。

**教材等**

教科書…キャリアデザインⅠ  
参考書…必要に応じて授業内でレジュメを配布します

**学生へのメッセージ**

自分の将来を考える授業ですので、能動的に参加して下さい。

**関連科目**

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

**担当者の研究室等**

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「青少年育成ファシリテーター養成講座」 Facilitator Training Program				
浅 野 英 一 (アサノ エイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

本授業は、サービスマナーの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立つという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市教育



委員会関連団体、共学センター、寝屋川青年会議所主催事業、交野市役所。  
学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

**科目学習の効果（資格）**

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育-1（授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）  
【内容・方法 等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「活動についての心構え」
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育-2  
【内容・方法 等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「守秘義務について」
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育-3  
【内容・方法 等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「安全管理スキルについて」
- 第4回** 【授業テーマ】 事前教育-4  
【内容・方法 等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「救命救護スキルについて」
- 第5回** 【授業テーマ】 事前教育-5  
【内容・方法 等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「安全対策スキルについて」
- 第6回** 【授業テーマ】 事前教育-6  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「人とのかかわり方について」
- 第7回** 【授業テーマ】 事前教育-7  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「報告、連絡、相談について」
- 第8回** 【授業テーマ】 事前教育-8  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレイキング手法を学ぶ  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「アイスブレイキング手法について」
- 第9回** 【授業テーマ】 事前教育-9  
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方  
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する  
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回** 【授業テーマ】 事前教育-10  
【内容・方法 等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法  
【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する
- 第11回** 【授業テーマ】 実践活動-1  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第12回** 【授業テーマ】 実践活動-2  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第13回** 【授業テーマ】 実践活動-3  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第14回** 【授業テーマ】 実践活動-4  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第15回** 【授業テーマ】 実践活動-5  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤  
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
- 第16回** 【授業テーマ】 実践活動-6  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥

- 第17回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-7  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
- 第18回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-8  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-9  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-10  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-11  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-12  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 第23回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-13  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-14  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
- 第25回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-15  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-16  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-17  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-18  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 実践活動-19  
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成  
【授業テーマ】 最終報告（後期分）

**評価方法（基準）**  
①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調査、以上の4点を総合的に判断して評価する。

**教材等**  
教科書…使用しない  
参考書…適宜紹介する

**学生へのメッセージ**  
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえない財産形成を行ってください。

**担当者の研究室等**  
7号館5階（浅野研究室）

**備考**  
授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」 Preparation Program for Employment Examination				
		松田 剛典 (マツダ タケノリ)		
		亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)		
		西座 由紀 (ニシザ ユキ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**  
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記

試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いですので、早めに対策をしておくこと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。

講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。

就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

**科目学習の効果（資格）**

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施  
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①  
【内容・方法等】 四則演算①・分数①  
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 数と計算②  
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①  
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 数と計算③  
【内容・方法等】 方程式②  
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合①  
【内容・方法等】 割合①  
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 割合②  
【内容・方法等】 割合②・濃度算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 割合③  
【内容・方法等】 割合③・仕事算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 講義の振り返り①  
【内容・方法等】 中テスト  
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 金銭問題①  
【内容・方法等】 損益算  
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 金銭問題②  
【内容・方法等】 分割払い  
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 速度算①  
【内容・方法等】 速さの考え方  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 速度算②  
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 場合の数・確率①  
【内容・方法等】 場合の数  
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 場合の数・確率②  
【内容・方法等】 確率  
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り②  
【内容・方法等】 最終テスト  
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

**評価方法（基準）**

テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

**教材等**

教科書…オリジナル教材を使用します。

また適宜Smart SPIの活用を指示します。

参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。  
(例：「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

**学生へのメッセージ**

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めに対策をしておくこと、受けることのできる会社が広がります。

その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。

受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

**関連科目**

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

**担当者の研究室等**

3号館4階 キャリア教育推進室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」**  
Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)  
亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)  
西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いですので、早めに対策をしておくこと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。

講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。

就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

**科目学習の効果（資格）**

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施  
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回 【授業テーマ】 数と計算①  
【内容・方法等】 四則演算①・分数①  
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 数と計算②  
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①  
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 数と計算③  
【内容・方法等】 方程式②  
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 割合①  
【内容・方法等】 割合①  
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 割合②  
【内容・方法等】 割合②・濃度算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 割合③  
【内容・方法等】 割合③・仕事算  
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 講義の振り返り①  
【内容・方法等】 中テスト  
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 金銭問題①  
【内容・方法等】 損益算  
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 金銭問題②  
【内容・方法等】 分割払い  
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 速度算①  
【内容・方法等】 速さの考え方  
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと

- 第12回 【授業テーマ】 速度算②  
 【内容・方法 等】 2人の出会い・追いつき  
 【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 場合の数・確率①  
 【内容・方法 等】 場合の数  
 【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 場合の数・確率②  
 【内容・方法 等】 確率  
 【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り②  
 【内容・方法 等】 最終テスト  
 【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)  
 テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等  
 教科書…オリジナル教材を使用します。  
 また適宜Smart SPIの活用を指示します。  
 参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。  
 (例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ  
 7~8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目  
 キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等  
 3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「キャリアデザインⅡ(ADVANCE)」 Career Planning II(Advanced)				
津村 英二 (ツムラ エイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
 将来、社会で活躍できる人になるために、1回生時からの成長を加速させます。そのために授業では社会を起点に物事を考え、自らの活かし方、伸ばすべきポイントについて考えて頂きます。

授業の到達目標は将来、何になりたいか、そのために何をすべきかを言えるようになることです。  
 学科の学習・教育目標との対応: [A]

授業方法と留意点  
 講義だけでなくグループワークや個人で考えるワークを織り交ぜて進行しますので能動的な態度で受講して下さい。

科目学習の効果 (資格)  
 来るべき就職活動に向けて自分は何を伸ばさなければならないのか?等を考えられるようになります

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 【内容・方法 等】 ・講義の目的・内容の解説  
 ・評価の方法  
 ・アセスメントの実施  
 【事前・事後学習課題】 大学生生活1年目で経験したことを思い出しておいて下さい
- 第2回 【授業テーマ】 就活体験①  
 【内容・方法 等】 特性と心がけ、自己PRの組み立て方を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP33～P41を熟読して下さい
- 第3回 【授業テーマ】 就活体験②  
 【内容・方法 等】 ・学生生活を振り返る  
 ・講師より学生生活で自分を高めるための提案  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP42～P44を熟読して下さい
- 第4回 【授業テーマ】 自分を高める①  
 【内容・方法 等】 ・今までの習慣を見直し自分を高めることを考える  
 【事前・事後学習課題】 講義を踏まえ、これからの大学生生活内で何に取り組むかを考えて下さい
- 第5回 【授業テーマ】 自分を高める②  
 【内容・方法 等】 ・講義④を踏まえプレゼンテーション  
 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備をして下さい

- 第6回 【授業テーマ】 自分を高める③  
 【内容・方法 等】 ・リーダーシップ開発  
 ・リーダーのタイプを知る  
 ・リーダーシップコミュニケーションを学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 講義の内容を日常生活で実践して下さい
- 第7回 【授業テーマ】 社会を知る①  
 【内容・方法 等】 ・なぜ仕事をするのか?  
 ・仕事観について考える  
 ・仕事の成果とは他者への貢献を学  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡテキストのP9～P17を熟読して下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 社会を知る②  
 【内容・方法 等】 ・人生のイベントを考える  
 ・他者受容力を磨く  
 ・人生のイベントにかかる費用を考える  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP45～P55を熟読して下さい。

- 第9回 【授業テーマ】 社会を知る③  
 【内容・方法 等】 ・講義⑦課題プレゼンテーション  
 【事前・事後学習課題】 プレゼンテーションの準備をして下さい

- 第10回 【授業テーマ】 社会を知る④  
 【内容・方法 等】 ・業種・職種概念を理解する  
 ・川上～川下の概念の理解  
 ・付加価値について考える  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP59～P79を熟読して下さい

- 第11回 【授業テーマ】 社会を知る⑤  
 【内容・方法 等】 ・視点/視座/視野の使い事例を知る  
 ・会社・業種・職種の発見の仕方を学ぶ  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP59～P79を熟読して下さい

- 第12回 【授業テーマ】 社会を知る⑥  
 【内容・方法 等】 ・ニッポンの課題について考える  
 ・未来の働き方を考える  
 【事前・事後学習課題】 キャリアデザインⅡのテキストP55を熟読して下さい

- 第13回 【授業テーマ】 社会を知る⑦  
 【内容・方法 等】 ・グループプレゼンテーション  
 【事前・事後学習課題】 グループにおける役割を考えて下さい

- 第14回 【授業テーマ】 おさらい①  
 【内容・方法 等】 ・講義②～③より自分がどれだけ成長したのかを確認する  
 【事前・事後学習課題】 ここまでの講義を振り返って下さい

- 第15回 【授業テーマ】 おさらい②  
 【内容・方法 等】 講義のおさらいと期末レポートの振り返り  
 【事前・事後学習課題】 未提出レポート等がないか確認して下さい

評価方法 (基準)  
 授業態度30%、グループワーク20%、レポート50%で総合評価します。

教材等  
 教科書…キャリアデザインⅡ (授業内で配布)  
 参考書…必要に応じて推薦図書を提示

学生へのメッセージ  
 来るべき、就職活動、そして卒業後の自分自身のために積極的に参加して下さい。

関連科目  
 キャリアデザインⅠ・Ⅲ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等  
 3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」 Business Manners				
富岡 直美 (トミオカ ナオミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標  
 授業概要: マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。  
 目的: 社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。  
 到達目標: 社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点  
 ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

**科目学習の効果（資格）**

社会に出るために必要なことが分かり、就職活動に意欲的に取り組めるようになる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か  
 【内容・方法 等】 授業のオリエンテーション  
 ビジネスマナーの必要性  
 ビジネスにおける最低限のルール  
 【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】 第一印象  
 【内容・方法 等】 第一印象の重要性  
 第一印象をよくする方法  
 【事前・事後学習課題】 自分の第一印象を理想に近づけるよう意識してください。
- 第3回** 【授業テーマ】 身だしなみ  
 【内容・方法 等】 身だしなみと態度について  
 【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第4回** 【授業テーマ】 言葉づかい  
 【内容・方法 等】 敬語の仕組みと使い方  
 【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙讓語の違いについて調べてきてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 指示の受け方  
 【内容・方法 等】 指示の受け方  
 スケジュール管理の仕方  
 【事前・事後学習課題】 授業内での課題の続きを終えて来ててください。
- 第6回** 【授業テーマ】 電子メールのマナー  
 【内容・方法 等】 電子メールの書き方  
 【事前・事後学習課題】 事前に、電子メール、文書、電話、それぞれの特長を考えて来ててください。  
 また、授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 文書のマナー  
 【内容・方法 等】 文書の書き方  
 【事前・事後学習課題】 身の回りにある文書を持ってきてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 電話のマナー  
 【内容・方法 等】 電話のかけ方と受け方  
 【事前・事後学習課題】 授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 ホウ・レン・ソウ  
 【内容・方法 等】 報告・連絡・相談の仕方  
 【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来ててください。
- 第10回** 【授業テーマ】 訪問のマナー  
 【内容・方法 等】 訪問の仕方  
 【事前・事後学習課題】 訪問する際に気を付けることを考えてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 名刺交換のマナー  
 【内容・方法 等】 名刺交換の仕方  
 【事前・事後学習課題】 名刺の役割について考えてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー  
 【内容・方法 等】 会社説明会で何をすればいいのか  
 【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。
- 第13回** 【授業テーマ】 面接でのマナー  
 【内容・方法 等】 面接の種類と面接官の狙いについて  
 面接での基本的な振る舞い方  
 【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。
- 第14回** 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー  
 【内容・方法 等】 グループディスカッションの特徴  
 グループディスカッションの注意点  
 【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 振り返りとまとめ  
 【内容・方法 等】 授業の振り返り・まとめ  
 【事前・事後学習課題】 未提出の課題等がないか確認をして下さい。

**評価方法（基準）**

平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

**教材等**

教科書…レジュメ配布  
 参考書…必要に応じて参考図書を紹介

**学生へのメッセージ**

マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

**関連科目**

キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、インターンシップⅠ、Ⅱ、エンプロイメントデザインⅡ

**担当者の研究室等**

**教養特別講義Ⅰ～Ⅵ「摂南大学とこの地域を学ぶー北河内学ー」**  
 Introduction to University and Kitakawachi Region

福田市朗（フクダ イチロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

〔授業概要〕学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。〔目的〕摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。〔到達目標〕摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図れる。

**授業方法と留意点**

摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

**科目学習の効果（資格）**

自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」  
 【内容・方法 等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（1）  
 【内容・方法 等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（2）  
 【内容・方法 等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回** 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（3）  
 【内容・方法 等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（1）寝屋川市  
 【内容・方法 等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
- 第6回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（2）枚方市  
 【内容・方法 等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
- 第7回** 【授業テーマ】 北河内のすがたを知る（3）交野市  
 【内容・方法 等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。  
 【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもと

に、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。

**第8回** 【授業テーマ】北河内のすがたを知る（4）門真市  
【内容・方法等】門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。

**第9回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（1）  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

**第10回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（2）  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

**第11回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（3）  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

**第12回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（4）  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

**第13回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

**第14回** 【授業テーマ】北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）  
【内容・方法等】本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。

**第15回** 【授業テーマ】北河内の産業を知る  
【内容・方法等】北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。

【事前・事後学習課題】事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産業活動を再確認し理解を深めること。

#### 評価方法（基準）

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

#### 教材等

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。

参考書…摂南大学の自校史集。

毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

#### 学生へのメッセージ

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のものに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

#### 関連科目

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

#### 担当者の研究室等

11号館7階 福田教授室

#### 備考

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。

学外講師の関係者が聴講することがあります。

また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

## 教養特別講義I～V「簿記の話」

Talk on Bookkeeping

紙 博文(カミ ヒロフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

#### 授業概要・目的・到達目標

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成する簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解する。簿記の授業というと計算技術的なものとなることが多いが、「教養特別講義」でもありそうした講義は避け、簿記の役割、企業内でよく使用される、手形・小切手、試算表、勘定、取引、売上、利益等の意味について説明する。また、簿記の精緻な構造から、これを生み出した人類の知恵を知る。

#### 授業方法と留意点

講義中心に行うが計算プリントも配布する。解答は板書きして説明する。ゆっくりとした進度で授業は進める。

#### 科目学習の効果（資格）

日本商工会議所簿記検定等

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】簿記の基本 1  
【内容・方法等】簿記とは  
【事前・事後学習課題】教科書 p.11～p.13  
必要に応じて練習問題を配布、以降同様
- 第2回** 【授業テーマ】簿記の基本 2  
【内容・方法等】貸借対照表、損益計算書（資産、負債、純資産、収益、費用）  
【事前・事後学習課題】教科書 p.11～p.13
- 第3回** 【授業テーマ】簿記の基本 3  
【内容・方法等】簿記の一巡（取引から決算までの概要）  
【事前・事後学習課題】教科書 p.15
- 第4回** 【授業テーマ】簿記の基本 4  
【内容・方法等】取引、仕訳、勘定、勘定科目  
【事前・事後学習課題】教科書 p.15
- 第5回** 【授業テーマ】簿記の基本 5  
【内容・方法等】仕訳の演習  
【事前・事後学習課題】教科書 p.21
- 第6回** 【授業テーマ】簿記の基本 6  
【内容・方法等】転記、試算表の作成、決算  
【事前・事後学習課題】教科書 p.24～p.28
- 第7回** 【授業テーマ】簿記の実際 1  
【内容・方法等】現金、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金  
【事前・事後学習課題】教科書 p.38～p.43
- 第8回** 【授業テーマ】簿記の実際 2  
【内容・方法等】有価証券、手形の処理  
【事前・事後学習課題】教科書 p.44～p.54
- 第9回** 【授業テーマ】簿記の実際 3  
【内容・方法等】3分法、売掛金と買掛金  
【事前・事後学習課題】教科書 p.55～p.61
- 第10回** 【授業テーマ】簿記の実際 4  
【内容・方法等】固定資産  
【事前・事後学習課題】教科書 p.69
- 第11回** 【授業テーマ】簿記の実際 5  
【内容・方法等】決算修正事項と精算表  
【事前・事後学習課題】教科書 p.76～p.87
- 第12回** 【授業テーマ】まとめと確認 1  
【内容・方法等】計算問題（プリント配布）を解く  
【事前・事後学習課題】計算プリントの復習
- 第13回** 【授業テーマ】まとめと確認 2  
【内容・方法等】計算問題（プリント配布）を解く  
【事前・事後学習課題】計算プリントの復習
- 第14回** 【授業テーマ】簿記の面白さ 1  
【内容・方法等】簿記の成立  
【事前・事後学習課題】教科書 p.129～p.131
- 第15回** 【授業テーマ】簿記の面白さ 2  
【内容・方法等】簿記生成史から学ぶこと  
【事前・事後学習課題】教科書 p.132～p.143

#### 評価方法（基準）

学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

#### 教材等

教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版（1890円）

参考書…授業中指示する

### 学生へのメッセージ

簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。しかし、本講義は、教養科目という性格上、講義中心で計算問題演習の時間は少ないと思う。足りない分は各自で問題を解いてみる。簿記の面白さがわかってきます。

### 関連科目

財務会計論、国際会計論（経営学部開講科目）

### 担当者の研究室等

11号館8階（紙教室）

## 教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ポストモダン時代の国際政治経済」 Postmodern Political Economy

石崎嘉彦（イシザキ ヨシヒコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

グローバル化したポストモダンの世界は、アレクサンドル・コジェーヴの用語でいえば「普遍同質的国家」と呼ばれる。この講義ではそのような国家(あるいは状態)の動向を理解し、それによる生活世界の破壊に対処する途を模索する。特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる環境破壊、科学技術と生産、経済発展と格差社会などの諸問題を取り上げ、それらの問題にいかに対処すべきかを考えてみる。

学科の学習・教育目標との対応：「A」

### 授業方法と留意点

石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）をテキストに用い、講義形式で行われる授業である。

### 科目学習の効果（資格）

世界の政治経済的動向とその原理を理解し、そこから近代的思考法を超える新しい思考法を獲得していきたい。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに  
【内容・方法 等】 授業の進め方、評価の仕方、政治哲学について  
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界と人間論の課題  
【内容・方法 等】 モダンの終焉とポストモダンの「未人」世界の出現  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化は普遍同質的国家を可能にするか？  
【内容・方法 等】 まずは経済の領域から始まった運動は政治の世界をもグローバル化しうるか？
- 第4回 【授業テーマ】 分業と交易社会の出現  
【内容・方法 等】 交易と商品生産社会の出現の意義を歴史から見てとる  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第5回 【授業テーマ】 相互承認と等価交換  
【内容・方法 等】 承認をめぐる闘いから生み出されるものが自己意識ではなく物=商品となる世界であることについて
- 第6回 【授業テーマ】 商品生産と経済的価値の問題  
【内容・方法 等】 労働価値説と剰余価値の生産の問題を考える  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第7回 【授業テーマ】 精神なき専門家と心情なき享楽人たちの棲むところ  
【内容・方法 等】 私はどこにもいなくなって、ただ商品だけが存在する世界について  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第8回 【授業テーマ】 物象化された世界の出現  
【内容・方法 等】 コミュニケーションの世界が記号の象徴交換となることについて  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第9回 【授業テーマ】 グローバル世界は「帝国」の再来である  
【内容・方法 等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第10回 【授業テーマ】 テクノロジーと生産のメカニズム—技術社会論  
【内容・方法 等】 総取り立て体制の出現にどう応えるか—テクノロジーと僭主政治  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第11回 【授業テーマ】 南北問題と人口問題  
【内容・方法 等】 自国の利益よりも世界全体の利益を優先させることは美徳か

- 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第12回 【授業テーマ】 現代のコミュニズムとしての国家独占資本主義  
【内容・方法 等】 グローバル化による管理社会の到来によせて  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第13回 【授業テーマ】 管理社会から福祉社会への通路は存在するか  
【内容・方法 等】 差異を超える論理はありうるのか—EUとユーロ圏の失敗を反面教師として  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第14回 【授業テーマ】 来るべき時代の共同性を展望する—メディア全体主義に抗して  
【内容・方法 等】 これからの情報社会と人類の共生のために  
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習するか？
- 第15回 【授業テーマ】 到達度の点検と確認  
【内容・方法 等】 レポート作成とその評価  
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す

### 評価方法（基準）

講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

### 教材等

教科書…石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）

参考書…石崎嘉彦著『ポストモダンの人間論』（ナカニシヤ出版）  
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）

### 学生へのメッセージ

講義の根底にある「正義」の概念こそ、これからの時代を生きていくためのキーワードだ

### 関連科目

政治学、経済学、エコロジー、応用倫理学、技術者倫理、情報倫理など

### 担当者の研究室等

7号館4階（石崎研究室）

## 教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「感染症の歴史・病原体・治療と予防」 Infectious Diseases

渡部一仁（ワタベ カズヒト）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

### 授業概要・目的・到達目標

人類生存の歴史は感染症との戦いであった。ヒトを襲った感染症について、その恐ろしい歴史と、感染症との戦いから生き残るため学んだヒトの知恵を縦糸にして、また、感染症の原因となる微生物の基礎を横糸にして、感染症を学ぶ。具体的には、古くは天然痘から新しくは新型インフルエンザについて、それらの発生の歴史的な背景、病原体本体、治療法と予防法、国際的な規模でのリスクマネジメント体制の構築について学習する。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

### 授業方法と留意点

感染症の基礎とその予防について多彩なスライドを併用して授業を行う。特に、スライドは要点をまとめつつ、文学や絵画で取り上げられてきた題材を含めて説明する。教科書は特に定めず、毎回講義レジメを配布する。毎回の授業終了時に理解度確認のレポート提出を科す。

### 科目学習の効果（資格）

感染症を具体例として、歴史的背景や病原体、社会防衛と公衆衛生学、地球規模での対策などを学ぶことにより、それぞれの専門分野での学習に有意義な知識と情報が得られる。

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 感染症と現代人  
【内容・方法 等】 文明が築かれてから現代まで、約5000年の歴史をたどりながら、人類がどのように感染症と戦い、それを克服してきたかを紹介する。また、現代の我々が直面している感染症についても紹介する。  
【事前・事後学習課題】 1回目の講義内容の要点及び本講義の履修動機をまとめたレポートを提出すること。（レポートは第1回授業終了時に回収）
- 第2回 【授業テーマ】 感染症対策の歴史  
【内容・方法 等】 感染症の原因となる病原微生物や媒介生物の発見、薬やワクチンの発見、各国の感染症対策について概説する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第3回 【授業テーマ】 感染症をおこす病原微生物  
【内容・方法 等】 感染症の原因となる寄生虫、細菌、ウイルスの基礎について修得する。  
【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配

- 付資料に基づいて復習する事。
- 第4回** 【授業テーマ】 現代社会と感染症  
 【内容・方法 等】 感染症対策は医療体制の整備や発生時の的確な対応、法制度などの整備による事前対応型対策の展開、国際協力などの政策が必要である。また、対策を講じるにあたり関係者や国民の理解の促進も不可欠である。ここでは、国民に脅威を及ぼしてきた感染症の変遷、その対応の変化を講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第5回** 【授業テーマ】 新興・再興感染症  
 【内容・方法 等】 20世紀後半の一時期に人類は感染症を征服したと思われた時期もあった。しかし、それは誤りであり、まったく新たな感染症（新興感染症）やいったん制圧したかに見えた感染症（再興感染症）が見られている。これらの感染症の歴史的考察から大規模感染症の成立過程や原因微生物と感染経路の解明、撲滅への対策について講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第6回** 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(1)  
 【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、近年特に話題となった重症急性呼吸器感染症（SARS）と高病原性トリ・インフルエンザについて紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第7回** 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(2)  
 【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、エボラ出血熱、ノロウイルス感染症、狂犬病、麻しん、ウエストナイル熱/脳炎などについて紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 2回～7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。（提出期限：次回授業終了時）
- 第8回** 【授業テーマ】 病原体の飛沫や環境汚染による感染症  
 【内容・方法 等】 後進国なみに患者発生の高いわが国の結核に関して、ヒトとの関わり合いから見た結核感染症の歴史を述べ、さらに、結核感染症の基本的な知識を習得する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、2回～7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成し、授業終了時に提出のこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 人的行為でおきた感染症（1）  
 【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、感染者数が約4千万人といわれ地球規模の流行（パンデミック）に達しているエイズ・HIV感染症と院内感染として医療の現場で注目されているMRSA感染症について解説する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第10回** 【授業テーマ】 人的行為でおきた感染症（2）  
 【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、B型肝炎とC型肝炎、VRE感染症、在郷軍人感染症、カリニ肺炎について紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第11回** 【授業テーマ】 飲食物を介しておきる感染症  
 【内容・方法 等】 飲食物を介しておきる感染症の内、1973年に大阪府堺市や岡山県邑上町の学校給食が原因となった集団下痢症のO157感染症、昨年ドイツを中心として発生した腸管出血性大腸菌感染症、2011年4月頃から「ユッケ」を原因とした腸管出血性大腸菌O111による集団食中毒などを紹介する。また、従来の病原因物質とは全く異質のタイプであるプリオン病についても講義する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第12回** 【授業テーマ】 感染症の制御と免疫システム  
 【内容・方法 等】 ギリシャの昔からヒトは一度かかった病気には二度とかからないことを知っていた。それを実際に医療に応用したのは約200年前のジェンナーの種痘である。ここには、生体防御機構としての「免疫」が働いている。免疫とはどのような身体の働きなのかを講義する。また、免疫による感染症の予防に対処も解説する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第13回** 【授業テーマ】 話題になった感染症  
 【内容・方法 等】 近年特に話題となった感染症の中で、エボラ出血熱、マールブルグ出血熱、人食いバクテリア感染症、肺炎球菌感染症について紹介する。  
 【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。
- 第14回** 【授業テーマ】 予防接種により今我々が命を守ることが出来る  
 【内容・方法 等】 多くの感染症はワクチンによる予防接種で発症が抑えられており、その成功例としては天然痘の撲滅やポリオの征圧がある。一方、予防接種率の低や副作用の

危惧から十分な予防接種が実施されていない感染症もある。今回は、いま我々が予防接種により命を守ることが出来る感染症の具体例（ヒブワクチン、子宮頸がんなど）を取り上げて説明する。

【事前・事後学習課題】 8回～14回目の授業内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。（提出期限：次回授業終了時）

**第15回** 【授業テーマ】 感染症のいまと私たちの暮らし

【内容・方法 等】 現代に生きる私たちにとって、感染症をどう位置づけ、個人及び社会全体として感染症から我々を守るために必要な処置や知恵について考える。感染症とバイオテロについて、日本と米国での事件例を概説し、その対策を紹介する。

【事前・事後学習課題】 授業開始までに1回～14回の講義内容を事前に直直し、それまでに配布した資料を授業時に持参すること。

**評価方法（基準）**

定期試験（記述問題、正誤問題、総合問題）で評価する。理解度確認レポートの内容も評価の対象とする。100点満点中60点以上で合格。

**教材等**

教科書…特に定めず

参考書…「感染症と生体防御」河原和夫他著、放送大学教育振興会（2800円）；「感染症とたたかう」岡田春恵他著、岩波書店（740円）；「現代の感染症」相川正道他著、岩波書店（630円）；「人類vs感染症」岡田春恵著、岩波書店（800円）；「Disease 人類を襲った30の病魔」小林力訳、医学書院（3990円）；「現代免疫物語」岸本忠三他著、講談社（940円）

**学生へのメッセージ**

文系、理系を問わず感染症に興味のある学生の受講を勧めます。感染症の歴史と原因物質の解説のみならず、その感染症の発生した歴史的背景や時代背景、そこで取り上げられた文学を絵画についても紹介する。

**関連科目**

生物学

**担当者の研究室等**

薬学部1号館5階、E-mail: ag193101@bca.bai.ne.jp

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「健康科学」**  
Health Science

藤林真美 (フジバヤシ マミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。

本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：「A1」

**授業方法と留意点**

レジュメを配布する。

**科目学習の効果（資格）**

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション

【内容・方法 等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。

【事前・事後学習課題】 配布資料

**第2回** 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱

【内容・方法 等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。

【事前・事後学習課題】 配布資料

**第3回** 【授業テーマ】 身体の生理機能

【内容・方法 等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？  
生体の生理について復習する。

【事前・事後学習課題】 配布資料

**第4回** 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以

【内容・方法 等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動

トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。

- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 運動トレーニングで何がかわるのか？  
**【内容・方法等】** 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？  
**【内容・方法等】** 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 基礎栄養学  
**【内容・方法等】** 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 食生活と健康  
**【内容・方法等】** 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** ダイエット計画  
**【内容・方法等】** 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 女性の健康・男性の健康  
**【内容・方法等】** 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** ストレスマネジメント  
**【内容・方法等】** 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルズ、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。また他の精神障害についても概説する。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 睡眠  
**【内容・方法等】** 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** アルコールと喫煙、薬物、性感染症  
**【内容・方法等】** アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 高齢者の介護予防と運動  
**【内容・方法等】** わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 配布資料  
**【授業テーマ】** 総括  
**【内容・方法等】** 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。

**評価方法（基準）**  
 主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

**教材等**

教科書…特に指定しない  
 参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

**学生へのメッセージ**

皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

**関連科目**

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

**担当者の研究室等**

総合体育館1階 藤林研究室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと企業成長」**  
 Marketing and Growth of business

武居 奈緒子 (タケスエ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

この講義では、マーケティングに関する基本的知識を習得することを目的としています。マーケティングとは、企業の対市場活動であり、市場競争の活動のことをさします。マーケティングの基本は、企業が、消費者のニーズを把握して、それに適合する商品・サービスを提供することです。この基本にそって、マーケティングについての理解を深めてもらうとともに、マーケティング的発想で考える能力を養ってもらえればと思います。

**授業方法と留意点**

講義が中心ですが、ビデオも活用し、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

**科目学習の効果（資格）**

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
**【内容・方法等】** マーケティングの全体像を示します。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第2回** 【授業テーマ】 マーケティング志向  
**【内容・方法等】** マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第3回** 【授業テーマ】 製品政策  
**【内容・方法等】** ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第4回** 【授業テーマ】 価格政策  
**【内容・方法等】** 価格の設定方法について考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第5回** 【授業テーマ】 流通チャネル政策  
**【内容・方法等】** 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第6回** 【授業テーマ】 販売促進政策  
**【内容・方法等】** 商品のアピールの仕方について考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第7回** 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ  
**【内容・方法等】** 市場細分化、製品ライフサイクルについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第8回** 【授業テーマ】 消費行動  
**【内容・方法等】** 消費者の購買意思決定過程について考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第9回** 【授業テーマ】 マーケティング概念の拡張  
**【内容・方法等】** 大学のマーケティング、地方公共団体のマーケティングについて考えます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第10回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（1）  
**【内容・方法等】** マーケティング・リサーチの意義と方法について解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第11回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（2）  
**【内容・方法等】** 質問票を作成していきます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第12回** 【授業テーマ】 戦略分析（1）  
**【内容・方法等】** 競争の3角形、企業の成長戦略、企業の資金配分の仕方について解説します。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第13回** 【授業テーマ】 戦略分析（2）  
**【内容・方法等】** ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について学習していきます。  
**【事前・事後学習課題】** 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第14回** 【授業テーマ】 戦略分析（3）



【内容・方法等】 バリュチェーン分析、SWOT分析について学習していきます。

【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 全体のまとめをします。

【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。

評価方法 (基準)

期末テストの成績70%、授業内課題30%

教材等

教科書…講義時に指示します。

参考書…その都度、指示します。

学生へのメッセージ

授業で提示される問題・課題に真摯に取り組ましよう。

関連科目

マーケティング論

担当者の研究室等

武居教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「高齢者の生活とケア」 Promotion of QOL of the Elderly				
石橋文枝 (イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国は、少子高齢社会、特に高齢社会は、高齢化率20%を超える超高齢社会です。人のライフステージの最終段階は老年期その先は死です。誰もが必ず迎える未来です。人は日々成長・発達をしていきます。老年期に入っても同様です。この講座では、高齢者理解を目的としています。老年期を生きること、老いとは何かをさまざまな視点で考えます。そして、超高齢社会を生きる高齢者の「生活実態・生活の質」に必要な支援方法について学ぶ。

授業方法と留意点

授業計画に沿って、進めていきます。講義を中心に進めていきますが、高齢者に対する制度、政策の理解も重要ですが、まず、視聴覚教材(DVD)や高齢者疑似体験などを取り入れ、老年期を生きることの理解と個人の老人観を描ける時間にしていきます。講義前後にレポート課題を出しますので、欠席をしないよう出席をしてください。1時間限目の講義ですので、遅刻のないよう1日のタイムスケジュールを立て取り組んでください。

科目学習の効果 (資格)

若者のAgeismの払拭と高齢者支援に必要な「私にできること」の自覚を持つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 老いるとは

【内容・方法等】 「老いるとはどういうことか」講義と学生

個々の発表を通して高齢者像を明確にする。

我が国の高齢者人口と今後の推計から考えられること

……… 講義

ライフステージの老年期について

【事前・事後学習課題】 事前課題：老いることについて 1.身体的 2.精神的 3.社会的にどのような変化が生じるかレポートする

事後課題：次回テーマの参考文献の配布資料を読んでくる

第2回 【授業テーマ】 老いるとは

【内容・方法等】 老い-排除と差別：今村仁司 老いの明暗

：山折哲雄 老いる身体：栗原彬

3文献をもとに老いについて講義する

【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする

第3回 【授業テーマ】 老人の歴史

【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人の

を文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみ

られ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 参考文献

老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者

4800円

第4回 【授業テーマ】 老人の歴史

【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人の

を文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみ

られ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 参考文献

老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者

4800円

第5回 【授業テーマ】 日本における高齢者の歴史

橋山節考に見る高齢者

【内容・方法等】 日本における高齢者の歴史 講義

橋山節考に見る高齢者 DVD鑑賞

【事前・事後学習課題】 日本の歴史 2013.1月号事後課題：

私の老いについてレポートしなさい

第6回 【授業テーマ】 日本における高齢者の歴史

橋山節考に見る高齢者

【内容・方法等】 橋山節考に見る高齢者像 DVD 鑑賞

【事前・事後学習課題】 橋山節考 深沢七郎 新潮文庫

420円

第7回 【授業テーマ】 高齢者の不安

お年寄りの願い 「びんぴんころり」

【内容・方法等】 健康高齢者の実態

認知症について

認知症を持つ人を支える

要介護高齢者 講義中心

【事前・事後学習課題】 事前学習：認知症について 症状・問

題点について調べておく

第8回 【授業テーマ】 高齢者と家族

【内容・方法等】 家族とは

要介護者と家族の実態

【事前・事後学習課題】 事前学習

介護保険とは

第9回 【授業テーマ】 地域で支える支援

地域包括支援センター

介護保険サービス

【内容・方法等】 フォーマルサービスと地域支援システムに

ついて 講義

【事前・事後学習課題】 講義終了時に提示します

第10回 【授業テーマ】 高齢者を理解する -高齢者体験-

【内容・方法等】 高齢者模擬体験

【事前・事後学習課題】 事後：高齢者体験の感想

第11回 【授業テーマ】 人生の終わりを考える

「終わりよければすべてよし」

【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞

【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてくだ

さい

第12回 【授業テーマ】 人生の終わりを考える

「終わりよければすべてよし」

【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞

【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてくだ

さい

第13回 【授業テーマ】 高齢者の孤独について

【内容・方法等】 高齢者の孤独の著書(25人の高齢者の孤

独の語り) 抜粋文献から

高齢者理解：講義

【事前・事後学習課題】 文献紹介：高齢者の孤独 ビアギド・

マスン&ピーター・オーレンス編 1890円

第14回 【授業テーマ】 老いの近未来学

【内容・方法等】 老いをどう創めるか 日野原重明 文献よ

り

【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポート

する

第15回 【授業テーマ】 我が国の世代間関係について

【内容・方法等】 世代間関係と交流の実際について：講義

【事前・事後学習課題】 事前課題：テーマ「高齢社会日本にお

ける私の役割について」レポート

評価方法 (基準)

適宜、実施するレポート課題を持って評価。

教材等

教科書…購入不要

参考書…講義中に紹介。

学生へのメッセージ

みなさんは、老年期から考えると人生の2/3地点で、まさに青春

を謳歌できる「時」ときです。この土台を作ってくれた先人の

ことを考えてみましょう。若いときは一瞬です。そして、ライ

フステージは、逆戻りができません。人生の最終段階を生きる

とはどういうことか、いずれ私たちも足を踏み入れるステー

ジです。高齢社会と聞くと先行きが暗いと思うかも知れませんが

どうだろうか？と考える時間にしましよう。

関連科目

-

担当者の研究室等

摂南大学 枚方校 7号館 3階 第9教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」 Theory of Budo				
横山喬之 (ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。  
また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やものの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。

**授業方法と留意点**

講義形式で授業を進める。

**科目学習の効果（資格）**

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 授業内容の説明と武道について  
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回** 【授業テーマ】 武道とは何か  
【内容・方法 等】 武道の意味や限後について概説する  
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回** 【授業テーマ】 武道の特性1  
【内容・方法 等】 武道のわざとかたの捉え方について  
【事前・事後学習課題】 「かた」について調べてくる
- 第4回** 【授業テーマ】 武道の特性2  
【内容・方法 等】 武道の文化論と人間教育について  
【事前・事後学習課題】 武道から得たことについて考えをまとめる
- 第5回** 【授業テーマ】 武道の身体技法1  
【内容・方法 等】 武道特有の身体技法について  
【事前・事後学習課題】 どのような動きがあるのかを調べる
- 第6回** 【授業テーマ】 武道の身体技法2  
【内容・方法 等】 身体技法を実践する(総合体育館)  
【事前・事後学習課題】 日常の動きとどのように違うかを実際に感じる
- 第7回** 【授業テーマ】 武道とスポーツ1  
【内容・方法 等】 武道とスポーツの相違点について  
【事前・事後学習課題】 スポーツについて調べてくる
- 第8回** 【授業テーマ】 武道とスポーツ2  
【内容・方法 等】 武道の歴史の変遷について  
【事前・事後学習課題】 どのような歴史があるかを考える
- 第9回** 【授業テーマ】 柔道の創始1  
【内容・方法 等】 嘉納治五郎について  
【事前・事後学習課題】 嘉納治五郎について調べてくる
- 第10回** 【授業テーマ】 柔道の創始2  
【内容・方法 等】 嘉納治五郎と講道館柔道について  
【事前・事後学習課題】 講道館柔道について調べてくる
- 第11回** 【授業テーマ】 柔道における教育的価値1  
【内容・方法 等】 体育・勝負・修身の目的について  
【事前・事後学習課題】 練習と稽古の違いについて調べてくる
- 第12回** 【授業テーマ】 柔道における教育的価値2  
【内容・方法 等】 乱取と形について  
【事前・事後学習課題】 修行の目的について調べてくる
- 第13回** 【授業テーマ】 武道とスポーツ3  
【内容・方法 等】 武道の国際化について  
【事前・事後学習課題】 どのように武道が世界に広まったかを調べてくる
- 第14回** 【授業テーマ】 武道とスポーツ4  
【内容・方法 等】 柔道の歴史の変遷とオリンピックについて  
【事前・事後学習課題】 柔道とオリンピックの関係について調べてくる
- 第15回** 【授業テーマ】 教育現場における武道  
【内容・方法 等】 教育現場における武道の位置づけについて  
【事前・事後学習課題】 自分が行ってきた武道について考えてくる

**評価方法（基準）**

試験・小テスト・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。  
テスト60%、平常態度40%で評価を行う。

**教材等**

教科書…特に指定はしない。  
参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007  
藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不昧堂出版 2007  
村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012  
『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

**学生へのメッセージ**

質問等がある場合には、横山助教室に来てください。

**関連科目**

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ  
生涯スポーツ実習  
健康論  
保健論

**担当者の研究室等**

総合体育館1F横山助教室

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning!**

澤井 健二 (サワイ ケンジ)  
石田 裕子 (イシダ ユウコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

概要：摂南大学に近い寝屋川市立池の里市民交流センターでは、主に子どもたちを対象とした環境学習を行っている。これに学生が参加・協力することで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となるよう目指す。また、淀川水系を中心とした流域連携活動を行うことで、地域の水辺環境の保全や親水活動の普及に努める。

目的：摂南大学の学内及び隣接する寝屋川第4水路ならびに近隣の小学校である寝屋川市立桜小学校に隣接する水路においてビオトープを整備する。池の里市民交流センターの活動に関わり、淀川水系での流域連携を向上させる。

達成目標：学生は地域の子どものための環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系の環境保全について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

連携内容・方法：寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援・活動に参加しプログラムを企画、実践する。淀川愛好会の流域連携活動に参加し、自分たちの活動内容について発表する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト  
内容：

1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
2. 寝屋川市内の河川と水路の現状把握および水路を活かしたビオトープ整備の意義の理解
3. 地域との協働によるビオトープ整備の実践
4. ビオトープ整備による、生物環境と住民の関心の向上の検証
5. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表

方法：授業のうち半分(月1回)は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、澤井・石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分(月1回)は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。学外発表の場として、近畿水環境交流会(7月)、いい川・いい川づくりワークショップ(9月)を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部生命科学科生態環境学研究室、都市環境工学科水辺環境創出研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。また、本学園OBである、大阪理化学株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。

事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

**評価方法・評価基準**

授業(イベントを含む)に積極的に参加し、水辺環境の再生活動に加わること。(60%)  
水辺再生の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。(40%)

**教材等**

教科書…特になし  
参考書…特になし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based Learning!**

宮本 征一 (ミヤモト セイイチ)  
榎 愛 (サカキ アイ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

プロジェクト名称 『居住空間リノベーションの温熱環境アセスメント』

近年の居住空間は、建設技術の発展やエネルギーに支えられて、新しく造り出される居住空間は快適で健康的な空間が造り出されつつあります。しかし、現存している居住空間には、暑い・寒いなどの温熱的不快を感じる空間もあり、リノベーション（リフォーム）が必要な空間も多くあります。その際の温熱環境について事前評価（アセスメント）することは、有用な手法です。また、CADやCGなどを用いて対策案をプレゼンテーションすることで、対策後の空間を事前に伝え、共有することができます。連携する設計事務所と共同で事前評価を行い対策を考え、プレゼンテーションし、実際に施工することを目的とします。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

温熱環境の測定勉強会および実習を、4月から6月の間に10回程度行い、建築環境測定の基礎知識とプレゼンテーション技術を得てもらいます。

その後、連携する設計事務所等から依頼された居住空間で測定および分析を行います。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

4月から6月の放課後：温熱環境の測定に関する勉強会および実習（週1回程度）

温熱環境について（1回）、測定機器について（2回）、データ処理・分析について（5回）、温熱環境の実習（2回）

6月以降：実際の居住空間におけるの測定および分析

**評価方法・評価基準**

積極的にプロジェクトに参加しているかどうか。

自発的な行動ができてきているかどうか。

参加点 80点

成果点 20点

**教材等**

教科書…室内温熱環境測定規準・同解説（日本建築学会）定価1500円

参考書…特になし。

**備考**

自発性を重んじますので、積極的に行動できる人を望みます。学外での測定のための交通費などが多少かかります。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based LearningI**

橋本正治（ハシモト マサハル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う。地域住民と協働して装置の設置・運用などをおこなない、得られたエネルギーは、地域住民との鳥獣被害対策のために利用されている電気柵など地域に特有なものや、災害時の支援設備としての利用をはかる。

達成目標：製品の必要性にはじまり、実際に使う人達から評価を受けるまでの「ものづくり」を体験する

ことで、座学では得られない問題点や拘束条件に対応する能力を育む。加えて地域の人々と関わり、協働し、使い手の顔がみえる製作体験を通じて、ものづくりに関わる技術者としての社会的な責務を体験・修得する

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

授業計画：

1 グリーンエネルギーの必要性と現状について過疎地域を調査し、対象とする地域の活性化に資するエネルギーシステムの概要を決定する。

2 設計・試作を行う。

3 地域住民と協働し設置作業を行い、性能評価・問題点の抽出を行う。（評価などは関連する地域団体と共に、利用者の視点を意識する）

4 改善方法の提案と製品の改良を行い、総合的な評価を行う。プロジェクトは5人程度の小グループに分け実施する

**評価方法・評価基準**

活動への参加が最低限の条件となる

活動状況を総合的に判断して評価する

**教材等**

教科書…なし

参考書…なし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based LearningI**

池田博一（イケダ ヒロカズ）  
一色美博（イツシキ ヨシヒロ）  
小川直樹（オガワ ナオキ）  
丸山隆三（マルヤマ リュウゾウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

[授業概要・目的]

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。

蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。ただし、今年度は蒸気機関車などのものづくりに重点を置く。

[到達目標]

蒸気機関車などのものづくり技術を能動的に習得すること。

学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

週1回のミーティングで今後の計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自立的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続する。

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

**評価方法・評価基準**

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

**教材等**

教科書…なし

参考書…なし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」  
Project Based LearningI**

池内淳子（イケウチ ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

【プロジェクトテーマ】

すさみ町における津波避難対策プロジェクト2013＝人的被害軽減を目的として＝

【授業概要と目的】

東日本大震災は、東北地方沿岸部に津波による壊滅的被害をもたらせた。和歌山県すさみ町は、紀伊半島の先端に位置し、過去の東海地震においても津波被害に遭遇した経験を持つ。本プロジェクトでは、昨年・一昨年と、すさみ町すさみ地区および江住地区において津波災害に対する人的被害軽減策を模索する活動を実施してきた。成果については、1年目はすさみ町役場職員と活動地区の代表者のみに対し報告したが、2年目は役場からの地区住民に対し広く案内され、多くの住民に参加して頂き活発な意見交換を頂いた。本プロジェクトの目標は、履修者が自然災害における人的被害を理解すること、フィールドワークを通じてコミュニケーション能力を向上し、生活者に寄り添った対策案を考案することにあり、これらを通じてすさみ町の津波

災害に対する人的被害低減に貢献したいと考える。このためには、防災に関する啓蒙・普及活動としてのアウトリーチ活動が重要であり、これらの活動を通じて履修者のチームワーク力を向上することを目標とする。

**【到達目標】**

自然災害における人的被害を理解し、現地調査を通じて企画立案能力を育成する。また、町民との対話を通じて社会ニーズを理解し、コミュニケーション能力の向上を図る。さらに、アウトリーチ活動ではチームワーク力の向上を図る。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

- ・大学内においては、東日本大震災や他の自然災害事例について調べ学習を行うことで、自然災害による被害状況の理解し、被害が与える地域社会への影響について学ぶ。
- ・長期休暇中および学校休校日にすさみ町の現地調査を実施し、町民との意見交換会に参加する。
- ・防災教育活動（アウトリーチ活動）は、大学周辺地域やすさみ町等で実施する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

- (1)2011年度の調査結果および津波避難対策の理解
- (2)東日本大震災による津波被害に関する学び
- (3)今年度活動テーマの決定（すさみ町における町民との対話を通じた避難対策の考案方法）
- (4)2012年和歌山県津波避難訓練への参加 ※すさみ町との協議による
- (5)すさみ町の津波に対する人的被害軽減策の考案
- (6)すさみ町における発表会 ※すさみ町との協議による
- (7)防災教育活動準備と実施 ※時期は適宜

**評価方法・評価基準**

目標達成までのプロセスを重視し、活動への積極性と貢献度を評価する。

**教材等**

- 教科書…別途配布する
- 参考書…別途配布する

**備考**

・本プロジェクトは、すさみ町役場およびすさみ町住民の皆さんのご協力のもと遂行される。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning!

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

- ①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
  - ②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
  - ③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
  - ④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
  - ⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。
- 学科の学習・教育目標との対応：[A]

**授業方法と留意点**

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

- すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のインプタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

**評価方法・評価基準**

レポート、参加態度を総合的に評価する。

**教材等**

- 教科書…特に無し。
- 参考書…特に無し。

**備考**

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning!

佐井 英子 (サイ ヒデコ)  
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等は、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営

内容：

- I 経営、マネジメント、経営戦略、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
  - II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
  - III 小学生に指導する。
    1. 名刺をつくらう
    2. 株式会社って何だろう
    3. 株式会社をつくらう
    4. 商売って何だろう。儲けてなんだろう
    5. 経営計画をたてよう
    6. マーケティングをしよう
    7. 商品企画書の作成しよう
    8. 銀行にお金を借りよう
    9. 実際に販売してみよう
    10. 帳簿をつけて決算書をつくらう
      11. 税金を納めよう
      12. 決算書を作成しよう
      13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。
- 講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。
- 事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

**評価方法・評価基準**

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。

**教材等**

- 教科書…特になし
- 参考書…必要に応じて適宜指定します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning!

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)  
牧野 邦昭 (マキノ クニアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

都市と地方をむすぶツーリズム（観光と地域振興）  
大都市圏住民の観光ニーズと潜在的な観光資源をもつ過疎地域を結びつけるエコツーリズム、グリーンツーリズムの可能性をさぐります。

到達目標：ポスト・マストツーリズムとして、都市と地方を結ぶツーリズムの可能性をさぐり、またそれが地域振興にどのように結びつくかを知り、現実に応じた企画提案ができるようになることです。一般的にいえば、就業力、つまり創造的な仕事を企画・実施する社会的能力（コミュニケーション、責任感、

整理・記録・総括・反省)を身につけることが目標です。

**授業方法と留意点**

寝屋川市および摂南大学と連携協定をもつ和歌山県すさみ町をフィールドとして、すさみ町と寝屋川市の交流実績に留意しつつ、ツーリズム研究をおこないます。

すさみ町の観光資源・観光客受け入れ体制の調査と寝屋川市などの住民のニーズ調査をおこない、それを結びつけるあり方を考えます。

学生たち自身で主体的に取り組むために、旅行の企画・実施・ニーズ調査・広告を行う「旅行社」を創設すると考えて、責任を分担し、記録を取りながら取り組みましょう。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

年間スケジュールとしては以下になるでしょう。

4月： 前年度本プロジェクトの総括/エコツーリズムの学習

5月連休： 参加可能な人は1回目のすさみ体験

6月・7月： すさみ町および南紀を目的地にした学生ツアーの企画・準備

9月： 学生向けパイロットツアー実施

10月-11月： 中間報告、すさみ物産フェアへの協力、都市住民の観光ニーズ調査

12月： 現地調査をふまえた宣伝・企画の提案

1-3月： 冬・春のツアープラン

火曜の昼休みに経済学部の演習室(1号館7階)でランチ持参の打ち合わせ会をもち、課題に応じて随時、時間を設定して作業ミーティングを行います。

**評価方法・評価基準**

活動への実質的参加を前提にした、地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップと創意工夫の評価(60%)、活動の成果をまとめたレポートの評価(40%)。

**教材等**

教科書…なし

参考書…なし

**備考**

すさみ町、および同町のNGO、寝屋川市などの関係機関団体と協力して実施します。

**教養特別講義 I~V「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning!

富岡直美(トミオカ ナオミ)  
水野武(ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

●授業概要： 様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自律的職業人を目指す。

●目的： 社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。

●到達目標： 役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。  
学科の学習・教育目標との対応：[II]

**授業方法と留意点**

- ①絵本や紙芝居について学ぶ。(外部講師)
- ②読み聞かせや紙芝居を練習する。
- ③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
- ④学生同士のピアラーニング。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

●テーマ： 紙芝居ボランティアを通じた社会貢献

●内容： 学生の関心事について取材し、そこで得た知見を通じて紙芝居を作成する。寝屋川市内の小中学校などを訪問し、紙芝居上演を中心としたイベントを実施する。

●方法： (月2回程度)

1. 役割分担をし、様々な立場の人にインタビューをする。
2. インタビュー内容を学生間で共有し、疑問点を調べる。
3. 自分の考えを表現するための紙芝居を作成する。
4. 紙芝居を用いたイベントを企画する。
5. 各種施設などに協力依頼をする。
6. 紙芝居ボランティアを実行する。
7. 振り返りを行い、改善する。

他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

**評価方法・評価基準**

参加態度・貢献度(50%)、報告書(20%)、成果物(30%)による総合評価

**教材等**

**備考**

参考書…余郷裕次(2010)『絵本のひみつ』南日本新聞社

●活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を発揮できる。

●絵本や紙芝居について(構成、読み聞かせなど)、専門的な知識を身につけることができるため、表現力(プレゼン能力)の向上が期待される。

**教養特別講義 I~V「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning!

羽石寛寿(ハネイシ カンジュ)  
黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)  
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。

概要：休耕田を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品創出、休耕地の活用計画を策定します。あわせて、交野市体験ツアーの企画も行います。

到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

**授業方法と留意点**

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
2. 交野市の住民や観光客へのヒアリングとアンケート調査を行います。
3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
4. 独自の計画案の作成に取り組み、市民にも公表します。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

1. 集団意思決定のための技術の習得

KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。

2. アンケート調査の方法の習得

経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します(他学科の学生も同様)。

3. 農産品とその加工、販売方法(6次産業化)に関する知識の習得

夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。

4. 観光ツアーに関する知識・情報の収集

夏休みなどを利用して、先進的な地域の着地型観光ツアーに参加し、その経験を生かせるようにします。

**評価方法・評価基準**

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度(回数、活動意欲、結果への貢献度、など)」をもとに評価します。

**教材等**

教科書…とくに指定しません。

参考書…入門書として役立つ、数冊の新書を紹介します。

**教養特別講義 I~V「摂南大学PBLプロジェクト」**  
Project Based Learning!

久保貞也(クボ サダヤ)  
針尾大嗣(ハリオ ダイジ)  
牧野幸志(マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

大学周辺地域の自治体、公的団体から地域の特徴や課題を学び、学生自らが地域の課題を探るための調査を企画、実施し、新たな課題を発見する。そして、その課題の解決に向けた学びへの興味を持ち、実践的な課題解決と総合的な学びを行いながら、社会に貢献できる学生の活動を目指す。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [II]

**授業方法と留意点**

「地域を知る」

自治体の観光担当部署や統計調査部門、商工会議所などから講演者を招き、地域の強みや魅力、現在注目されている取り組みなどを知る。また、地域におけるこれからの課題や期待される進展の方向性などを知る。

「地域を調べる」

インターネット上で行われている各地域の広報宣伝の実態を調査したり、実際に地域を訪れてフィールドワークを行ったり、現場の担当者の声を聞くなどして、今、地域で行われていること、起こっていることを調べる。

「地域を変えていく」

本プロジェクトで明らかになった地域の課題や現状に対して、改善や解決の提案を行い、その実施計画について検討を行う。そして、その実現に向けて自分たちが何をできるかを考え、次のアクションへと進む。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

テーマ：「地域を知り、地域を調べ、地域を変えていく」

内容：

- (1) 地域の魅力や課題を知る講演会
- (2) インタビューやアンケート調査
- (3) 先行事例や既存データの分析
- (4) 現地視察や見学
- (5) 今後についての検討

方法：月2、3回程度、平日の5時限以降に行なう。また、その他に講演会や発表会などを年1、2回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理教室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設である。

**評価方法・評価基準**

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

**教材等**

教科書…特になし

参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

**備考**

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」  
Project Based LearningⅠ**

**太田 義器 (オオタ ヨシキ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

テーマ： ビース・ツーリズム——学生が企画する学生対象の平和学習旅行プラン——

【授業概要・目的】

エコ・ツーリズムは環境学習を盛り込んだ旅行企画として世界的に定着している。同様に平和学習を盛り込んだ旅行プランとしてのビース・ツーリズムを開発することで、平和に対する関心を高めるといふ社会要請とともに旅行業の商品種の拡大という産業ニーズにも応えることを目指す。

【学生の到達目標】

共同作業に自分から参加する仕方、新しいことに取り組む姿勢、困難を前にしてあきらめずに解決方法を模索する力の成長。

受講生各自がまずそれぞれの成長目標を設定します。

理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

次のようなことが予定されています。

- ① 旅行商品プランの作り方についての基本を、提携先企業様から教えていただく
- ② 学生の旅行ニーズについてアンケート調査を実施する
- ③ 平和学習の仕方について外部講師から基礎的知識の提供をうける
- ④ PDCAについて、本学キャリア担当教員から教えていただく

受講生は、会社内のプロジェクト組織に模した組織体を構成し、全員で業務分担してプロジェクト実行プランに基づいて活動します。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

【プロジェクトの達成目標】 学生対象の平和学習旅行プランの商品化

おおよそ次のようなスケジュールを予定しています。

商品概要の設計(4～7月)→商品採用検討先企業開拓営業(7～10月)→トレードフェア参加(11月)

営業先企業様からの意見への対応策の検討(7～10月)

現地調査(8月)

→採用検討先企業様でのプレゼン(12月)

**評価方法・評価基準**

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します。

**教材等**

教科書…なし

参考書…適宜、指導します。

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」  
Project Based LearningⅠ**

**内田 勝巳 (ウチダ カツミ)**

**田中 鮎夢 (タナカ アユム)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

モンゴルにおける環境保全を念頭に置いた地域開発の可能性を探る。モンゴルに関わりの深い個人や国際協力NGO等に対するインタビュー等を学生自ら企画し、モンゴル事情に関する理解を深める。次年度も継続できれば、モンゴルの環境NGOプロジェクトへの協力に発展させたい。

**授業方法と留意点**

学生が主体となり全員で協議しながらプロジェクト作りを進めていく。プロジェクトを開始するに当たり、そもそもプロジェクトとは何かについての説明(期間、予算、人的制約の下での目標設定)、援助機関が行っているプロジェクト形成手法(PCM)を紹介すること等により、学生が効率的に議論を行いプロジェクト形成ができるような基礎知識をあたえる。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

(1) モンゴルの自然・社会・経済・文化の情報収集

(2) モンゴルの社会開発等に携わってきた日本国内の個人・団体へのアンケートあるいはインタビューの実施と連携先のNGO事業の視察・打合せ

(3) 情報を整理・分析し、次年度の調査設計にフィードバックする

**評価方法・評価基準**

活動におけるリーダーシップおよび協議への参加(60%)、活動成果のプレゼンテーションとレポート作成(40%)

**教材等**

教科書…なし

参考書…なし

**教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」  
Project Based LearningⅠ**

**太田 義器 (オオタ ヨシキ)**

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

**授業概要・目的・到達目標**

ミュージカルをしよう！—摂大生と市民でつくるミュージカル・プロジェクト—

これは、学生提案によるPBL授業です。

【目的】 大学近隣の市民の方の参加を募り、ミュージカル公演を実現します。

【学生の到達目標】 共同作業をする力、困難を乗り越えるために考える力、新しい課題にとりくむ姿勢の向上を目指します。

理工学部の各学科の学習・教育目標との対応：「A」

**授業方法と留意点**

ミュージカル公演を実現するためには、たんに役者が練習するだけではなく、そのほかにもさまざまな共同作業が必要になります。

ミュージカル公演実現に必要なほとんどすべての活動を、学生のみで運営します。

**授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題**

おおよそ次のようなスケジュールが考えられます。

4月 履修者による組織の立ちあげ(役割分担、演目決定、年間スケジュールの作成)

5月 市民参加の呼びかけ

6月 練習スタート

10月 公演広報の開始

12月 公演実施

役者の他に、たとえば音響や照明スタッフ、連絡・調整を行うマネージャー、広報担当など参加の仕方はさまざまです。

**評価方法・評価基準**

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します

**教材等**

教科書…なし

参考書…みんなで探します。

**教師論**  
Teacher Education

朝日素明 (アサヒ モトアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

**授業方法と留意点**

講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

**科目学習の効果（資格）**

教員免許取得上必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教職の意義等に関する科目

各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む）・進路選択に資する各種の機会の提供等

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション  
教職への道  
【内容・方法 等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明  
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり  
教職課程の履修動機  
教師になることの意味  
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオのリマインダ設定」  
本科目のシラバスの熟読
- 第2回** 【授業テーマ】 教職の成立とその意義  
【内容・方法 等】 公教育の成立  
教職の誕生  
戦前の教員養成  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章
- 第3回** 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（1）  
【内容・方法 等】 教員への道  
戦後教員養成の原則と制度  
教員免許制度の確立  
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章
- 第4回** 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（2）  
【内容・方法 等】 教員免許制度の新たな展開  
教員採用の動向と採用試験  
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章・第12章
- 第5回** 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（3）  
【内容・方法 等】 教員の研修の意義  
教員の研修の種類と体系  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章
- 第6回** 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（4）  
【内容・方法 等】 法定研修  
教員の自己研修  
【事前・事後学習課題】 教員研修体系に関する配布資料  
テキスト第11章
- 第7回** 【授業テーマ】 さまざまな教師像（1）  
【内容・方法 等】 戦前・戦後の教師像  
憧れの教師  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章・終章
- 第8回** 【授業テーマ】 さまざまな教師像（2）  
【内容・方法 等】 「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）  
【事前・事後学習課題】 「不良教師」に関する配布資料
- 第9回** 【授業テーマ】 さまざまな教師像（3）  
【内容・方法 等】 「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）  
【事前・事後学習課題】 「熱血教師」に関する配布資料
- 第10回** 【授業テーマ】 さまざまな教師像（4）  
【内容・方法 等】 「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）  
【事前・事後学習課題】 「人間教師」に関する配布資料
- 第11回** 【授業テーマ】 さまざまな教師像（5）  
【内容・方法 等】 「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像

の探究)

- 第12回** 【事前・事後学習課題】 「プロ教師」に関する配布資料  
【授業テーマ】 教員の役割・職務（1）  
【内容・方法 等】 教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務  
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章・第8章
- 第13回** 【授業テーマ】 教員の役割・職務（2）  
【内容・方法 等】 学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務  
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章  
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料
- 第14回** 【授業テーマ】 教員の役割・職務（3）  
【内容・方法 等】 教員の任用と身分  
教員の服務と身分保障  
教員の勤務条件  
【事前・事後学習課題】 教員の任用・服務等に関する配布資料
- 第15回** 【授業テーマ】 教員の役割・職務（4）  
【内容・方法 等】 教員のメンタルヘルス、バーンアウト  
教育改革と教員  
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章

**評価方法（基準）**

定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

**教材等**

教科書…佐島群巳・小池俊夫『新版 教職論』学文社（1,600円＋税）

参考書…授業中に適宜、指示します。

**学生へのメッセージ**

教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることになります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。  
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

**関連科目**

教科科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

**担当者の研究室等**

7号館3階 朝日研究室

**備考**

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

**教育原理**

Educational Principles

村田俊明 (ムラタ トシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達は誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性和可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

**授業方法と留意点**

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

**科目学習の効果（資格）**

(1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得 (3) 学芸員資格の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 教育とは何かを考える  
【内容・方法 等】 (1) オリエンテーション-教職課程と履修動機- (2) 教育の意味-自らの経験に学ぶ- (3) 「学ぶ」立場から「教える」立場へ  
【事前・事後学習課題】 予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える

- 【内容・方法 等】** (1) 教育の必要性と可能性 (2) 野生児の記録
- 【事前・事後学習課題】** 予習：もし教育を受けることがなかったなら、どのようになるかについて考え、まとめておく。
- 第3回** **【授業テーマ】** 人間形成のしくみを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教育・教化・形成 (2) 人間形成と発達課題 (3) からだと心の教育 (4) ことばと文化の学習
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代の発達課題について考え、まとめる。
- 第4回** **【授業テーマ】** わが国における教育としつけを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 子どもの社会化 (2) しつけと教育
- 【事前・事後学習課題】** 予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。
- 第5回** **【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(1)
- 【内容・方法 等】** ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教科書「教育の思想－教育はどう考えられてきたか－」を読んでおく。
- 第6回** **【授業テーマ】** 教育の思想－教育はどう考えられてきたか－(2)
- 【内容・方法 等】** ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどる。ヘルバルト、オーエン、ケルシェンシュタイナーなど、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。
- 第7回** **【授業テーマ】** 教育の思想－わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
- 【内容・方法 等】** 福沢諭吉と「学問のすすめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。(NHKスペシャル「明治第一集 ゆとりか、学力か」視聴)
- 【事前・事後学習課題】** 復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめて提出する。
- 第8回** **【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (1)
- 【内容・方法 等】** (1) 「学制」と「被仰出書」 (2) 教育勅語
- 【事前・事後学習課題】** 予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。
- 第9回** **【授業テーマ】** 教育の理念と目的について考える (2)
- 【内容・方法 等】** (1) 憲法の教育規定 (2) 教育基本法を学ぶ－旧法・新法の比較を通して－ (3) 学校教育法と教育の機会均等
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現行教育基本法の内容を確認する。
- 第10回** **【授業テーマ】** 学校の歴史的な意味と課題を考える
- 【内容・方法 等】** (1) 学校とは何か (2) 学校の発達 (3) 学校教育の展開と二つの歴史のエポック
- 【事前・事後学習課題】** 予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。
- 第11回** **【授業テーマ】** 教育の再生と学校改革
- 【内容・方法 等】** (1) 教育改革の系譜 (2) 自律的学校の創造 (3) 「生きる力」と学力向上
- 【事前・事後学習課題】** 予習：現代学校改革の課題についてレポートする。
- 第12回** **【授業テーマ】** 「教えること」と「学ぶこと」について考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教える・学ぶの成立条件 (2) 「学ぶ力」と「生きる力」
- 【事前・事後学習課題】** 予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。
- 第13回** **【授業テーマ】** 授業とは何かを考える
- 【内容・方法 等】** (1) 授業をつくる (2) 授業と教材 (3) 授業の形態と技術 (4) 授業と評価 (5) 教育評価の意味を考える
- 【事前・事後学習課題】** 予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。
- 第14回** **【授業テーマ】** 教師のしごとについて考える
- 【内容・方法 等】** (1) 教師のしごと (2) 子どもとの信頼関係 (3) 教育公務員としての教師 (4) 教師の成長と同僚
- 【事前・事後学習課題】** 予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。
- 第15回** **【授業テーマ】** 討論と反省
- 【内容・方法 等】** 討論 教育原理を学んで得た新たな知見について
- 【事前・事後学習課題】** 復習：二年度以降の教育学学習の課題を明確にする。

**評価方法 (基準)**  
定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

**教材等**

教科書…村田俊明 橋本はる美『教育探求の基礎』(税務経理協会)、2012年、2940円  
参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』(福村出版) 1470円  
平沢茂編著『教育の方法と技術』(図書文化) 2000円  
小林恵『学習指導要領』の現在』(学文社) 2800円

**学生へのメッセージ**

①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

**関連科目**

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

**担当者の研究室等**

7号館3階(村田研究室)

**教育心理学**  
Educational Psychology

吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とする。本科目では、特に以下の3点に焦点を当てて議論していく。すなわち、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」である。また、「個に応じた教育」について、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育についても考える。

**授業方法と留意点**

講義形式で行う。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許状取得上必修。免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」6単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 (障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)。

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** **【授業テーマ】** ガイダンス  
**【内容・方法 等】** 授業内容、授業の進め方、評価基準等について。教育に対して心理学ができること  
**【事前・事後学習課題】** —
- 第2回** **【授業テーマ】** 教育を支える認知発達1  
**【内容・方法 等】** 言語……言語とは何か、言語の機能、言語の発達  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第11章を読む
- 第3回** **【授業テーマ】** 教育を支える認知発達2  
**【内容・方法 等】** 思考……人間の思考の特徴、思考の発達  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第8章、第9章を読む
- 第4回** **【授業テーマ】** 教育を支える認知発達3  
**【内容・方法 等】** 記憶……記憶のメカニズム、記憶の発達  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第4章、第5章を読む
- 第5回** **【授業テーマ】** こどもの学び1  
**【内容・方法 等】** 様々な学習……学習とは何か、条件づけ、観察学習  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第0章の3、テキスト第1章を読む
- 第6回** **【授業テーマ】** こどもの学び2  
**【内容・方法 等】** 学ぶ方法いろいろ……メタ認知、学習観  
**【事前・事後学習課題】** テキスト第7章を読む
- 第7回** **【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ1  
**【内容・方法 等】** 意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感  
**【事前・事後学習課題】** 教科書第2章、第3章を読む
- 第8回** **【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ2  
**【内容・方法 等】** さまざまな学習意欲 (1) ……外発的動機づけ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書第2章、第3章を読む
- 第9回** **【授業テーマ】** 学習を支える動機づけ3  
**【内容・方法 等】** さまざまな学習意欲 (2) ……内発的動機づけ  
**【事前・事後学習課題】** 教科書第2章、第3章を読む



**第10回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ4  
【内容・方法 等】 学習意欲を育むために……報酬と罰、評価、目標  
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む

**第11回** 【授業テーマ】 学習を支える人間関係1  
【内容・方法 等】 教師と生徒との関係……教師のモノサシ、教師期待効果、リーダーシップ  
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の2を読む

**第12回** 【授業テーマ】 学習を支える人間関係2  
【内容・方法 等】 生徒同士の関係……仲間の意味、仲間関係の発達  
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章、12章を読む

**第13回** 【授業テーマ】 個に応じた教育1  
【内容・方法 等】 個人差の理解と教育……ATI、学習方略  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章の3、テキスト第6章を読む

**第14回** 【授業テーマ】 個に応じた教育2  
【内容・方法 等】 「障害」の理解と特別支援教育  
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読む

**第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

**評価方法 (基準)**  
小テスト30% 期末試験70%

**教材等**  
教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を实践～」藤田哲也 (編著) ミネルヴァ書房 (2800円)  
参考書…授業の中で随時紹介する。

**学生へのメッセージ**  
これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

**関連科目**  
心理学

**担当者の研究室等**  
7号館3階 (吉田研究室)

教育社会学 Sociology of Education				
村田俊明 (ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会的に研究する学問である。まず教科書をもとに基礎的知識について説明する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。さらに現代教育改革、とりわけ教員養成改革を例に、具体的データの収集と分析を通して教育社会学の研究視点と方法を理解する。

**授業方法と留意点**  
教育社会学を「基礎」と「応用」から構成し、教育社会学の基本的概念や予備知識について講述する。「基礎」「応用」ともに、パソコンを活用してデータの検索や分析等を行い、グループ等による発表を行う。

**科目学習の効果 (資格)**  
(1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得に必要です。  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教育の基礎理論に関する科目  
各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

**第1回** 【授業テーマ】 基礎 教育社会学とは何か  
【内容・方法 等】 教育社会学の課題と方法を知る  
社会化の意味と課題を知る  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (1-教育社会学とは) 「14-教育社会学の技法」を読んでくる。

**第2回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会と学校  
【内容・方法 等】 学校化の進展と構造について考える  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (6-学校制度の社会学) を読んでレポートを書いてくる。

**第3回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会の変貌と教育  
【内容・方法 等】 情報社会の教育と社会化について考える  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (3-社会化環境の構造変容) を読んでレポートを書いてくる。

**第4回** 【授業テーマ】 基礎 子どもと学校  
【内容・方法 等】 カリキュラムと教育的知識について考える  
学校の文化と教育空間の意味を考える

組織としての学校を考える

**【事前・事後学習課題】** 事前：教科書 (7-教室空間・学校空間と教育過程)：「8-カリキュラムと教育的知識」：「9-学校の組織と文化」) を読んで、レポートを書いてくる。

**第5回** 【授業テーマ】 基礎 階層・学歴・職業  
【内容・方法 等】 学歴社会と高等教育の発展について考える  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (「10-学校の社会的機能」「11-高等教育の社会学」「12-階層・学歴・職業」) を読んで、レポートを書いてくる。

**第6回** 【授業テーマ】 基礎 教育改革の動向と課題  
【内容・方法 等】 わが国の教育改革がめざしてきたものについて考える  
【事前・事後学習課題】 事前：教科書 (13-教育改革と学習社会) を読んで、レポートを書いてくる。

**第7回** 【授業テーマ】 基礎 教員問題の鳥瞰図  
【内容・方法 等】 教員問題の系譜と現在を知る  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データから、わかったことをレポートする。

**第8回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (1)  
【内容・方法 等】 日本の教師集団を検討する  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

**第9回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (2)  
【内容・方法 等】 教師像と養成の理念を考える  
教員の需給関係を考える  
【事前・事後学習課題】 事前課題 求められる教師について事前レポートを書いてくる。  
事後課題 配布データからわかることをレポートする。

**第10回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (3)  
【内容・方法 等】 教師と学校改善を考える  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

**第11回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (4)  
【内容・方法 等】 学校改善と学校評価を考える (1)  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

**第12回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (5)  
【内容・方法 等】 学校改善と学校評価を考える (2)  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

**第13回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (6)  
【内容・方法 等】 教員評価制度を考える (1)  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

**第14回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (7)  
【内容・方法 等】 教員評価制度を考える (2)  
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

**第15回** 【授業テーマ】 総括 教員問題の検証と教育社会学  
【内容・方法 等】 教師のライフコース、学校・教員の評価、教師としての「成長」などについて、総合的な討論を行う。  
【事前・事後学習課題】 事後課題 「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったことをレポートをまとめる。

**評価方法 (基準)**  
定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

**教材等**  
教科書…天野郁夫、藤田英典、荻谷剛彦『教育社会学』(放送大学教育振興会)、1998年、2310円  
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書 (平成22年度)』国立印刷局、6000円  
小林恵『学習指導要領の現在』(学文社) 2800円

**学生へのメッセージ**  
文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を持つ。レポートの提出、発表を求める。

**関連科目**  
「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

**担当者の研究室等**  
7号館3階(村田研究室)

**備考**  
共同担当者 橋本はる美

教育経営論 Studies of Educational Administration				
朝日素明 (アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにとってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体

的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用の仕方などによって決められている様子がわかります。

#### 授業方法と留意点

プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション (LTD; Learning Through Discussion) 等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

#### 科目学習の効果 (資格)

教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
 公教育とは  
 【内容・方法 等】 授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明  
 公教育の成立前史  
 教育における「公」と「私」  
 【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育権の構造  
 【内容・方法 等】 「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」  
 教育権論争について簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章1節を読んでくる。
- 第3回 【授業テーマ】 教育を受ける権利の保障  
 【内容・方法 等】 教育の制度原理  
 「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章2節を読んでくる。
- 第4回 【授業テーマ】 学校体系のしくみ  
 【内容・方法 等】 段階性、系統性  
 学校体系の類型  
 学校の種類と設置者  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章1・2節を読んでくる。
- 第5回 【授業テーマ】 学校体系の現代的課題  
 【内容・方法 等】 選別・分離と接続・統合  
 「選抜・選別」について簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章3節を読んでくる。  
 学校の機能に関する配布資料を読んでくる。
- 第6回 【授業テーマ】 教育条件整備の法制度と新しい動向  
 【内容・方法 等】 公教育を支える諸条件とは  
 条件整備はどのようになされるか  
 学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章2・3節を読んでくる。  
 学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。
- 第7回 【授業テーマ】 学校の組織管理  
 【内容・方法 等】 教職員配置と組織編制  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章1・2節を読んでくる。
- 第8回 【授業テーマ】 学校経営の新しい動向  
 【内容・方法 等】 「開かれた学校」  
 学校評議員制度、学校運営協議会制度  
 地域運営学校について簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章3・4節を読んでくる。  
 コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。
- 第9回 【授業テーマ】 教育課程経営  
 【内容・方法 等】 学習指導要領の性質と特徴の変遷  
 学力論争と教育評価論  
 学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章1・2節を読んでくる。  
 学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。
- 第10回 【授業テーマ】 教科書制度と指導行政  
 【内容・方法 等】 教科書検定  
 教科書採択  
 制度をめぐって簡単なグループワーク  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章3・4節を読んでくる。  
 教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。
- 第11回 【授業テーマ】 社会教育行政  
 【内容・方法 等】 社会教育と生涯学習  
 社会教育の理念と展開  
 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章1・2節を読んでくる。
- 第12回 【授業テーマ】 生涯学習社会への移行と生涯学習振興

【内容・方法 等】 社会教育行政の運営原則

社会教育の諸制度

社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク

【事前・事後学習課題】 テキスト第8章3・4節を読んでくる。  
 社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。

#### 第13回 【授業テーマ】 教育行政のはたらきと地方教育行政組織

【内容・方法 等】 教育行政の原則

教育委員会のしくみとはたらき

教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク

【事前・事後学習課題】 テキスト第2章1節を読んでくる。

教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。

#### 第14回 【授業テーマ】 国の教育行政と地方との関係

【内容・方法 等】 国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき

教育行政関係の新しい動向

【事前・事後学習課題】 テキスト第2章2・3節を読んでくる。

#### 第15回 【授業テーマ】 教育費と教育財政

【内容・方法 等】 教育財政の考え方

国・地方の教育費と教育財政

義務教育費国庫負担制度とその改革

学校財務

【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んでくる。

#### 評価方法 (基準)

定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

#### 教材等

教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学 改訂版』学文社 (1,800円+税)

参考書…授業中に適宜、指示します。

#### 学生へのメッセージ

教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資力が問われます。

#### 関連科目

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教育課程論」に関連する事項を含みます。

#### 担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

#### 備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するように設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

### 教育課程論

Studies of Curriculum Development

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修	2

#### 授業概要・目的・到達目標

(1) 教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で作成されていったかの歴史的経緯を考察する。また、それと学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。

(2) わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

#### 授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進める。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

#### 科目学習の効果 (資格)

教員免許 (中学校・高等学校) 取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：教育課程の意義及び編成の方法

#### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教師と教育課程論  
 【内容・方法 等】 ・教育課程の現代的課題  
 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp15-16
- 第2回 【授業テーマ】 教師と教育課程論  
 【内容・方法 等】 ・国際的な教育調査で問われている「学力」  
 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp16-17
- 第3回 【授業テーマ】 教師と教育課程論  
 【内容・方法 等】 ・教育課程編成の課題

- 第4回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp18-19  
**【授業テーマ】** 教育課程(カリキュラム)の概念と構造  
**【内容・方法等】** ・教育課程・学習指導要領とは何か
- 第5回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp21-22  
**【授業テーマ】** 教育課程(カリキュラム)の概念と構造  
**【内容・方法等】** ・潜在的カリキュラム
- 第6回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp23-25  
**【授業テーマ】** 日本における教育課程の変遷  
**【内容・方法等】** ・戦後教育の「振り子」と現在の課題
- 第7回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp85  
**【授業テーマ】** 日本における教育課程の変遷  
**【内容・方法等】** ・試案としての学習指導要領と経験主義
- 第8回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp85-87  
**【授業テーマ】** 日本における教育課程の変遷  
**【内容・方法等】** ・新教育批判と系統学習論、学習指導要領の「法的拘束力」
- 第9回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp88-90  
**【授業テーマ】** 日本における教育課程の変遷  
**【内容・方法等】** ・文部省の2つの現代化—能力主義をめぐる
- 第10回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp91-93  
**【授業テーマ】** 日本における教育課程の変遷  
**【内容・方法等】** ・学習指導要領の大綱化・弾力化・「ゆとり」
- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp95-97  
**【授業テーマ】** 欧米社会における教育課程の系譜  
**【内容・方法等】** ・近代以前の教育課程
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp70-74  
**【授業テーマ】** 欧米社会における教育課程の系譜  
**【内容・方法等】** ・近代の学校教育と教育課程論
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp74-78  
**【授業テーマ】** 欧米社会における教育課程の系譜  
**【内容・方法等】** ・「新教育」と現代の教育課程論
- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp.78-84  
**【授業テーマ】** 教育課程をめぐる諸問題  
**【内容・方法等】** ・総合的な学習と教育課程
- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp.140-146  
**【授業テーマ】** 教育課程をめぐる諸問題  
**【内容・方法等】** インクルージョンと教育課程

**評価方法(基準)**  
定期試験、レポート及び授業態度によって総合評価を行う。

**教材等**  
教科書…メインテキスト『教育課程』山崎 準二著 学文社(1800円)サブテキスト「中学校 学習指導要領」文部科学省(244円)「高等学校 学習指導要領」文部科学省(520円)  
参考書…『カリキュラムの批評』世織書房(5040円) その他、授業時に適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験を省察し、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

**関連科目**  
教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

**担当者の研究室等**  
7号館3階(深川研究室)

**備考**  
2009年度以前入学生は、(高校)教免取得上選択

道徳教育の研究 Studies of Moral Education				
村田 俊明(ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修(中免のみ)	2

**授業概要・目的・到達目標**  
道徳教育は、報酬と罰を上手にやれば、それで済むというものではない。一定の価値を伴う行動様式と生活態度を子どもの中に育む営みである。道徳教育の歴史を学び、わが国において道徳教育がどう展開されてきたかを知る。また子どもの道徳性はいかに発達するか。なぜいま道徳教育が必要なのか。学習指導要領「道徳」の内容を授業で、どう展開するかを考え、道徳授業の指導案づくりを行う。

**授業方法と留意点**  
教科書に基づいて道徳教育の歴史や道徳性の発達等について講述するほか、DVD等を視聴し、道徳教育のあり方について考え、理解を深める。さらに受講生が、実際に「道徳」授業の指導構

- 想(指導案)」を作成し、その発表と検討を行う。
- 科目学習の効果(資格)**  
中学校教諭1種免許状の取得に必要です。  
**【免許法施行規則に定める科目区分】**  
科目：教育課程及び指導法に関する科目  
各項目に含める必要事項：道徳の指導法
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 道徳教育と人間形成  
**【内容・方法等】** (1) 道徳教育がめざすもの(2) 道徳教育の現状と課題 (3) なぜ、いま道徳教育なのか—DVD「崩壊?日本人のモラル—」視聴  
**【事前・事後学習課題】** 予習：教科書「まえがき」「第3章」
  - 第2回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史—明治期—  
**【内容・方法等】** (1) 学制と「修身科」(2)「教学聖旨」「教育議」論争(3)教育勅語の成立と修身科教育  
**【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(9頁～14頁)
  - 第3回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史—大正・昭和前期—  
**【内容・方法等】** (1) 大正新教育と修身科 (2) 総力戦体制下の教育と修身科  
**【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(14～19頁)
  - 第4回 **【授業テーマ】** 道徳教育の歴史—戦後から現在—  
**【内容・方法等】** (1) 修身科の廃止と教育勅語の取り扱い(2) 社会科と新しい道徳教育(3) 道徳教育の振興と特設道徳  
**【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(19頁～38頁)
  - 第5回 **【授業テーマ】** 学習指導要領「道徳」の目的と内容  
**【内容・方法等】** (1) 学習指導要領「道徳」の目的 (2) 「道徳」の内容分析 (3) 指導上の留意点  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料の課題をしておく。教科書135頁～149頁を読んでおく。
  - 第6回 **【授業テーマ】** 道徳性の発達と教育方法  
**【内容・方法等】** (1) 他律道徳から自律道徳へ (2) ビアジェとコールバーグの発達段階論 (3) 道徳的葛藤とシミュレーションの創造  
**【事前・事後学習課題】** 予習：教科書(39頁～76頁)
  - 第7回 **【授業テーマ】** 学校道徳教育の計画・運営・実施について  
**【内容・方法等】** (1) 「道徳」の時間と指導計画 (2) 各教科・特別活動・総合学習の時間との関係 (3) 「道徳」の実施状況について  
**【事前・事後学習課題】** 予習：出身中学校における「道徳教育計画」をHP等で調べておく。
  - 第8回 **【授業テーマ】** 道徳授業の基礎(1)  
**【内容・方法等】** (1) 子どもの価値意識—「実態調査」から検討する— (2) 道徳の授業と教材 (3) 道徳教育の方法と技術  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配付Excel Dataの検討及び教科書(77頁～99頁)を読んでおく。
  - 第9回 **【授業テーマ】** 道徳授業の応用(2)  
**【内容・方法等】** (1) 実感ある「道徳」授業の創造 (2) DVD視聴「特別授業 差別を知る—カナダのある小学校の試み」  
**【事前・事後学習課題】** DVD視聴の感想文提出
  - 第10回 **【授業テーマ】** 道徳教育の指導案(1)  
**【内容・方法等】** (1) 道徳指導案づくり「スタート台のわたし」 (2) 学生による指導案の発表と検討  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配布教材に基づいた指導案の作成
  - 第11回 **【授業テーマ】** 道徳教育の指導案(2)  
**【内容・方法等】** (1) 道徳指導案づくり「じいちゃん長生きして」 (2) 学生による指導案の発表と検討  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
  - 第12回 **【授業テーマ】** 道徳教育の指導案(3)  
**【内容・方法等】** (1) 道徳指導案づくり「アイバンク」 (2) 学生による指導案の発表と検討  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
  - 第13回 **【授業テーマ】** 道徳教育の指導案(4)  
**【内容・方法等】** (1) 道徳指導案づくり「蜘蛛の糸」 (2) 学生による指導案の発表と検討  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
  - 第14回 **【授業テーマ】** 道徳教育の指導案(5)  
**【内容・方法等】** (1) 道徳指導案づくり「ぼくの名前呼んで」 (2) 学生による指導案の発表と検討  
**【事前・事後学習課題】** 予習：配付資料に基づいた指導案の作成
  - 第15回 **【授業テーマ】** 討論 現代社会と道徳教育  
**【内容・方法等】** (1) 意見発表「道徳教育の研究を学んで」 (2) 質疑応答と課題の発見  
**【事前・事後学習課題】** 討論資料の作成・準備

## 評価方法（基準）

定期試験成績、レポートの成績による評価を行う。

## 教材等

教科書…柴田義松編著『道徳の指導』（学文社）1890円  
文部科学省『中学校学習指導要領』平成20年、国立印刷局、273円

参考書…L. コールバーグ、永野重史監訳『道徳性の形成』新曜社

## 学生へのメッセージ

中学校時代の「道徳」の時間における学習体験を思いおこすとよい。道徳の教材を取り扱うが、その教材をよく読み、中学生に何を伝えたらよいかを考えてほしい。

## 関連科目

教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

## 担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

## 備考

共同担当者 橋本はる美

## 特別活動の理論と方法

Theories and Methods for Special Activities

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上 必修	2

## 授業概要・目的・到達目標

(1) 人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そのことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要性が増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の3本柱それぞれの特質、内容、指導課題について考えていく。(2) 中学校、高等学校の特別活動について、具体的な事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

## 授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いて理解を深める。また、レポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより、プレゼンテーションの力、まとめる力をつける。

## 科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

## 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 特別活動の目標  
【内容・方法等】 ・学校教育の現状と課題  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.7-12
- 第2回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義  
【内容・方法等】 ・家庭や地域社会での子どもたちの生活体験や社会体験の実態と特別活動  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.13-15
- 第3回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義  
【内容・方法等】 ・特別活動の教育的意義  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp15
- 第4回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義  
【内容・方法等】 ・特別活動の内容相互の関連  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.16-24
- 第5回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・学級活動  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.25-43
- 第6回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・学級活動の指導計画  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.44-50
- 第7回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・生徒会活動の目標と内容  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.58-61
- 第8回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・生徒会活動と学校行事・ボランティア活動  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.62-63
- 第9回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容  
【内容・方法等】 ・学校行事の目標と内容

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.74-76

第10回 【授業テーマ】 学校行事  
【内容・方法等】 ・儀式的行事・文化的行事のねらいと具体的な取り組み

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.76-78

第11回 【授業テーマ】 学校行事  
【内容・方法等】 ・健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的行儀のねらいと具体的な取り組み

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-82

第12回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項  
【内容・方法等】 ・特色ある学級活動・生徒会活動・学校行事の創意工夫(ビデオ教材を使った計画の実際)

【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ

第13回 【授業テーマ】 特別活動の課題  
【内容・方法等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題  
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp92

第14回 【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項  
【内容・方法等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について

【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.93-99

第15回 【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項  
【内容・方法等】 ・ガイダンス機能(ビデオ「教師の行なうカウンセリング」)

【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ

## 評価方法（基準）

定期試験、レポート等及び授業態度によって総合評価を行う。

## 教材等

教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 (210円)

参考書…必要に応じて資料を配布

## 学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に生徒の話を「聞くこと」など、カウンセリングの基礎への理解が大切である。そのため、自己の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れて自分のノートを整理していくことが望まれる。

## 関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

## 担当者の研究室等

7号館3階(深川研究室)

## 教育方法論

Studies of Educational Method

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

## 授業概要・目的・到達目標

(1) 学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。(2) そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

## 授業方法と留意点

"テキストを中心にプリント、視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

## 科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

## 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育方法と教育実践  
【内容・方法等】 ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。  
【事前・事後学習課題】 課題 大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
- 第2回 【授業テーマ】 教育方法と学びの指導  
【内容・方法等】 ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。

- 【事前・事後学習課題】** 課題 志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
- 第3回 **【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・近代以前の教育方法
- 第4回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp7-8  
**【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・中世の教会と大学の教育  
・宗教革命と印刷術の発明
- 第5回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp8-9  
**【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・教育学の成立—コメニウス
- 第6回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp10-12  
**【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・合自然の教育学—ペスタロッチ
- 第7回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp12-14  
**【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・国民国家の教育学—ヘルバルトとヘルバルト主義
- 第8回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp14-18  
**【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・子ども中心の教育と学びの共同体—デュローイ
- 第9回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp18-20  
**【授業テーマ】** 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・効率主義の教育学—ポピットとチャーターズ
- 第10回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp20-22  
**【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究(日本教育史を中心に)  
**【内容・方法等】** ・授業の成立と制度化  
・戦後の新教育
- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp33-35  
課題 テキストpp38-40  
**【授業テーマ】** 授業の構想と計画(1)  
**【内容・方法等】** ・構想と計画の基本的視点  
・指導案と教材研究  
・教育における情報機器の活用
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 課題 指導案の作成(1)  
**【授業テーマ】** 授業の構想と計画(2)  
**【内容・方法等】** ・授業と教授メディア  
・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 課題 指導案の作成(2)  
**【授業テーマ】** 授業の構想と計画(3)  
**【内容・方法等】** ・コンピュータを活用した授業デザイン  
・授業改善の評価と方法
- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 課題 コンピュータを活用した授業評価の集計と活用のまとめ  
**【授業テーマ】** 日本の授業と授業研究(戦後教育における校内研修を中心に)  
**【内容・方法等】** ・授業研究と教職研修
- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp40-46  
**【授業テーマ】** 教職の専門性とは何か  
**【内容・方法等】** ・教師像の探究と実践的見識をめぐって
- 【事前・事後学習課題】** 課題 テキストpp135-157

**評価方法(基準)**  
定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

**教材等**  
教科書…「教育方法学」佐藤 学著 岩波書店(2060円)  
参考書…「教育の方法・技術」松平信久 横須賀薫編 教育出版(2000円)  
その他授業時に、適宜紹介する。

**学生へのメッセージ**  
教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

**関連科目**  
教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

**担当者の研究室等**  
7号館3階(深川研究室)

生徒指導論(進路指導を含む) Studies of Guidance and Counseling				
朝日素明(アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

**授業方法と留意点**  
プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。  
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。  
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

**科目学習の効果(資格)**  
教員免許取得上必修  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目  
各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション  
生徒指導の目標と意義  
**【内容・方法等】** 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明  
自分の生徒指導上の体験のふりかえり  
生徒指導の目標と意義  
**【事前・事後学習課題】** 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定  
テキストpp.3-10
- 第2回 **【授業テーマ】** 生徒指導の実践  
**【内容・方法等】** 生徒指導の実践課題と領域  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.10-24
- 第3回 **【授業テーマ】** 生徒指導の理論(1)  
**【内容・方法等】** 理論の重要性  
発達に関する理論  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.32-39
- 第4回 **【授業テーマ】** 生徒指導の理論(2)  
**【内容・方法等】** 生徒指導における治療的支援に関する理論  
相談理論など  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.39-42
- 第5回 **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方(1)  
**【内容・方法等】** 生徒理解の意義と目的  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.43-46
- 第6回 **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方(2)  
**【内容・方法等】** 生徒理解の方法  
生徒の自己理解の支援  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.46-56
- 第7回 **【授業テーマ】** 生徒理解の進め方(3)  
**【内容・方法等】** 教師の生徒認知のありよう  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.56-61
- 第8回 **【授業テーマ】** 中間試験  
**【内容・方法等】** これまでの授業内容についての試験  
**【事前・事後学習課題】** 前回までの復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 学級経営の進め方(1)  
**【内容・方法等】** 学級経営の意義  
学級集団の役割・機能  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.63-68
- 第10回 **【授業テーマ】** 学級経営の進め方(2)  
**【内容・方法等】** 学級集団の力学  
学級経営の方法  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.68-74
- 第11回 **【授業テーマ】** 学級経営の進め方(3)  
**【内容・方法等】** 教師のリーダーシップ  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.74-79
- 第12回 **【授業テーマ】** 生徒指導上の諸問題の理解と対応  
**【内容・方法等】** 生徒指導上の諸問題とは  
最近の諸問題の動向  
諸問題にどう対応するか  
**【事前・事後学習課題】** 生徒指導上の諸問題に関する配布資料
- 第13回 **【授業テーマ】** 進路指導の意義と課題  
**【内容・方法等】** 進路指導の意義と課題  
進路指導に関する諸理論  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.135-159
- 第14回 **【授業テーマ】** 勤労観・職業観の形成と変容  
**【内容・方法等】** 青少年の勤労観・職業観  
勤労観・職業観の形成と変容  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.176-195
- 第15回 **【授業テーマ】** 学校教育における進路指導の実践展開  
**【内容・方法等】** 進路指導における「ガイダンスの機能」  
進路指導実践の展開モデル  
**【事前・事後学習課題】** テキストpp.215-234
- 評価方法(基準)**

定期試験を実施します。その他、中間試験の得点、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

**教材等**

教科書…高橋超・石井眞治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房 (2,500円+税)  
参考書…授業中に適宜、指示します。

**学生へのメッセージ**

生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行うおとする者としての適格性が問われます。

**関連科目**

教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

**担当者の研究室等**

7号館3階 朝日研究室

**備考**

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

教育相談 (カウンセリングの基礎を含む) School Counseling				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**

教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える。

**授業方法と留意点**

講義と演習を組み合わせで行う。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目  
各科目に含める必要事項：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス  
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第2回 【授業テーマ】 教育相談とは何か  
【内容・方法 等】 学校における教育相談とカウンセリング、基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第3回 【授業テーマ】 教育相談とスクールカウンセラーの役割の違い  
【内容・方法 等】 教育相談とカウンセリングとの違い、教師とカウンセラーとの違い  
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第4回 【授業テーマ】 カウンセリングの理論と実際  
【内容・方法 等】 カウンセリングの基礎、技法、実際  
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読む
- 第5回 【授業テーマ】 さまざまなカウンセリング  
【内容・方法 等】 カウンセリングを学校教育に活かすための考え方  
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
- 第6回 【授業テーマ】 校内での協力体制、他機関との連携  
【内容・方法 等】 校内での役割分担と協力体制、専門機関との連携とその方法  
【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む
- 第7回 【授業テーマ】 こころの発達と危機  
【内容・方法 等】 発達段階と危機、特に青年期について。  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_
- 第8回 【授業テーマ】 問題の理解と対応  
【内容・方法 等】 問題とは何か、その原因・背景と対応  
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読む

- 第9回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (1)  
【内容・方法 等】 不登校……その理解と対応 (学生グループ発表)  
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読む
- 第10回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (2)  
【内容・方法 等】 いじめ……その理解と対応 (学生グループ発表)  
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読む
- 第11回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (3)  
【内容・方法 等】 学級崩壊……その理解と対応 (学生グループ発表)  
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第12回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際 (4)  
【内容・方法 等】 反社会的行動……その理解と対応 (学生グループ発表)  
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読む
- 第13回 【授業テーマ】 保護者への援助  
【内容・方法 等】 「家族」という考え方、保護者への対応、親子関係  
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第14回 【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス  
【内容・方法 等】 教員自身が健康であるために、教員への対応  
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読む
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ  
【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_

**評価方法 (基準)**

グループ発表50% 期末試験50%

**教材等**

教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫 (編著) ミネルヴァ書房 (2200円)  
参考書…授業の中で随時紹介する。

**学生へのメッセージ**

これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

**関連科目**

教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

**担当者の研究室等**

7号館3階 (吉田研究室)

教育実習 I Teaching Practice I				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	1

**授業概要・目的・到達目標**

- (1) 教育実習校における実習 (教育実習ⅡまたはⅢ) に必要な教育実践の基本を理解し、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。(2) 教育実習の実際についての情報を提供する。また、受講者は課題の報告・発表を行う。これらに基づき討議する。
- (3) 教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに、教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

**授業方法と留意点**

演習形式で行う。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「教育実習」5単位あるいは3単位のうち1単位を充足。  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
教育実習

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習の意義  
【内容・方法 等】 教育実習の目的と意義、免許制度の概要について  
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習の内容と形態等  
【内容・方法 等】 事前準備の必要性、教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について  
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第3回 【授業テーマ】 実習中の勤務の要領  
【内容・方法 等】 学校の日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について  
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第4回 【授業テーマ】 授業の記録と評価  
【内容・方法 等】 授業と授業研究、評価の観点について  
【事前・事後学習課題】 授業時に指示する
- 第5回 【授業テーマ】 授業の方法と技術  
【内容・方法 等】 学習指導と教材研究について

- 第6回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 学習指導案の作成（1）  
**【内容・方法等】** 授業の準備と配慮事項、学習指導案の書き方、教科指導の学習指導案の作成、板書計画
- 第7回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 学習指導案の作成（2）  
**【内容・方法等】** 学級（ホームルーム）活動等の指導案について。授業の評価とその観点
- 第8回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 授業分析  
**【内容・方法等】** 授業分析の意義と方法について
- 第9回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 模擬授業（1）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第10回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 模擬授業（2）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第11回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 模擬授業（3）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 模擬授業（4）  
**【内容・方法等】** 作成した学習指導案に沿った模擬授業、意見交換
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 学校における人権教育  
**【内容・方法等】** 人権教育の現状と課題について、学校保健と安全指導について
- 第14回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** 特別支援教育の現状と課題  
**【内容・方法等】** 障害の種類と配慮事項、障害児理解と交流教育について
- 第15回 **【事前・事後学習課題】** 授業時に指示する  
**【授業テーマ】** まとめ  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_  
**【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_

**評価方法（基準）**  
課題の提出状況とその内容、模擬授業、期末レポート等によって総合評価を行う。

**教材等**  
教科書…特に指定しない。  
参考書…授業の中で随時紹介する。

**学生へのメッセージ**  
教育実習は、これまで学んできたことの総まとめです。よい実習ができるように、十分に準備してください。

**関連科目**  
これまで学んだすべての科目

**担当者の研究室等**  
7号館3階（吉田研究室）

教育実習II Teaching Practice II				
深川 八郎（フカガワ ハチロウ） 村田 俊明（ムラタ トシアキ） 朝日 素明（アサヒ モトアキ） 吉田 佐治子（ヨシダ サチコ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
「教育実習Ⅱ」では、教育実習校において2週間以上の実習を行う。（1）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（2）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（3）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（4）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。  
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

**授業方法と留意点**  
（1）教育実習校での実習を行う。（2）大学での事前・事後指導は「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。（3）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

**科目学習の効果（資格）**

- 教員免許取得上選択必修  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
教育実習
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 教育実習特別個人指導（4月）  
**【内容・方法等】** 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。  
**【事前・事後学習課題】** 個別の呼び出しに速やかに応じること
  - 第2回 **【授業テーマ】** 教育実習事前指導（4月～5月）  
**【内容・方法等】** 教育実習上の心がまえ・諸注意  
教育実習ビデオの視聴  
先輩教師の体験談  
教師の仕事と責任について講義・討論
  - 第3回 **【事前・事後学習課題】** 申請書類等の記入・提出  
**【授業テーマ】** 教育実習個人指導（4月～5月）  
**【内容・方法等】** 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。  
**【事前・事後学習課題】** 教材・学習指導案を作成して提出（必要者のみ）
  - 第4回 **【授業テーマ】** 前期教育実習開始（5月～6月）  
**【内容・方法等】** 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。  
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
  - 第5回 **【事前・事後学習課題】** 教材研究、学習指導案作成  
**【授業テーマ】** 教育実習体験発表会（6月～7月）  
**【内容・方法等】** 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
  - 第6回 **【事前・事後学習課題】** 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出  
**【授業テーマ】** 後期教育実習開始（9月～10月）  
**【内容・方法等】** 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
  - 第7回 **【事前・事後学習課題】** 教材研究、学習指導案作成  
**【授業テーマ】** 教育実習体験発表会（10月）  
**【内容・方法等】** 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
  - 第8回 **【事前・事後学習課題】** 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出  
**【授業テーマ】** 教育実習総括講義（10月）  
**【内容・方法等】** 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
  - 第9回 **【事前・事後学習課題】** 教育実習記録の提出  
**【授業テーマ】** 教育実践指導（1月～3月）  
**【内容・方法等】** 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
  - 第10回 **【事前・事後学習課題】** 指示された課題  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第11回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第12回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第13回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第14回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第15回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第16回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第17回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第18回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第19回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第20回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第21回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_
  - 第22回 **【事前・事後学習課題】** \_\_\_\_\_  
**【授業テーマ】** \_\_\_\_\_  
**【内容・方法等】** \_\_\_\_\_

- 第23回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第24回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第25回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第26回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第27回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第28回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第29回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第30回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_

**評価方法 (基準)**

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものは、単位を認定しない。

**教材等**

教科書…摂南大学『教育実習記録』  
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

**学生へのメッセージ**

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

**関連科目**

教職関連科目全般

**担当者の研究室等**

7号館3階

**備考**

中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

- 【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意  
教育実習ビデオの視聴  
先輩教師の体験談  
教師の仕事と責任について講義・討論
- 第3回 【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出  
【授業テーマ】 教育実習個人指導（4月～5月）  
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。  
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出（必要な者のみ）
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始（5月～6月）  
【内容・方法 等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
- 第5回 【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成  
【授業テーマ】 教育実習体験発表会（6月～7月）  
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
- 第6回 【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出  
【授業テーマ】 後期教育実習開始（9月～10月）  
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
- 第7回 【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成  
【授業テーマ】 教育実習体験発表会（10月）  
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
- 第8回 【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出  
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出  
【授業テーマ】 教育実習総括講義（10月）  
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出  
【授業テーマ】 教育実践指導（1月～3月）  
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
- 第10回 【事前・事後学習課題】 指示された課題  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第11回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第12回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第13回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第14回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第15回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第16回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第17回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第18回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第19回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第20回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第21回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第22回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第23回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第24回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第25回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_

<b>教育実習Ⅲ</b> Teaching Practice III				
深 川 八 郎 (フカガワ ハチロウ) 村 田 俊 明 (ムラタ トシアキ) 朝 日 素 明 (アサヒ モトアキ) 吉 田 佐 治 子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修(中 免は必修)	4

**授業概要・目的・到達目標**

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において4週間以上の実習を行う。(1)教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2)事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3)教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4)事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。

これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

**授業方法と留意点**

(1)教育実習校での実習を行う。(2)大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。(3)事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

**科目学習の効果 (資格)**

教員免許取得上選択必修

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導（4月）  
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。  
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導（4月～5月）



- 第26回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第27回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第28回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第29回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_  
【内容・方法 等】 \_\_\_\_\_
- 第30回 【事前・事後学習課題】 \_\_\_\_\_  
【授業テーマ】 \_\_\_\_\_

**評価方法 (基準)**  
事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものは、単位を認定しない。

**教材等**  
教科書…撰南大学『教育実習記録』  
参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその「解説」ほか

**学生へのメッセージ**  
『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

**関連科目**  
教職関連科目全般

**担当者の研究室等**  
7号館3階

**備考**  
中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

**教職実践演習 (中・高)**  
Practicum in Prospective Teachers

	深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)
	村田 俊明 (ムラタ トシアキ)
	朝日 素明 (アサヒ モトアキ)
	吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上 必修	2

**授業概要・目的・到達目標**  
○教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。  
○中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。  
○教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。  
○教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

**授業方法と留意点**  
○教職課程の専任教員4名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。1グループは15～20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。  
○大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

**科目学習の効果 (資格)**  
○教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目(教職実践演習を除く。)の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。  
○2013年度から4年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 「教職実践演習」のガイダンス  
【内容・方法 等】 ・科目の目的、内容方法についての確認  
・各自の教育実習後の課題についての確認  
・3回以降のグループ学習の各課題の確認  
【事前・事後学習課題】 ・教育実習ノートの点検と再確認

- 第2回 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題  
【内容・方法 等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。  
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第3回 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題  
【内容・方法 等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。  
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第4回 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)  
【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。  
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)  
【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。  
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第6回 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)  
【内容・方法 等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。  
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第7回 【授業テーマ】 学級集団づくりと生徒指導・進路指導の課題  
【内容・方法 等】 ・学級経営の重要性と困難性を確認しながら、個別指導について生徒指導・進路指導の事例を基に考える(グループワーク)  
【事前・事後学習課題】 教員のマネジメント能力や「学級崩壊」の危険性についてレポートにまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 進路指導  
【内容・方法 等】 ・進路指導・生徒指導上の教師の行うカウンセリングマインドについて考える  
ビデオ「教師の行うカウンセリングマインド」  
【事前・事後学習課題】 特に中学生における進路指導のあり方についてレポートにまとめる
- 第9回 【授業テーマ】 カウンセリングマインドと生徒対応  
【内容・方法 等】 カウンセリングの技法を生徒への対応、保護者への対応に応用する(ロールプレイ)  
【事前・事後学習課題】 (事前)カウンセリングマインドについての復習  
(事後)小レポート
- 第10回 【授業テーマ】 「自分」を知る  
【内容・方法 等】 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り、そのための1方法としてのエゴグラム作成を行う  
【事前・事後学習課題】 (事前)「自分」について考える  
(事後)小レポート
- 第11回 【授業テーマ】 いじめの現状  
【内容・方法 等】 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。  
【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読  
(事後)小レポートの提出
- 第12回 【授業テーマ】 いじめ問題への取り組み  
【内容・方法 等】 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。  
【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読  
(事後)小レポートの提出
- 第13回 【授業テーマ】 教育実習と「道徳」の授業について一課題の確認  
【内容・方法 等】 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論  
一教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う  
【事前・事後学習課題】 事前：教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。  
事後：話し合いから学んだことをまとめる。
- 第14回 【授業テーマ】 「道徳」の模擬授業と授業検討  
一「道徳」授業のポイント確認  
【内容・方法 等】 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。  
【事前・事後学習課題】 事前：代表者による模擬授業(30分)の実施準備を行う。  
事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。
- 第15回 【授業テーマ】 授業改革と人権教育(元校長との研究交流)

総括レポートの作成

【内容・方法 等】 ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ

・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る  
・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。

【事前・事後学習課題】 レポート作成

評価方法 (基準)

教職教室教員4名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。

教材等

教科書…「教育実習記録」(摂南大学)  
教育実習で使用した各教科書・教材

参考書…資料等は授業中に適宜配布

学生へのメッセージ

教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしなが、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力量を身に付けること。

関連科目

全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等

教職教室(7号館3階)  
深川八郎、村田俊明、朝日素明、吉田佐治子

工業科教育法I Engineering Education I				
倉田光雄(クラタ ミツオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「工業」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

工業科教育法Iでは、工業教育の意義・目標や教育関連法規、歴史と現状などについて説明します。目的は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得する事です。  
工業科教育法IIでは、学習指導の実際について、学習指導計画の作成から授業の進め方と成績評価、授業改善について学び、進路指導や学校運営についても学びます。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得することが目標です。

授業方法と留意点

教科書中心で行い、随時にプリントの配布、教材掲示装置、プロジェクターも使用します。

科目学習の効果(資格)

工業高等学校の教員1種免許を得るために必要です。  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教育課程及び指導法に関する科目  
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>  
【内容・方法 等】 工業教育の役割について、適正年齢などに基づき説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第2回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業教育の意義・役割・目標・内容>  
【内容・方法 等】 工業教育の目標やその内容を取り扱う。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第3回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<教育関係法令>  
【内容・方法 等】 教育関係法令の種類と法令のおもな部分を取り扱う。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第4回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>  
【内容・方法 等】 日本の工業高校発展の明治以来の歴史と現在の状況について取り扱う。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第5回 【授業テーマ】 工業教育の意義・歴史・法令関係<工業高校発展の歴史と現状>  
【内容・方法 等】 数種類の工業高校発展の具体例を挙げて歴史について考える。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第6回 【授業テーマ】 外国の技術・工業教育の紹介  
【内容・方法 等】 外国の技術・工業教育の具体例を紹介する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第7回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>

【内容・方法 等】 教科・工業の共通科目の考え方とねらいについて説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第8回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<教科・工業の共通科目>

【内容・方法 等】 教科・工業の共通科目の課題研究について説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第9回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<専門学校などの工業教育について>

【内容・方法 等】 専門学校などの工業教育の内容について説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第10回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<工業科の主な学課の実験・実習の内容紹介>

【内容・方法 等】 工業科の主な学科の実験・実習を紹介する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第11回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<工業科の主な学科の実験・実習の内容紹介>

【内容・方法 等】 工業科の主な学科の実験・実習について説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第12回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>

【内容・方法 等】 就業体験学習の指導計画、就業資格について説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第13回 【授業テーマ】 教科・工業の内容関係<実践的工業教育>

【内容・方法 等】 実践的工業教育の活動計画・実際・展開などについて具体例を紹介する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第14回 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元の計画まで>

【内容・方法 等】 教育課程の意義・目標・役割などについて説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

第15回 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育課程の編成から単元計画までの手順や配慮事項について説明する。>

【内容・方法 等】 教育課程の編成から単元計画までの手順や配慮事項について説明する。

【事前・事後学習課題】 教科書による予習

評価方法 (基準)

レポート、小テスト、平常点により総合判断する。

教材等

教科書…"「新しい観点と実践に基づく 工業科教育法の研究」、池森慈、佐藤弘幸、中村豊久、実教出版、2006年、(2,000円税別)

参考書…参考書・参考資料等 高等学校学習指導要領解説・工業編

学生へのメッセージ

工業科教育関係に必要な科目です。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

1号館3階 倉田教授室

備考

なし

工業科教育法II Engineering Education II				
倉田光雄(クラタ ミツオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「工業」教免 取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

工業科教育法Iでは、教育の意義・目標や教育関連法規、歴史と現状などについて説明します。目的は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得する事です。  
工業科教育法IIでは、学習指導の実際について、学習指導計画の作成から授業の進め方と成績評価、授業改善について学び、進路指導や学校運営についても学びます。到達目標は工業高等学校における技術教育を行うための必要な基礎的知識を修得することが目標です。

授業方法と留意点

教科書中心で行い、随時にプリントの配布、教材掲示装置、プロジェクターも使用します。

科目学習の効果(資格)

工業高等学校の教員1種免許を得るために必要です。  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計,学習指導案,授業改善および教育実習>"  
【内容・方法等】 授業構造や学習指導案について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第2回 【授業テーマ】 "教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<授業設計,学習指導案,授業改善および教育実習>"  
【内容・方法等】 授業改善および教育実習について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第3回 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>  
【内容・方法等】 新しい学力観に基づく教育評価などについて説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第4回 【授業テーマ】 教育課程・授業設計・教育評価・教育実習関係<教育評価>  
【内容・方法等】 評価・認定の実例を説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第5回 【授業テーマ】 学習理論関係<学習と授業理論>  
【内容・方法等】 学習と授業理論の歴史的展開を説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第6回 【授業テーマ】 学習理論関係<学習と授業理論>  
【内容・方法等】 授業の方法や形態について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第7回 【授業テーマ】 学習理論関係<自作教具の勧め>  
【内容・方法等】 教具の種類と具体例について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第8回 【授業テーマ】 模擬授業と評価および意見交換（導入を中心に）  
【内容・方法等】 模擬授業と評価および意見交換（導入を中心に）  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第9回 【授業テーマ】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）  
【内容・方法等】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）  
【事前・事後学習課題】 模擬授業と評価および意見交換（展開を中心に）
- 第10回 【授業テーマ】 模擬授業と評価および意見交換（まとめ）  
【内容・方法等】 模擬授業と評価および意見交換（まとめ）  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第11回 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>  
【内容・方法等】 工業教育と進路指導を説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第12回 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業教育と進路指導>  
【内容・方法等】 工業教育と進路指導の具体例を紹介する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第13回 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<学校運営と教員研修>  
【内容・方法等】 学校運営と教育力向上への取り組み。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第14回 【授業テーマ】 進路指導・学校運営・工業高校の展望<工業高校の展望>  
【内容・方法等】 工業教育の現状と今後の発展について取り扱う。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第15回 【授業テーマ】 創造性教育課題研究  
【内容・方法等】 問題解決学習について説明する。  
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 評価方法（基準）  
レポート、小テスト、平常点により総合判断する。
- 教材等  
教科書…"新しい観点と実践に基づく 工業科教育法の研究"、池森慈、佐藤弘幸、中村豊久、実教出版、2006年、(2,000円税別)"  
参考書…参考書・参考資料等 高等学校学習指導要領解説・工業編
- 学生へのメッセージ  
工業科教育関係に必要な科目です。
- 関連科目  
特になし
- 担当者の研究室等  
1号館3階 倉田教授室
- 備考  
なし

## 数学科教育法I

Method of Mathematics Teaching I

寺本 恵昭 (テラモト ヨシアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教免取得上必修	2

### 授業概要・目的・到達目標

数学科教育法Iでは、高等学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できるようにするための基礎的な実践能力の育成をめざす。「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・教授及び学習に関する理論」とをとり、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをとおして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。学科の学習・教育目標との対応：[C]

### 授業方法と留意点

グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視聴覚器材を用いて講義を進める。

### 科目学習の効果（資格）

「創造型人材育成教育（数学教育）を実践しうる教育者」となるための基礎・基本の確立ができる。（高等学校一種免許（数学）【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

### 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 教育と評価(1)  
【内容・方法等】 「評価」観の変遷から新しい「学力」観におけるメタ認知・メタ学習における評価について考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 教育と評価(2)  
【内容・方法等】 教育における指導と評価を一体化させる方法を考え、「教育改善のための評価法」に統合する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 数学教育の目的と目標  
【内容・方法等】 教授の概念を学び、教授論の歴史的展開から教授メディアの発展及び学習理論について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 新しい学力観  
【内容・方法等】 数学的な見方・考え方に関わる教授法に関する知識を、学習理論に結びつけ、新しい「学力」観について考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 生きる力(1)  
【内容・方法等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 生きる力(2)  
【内容・方法等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つ力とする。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊  
【内容・方法等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 学習指導要領(1)  
【内容・方法等】 学習指導要領制定の経緯、変遷の経過に、それぞれの時代の求められた教育観がいかに反映されたかを学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 学習指導要領(2)  
【内容・方法等】 高等学校の学習指導要領について学び、その目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 数学科教授計画  
【内容・方法等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

- 第12回** 【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法  
【内容・方法 等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)  
【内容・方法 等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)  
【内容・方法 等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶものの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)  
【内容・方法 等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 評価方法 (基準)**  
バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。
- 教材等**  
教科書…中学校学習指導要領解説-数学編、高等学校学習指導要領解説-総則編、高等学校学習指導要領解説-数学編・理数編各200円程度  
参考書…進行にそって適宜プリント教材を配布
- 学生へのメッセージ**  
将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発など積極的な活動を求める。
- 関連科目**  
本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。
- 担当者の研究室等**  
3号館3階数学研究室

数学科教育法II Method of Mathematics Teaching II				
小林 俊 公(コバヤシ トシマサ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免 取得上必修	2

- 授業概要・目的・到達目標**  
数学科教育法 II では、高等学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法 I でまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成し、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育成できるプロジェクトをたて、教育コースウェアを研究・開発し、バズ式セッション・グループ活動・他者評価・自己評価、相互評価などで実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[C]
- 授業方法と留意点**  
学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養
- 科目学習の効果 (資格)**  
「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。(高等学校一種免許(数学))  
【免許法施行規則に定める科目区分】  
科目：教育課程及び指導法に関する科目  
各科目に含める必要事項：各教科の指導法
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法 等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)  
【内容・方法 等】 高等学校教科「数学」や専門教科「理数」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確

- かな学力」について考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)  
【内容・方法 等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)  
【内容・方法 等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(4)  
【内容・方法 等】 身近な事象から、どのような数学的知識がひきだされているか具体例を挙げ、数学的思考の構成過程を振り返って、当初の事象にどのように活用されているかを考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(1)  
【内容・方法 等】 高等学校普通教科数学「I・II・III, A, B, C, 数学活用」や専門科目「理数」の各々について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(2)  
【内容・方法 等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(3)  
【内容・方法 等】 自ら学び自ら考える力や表現力を身につけさせることができる「各自のおこないたい教育コースウェア」を開発するプロジェクトを考察する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 高等学校の数学教育開発プロジェクト(4)  
【内容・方法 等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)  
【内容・方法 等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)  
【内容・方法 等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)  
【内容・方法 等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)  
【内容・方法 等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステムティックに組み上げる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)  
【内容・方法 等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力(授業改善力・評価力等)育成のための方法を体得する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法 等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 評価方法 (基準)**  
マイクロティーチング(模擬授業)は必須。授業への参画(出席状況、受講態度、平常点)、課題提出、課題解決の経過等の日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%、マイクロティーチングと評価のまとめで50%とする。
- 教材等**  
教科書…中学校学習指導要領解説-数学編、高等学校学習指導要領解説-総則編、数学編・理数編各200円程度  
参考書…「観点別評価実践事例集」図書文化(2415円)
- 学生へのメッセージ**  
生徒の自己実現を支援する高等学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題(課題)解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。
- 関連科目**

本科目を学ぶまでに数学科教育法Ⅰを履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。  
**担当者の研究室等**  
 3号館3階 数学研究室

数学科教育法Ⅲ Method of Mathematics Teaching III				
大西慶一(オオニシ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	「数学」教免 取得上必修 (中免のみ)	2

**授業概要・目的・到達目標**

数学科教育法Ⅲでは、中学校数学科教員を目指す学生の意識を高め、実際に教育を担当できるようにするための基礎的な実践能力の育成をめざす。中学生の実態を捉え、「カリキュラム・教育目標・目的・方法・内容・評価・評価・教授及び学習に関する理論」に関する知識を展開し、数学教育における教育の方法や技術の修得に重点を置く。また、問題発見力と解決のための「情報活用法」を体得するべく、グループ学習を重視し、マイクロティーチング・プレゼンテーションをおして「教えるもの」と「学ぶもの」の相互の立場を経験し、自己の教育観・教育力の基礎的基盤の確立を目指す。また、校種間の連携として小学校・高等学校の指導要領についてもふ。学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

グループ学習・活動で実施する。自らが発見した課題に積極的に取り組むことにより学ぶ「メタ学習」を根本におく。レポートの提出を求める。ビデオ、教材提示装置等視聴覚器材を用いて講義を進める。

**科目学習の効果(資格)**

「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基礎・基本の確立ができる。(中学校一種免許(数学))

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：各教科の指導法

**毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**

- 第1回** 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
 【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回** 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(1)  
 【内容・方法等】 中学校運営全体の中で、数学教育体制がどのように始められ変遷してきたか学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回** 【授業テーマ】 中学校数学教育の歴史(2)  
 【内容・方法等】 中学校数学教育でなにが教えられてきたか、教科内容の取舍選択がいかに行われてきたかを学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回** 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(1)  
 【内容・方法等】 小学校算数教育の内容の変遷を通じて、小中の算数数学教育の連携がどのように考えられてきたか学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回** 【授業テーマ】 算数教育から数学教育へ(2)  
 【内容・方法等】 現行算数教育と数学教育の間にどのような問題があるのか、その課題といかに改善すべきか考える。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回** 【授業テーマ】 数学教育の目的と目標  
 【内容・方法等】 教授の概念を学び、教授論の歴史的展開から教授メディアの発展及び学習理論について学ぶ。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回** 【授業テーマ】 学級崩壊・学力崩壊  
 【内容・方法等】 近接校種の教育の現場の状況を知り、各自の目指す校種に至るまでの現状を知る。特に小学校低学年における学級崩壊の実状を考察して、各自の教育観をたてる。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回** 【授業テーマ】 生きる力(1)  
 【内容・方法等】 近接校種等の総合的な学習の時間における教育のあり方を学び、先進的な実践校の内容と、その分析をおこなう。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回** 【授業テーマ】 生きる力(2)  
 【内容・方法等】 教授法・学習理論をメタ学習・数学教育の観点から教育の現場で役立つ力とする。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回** 【授業テーマ】 学習指導要領  
 【内容・方法等】 中学校の学習指導要領について学び、その

目標や内容について知り、教科書の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学ぶ。

- 第11回** 【事前・事後学習課題】 課題レポート  
 【授業テーマ】 数学科教授計画  
 【内容・方法等】 授業の設計法を体系的に学ぶ。目標の分析法や、授業・指導の組織化の方法について学び、その知識を援用して学習指導案にまとめる。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回** 【授業テーマ】 マイクロティーチングの方法  
 【内容・方法等】 教育機器と教授メディア、教授メディアの発展と現状、チャート・カード・OHPなどの活用  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(1)  
 【内容・方法等】 各自の求める数学教育について、「15分間のマイクロティーチング」にまとめ、実践する。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(2)  
 【内容・方法等】 グループ員各々のマイクロティーチングを「学ぶものの立場」、「同僚(教えるもの)としての立場」で相互評価し、「教えるもの」としての自己評価を加えて総合的にまとめる。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回** 【授業テーマ】 マイクロティーチング(プレゼンテーション)・グループ学習(3)  
 【内容・方法等】 マイクロティーチングの相互評価と自己評価の発表と検討により、自己の教育力・評価力育成のための方法を体得する。  
 【事前・事後学習課題】 課題レポート

**評価方法(基準)**

バズ式セッションを中心に展開(グループ員との連携が必須・特に欠席時)。マイクロティーチング(模擬授業)は必須。レポートの提出を求める。マイクロティーチングと評価のまとめで50%、レポートと日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%とする。

**教材等**

教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説-数学編、小学校学習指導要領解説-算数編、高等学校学習指導要領-数学編 各200円程度

参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円程度

**学生へのメッセージ**

将来教員をめざす学生の切磋琢磨の場として、プレゼンテーション能力の育成をはかり、グループを中心に、新しい教材開発など積極的な活動を求める。

**関連科目**

本科目を学ぶまでに開講されている他の教職関連科目、一般教養科目を予め履修しておくことが望ましい。

**担当者の研究室等**

当該講義内での対応が中心となります。

数学科教育法Ⅳ Method of Mathematics Teaching IV				
大西慶一(オオニシ ケイイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	「数学」教免 取得上必修 (中免のみ)	2

**授業概要・目的・到達目標**

数学科教育法Ⅳでは、中学校数学科教員を目指す学生が実際に教育を担当できるようにするための基盤となる実践力の育成をめざす。数学科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでまとめあげた各自の「教える立場に立ったときの心構え・知識」と、体験したマイクロティーチングを礎にして、生きる力を知的な側面から支える「確かな学力」を育成するための教育コースウェアを研究・開発する。バズ式セッション・グループ活動を学習形態に取り入れ、生徒の学習意欲をたかめ、自ら学び自ら考える力を育てるという課題を持ってプロジェクトをたてる。各自がたてた課題解決プロジェクトを互いに他者評価し、自己評価して実践的な学びを展開する。学科の学習・教育目標との対応：[C]

**授業方法と留意点**

学ぶ意欲を維持し自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決し、プレゼンテーションする資質や能力の涵養

**科目学習の効果(資格)**

「創造型人材育成教育(数学教育)を実践しうる教育者」となるための基盤力が涵養できる。(中学校一種免許(数学))

教職科目

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目  
各科目に含める必要事項：各教科の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 本授業のねらいと展開  
【内容・方法等】 本教科科目の内容、特徴、学び方、ガイダンス、全体の展望、学習の進め方  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第2回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(1)  
【内容・方法等】 中学校教科「数学」において、生徒の学習意欲をたかめ、生きる力を支える「確かな学力」について考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第3回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(2)  
【内容・方法等】 「生徒が数学的な見方・考え方が好きだと思ふこと」とは、また「授業以外に学ぶ習慣を体得できる種々の方策」とはについて考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第4回 【授業テーマ】 生きる力と確かな学力、学力観(3)  
【内容・方法等】 「生活の中での数学の有効性を体験し論理的に考える態度の育成」とは、また「人やものに関わる力をたかめるための体験」とはどのようなものであるかを考える。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第5回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(1)  
【内容・方法等】 教育目標・目的、内容・方法、評価について考え、教育課程、年間指導計画、単元計画、本時の学習についての学習指導案・学習指導細案・ワークシート・板書計画・評価法をまとめ上げる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第6回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(2)  
【内容・方法等】 理解の過程で各自が持った問題意識でテーマをたて「自分が求める数学教育」を設定し、各自のたてた学力観から教授モデルや評価のあり方についてさらに考えをすすめる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第7回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(3)  
【内容・方法等】 第1学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第8回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(4)  
【内容・方法等】 第2学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第9回 【授業テーマ】 中学校の数学教育開発プロジェクト(5)  
【内容・方法等】 第3学年での数学教科について、その理念と意義及び目標・内容について理解する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第10回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(1)  
【内容・方法等】 グループ活動として、各自の開発した教育コースウェアについてバズ式セッションで討議する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第11回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(2)  
【内容・方法等】 討議の結果をフィードバックして各自の考えた教育コースウェアを修正し、「50分間の模擬授業」をおこなう。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第12回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(3)  
【内容・方法等】 各自の考えた「評価規準」「評価基準」「ルーブリック」等で評価をおこない、観点別評価を実践する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第13回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(4)  
【内容・方法等】 実践により各々のプロジェクト型問題解決学習を完結し、ひとりひとりの「Plan-Do-Check-Actionのサイクル」をシステマティックに組み上げる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第14回 【授業テーマ】 バズ式セッション、模擬授業・評価(5)  
【内容・方法等】 教育者としての基盤を確立し、自己の教育力（授業改善力・評価力等）育成のための方法を体得する。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ  
【内容・方法等】 高等学校教科「数学」の学習指導要領について体系的な知識を身につけ、「生きる力」や「確かな学力」について考えをまとめ、各自の「学力観」を立てる。  
【事前・事後学習課題】 課題レポート

評価方法（基準）

マイクロティーチング(模擬授業)は必須。授業への参画(出席状況、受講態度、平常点)、課題提出、課題解決の経過等の日常学習状況(出席状況を含む)の評価が50%、マイクロティーチングと評価のまとめで50%とする。

教材等

教科書…「中学校数学の教材開発・授業プラン2年」学事出版2520円、中学校学習指導要領解説-数学編、小学校学習指導要

領解説-算数、高等学校学習指導要領-数学編 各200円程度  
参考書…「中学数学の教材開発・授業プラン1年」学事出版2520円程度

学生へのメッセージ

生徒の自己実現を支援する中学校数学科の教員を目指すという目的意識を持ち、常に問題を発見し、問題解決・課題解決に情熱を傾け、日々の課題を着実に解決し、自ら継続的に問題(課題)解決のための取り組みを日常的におこなう学生の受講を希望する。

関連科目

本科目を学ぶまでに数学科教育法Ⅲを履修すること。他の教職関連科目、一般教養科目なども予め履修しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

当該講義内での対応が中心となります。

## 職業指導

Vocational Guidance

水野 武(ミスノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	教免取得上 必修	4

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだら資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果(資格)

工業科の職業指導に関する基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理  
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回 【授業テーマ】 職業指導の基礎理論  
【内容・方法等】 職業指導における基本的な考え方、手法  
【事前・事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読
- 第3回 【授業テーマ】 職業指導の歴史①  
【内容・方法等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る  
【事前・事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読
- 第4回 【授業テーマ】 日本の産業構造の変化  
【内容・方法等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る  
【事前・事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読
- 第5回 【授業テーマ】 職業指導の歴史②  
【内容・方法等】 日本の戦後の教育改革について  
【事前・事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読
- 第6回 【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導  
【内容・方法等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり  
【事前・事後学習課題】 日本型雇用の見直しについて考える
- 第7回 【授業テーマ】 新規高卒就職システム  
【内容・方法等】 新規高卒労働市場の変容と現状  
【事前・事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読
- 第8回 【授業テーマ】 高等学校における職業指導  
【内容・方法等】 各種学校における職業指導の在り方について  
【事前・事後学習課題】 職業指導の事例を調査
- 第9回 【授業テーマ】 「労働すること」を考える  
【内容・方法等】 仕事をするこゝの意義を考える  
【事前・事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようになる
- 第10回 【授業テーマ】 職業指導の領域  
【内容・方法等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える  
【事前・事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読
- 第11回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①  
【内容・方法等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る  
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読

- 第12回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②  
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る  
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第13回 【授業テーマ】 授業内容立案  
【内容・方法 等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する  
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第14回 【授業テーマ】 模擬授業①  
【内容・方法 等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施  
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り  
【内容・方法 等】 講義の振り返り、前期の中間レポートの提出  
【事前・事後学習課題】 前期の中間レポートの準備
- 第16回 【授業テーマ】 オリエンテーション  
【内容・方法 等】 後期授業概要の説明  
【事前・事後学習課題】
- 第17回 【授業テーマ】 商業教育と職業指導  
【内容・方法 等】 商業高校における職業指導について  
【事前・事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第18回 【授業テーマ】 工業教育と職業指導  
【内容・方法 等】 工業高校における職業指導について  
【事前・事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第19回 【授業テーマ】 人権教育としての職業指導  
【内容・方法 等】 職業指導の国際基準、ハンディキャップがある生徒への職業指導  
【事前・事後学習課題】 提示する資料を熟読
- 第20回 【授業テーマ】 フリーター・ニートについて  
【内容・方法 等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える  
【事前・事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備
- 第21回 【授業テーマ】 職業適性とは何か？  
【内容・方法 等】 職業適性、各種アセスメントについて  
【事前・事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える
- 第22回 【授業テーマ】 高校生の就業力について  
【内容・方法 等】 新規高卒者が求められる就業力について  
【事前・事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える
- 第23回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①  
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第24回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②  
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導の事例紹介  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第25回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①  
【内容・方法 等】 高校生の就業力向上のための企画・授業を考える  
【事前・事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集すること
- 第26回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案②  
【内容・方法 等】 25回目で考えた内容を発表する  
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第27回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論①  
【内容・方法 等】 自己概念を中心としたキャリア発達  
【事前・事後学習課題】 自己概念に関する資料を精読
- 第28回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論②  
【内容・方法 等】 環境との相互作用によるキャリア行動の発達  
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第29回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論③  
【内容・方法 等】 学習理論からのアプローチ  
【事前・事後学習課題】 学習理論に関する資料を熟読
- 第30回 【授業テーマ】 まとめ/講義の振り返り

**評価方法** (基準)  
講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。  
また、前期最終時に中間レポートを実施します。

**教材等**  
教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。  
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）  
ほか、授業中に適宜、指示します。

**学生へのメッセージ**  
「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

**関連科目**  
教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

また「特別活動論」にも近接します。  
**担当者の研究室等**  
3号館4階（キャリア教育推進室）

